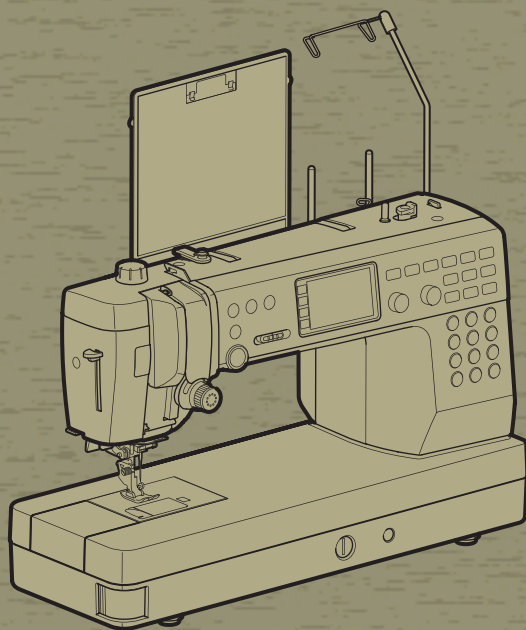


取扱説明書



JANOME




安全上のご注意







- ◆ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ◆ここに示した注意事項は、ミシンを安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。
- ◆お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに保管してください。
- ◆このミシンは、日本国内向け家庭用です。 FOR USE IN JAPAN ONLY.












危害・損害の程度を表わす表示








| | | | |
|---|-------------------------------------|---|---|
|  警告 | この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。 |  注意 | この表示の欄は「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。 |
|---|-------------------------------------|---|---|

本文中の図記号の意味

| | |
|---|--|
|  | △記号は、気を付けていただきたい「注意」の内容です。 図の中には具体的な注意内容を表示しています。(左図の場合は一般的な注意) |
|  | ⊘記号は、行ってはいけない「禁止」の内容です。 図の中には具体的な禁止内容を表示しています。(左図の場合は分解禁止) |
|  | ●記号は、必ず実行していただく「強制」の内容です。 図の中には具体的な指示内容を表示しています。(左図の場合は一般的な強制) |

| | |
|---|--|
|  警告 | 感電・火災の原因になります。 |
|  | ストーブ、アイロンの近くなど温度の高いところでは使用しないでください。 禁止 ミシンの使用温度は5℃～35℃です。 |
|  | スプレー製品などを使用した部屋や、引火しやすい物の近くでは使用しないでください。 禁止 |
|  | 一般家庭用、交流電源100Vでご使用ください。 必ず実行 |
|  | 電源プラグは定期的に乾いた布でふき、ほこりなどを取り除いてください。 必ず実行 |
|  | 以下のようなときは、電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてください。 必ず電源プラグを抜く ・ミシンのそばを離れるとき ・ミシンを使用したあと ・ミシン使用中に停電したとき |

| | |
|---|---|
|  注意 | 感電・火災・けがの原因になります。 |
|  | ミシンの通風口はふさがないようにしてください。 禁止 |
|  | 直線針板が取り付けられている場合、および取り付けられている押さえの種類によっては、電源スイッチを切った状態ではすみ車をまわすと、針が針板や押さえにあたる場合がありますのでご注意ください。 注意 |
|  | お子様でご使用になるときや、お子様の近くでご使用される場合は、特に安全に注意してください。 注意 |
|  | ミシンを持ち運ぶときは、片手で手さげハンドルを持ち、必ずもう一方の手をミシンにそえてください。 必ず実行 |
|  | プラグ受けに、糸くずやほこりがたまらないようにしてください。 必ず実行 |
|  | 針および押さえは、確実に固定してください。 必ず実行 また、押さえは、ぬいに合ったものをご使用ください。 |
|  | 電源プラグを抜くときは、コードを引っ張らず電源プラグを持って抜いてください。 必ず実行 |
|  | 以下のことを行うときは、電源スイッチを切ってください。 必ず実行 ・押さえ、アタッチメントを交換するとき ・上糸、下糸をセットするとき ・針、針板を交換するとき |
|  | ミシンのお手入れを行うときは、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。 必ず電源プラグを抜く |
|  | ミシンに以下の異常があるときは速やかに使用を停止し、まず電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店にて点検・修理・調整をお受けください。 必ず電源プラグを抜く ・正常に作動しないとき ・水にぬれたとき ・落下などにより破損したとき ・異常な臭い・音がするとき ・電源コード・プラグ類が破損、劣化したとき |

| | |
|---|---|
|  注意 | 感電・火災・けがの原因になります。 |
|  | お客様自身での分解はしないでください。 分解禁止 |
|  | ミシンの操作中は、針から目を離さないようにし、針・はずみ車・天びんなどすべての動いている部分に手を近づけないでください。 接触禁止 |
|  | ぬい中に布を無理に引っ張ったり、押したりしないでください。 禁止 |
|  | 曲がった針や、先つぶれた針はご使用にならないでください。 禁止 |
|  | このミシンを使用するときは、付属の専用電源コードを使用してください。 禁止 付属の専用電源コードは、このミシン以外の電気製品には使用しないでください。 |
|  | フットコントローラーの上に物をのせないでください。 禁止 |

目次 (1)

| | | | |
|------------------------------------|-------|---|-------|
| ◎お取り扱いについてのお願い..... | 2 | ★ぬい目の幅（針位置）のかえ方..... | 45 |
| ◎各部のなまえ..... | 3 | ★ぬい目のあらかさのかえ方..... | 45 |
| ◎標準付属品..... | 4～6 | ★ぬい目の幅（針位置）、ぬい目のあらかさの オート値の変更..... | 46～47 |
| ●早見板の取り付け方..... | 6 | ★上送り押さえの使い方..... | 48 |
| ●ワイドテーブルの取り付け..... | 6 | ★HP：プロフェッショナル直線押さえ・プロ フェッショナル直線針板の使い方..... | 49 |
| ◎操作方法..... | 7～30 | ★直線針板の使い方..... | 50 |
| ●電源のつなぎ方..... | 7 | ★自動返しぬい..... | 50 |
| ★スタート/ストップボタンを使用する場合..... | 7 | ★自動止めぬい..... | 51 |
| ★フットコントローラーを使用する場合..... | 7 | ★直線ぬい（左針位置）..... | 51 |
| ●速さの調節..... | 8 | ★三重ぬい..... | 52 |
| ★スピードコントロールつまみ..... | 8 | ★伸縮ぬい（ニットステッチ）..... | 52 |
| ★フットコントローラー..... | 8 | ●ファスナー付け..... | 53～55 |
| ★フットコントローラーのコード取り出し方 と収納方法..... | 8 | ●三つ巻きぬい..... | 56 |
| ●操作ボタン..... | 9～13 | ●ギャザー..... | 57 |
| ●押さえ上げ..... | 14 | ●ピンタック..... | 58 |
| ●二ーリフト..... | 14 | ●しつけぬい..... | 58 |
| ●ロックボタンの使い方..... | 15 | ●ジグザグぬい..... | 59～60 |
| ●押さえの外し方、付け方..... | 15 | ★ぬい目のあらかさのかえ方..... | 59 |
| ●押さえホルダーの外し方、付け方..... | 16 | ★ぬい目の幅のかえ方..... | 60 |
| ●押さえ圧の調節..... | 16 | ●かがりぬい..... | 61～62 |
| ●上送り押さえのセット..... | 17 | ★トリコットぬいたち目がかり..... | 61 |
| ●HP：プロフェッショナル直線押さえの取り付け方.. | 18 | ★かがりぬい1..... | 61 |
| ●PD-H：フリーキルト押さえの取り付け方..... | 18 | ★かがりぬい2..... | 61 |
| ●針の取りかえ方..... | 19 | ★かがりぬい3..... | 62 |
| ●布に適した糸や針を選ぶ目安..... | 19 | ★ニットステッチ..... | 62 |
| ●下糸の準備..... | 20～23 | ●まつりぬい..... | 63～64 |
| ★ボビンの取り出し..... | 20 | ●シェルタック..... | 65 |
| ★糸こまのセット..... | 20～21 | ●ゴムひも付け..... | 65 |
| ★下糸巻き糸こまセット..... | 21 | ●ボタンホール..... | 66～76 |
| ★下糸巻き..... | 22 | ★ボタンホールの種類と用途..... | 66 |
| ★ボビンのセット..... | 23 | ★スクエアボタンホール..... | 67～69 |
| ●上糸の準備..... | 24～26 | ★ボタンホールの幅とあらかさのかえ方..... | 70 |
| ★上糸かけ..... | 24～25 | ★ボタンホール安定板の使い方..... | 71 |
| ★糸通し..... | 26 | ★メモリーボタンホール （スクエアボタンホール）..... | 72～73 |
| ●下糸を針板の上に引き出す場合..... | 27 | ★ラウンドボタンホール..... | 74 |
| ●針板の外し方、付け方..... | 28 | ★キーホールボタンホール..... | 74 |
| ●糸調子の調節..... | 29 | ★ニットボタンホール..... | 75 |
| ●送り歯のさげ方..... | 30 | ★芯入りボタンホール..... | 76 |
| ◎模様の選び方..... | 31～36 | ●ボタン付け..... | 77～78 |
| ●早見板..... | 31 | ●つくろいぬい（ダーニング）..... | 79～80 |
| ●模様の選び方..... | 32～36 | ●かんぬき止め..... | 81 |
| ★模様の選び方（モード1）..... | 32 | ●アイレット..... | 82 |
| ★ダイレクト選択模様の登録（モード1）.. | 33～34 | ●アップリケ..... | 83 |
| ★模様の選び方（モード2・モード3）.. | 35～36 | ●フリンジ..... | 84 |
| ◎ミシンの設定..... | 37～41 | ●ドロンワーク..... | 84～85 |
| ◎ぬい方..... | 42～95 | | |
| ●直線（直線状模様）ぬい..... | 42～52 | | |
| ★直線ぬい（中針位置）..... | 42～43 | | |
| ★針板ガイドの使い方..... | 44 | | |

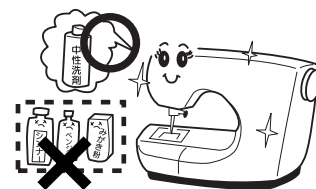
目次 (2)

| | |
|-----------------------------|---------|
| ●スモッキング | 85 |
| ●ファゴティング | 86 |
| ●スカラップ | 86 |
| ●パッチワーク・キルト | 87～92 |
| ★パッチワーク (1) …ピーシング | 87 |
| ★パッチワーク (2) …飾りぬい | 88 |
| ★キルティングガイドの使い方 | 88 |
| ★キルティング (1) …ステップリングステッチ | 89 |
| ★キルティング (2) …とじぬい | 89 |
| ★キルティング (3) …フリーキルティング 1 | 90～91 |
| ★キルティング (4) …フリーキルティング 2 | 92 |
| ●密着模様ぬい | 93 |
| ★模様の長さ調節機能 (エロンゲーション) | 93 |
| ●2本針ぬい | 94～95 |
| ◎記憶ぬい | 96～103 |
| ●組み合わせ記憶 | 96～97 |
| ●止めぬい模様の使い方 | 98 |
| ●反転ボタンの使い方 | 99～100 |
| ●模様頭出しボタンの使い方 | 101 |
| ●つなぎ模様の使い方 | 102～103 |
| ●スペース模様の使い方 | 103 |
| ◎文字ぬい | 104～108 |
| ●文字 (書体) の種類 | 104 |
| ●文字 (書体) の選び方 | 105 |
| ●文字の選び方 | 106 |
| ●文字ぬいの例 | 106～108 |
| ◎編集機能 | 109～113 |
| ●記憶内容の確認 | 109 |
| ●記憶内容の修正 (模様の削除と挿入) | 110～111 |
| ●ぬい目の幅とあらかの調節方法 | 112～113 |
| ★統一マニュアル方式 | 112 |
| ★個別マニュアル方式 | 113 |
| ◎模様の保存・呼び出し機能 | 114～115 |
| ●模様データの保存 | 114 |
| ●模様データの呼び出し | 115 |
| ◎模様の形の整え方 | 116 |
| ◎ミシンのお手入れ | 117 |
| ●かまと送り歯、糸切り部の掃除 | 117 |
| ◎こんなときには | 118～122 |
| ●注意画面が表示された場合 | 118～119 |
| ●ブザー音の種類 | 119 |
| ●ミシンの調子が悪いときの直し方 | 120～122 |
| ◎模様一覧 | 123～125 |

◎お取り扱いについてのお願い

◇ご使用前に

- ① ほこりや油などでぬう布を汚さないように、使用前に乾いたやわらかい布でよくふいてください。
- ② シンナー・ベンジン・ミガキ粉は絶対に使用しないでください。

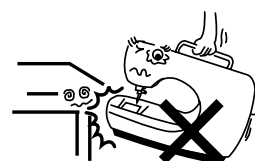


◇いつまでもご愛用いただくために

- ① 長時間日光に当てないでください。
- ② 湿気やほこりの多いところは避けてください。



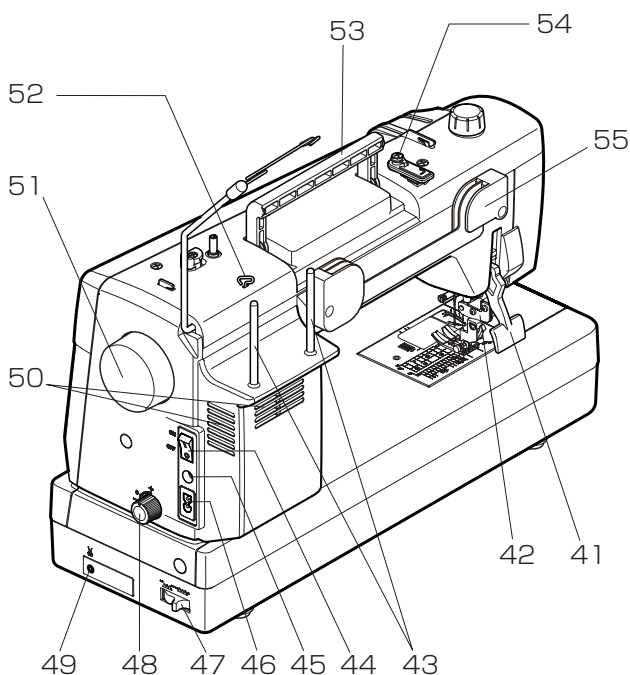
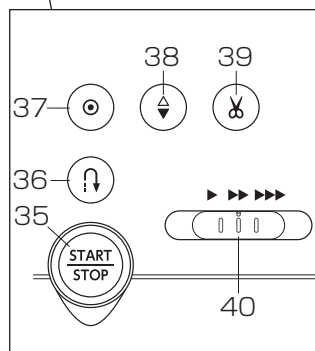
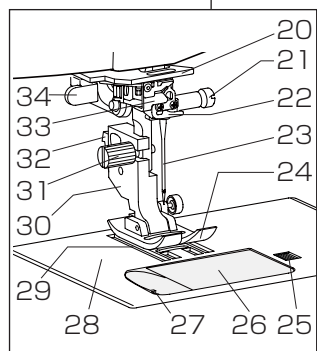
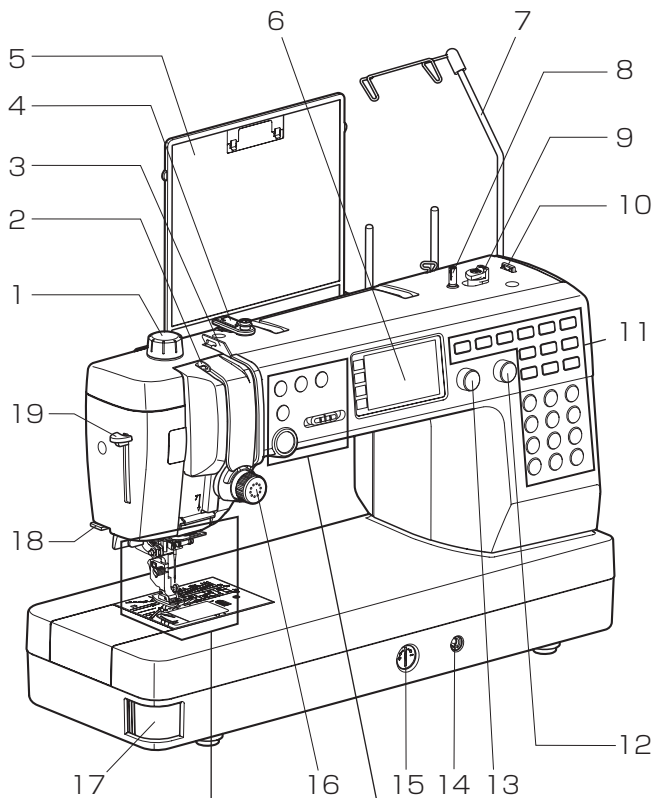
- ③ 落としたり、ぶつけるなど衝撃を与えないでください。
ミシンを持ち運ぶときは、片手で手さげハンドルを持ち、必ずもう一方の手をミシンにそえてください。



◇修理・調整についてのご案内

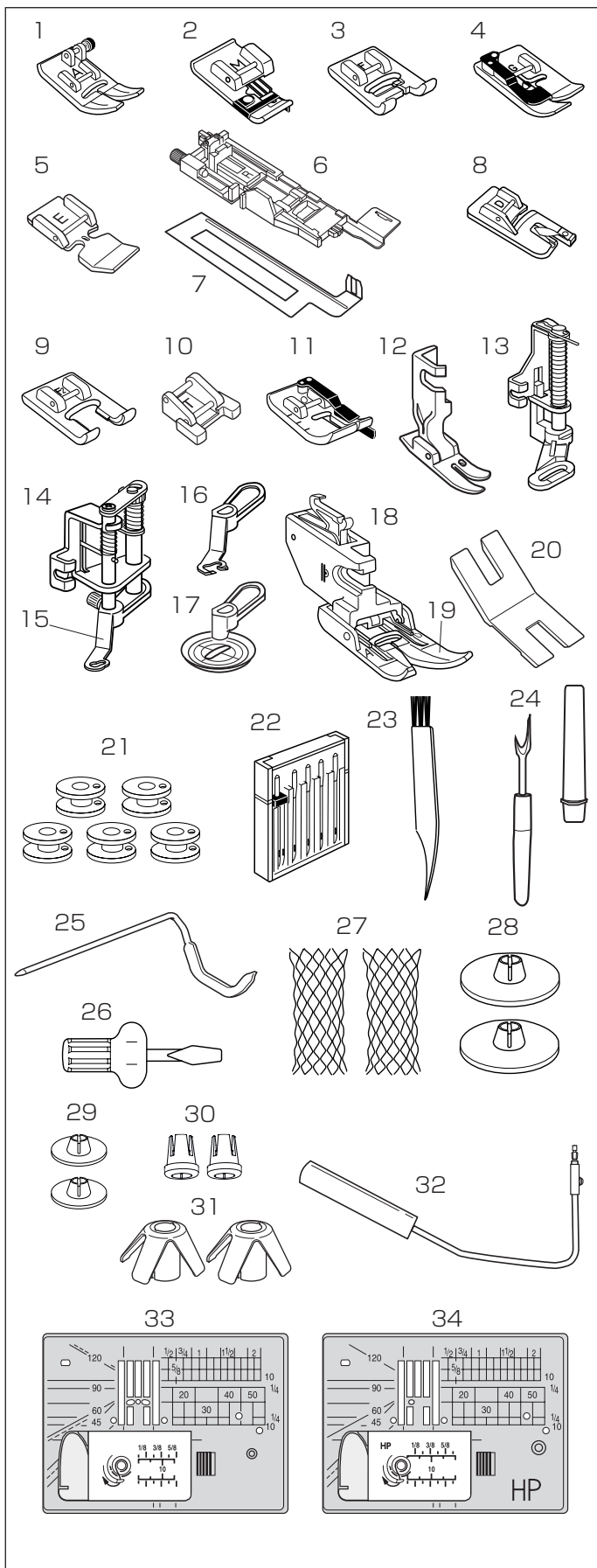
万一不調になったり故障が生じたときは、「◎こんなときには」(118～122 ページ) により点検・調整を行ってください。

◎各部の名まえ

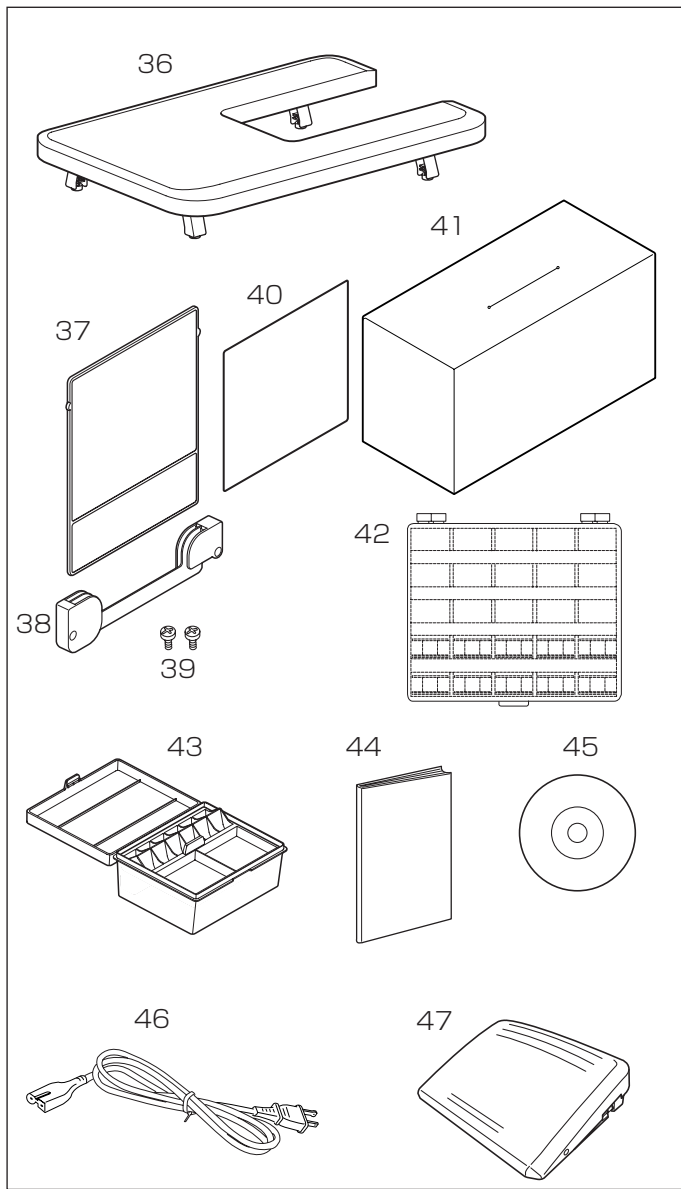


1. 押さえ圧調節ダイヤル
2. 天びん
3. 糸案内 2
4. 糸案内カバー
5. 早見板
6. 画面
7. 糸掛けスタンド
8. 糸巻き軸
9. ボビン押さえ
10. 糸切り (下糸巻き用)
11. 操作ボタン
12. めい目のあらか調節ダイヤル
13. めい目の幅調節ダイヤル
14. ニーリフト取り付け穴
15. 送り調節ねじ
16. 糸調子ダイヤル
17. 針板開放レバー
18. 糸切り
19. 糸通しレバー
20. アーム糸案内
21. 針止めねじ
22. 針棒糸かけ
23. 針 (14番が付いています)
24. 押さえ
25. 角板開放ボタン
26. 角板
27. カッター (下糸切り用)
28. 針板
29. 送り歯
30. 押さえホルダー
31. 押さえホルダー止めねじ
32. レバー
33. 糸保持板
34. ボタンホール切りかえレバー
35. スタート/ストップボタン (START/STOP)
36. 返しめいボタン
37. 止めめいボタン
38. 上下停針ボタン
39. 糸切りボタン
40. スピードコントロールつまみ
41. 押さえ上げ
42. 上送り装置
43. 糸立て棒
44. 電源スイッチ
45. フットコントローラープラグ受け
46. プラグ受け
47. 送り歯ドロップつまみ
48. 上送り調節ダイヤル
49. 自動糸切り外部操作用端子
50. 通風口
51. はずみ車
52. 糸案内 1
53. 手さげハンドル
54. 糸巻き糸案内
55. 早見板台

◎標準付属品

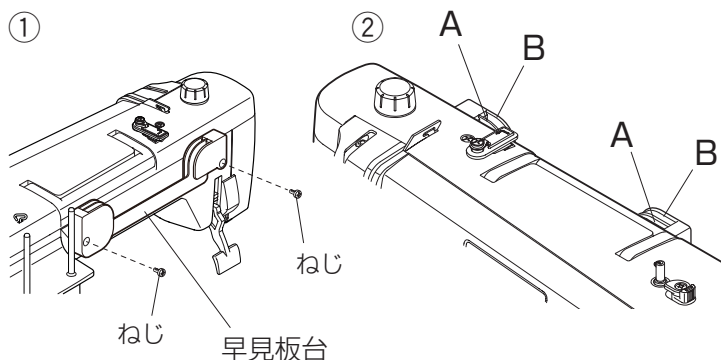


1. A：基本押さえ
2. M：縁かがり押さえ
3. F：サテン押さえ
4. G：まつりぬい押さえ
5. E：ファスナー押さえ
6. R：ボタンホール押さえ
7. ボタンホール安定板
8. D：三つ巻き押さえ
9. F2：クラフトF押さえ
10. T：ボタン付け押さえ
11. O：パッチワーク押さえ
12. HP：プロフェッショナル直線押さえ
13. PD-H：フリーキルト押さえ
14. 交換式フリーキルト押さえ
15. 交換式フリーキルト押さえ（丸穴）
16. 交換式フリーキルト押さえ（前あき）
17. 交換式フリーキルト押さえ（透明樹脂）
18. 上送り押さえホルダー
19. AD：上送り押さえ
20. ボタン付けプレート
21. ボビン（5個）
- ※ 1個は、ミシンの内がまに入っています。
22. 針ケース
 - ・ブルー針（11番）...2本
 - ・レッド針（14番）...1本
 - ・パープル針（14番）...1本
 - ・2本針...1本
23. ミシンブラシ
24. シームリッパー
25. キルティングガイド
26. ドライバー
27. ネット...2個
28. 糸こま押さえ（大）...2個
29. 糸こま押さえ（小）...2個
30. 糸こま押さえ（特殊）...2個
31. 糸こまホルダー...2個
32. ニーリフト
33. 直線針板
34. プロフェッショナル直線針板（左針位置専用）



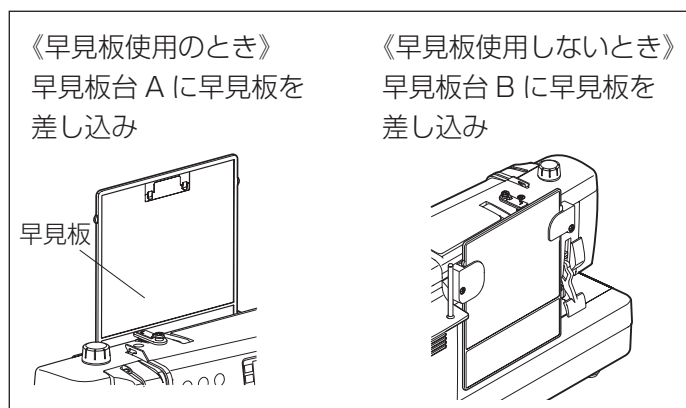
- 36. ワイドテーブル
- 37. 早見板
- 38. 早見板台
- 39. ねじ
- 40. 早見板ペラ (モード3)
- 41. ミシンカバー
- 42. アイデアボビン (10個)
- 43. 付属品ケース
- 44. 取扱説明書
- 45. 説明DVD
- 46. 電源コード
- 47. フットコントローラー

●早見板の取り付け方



① 早見板台をミシンうしろに図のように、ねじ（2個）で取り付けます。

② 早見板を使用するときには、Aのスロットに早見板を差し込みます。
早見板を使用しないときには、Bのスロットに早見板を差し込みます。

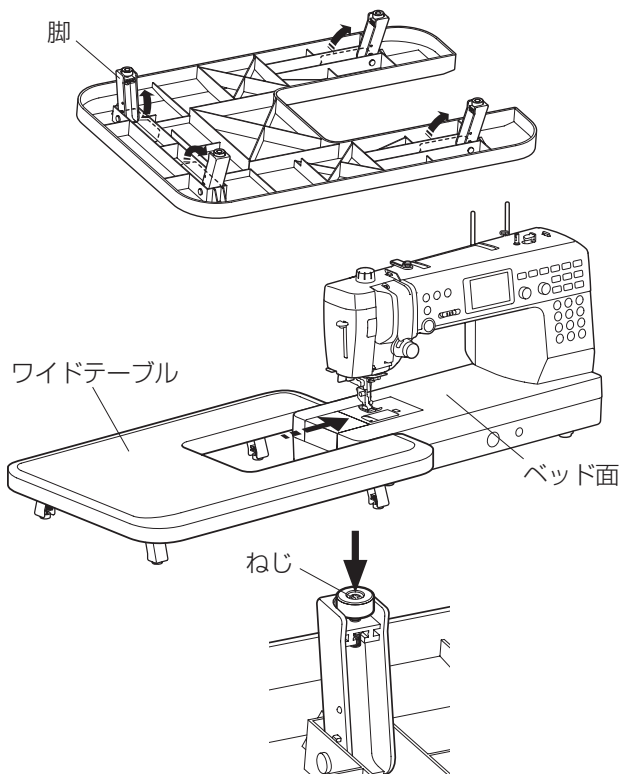


【早見板クリップの使用】

早見板モード3側にはクリップが付いていますので、早見板モード3のペラやメモ用紙等を挟んでご使用ください。

※ クリップにメモ用紙を挟むときには図のようにスライドさせ、挟んでください。
クリップを手で持ち上げて挟まないようにしてください。また、厚い用紙は無理にはさまないでください。

●ワイドテーブルの取り付け



ワイドテーブルを使うと、大きな布をぬうときにぬいやすくなります。

① ワイドテーブルの4箇所の脚を引き起します。
② ワイドテーブルを両手で持ち、ミシンにそわせ取り付けます。

【ワイドテーブルの高さ調節】

③ 脚の底に付いているねじをドライバーでまわして高さを調節（ワイドテーブルをミシンに取り付けたとき、高さがベッド面と同じか、少し低い位置）します。

※ +ドライバーは、標準付属には付いていません。

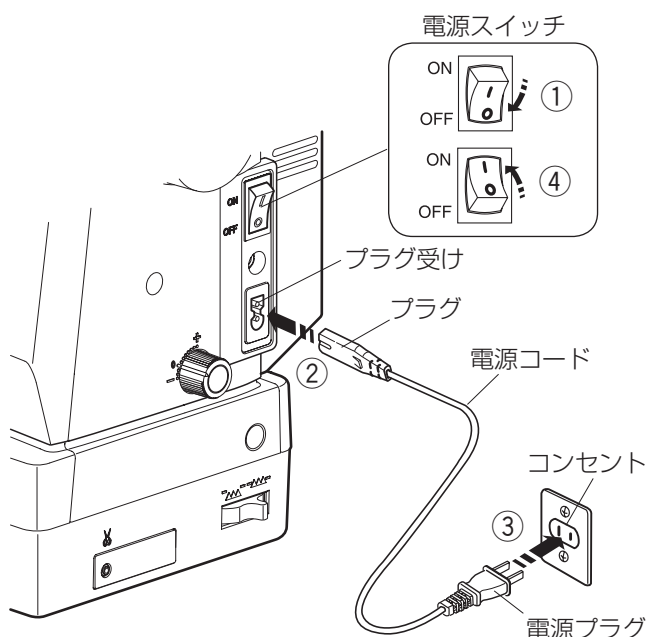
◎操作方法

●電源のつなぎ方

⚠ 警告

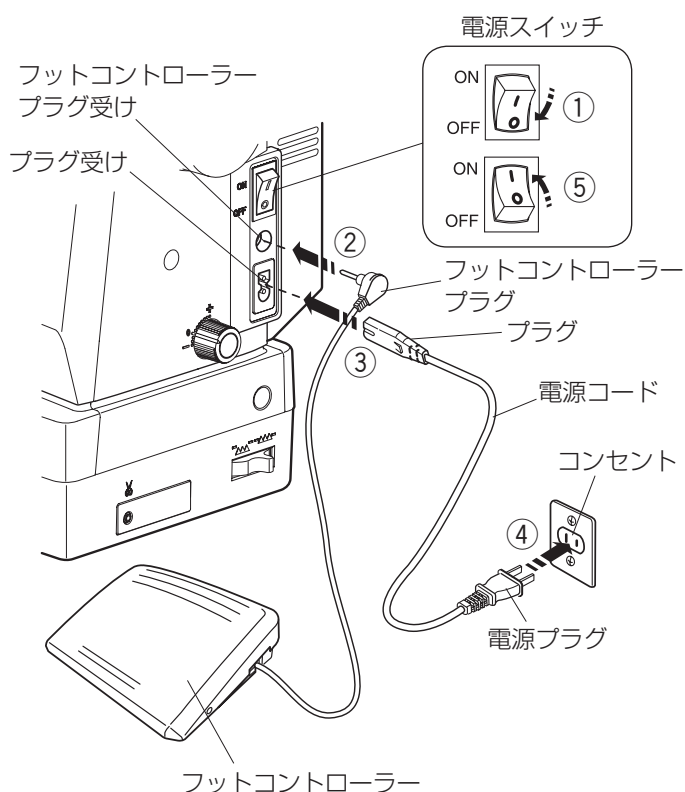
- 電源は、一般家庭用交流電源 100V でご使用ください。
ミシンを使わないときは、必ず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
感電・火災の原因になります。
- 電源プラグは定期的に乾いた布でふき、ほこりなどを取り除いてください。
ほこりなどが付着していると湿気などにより絶縁不良となり火災の原因になります。

★スタート/ストップボタンを使用する場合



- ① 電源スイッチを「OFF」(切) にします。
 - ② 電源コードのプラグをプラグ受けに差し込みます。
 - ③ 電源プラグをコンセントに差し込みます。
 - ④ 電源スイッチを「ON」(入) にします。
- ※ 電源スイッチを入れると、ミシンの準備のための初期設定が数秒間行われます。
初期設定中は針などが動きますので、ミシンに触れないでください。
- ※ 電源を切ったあと、再度電源を入れる際は、5秒まってから電源を入れてください。

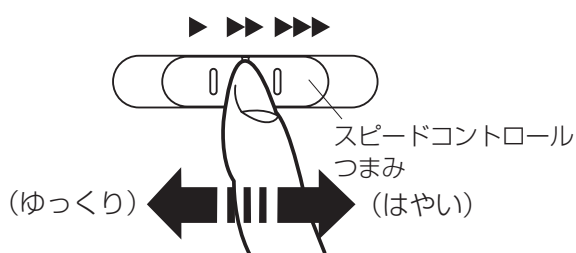
★フットコントローラーを使用する場合



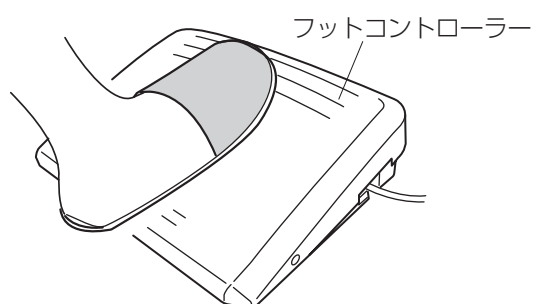
- ① 電源スイッチを「OFF」(切) にします。
 - ② フットコントローラープラグをフットコントローラープラグ受けに差し込みます。
 - ③ 電源コードのプラグをプラグ受けに差し込みます。
 - ④ 電源プラグをコンセントに差し込みます。
 - ⑤ 電源スイッチを「ON」(入) にします。
- ※ フットコントローラーのコードの取り出し方と収納方法は 8 ページをごらんください。
- ※ フットコントローラーを接続すると、スタート/ストップボタンは使用できません。

●速さの調節

★スピードコントロールつまみ



★フットコントローラー



ぬう速さは、スピードコントロールつまみやフットコントローラーで調節します。

スピードコントロールつまみは、スタート/ストップボタン使用時のぬう速さを調節できます。

つまみの位置が右側になるほど速くなります。

※ フットコントローラー使用時は、フットコントローラーをいっぱい踏み込んだときの最高速度を調節できます。

フットコントローラーの踏みかげんで、ぬう速さが調節できます。

- ・ 深く踏む→速くなる。
- ・ 浅く踏む→遅くなる。

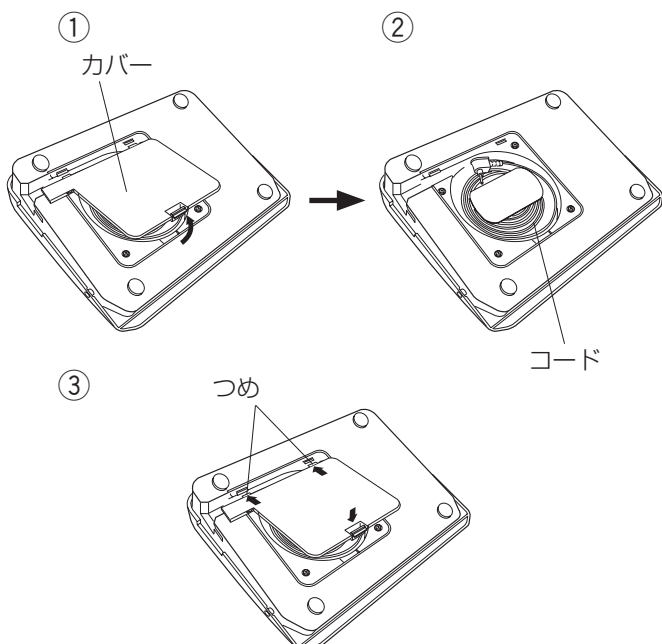
※ スピードコントロールつまみは、通常、いちばん右側の位置（最高速）にして、踏みかげんで調節してください。

初心者の方や細かいものをぬうときなどは低速側にしておくと、フットコントローラーをいっぱい踏み込んでもスピードが出ないので使いやすくなります。

⚠ 注意

- ・ フットコントローラーの上に物を置かないようにしてください。けがや故障の原因になります。
- ・ フットコントローラーを使用する際は、周辺に糸くずやほこりがないことを確認してください。動作不良を起こし、けがや故障の原因になります。

★ フットコントローラーのコード 取り出し方と収納方法

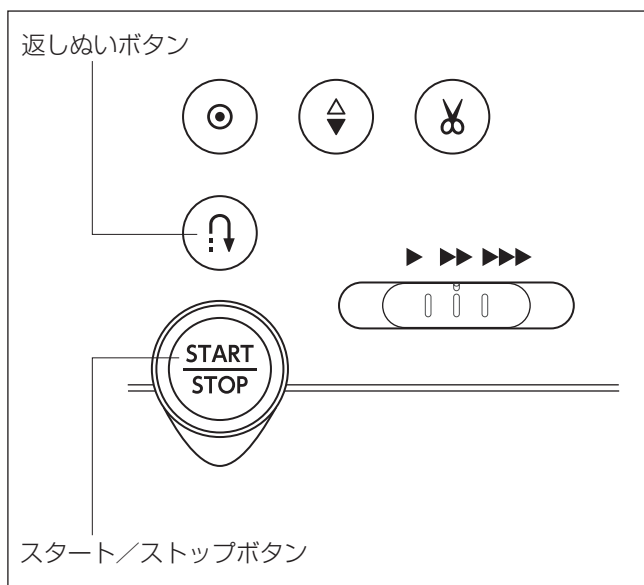


① フットコントローラーを使用するときは、底のカバーを外して、コードを取り出します。

② フットコントローラーを使用しないときは、底のカバーを外して、コードを巻き付けて収納します。

③ カバーは、先に2箇所をつめを押し込んでから取り付けます。

●操作ボタン



【スタート/ストップボタン】

ボタンを押すと、ミシンはゆっくり動きはじめてからスピードコントロールつまみでセットした速さになります。
(ゆっくりスタート機能)

もう一度押すと停止します。(通常は針が下の位置で停止します。)

※ 停止中はボタンが緑色に、運転中はボタンが赤色に点灯します。

※ ボタンを押してスタートさせたとき、および停止させたときに、指をはなさないで押し続けているあいだは、ミシンは低速で動きます。


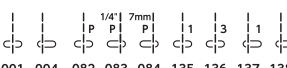

※ ミシンを停止したとき、通常は針が下の位置で停止しますが、針を上の方に停止することもできます。
39 ページをごらんください。

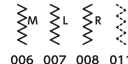
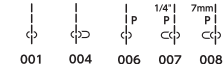

※ 動きはじめの速度 (ゆっくりスタート機能) は、かえることができます。
39 ページをごらんください。

※ フットコントローラーを接続しているときは、スタート/ストップボタンは使用できません。

※ 押さえ上げをさげないでミシンをスタートさせようとすると安全装置がはたらいでミシンがスタートできないようになっています。押さえ上げをさげてスタートさせてください。

【返しぬいボタン】

■ 直線模様  (モード 1)  (モード 2) およびジグザグ模様  (モード 1)

 (モード 2)、 (直線針板模様)、 (プロフェッショナル直線模様) の場合

《ミシン停止中》(フットコントローラーを接続していないときのみ)

ボタンを押しているあいだは低速で返しぬいを行い、指をはなすとミシンは停止します。

《ミシン運転中》

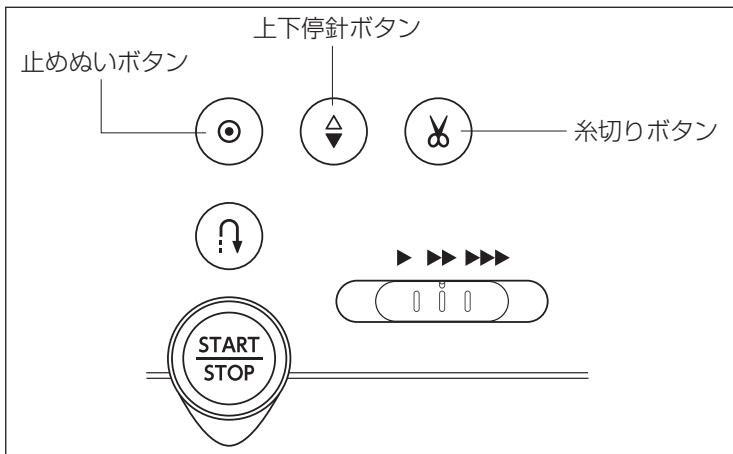
ボタンを押しているあいだは返しぬいを行い、指をはなすと前進ぬいにもどります。

■ その他の模様の場合

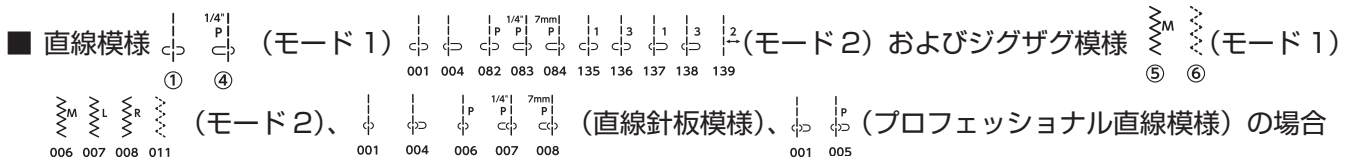
ぬい途中にボタンが押されると、その位置でほつれ止めの止めぬいを行って自動的にミシンが停止します。

停止してから押した場合、運転再開後、その位置でほつれ止めの止めぬいを行って自動的にミシンが停止します。

※ 模様  (モード 1)、 (モード 2) は、特殊な使い方になります。(50、51、72、79、81 ページ参照)



【止めぬいボタン】



ぬい途中でボタンが押されると、その位置でほつれ止めの止めぬいを行って自動的にミシンが停止します。
停止してから押した場合、運転再開後、その位置でほつれ止めの止めぬいを行って自動的にミシンが停止します。

■ その他の模様の場合

ぬい途中でボタンが押されると、ボタンが押されたときの模様を完成させたあと、ほつれ止めの止めぬいを行って自動的にミシンが停止します。
停止してから押した場合、運転再開後、ボタンが押されたときの模様を完成させたあと、ほつれ止めの止めぬいを行って自動的にミシンが停止します。

※ ぬう前にボタンを押しておく、模様を1つだけぬったあと、ほつれ止めの止めぬいを行って自動的にミシンが停止します。

【上下停針ボタン】

ミシンが停止しているときにボタンを押すと、針の位置が上にあるときは下に、下にあるときは上に移動させることができます。ミシンを停止したとき、通常針は下位置で停止します。

※ ミシンを停止したときの針位置の設定方法は、39ページをごらんください。

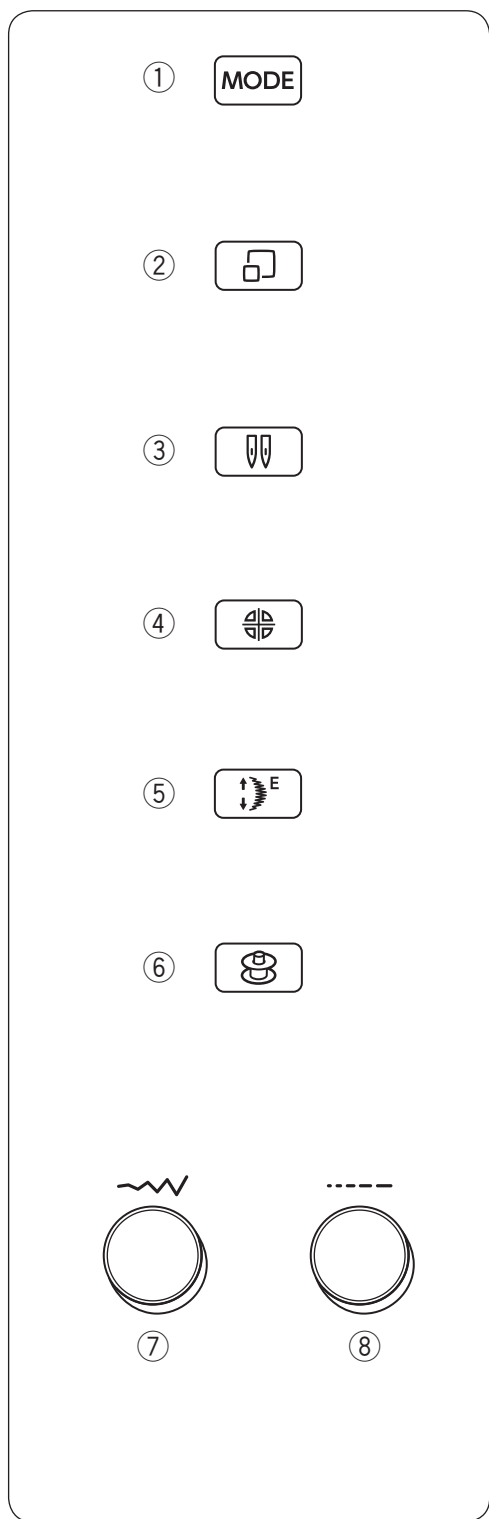
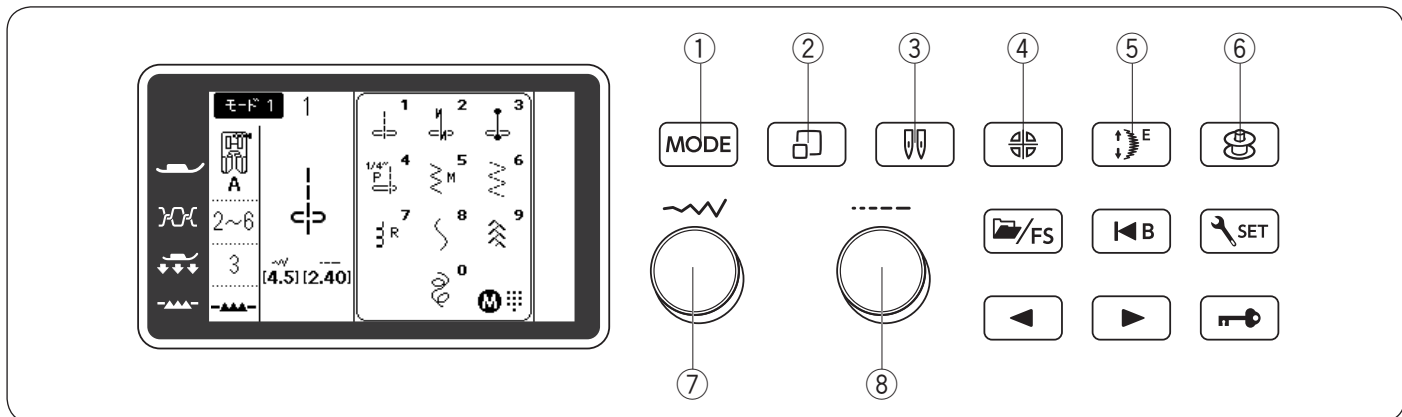
【糸切りボタン】

ぬい終わったあとボタンを押すと、上糸と下糸を自動的に切ります。
(針が布にささった状態でも、糸切りボタンを押すと針は上の位置に移動します。)

糸切り後は下糸を針板の上に引きあげないで、そのままの状態ですぐにぬうことができます。

糸切りの注意事項

- 30番および30番より太い糸や特殊な糸を切る場合、または2本針ぬいで糸を切る場合は、ミシンの面板に付いている糸切りを使用してください。
…面板の糸切りの使い方は、43ページをごらんください。
- 糸こまの糸残りが少ないものは使用しないでください。糸がらみの原因になります。
- 糸切り部の掃除をときどき行ってください。糸切り部に糸くずがたまると故障の原因になります。
…糸切り部の掃除は、117ページをごらんください。
- 糸が切れず糸がからんでしまった場合は、ロックキーによりミシンをロック状態にしてから針板を外し、からんでいる糸を取り除いてください。
…かまと送り歯、糸切り部の掃除、117ページをごらんください。



① モードボタン (32 ページ参照)

モード 1 からモード 3 までの 3 種類にグループ分けされた模様を選ぶときに使います。


② 模様一覧表示ボタン (32、33、35、104 ページ参照)

モード 1 では、ダイレクト模様選択画面一覧と表示されている模様のぬい目の幅、あらさ表示の切りかえになります。
モード 2・3 では、模様選択画面一覧が表示されます。

③ 2 本針ボタン (34、94 ページ参照)

2 本針ぬいのに使います。

④ 反転ボタン (99 ページ参照)

選んだ模様を左右または上下反転した形でぬうときに使います。
※ ミシンの早見板に四角に塗られている模様が上下反転ができる模様です。(例：)
(ミシンの早見板は、31 ページ参照)

⑤ 模様長さ調節ボタン (93 ページ参照)

サテン模様グループの模様の長さを変更するときに使います。

⑥ 糸巻きボタン (22 ページ参照)

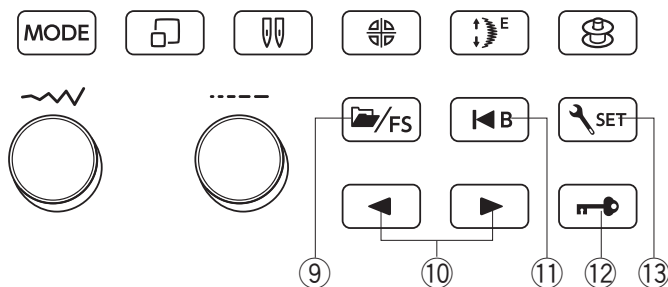
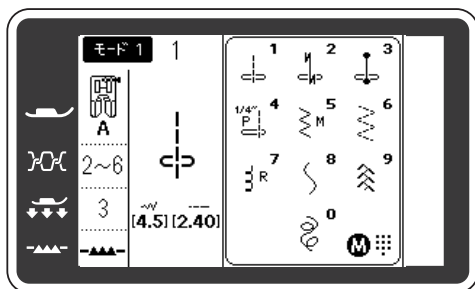
下糸巻きをするときに使います。

⑦ ぬい目の幅調節ダイヤル

- 直線ぬいの針位置や模様のぬい目の幅をかえるときに使います。(45、60、64、70 ページ参照)
- 文字ぬいの場合は、文字サイズを縮小するときに使います。(108 ページ参照)
- カーソルを動かしたり、ページを変更するときに使います。(35、37、104、105、112～115 ページ参照)

⑧ ぬい目のあらさ調節ダイヤル

- 模様のぬい目のあらさをかえるときや、特殊な模様の形を整えるときに使います。(45、59、70、82 ページ参照)
- カーソルを動かしたり、ページを変更するときに使います。(35、37、106、114、115 ページ参照)



⑨ 保存 / 呼び出し・FS (オート値変更) ボタン

- 模様を組み合わせ記憶したり編集した模様データを保存するときや、保存した模様データを呼び出すときに使います。(114 ページ参照)
- 模様のぬい目の幅 (針位置) やあらさのオート値 (電源を入れたとき、ミシンに自動的に設定されている値) をお好みの値に変更したいときに使います。(46、47 ページ参照)

⑩ 矢印ボタン (36、37、109、113 ページ参照)

模様の選択、組み合わせ模様の編集、カーソル移動等に使います。

⑪ 模様頭出しボタン

ぬいを途中で止めた場合、模様の始めからぬうときに使います。(73、79、81 ページ参照)

※ 組み合わせ模様の記憶ぬいの場合、記憶しているどの模様からでもぬうことができます。(101 ページ参照)

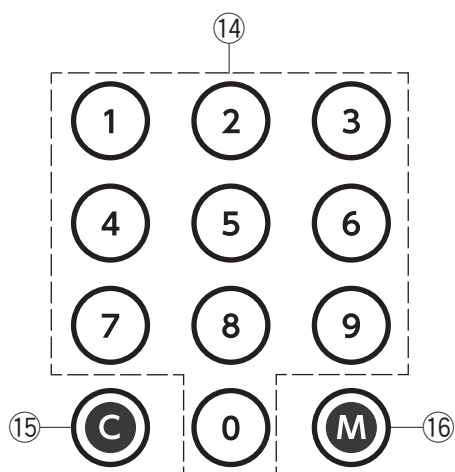
⑫ ロックボタン (15 ~ 19、23 ~ 26、28 ページ参照)

• 押さえや針の交換、糸のセットを行うときなどに使います。すべてのボタン操作を受け付けなくし、ミシンも動きません。ミシンが現在設定されている状態を保持したまま安全に押さえや針の交換、糸のセットなどを行うことができます。

※ ロックボタンを押してロック状態にした場合は、ロックボタンをもう一度押すとロック状態が解除されます。

⑬ セットボタン (37 ページ参照)

ミシンを初期の状態 (購入時の設定状態) から変更するときに使います。



⑭ 数字ボタン

(32、33、35、46、47、114、115 ページ参照)

モード1では、数字ボタンを押して模様を選ぶことができます。

モード2・3では、3桁の番号を入力して模様を選びます。

⑮ 取り消しボタン

- 記憶した模様を取り消すときに使います。

(110 ページ参照)

※ ブザーが「ピッ」と鳴るまで取り消しボタンを長押しすると、記憶したすべての模様を一度で取り消すことができます。

- 設定した値や条件などをもとにもどすときなど、さまざまな取り消しを行うときにも使います。

(34、37、41、46、47、114、115 ページ参照)

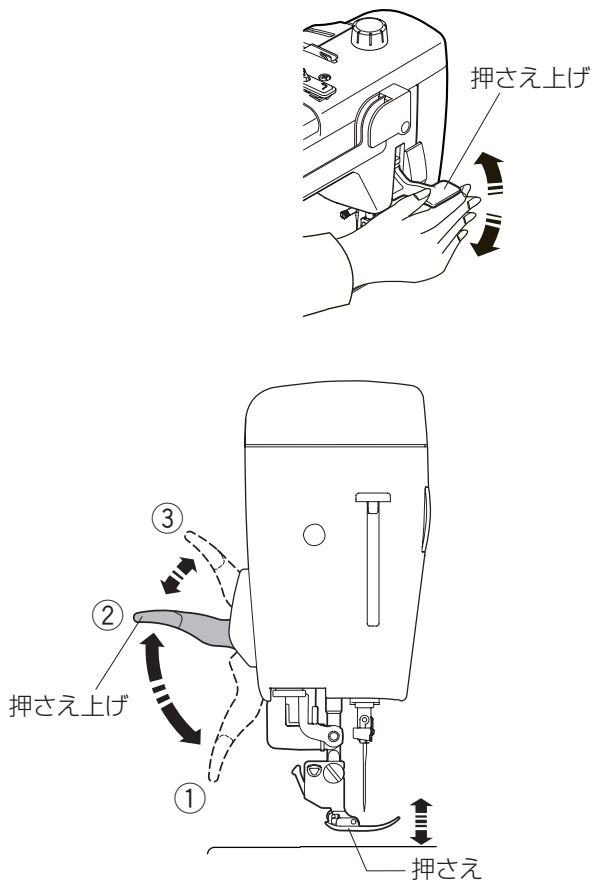
⑯ 記憶ボタン

(33～35、37～41、46、47、96、98、100、102、106、107、110、111、115 ページ参照)

模様を組み合わせるときなど選んだ模様を記憶させるときや、変更内容を確定するときに使います。

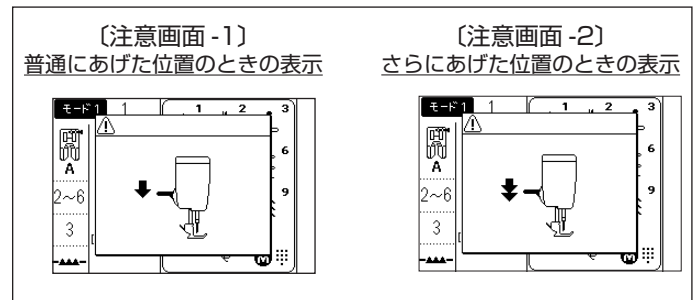
※ 模様は合計50個まで記憶できます。

●押さえ上げ

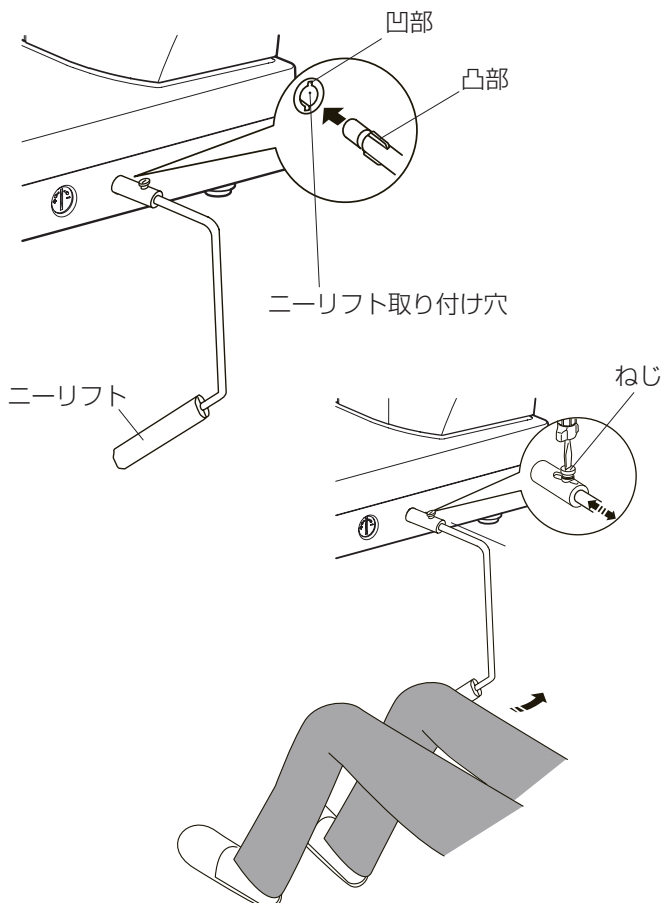


押さえ上げで、押さえのあげさげを行います。
普通にあげた位置よりさらに高くあげることもでき、厚い布を入れるときなどに利用できます。

- ① さげた位置
ぬうとき
 - ② 普通にあげた位置
布の出し入れや、上糸かけ、押さえの交換のときなど
 - ③ さらにあげた位置（固定されます。）
厚い布を入れるときや針板を交換するときなど
- ※ 押さえ上げをさらにあげた位置では、はずみ車をまわしたり、上下停針ボタンを押さないでください。押さえを傷つける原因になります。
- ※ 押さえ上げをさげないでミシンをスタートさせようとすると安全装置がはたらいてミシンがスタートできないようになっています。
このとき「押さえ上げをさげてください」の意味の注意画面 1 または注意画面 2 が表示されます。
押さえ上げをさげてスタートさせてください。



●ニーリフト



ニーリフトを取り付けると、押さえ上げを使わないで押さえのあげさげができます。
手を使わずにひざの動作で行いますのでキルトなどをぬうときに便利です。

取り付けは、ニーリフトの凸部をニーリフト取り付け穴の凹部に合わせ、差し込みます。

ニーリフトの角度調節は、ねじをゆるめてニーリフトを出し入れし、お好みの角度の位置でねじをしめて固定します。

ひざを使ってニーリフトを右側に押すと押さえがあがり、(2段階) もどすと押さえがさがります。

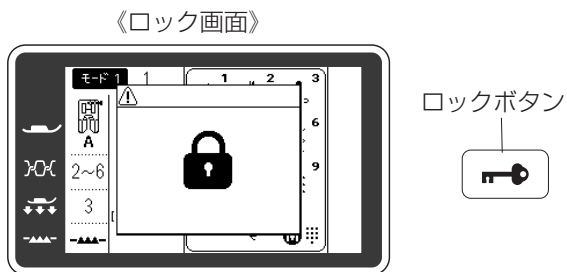
※ ぬい中は、ニーリフトに触れないように注意してください。

●ロックボタンの使い方

押さえや押さえホルダーの交換、針板、針の交換、およびミシンに糸をセットするときなどは、安全のためにミシンをロック状態にするかミシンの電源スイッチを切ってください。

ロックボタンを使用してミシンをロック状態にすると、すべてのボタン操作が受け付けられません。ミシンも動きません。

ミシンが現在設定されている状態を保持したまま、安全に押さえや針の交換、糸のセットなどを行うことができます。



① ロック状態にする場合は、ロックボタンを押します。ロック状態になったことを示すロック画面が表示され、ロック画面が表示されているあいだは、すべてのボタン操作を受け付けず、ミシンも動きません。

② ロック状態を解除する場合は、もう一度ロックボタンを押します。ミシンは、ロック状態にする前の状態にもどります。

●押さえの外し方、付け方

⚠ 注意

- ・ 押さえの取り外し、取り付けは、必ずロックボタンによりミシンをロック状態にしてから行ってください。けがの原因になります。
- ・ 押さえは模様にあったものをご使用ください。押さえが合っていないと針が押さえにあたり、けがの原因になります。



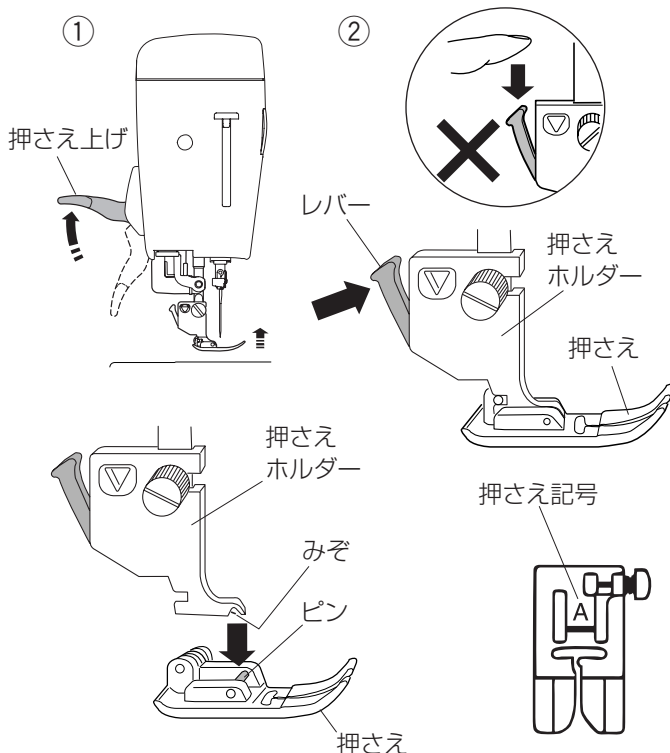
上下停針ボタン



ロックボタン

【準備】

- ① 上下停針ボタンを押して、針をあげます。
- ② ロックボタンを押します。



【押さえの外し方】

- ① 押さえ上げをあげます。
- ② 押さえホルダーのレバーをうしろ側から手前に押し、押さえを外します。
※ レバーを上から押さないでください。故障の原因になります。

【押さえの付け方】

押さえのピンを押さえホルダーのみぞの真下において、押さえ上げをゆっくりさげます。

※ 押さえは、模様にあったものを使用してください。押さえには記号が付いています。

●押さえホルダーの外し方、付け方

⚠ 注意

押さえホルダーの取り外し、取り付けは、必ずロックキーによりミシンをロック状態にしてから行ってください。けがの原因になります。



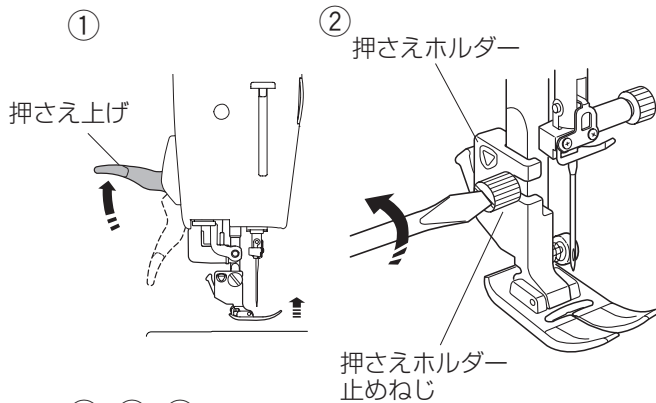
① 上下停針ボタン



② ロックボタン

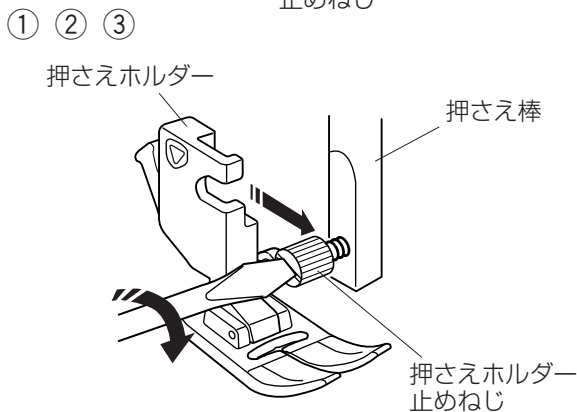
【準備】

- ① 上下停針ボタンを押して、針をあげます。
- ② ロックボタンを押します。



【押さえホルダーの外し方】

- ① 押さえ上げをあげます。
- ② ドライバーで押さえホルダー止めねじを左にまわしてゆるめ、押さえホルダーを外します。



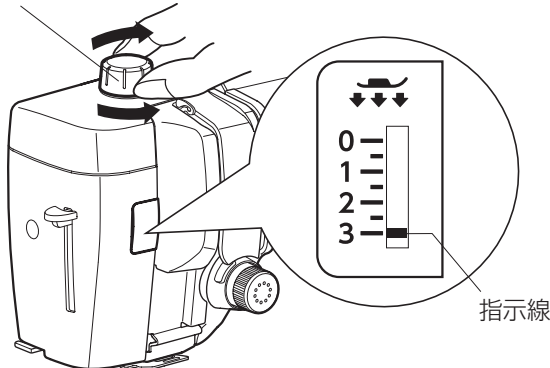
【押さえホルダーの付け方】

※ 押さえホルダーは、押さえが付いた状態で取り付けてください。押さえが付いていないと正常な取り付けができません。

- ① 押さえ上げをあげます。
- ② 押さえ棒に押さえホルダーを取り付け、押さえホルダー止めねじを軽くしめ、押さえホルダーを仮止めしておきます。
- ③ 押さえ上げを下げ、押さえホルダー止めねじを一度少しゆるめてから、押さえが針板に押し付けられた状態で押さえホルダー止めねじをドライバーでしっかりしめます。

●押さえ圧の調節

押さえ圧調節ダイヤル



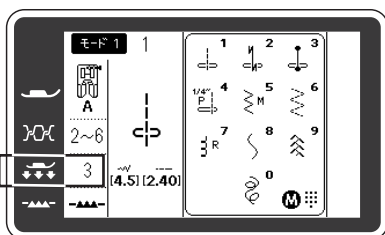
模様を選択すると、模様選択画面に模様のすいしょう押さえ圧が表示されます。

押さえ圧調節ダイヤルをまわして、すいしょう値を目安に合わせてください。

うす手の化繊地や伸縮性の布地をぬうときや、アップリケなどぬいしろ部分が重なり合うものをカーブしてぬうときに、ぬいずれしやすい場合は、押さえ圧調節ダイヤルをまわして、指示線を「2」または「1」に合わせます。

※ 押さえ圧は「0」の位置よりゆるめないでください。

すいしょう押さえ圧



●上送り押さえのセット

⚠ 注意

上送り押さえの取り付け、取り外しは、必ずロックボタンによりミシンをロック状態にしてから行ってください。けがの原因になります。



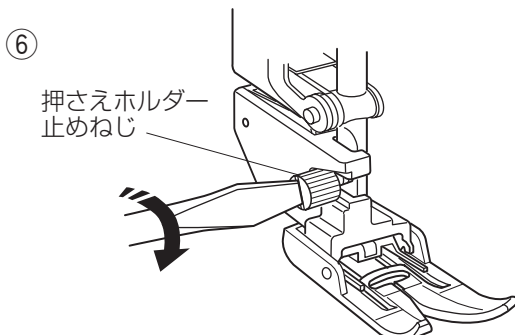
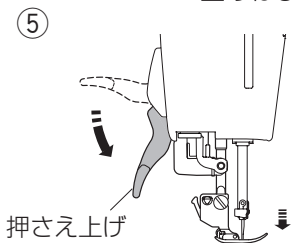
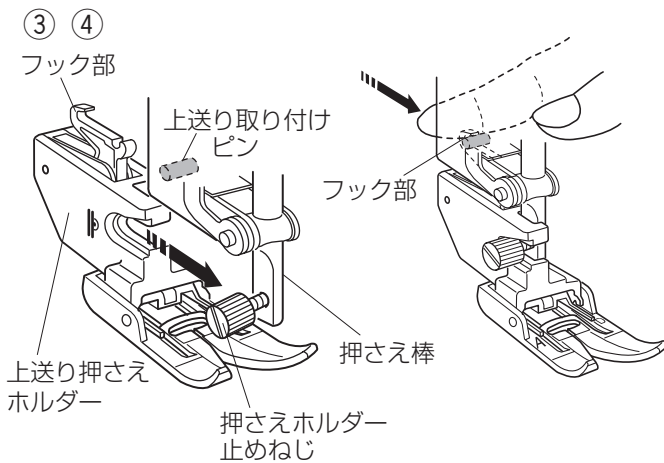
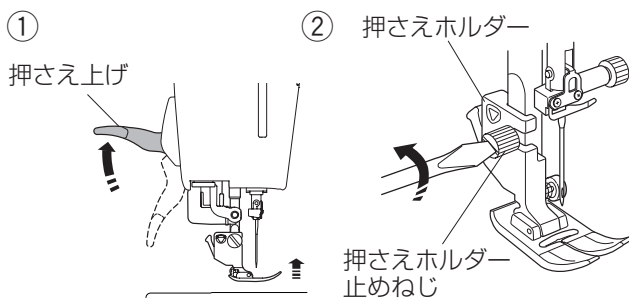
① 上下停針ボタン



② ロックボタン

【準備】

- ① 上下停針ボタンを押して、針をあげます。
- ② ロックボタンを押します。



※ 上送り押さえホルダーは、押さえが付いた状態で取り付けてください。
押さえが付いていないと正常な取り付けができません。

- ① 押さえ上げをあげます。
- ② ドライバーで押さえホルダー止めねじを左にまわしてゆるめ、押さえホルダーを外します。
- ③ 押さえ棒に上送り押さえホルダーを取り付け、押さえホルダー止めねじを軽くしめ、上送り押さえホルダーを仮止めしておきます。
- ④ 上送り押さえホルダーのフック部をうしろ側から手前に「カチン」と音がして止まるまでしっかりと押し付けます。

※ 上送り押さえホルダーのフック部が上送り取り付けピンにしっかりと押し付けられた状態になっていないと、上送りが正常にはたらかしません。

- ⑤ 押さえ上げをゆっくりさげてから、はずみ車を手で手前にまわして針をいちばん下までさげます。

- ⑥ 押さえホルダー止めねじを一度少しゆるめてから、上送り押さえが針板に押し付けられた状態で、押さえホルダー止めねじをドライバーでしっかりしめます。

※ 上送り押さえホルダーを外すときは、通常の押さえホルダーを外す場合と同じ方法（16 ページ参照）で針と押さえをあげ、押さえホルダー止めねじをゆるめてから上送り押さえホルダーをうしろ側に引いて外してください。

● HP：プロフェッショナル直線押さえの取り付け方

⚠ 注意

HP：プロフェッショナル直線押さへの取り付け、取り外しは、必ずロックボタンによりミシンをロック状態にしてから行ってください。けがの原因になります。



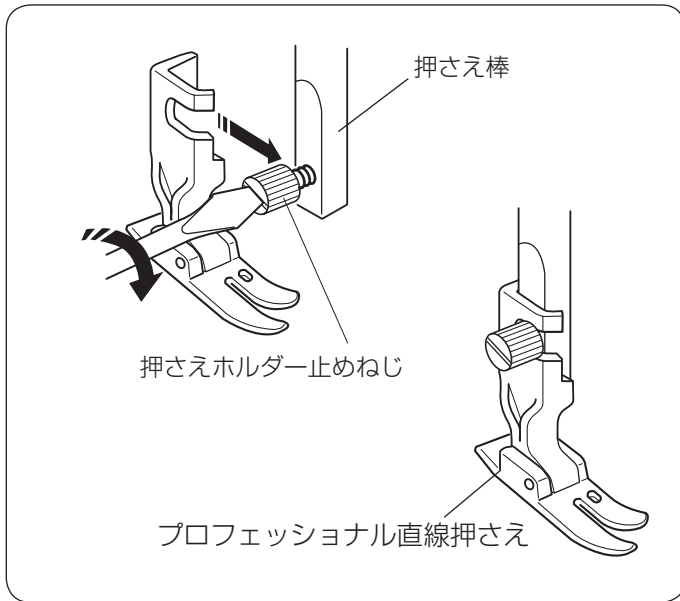
上下停針ボタン



ロックボタン

【準備】

- ① 上下停針ボタンを押して、針をあげます。
- ② ロックボタンを押します。



- ① 押さえ上げをあげます。
 - ② ドライバーで押さえホルダー止めねじを左にまわしてゆるめ、押さえホルダーを外します。(16 ページ参照)
 - ③ 押さえ棒にプロフェッショナル直線押さえを図のように取り付け、押さえホルダー止めねじを軽くしめ、押さえを仮止めしておきます。
 - ④ 押さえ上げを下げ、押さえホルダー止めねじを一度少しゆるめてから、押さえが針板に押し付けられた状態で押さえホルダー止めねじをドライバーでしっかりしめます。
- ※ プロフェッショナル直線押さえを外すときは、通常の押さえホルダーを外す場合と同じ方法(16 ページ参照)で針と押さえをあげ、押さえホルダー止めねじをゆるめてからプロフェッショナル直線押さえをうしろ側に引いて外してください。

● PD-H：フリーキルト押さへの取り付け方

⚠ 注意

PD-H：フリーキルト押さへの取り付け、取り外しは、必ずロックボタンによりミシンをロック状態にしてから行ってください。けがの原因になります。



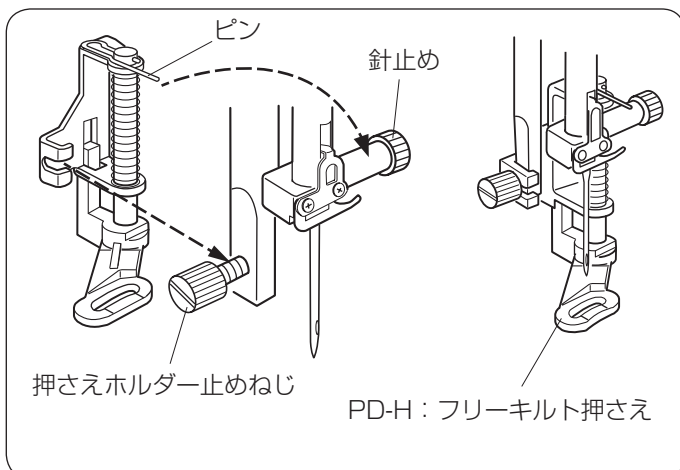
上下停針ボタン



ロックボタン

【準備】

- ① 上下停針ボタンを押して、針をあげます。
- ② ロックボタンを押します。



- ① 押さえ上げをあげます。
 - ② ドライバーで押さえホルダー止めねじを左にまわしてゆるめ、押さえホルダーを外します。(16 ページ参照)
 - ③ 押さへのピンを針止めの上へのせ、押さえホルダー止めねじをドライバーでしっかりしめて取り付けます。
- ※ PD-H：フリーキルト押さえを外すときは、通常の押さえホルダーを外す場合と同じ方法(16 ページ参照)で針と押さえをあげ、押さえホルダー止めねじをゆるめてから PD-H：フリーキルト押さえをうしろ側に引いて外してください。

●針の取りかえ方

⚠ 注意

針の交換は、必ずロックボタンによりミシンをロック状態にしてから行ってください。けがの原因になります。



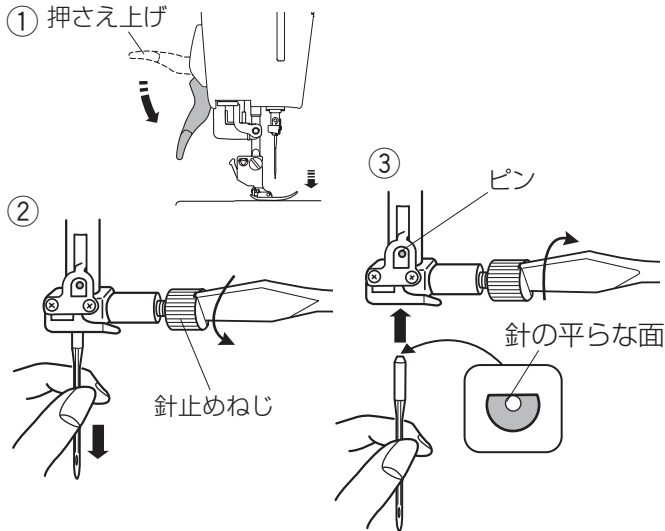
上下停針ボタン



ロックボタン

【準備】

- ① 上下停針ボタンを押して、針をあげます。
- ② ロックボタンを押します。



- ① 押さえ上げを下げます。
 - ② 針止めねじを手前に1～2回まわしてゆるめ、針を外します。
 - ③ 取り付けは、針の平らな面を向こう側に向けてピンにあたるまで差し込み、針止めねじをドライバーでしっかりしめます。
- ※ 正しく針が付けられていないと、糸通しができないだけでなく、針がゆるんで針折れして危険です。

【針の調べ方】

針の平らな面を平らな物（針板など）に置いたとき、すきまが針先まで均等に見えるのが良い針です。針先が曲がったり、つぶれているものは使わないようにしてください。

すきま

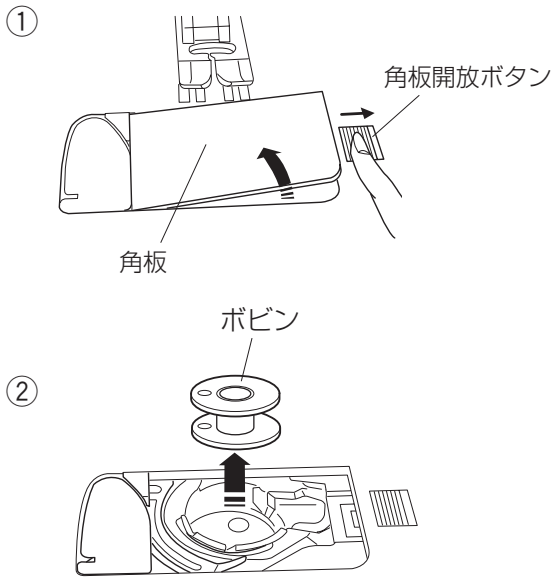
●布に適した糸や針を選ぶ目安

| 布の種類 | | 糸 | 針 |
|------|------------------------|---|-----------------------------------|
| うすい布 | ローン ジョーゼット トリコット | ポリエステル 90番 | 9番～11番 または ブルー針 |
| 普通の布 | シーチング ジャージー ウール地 | 絹糸 50番 綿糸 60番 ポリエステル、ナイロン 50番～90番 | 11番～14番 または ブルー針、レッド針、パープル針 |
| | | 綿糸 50番 | 14番または レッド針、パープル針 |
| 厚い布 | デニム ツイード コート地 | 絹糸 50番 綿糸 40番～50番 ポリエステル 40番～50番 | 14番～16番 または レッド針、パープル針 |
| | | ポリエステル 30番 綿糸 30番 | 16番 |

- ※ ブルー針〔11番〕・レッド針〔14番〕・パープル針〔14番〕は、標準付属品の針ケースに入っています。
- ※ 一般に、うすい布には細い糸と細い針を、厚い布には太い糸と太い針を使用します。この表を目安に糸と針を選び、試しぬいをして確かめてください。また、うすい布をぬうときには、布裏に紙を敷くか、芯地を貼ってください。
- ※ 通常は、上糸と下糸は同じものを使用してください。
- ※ ブルー針（柄の部分が青色の針）およびパープル針（柄の部分が紫色の針）は、目とびの防止効果があります。

●下糸の準備

★ボビンの取り出し



※ ナイロン透明糸およびメタリック糸は、下糸に使用しないでください。

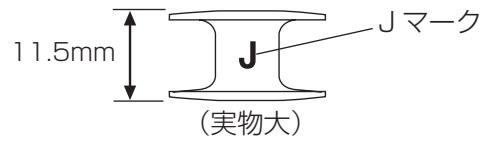
① 押さえ上げをあげ、角板開放ボタンを右にずらして、角板を外します。

② ボビンを取り出します。

お願い

ボビンは当社専用のJマーク付きプラスチックボビンを使用してください。

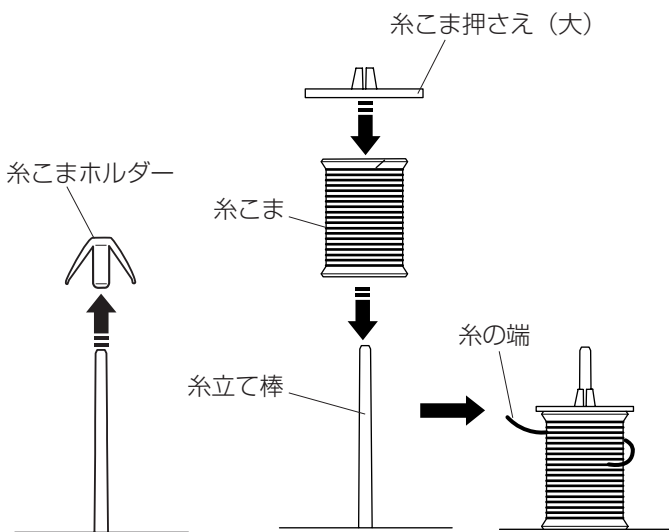
(お買い上げの販売店へご相談ください。)



金属ボビンは使用しないでください。

かまにマグネットを使用しているため、糸調子が出なかったり、故障の原因になります。

★糸こまのセット



【こま巻きの場合】

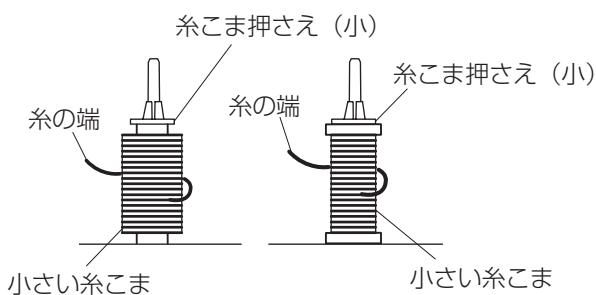
《普通の糸こまの場合》

糸こまホルダーを外し、糸の端がうしろ側から左へ出るようにして、糸立て棒に糸こまを入れ、糸こま押さえ (大) で糸こまを押さえます。

※ 糸こまの糸残りが少ないものは使用しないでください。糸がらみの原因になります。

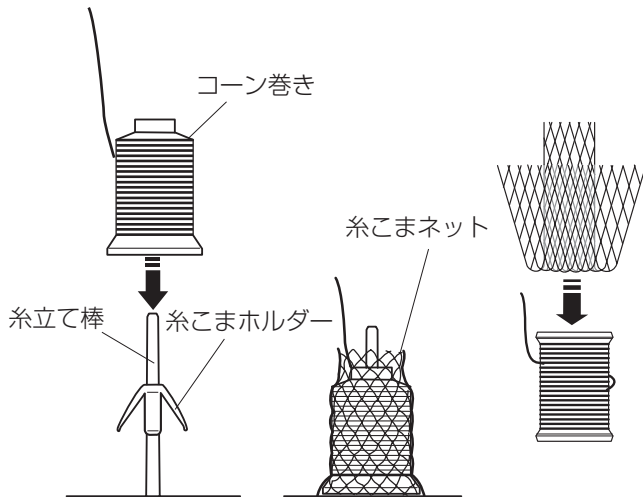
《小さい糸こまの場合》

糸こまホルダーを外し、糸の端がうしろ側から左へ出るようにして、糸立て棒に糸こまを入れ、糸こま押さえ (小) で糸こまを押さえます。

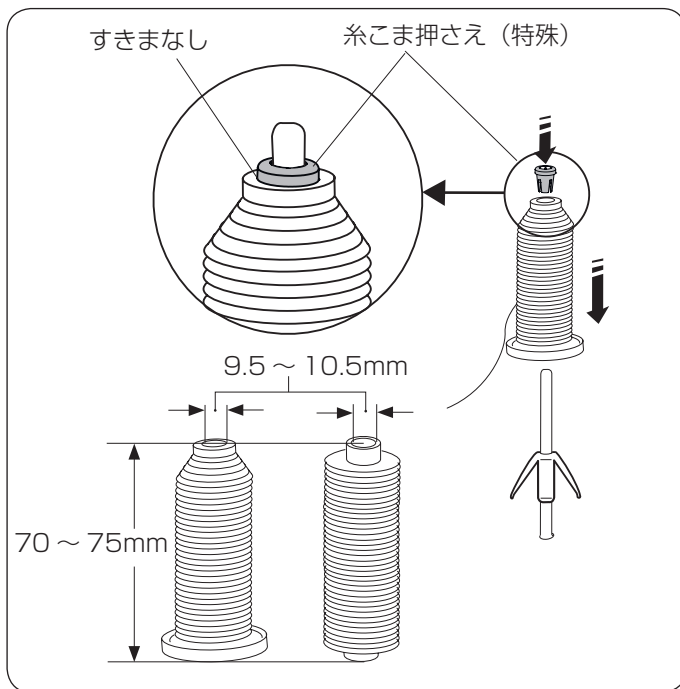


【コーン巻きの場合】

糸こまホルダーに糸こまを図のようにセットします。



※ レジロンなど伸縮性の糸を使用する場合は、付属の糸こまネットの使用をおすすめします。
糸外れや糸のよじれ防止効果があります。
糸こまネットは、糸こまの大きさに合わせて折り曲げるか、切って使用してください。

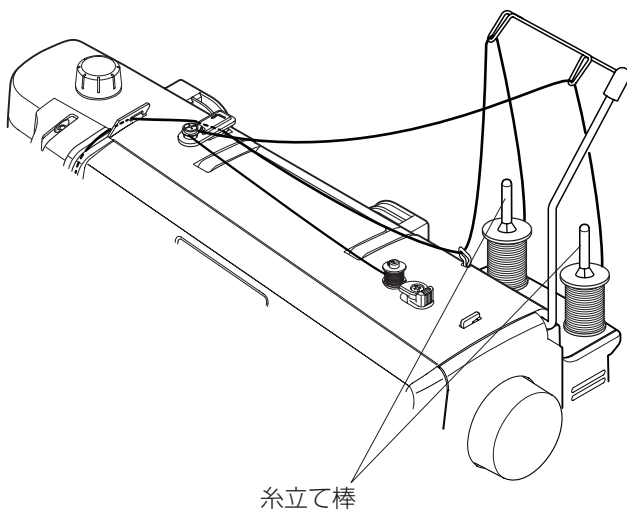


図のような長さの糸こまを使用するときには、糸こま押さえ (特殊) を使用することで、糸こまを固定することができます。

糸こま押さえ (特殊) は、糸こまを糸立て棒にセットした後、糸こまの穴に入れてください。

※ 糸こまと糸こま押さえ (特殊) のあいだには、すきまがないようにしてください。

★下糸巻き糸こまセット



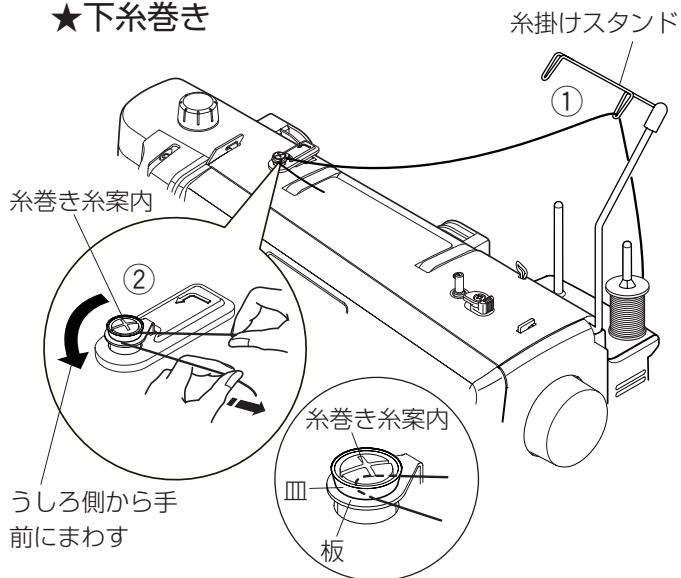
糸立て棒は2本ありますので、いつでも(ぬいながらでも)下糸巻きができます。

図のように糸こまをセットしてください。

糸かけの詳細は、22 ページをごらんください。

※ 2本針のときにも、2つの糸立て棒を使用します。
(94 ページ参照)

★下糸巻き



※ ナイロン透明糸およびメタリック糸は、下糸に使用しないでください。

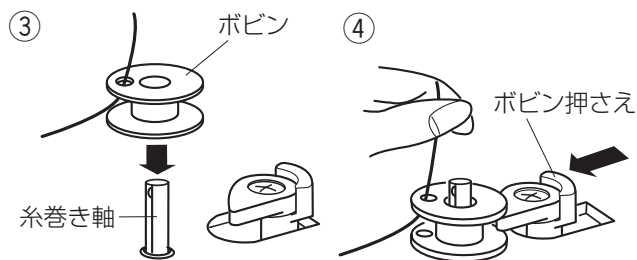
① 糸掛けスタンドに糸をかけます。

② 糸掛けスタンドにかけた糸を押さえ、うしろ側から手前にまわし、矢印方向に引いて糸巻き糸案内に糸をかけます。

※ 糸を皿の下に確実にに入れてください。糸が皿の下に確実に入っていないと、均等に巻くことができません。

③ ボビンの穴に内側から糸を通し、糸巻き軸に差し込みます。

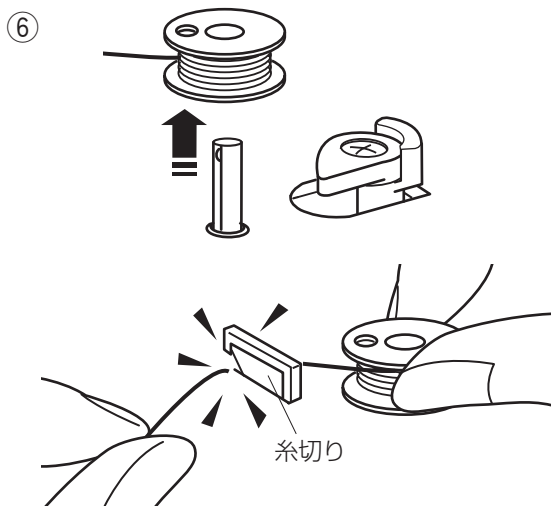
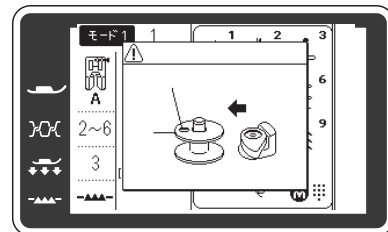
④ ボビン押さえをボビンの方に押しつけます。



⑤ 糸の端を上方向に軽くつまんだまま「糸巻きボタン」を押します。糸巻きがスタートして糸が2～3重ほど巻きついたら「糸巻きボタン」を押して止めます。つまんでいる糸をボビンのきわで切ります。

※ ボビン押さえを移動しないで「糸巻きボタン」を押すと注意画面が表示されます。

《注意画面》



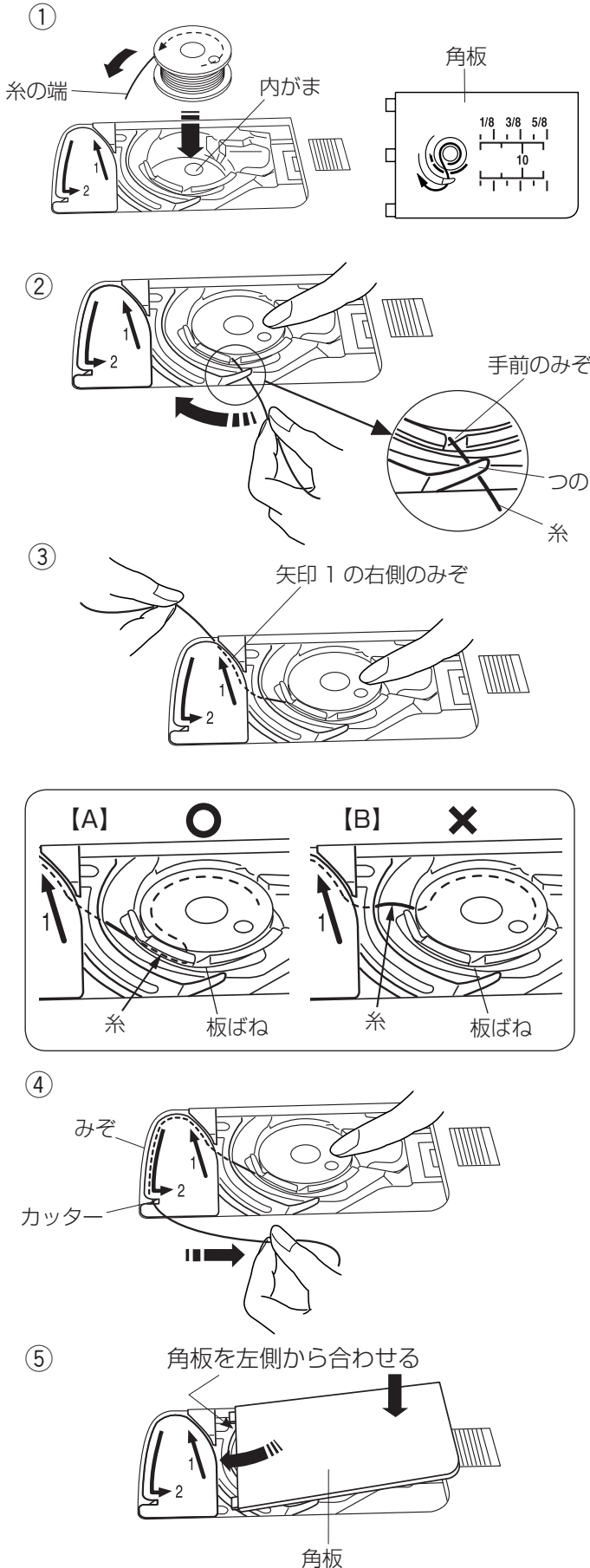
⑥ 「糸巻きボタン」を押し、再びスタートします。巻き終わるとボビン押さえが右に移動してもとの位置にもどり、自動的に止まります。ボビンを糸巻き軸から外して、糸切りで糸を切ります。

★ボビンのセット

⚠ 注意

ボビンを内がみにセットするときは、必ずロックボタンによりミシンをロック状態にしてから行ってください。けがの原因になります。

ロックボタン



① 糸の端がボビンのうしろ側から矢印方向に出るように向けて（糸が左巻き）、ボビンを内がみに入れます。

※ ボビンから引き出される糸の状態の図が角板に表示されています。

② ボビンが回転しないように、右手でボビンを軽く押さえます。

左手で糸の端を持ち、内がみの手前のみぞにかけ、さらに手前のつもの下をくぐらせます。

※ 糸を各部に確実にかけるために、下記手順④が終了するまで、右手でボビンを押さえた状態で行ってください。

③ つもの下をくぐらせた糸を矢印 1 の方向に引きあげて矢印 1 の右側のみぞに入れます。

※ 手順②で、内がみの手前のみぞに糸がかかっていると、内がみの板ばねのあいだに糸が入らず、ボビンから直接矢印 1 の右側のみぞに通ってしまいます。（左図、【B】参照）

その場合は手順②からかけ直してください。

正しくかけられていないと、ぬい不良の原因になります。

④ そのままみぞにそって矢印 2 の方向に糸を通し、下側のカッターにかけてから右に水平に引いて糸を切ります。

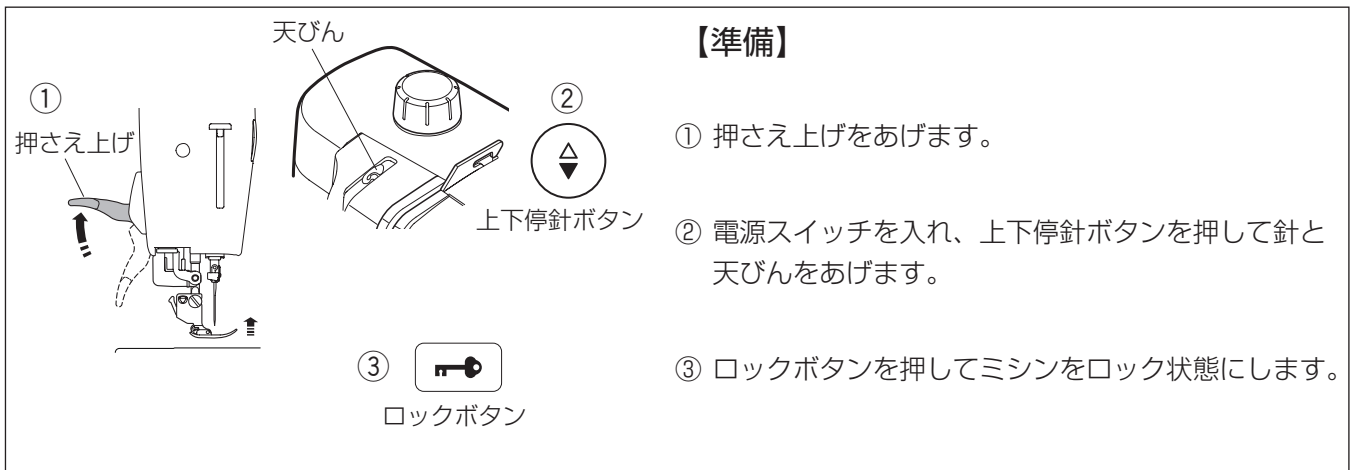
⑤ 角板を左側から合わせて取り付けます。

※ 通常下糸はこの状態のままでぬい始めることができます。

ぬい始めに下糸を針板の上に引き出す必要があるときは、27 ページをごらんください。

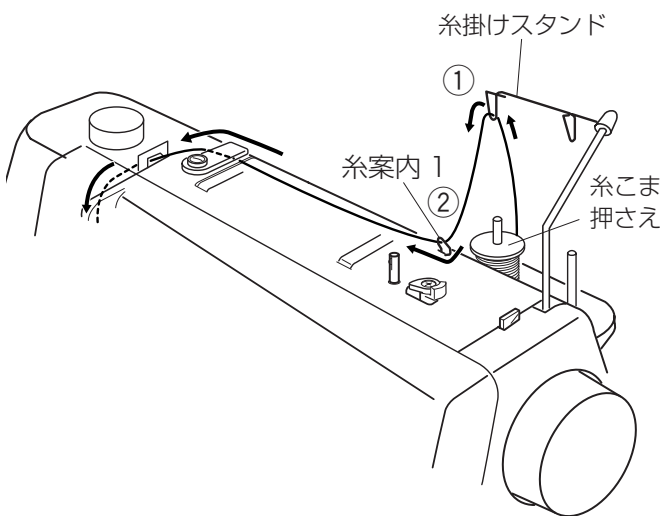
●上糸の準備

★上糸かけ



⚠ 注意

上糸をかけるときは、必ずロックボタンによりミシンをロック状態にしてから行ってください。
けがの原因になります。



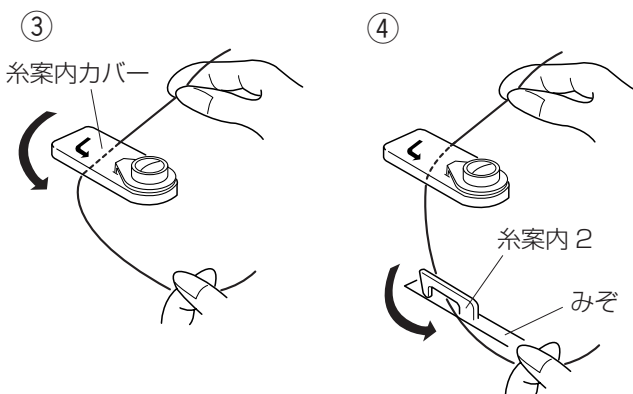
- ※ 糸こまが外れるのを防ぐため、必ず糸こま押さえを使用してください。
- ※ 上糸かけは、必ず押さえ上げをあげて行ってください。押さえ上げがあがっていないと糸が正しくかけられず、ぬい不良の原因になります。
- ※ 上糸かけは、糸を各部に確実にかけるために、常に右手で糸こま側の糸を押さえながら、左手で強めに引いてかけてください。
- ※ 糸こまのセット方法は、20、21 ページをごらんください。

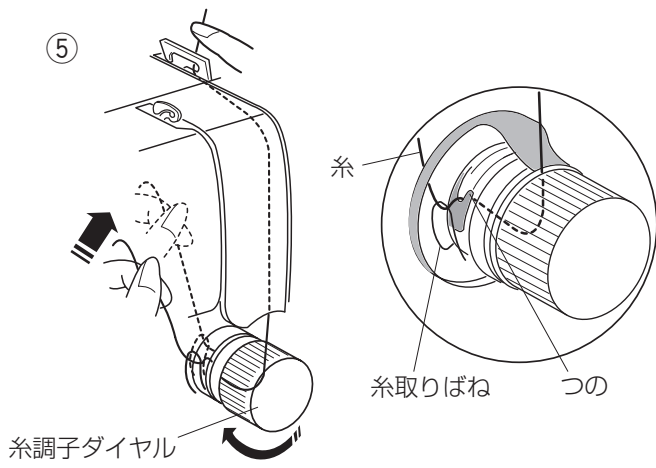
① 糸こまから引き出した糸を糸掛けスタンドにかけます。

② 糸案内 1 にかけます。

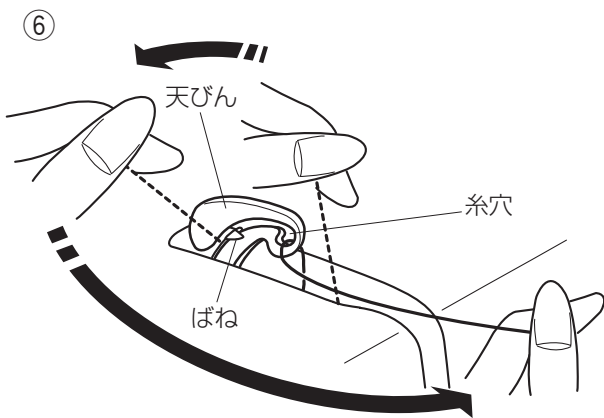
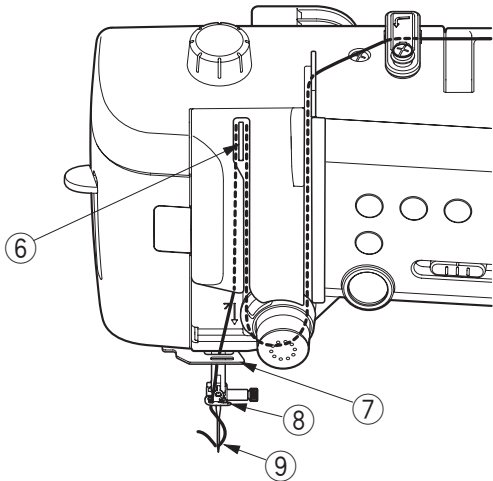
③ 糸こまからの糸を両手で持ち、下に押し込むようにして糸案内カバーの間に通します。

④ 糸案内 2 に糸をかけ、みぞにそって手前に糸を引き出します。



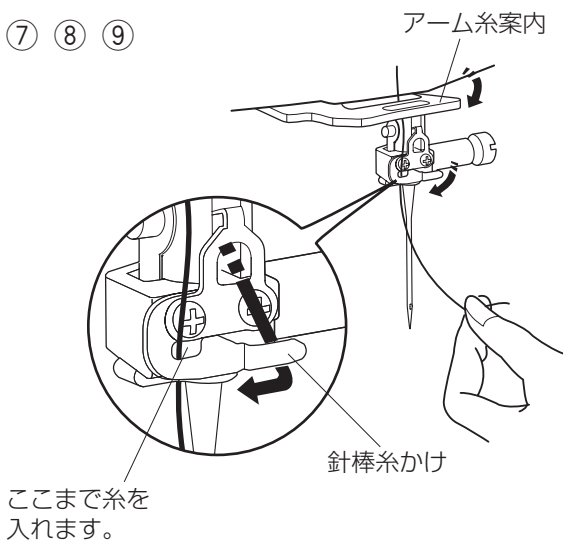


- ⑤ 糸こま側の糸を持ち、糸調子ダイヤルの下をまわし、左上に強めに引きあげて、糸取りばねにかけます。
 ※ 図のように、つのに糸がかかっていないと正しい糸調子がでないため、糸こま側の糸を持ち、強めに左上に引きあげてください。



- ⑥ 糸こま側の糸を持ち、天びんに右からうしろへまわし、ばねを通過させて糸穴に入れ、まっすぐ下におろします。

⑦ ⑧ ⑨



- ⑦ アーム糸案内に右からかけます。
 ⑧ 矢印のように針棒糸かけに右からかけ、図の位置まで糸をずらします。
 ⑨ 糸通しを使って針穴に糸を通します。
 糸通しの使い方は、26 ページをごらんください。

★糸通し



上下停針ボタン



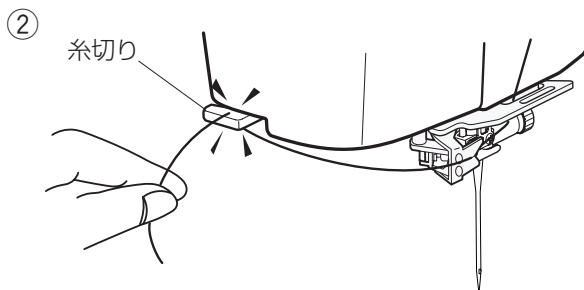
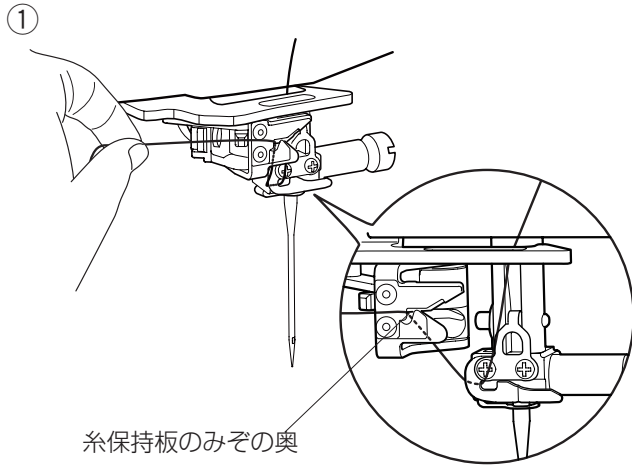
ロックボタン

【準備】

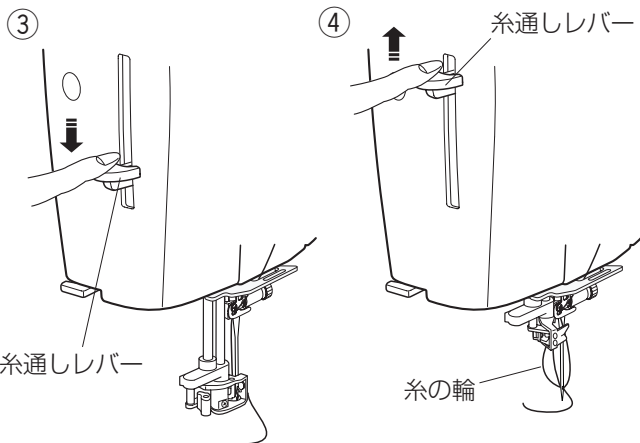
- ① 上下停針ボタンを押して、針をあげます。
- ② ロックボタンを押します。

※ 針は 11 番～ 16 番、糸は 50～90 番が使用できます。
 ※ 2 本針のときは、糸通しは使えません。

- ① 糸保持板のみぞの奥まで糸を入れます。

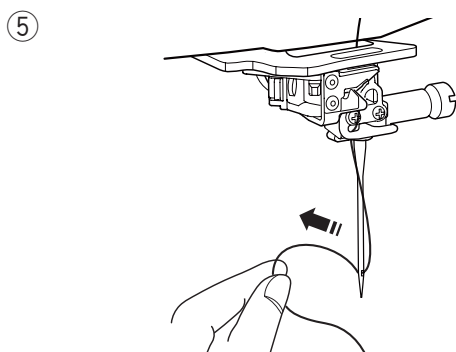


- ② 糸切りに糸を手前から向こう側にかけて、糸を切ります。



- ③ 糸通しレバーをいちばん下まで下げます。

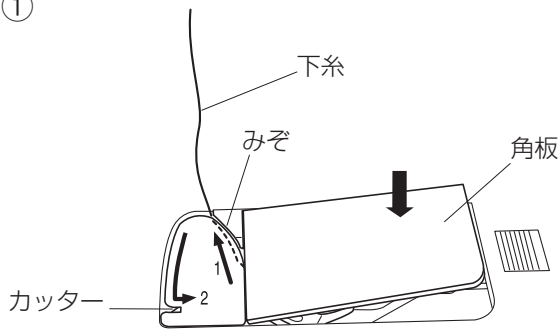
- ④ 糸通しレバーを静かにもどすと、糸の輪が引きあげられます。



- ⑤ 糸の輪を糸通しから外し、糸の輪を向こう側に引いて、針穴から糸の端を引き出します。

●下糸を針板の上に引き出す場合

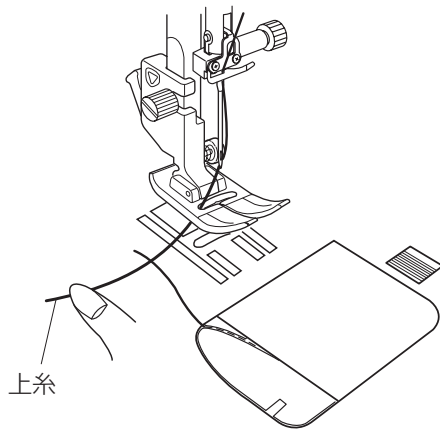
①



ギャザーやスマッキングなどをぬう場合のように、ぬい始めの下糸を長くする必要のあるときだけ、下記手順①～④の方法で下糸を針板の上に引き出してください。

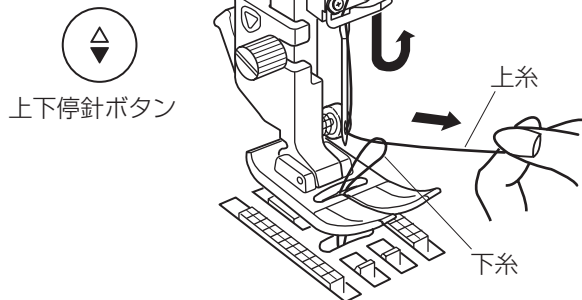
① 「●下糸の準備／★ボビンのセット」手順①～③（23ページ）と同じ方法で下糸を矢印1の方向に引きあげてみぞに入れたら、そのまま10cmほど向こう側に引き出しておき、角板を取り付けます。（糸は、下側にあるカッターで切らないでください。）

②



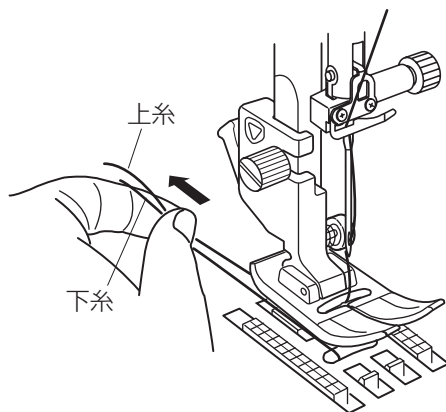
② 針に上糸を通し、押さえ上げをあげた状態で、上糸の端を指で押さえておきます。

③



③ 電源スイッチを入れ、（ロック状態の場合は、ロック状態を解除）上下停針ボタンを押して針をさげ、もう一度押して針をあげます。上糸を軽く引くと下糸の輪が引き出されます。

④



④ 上糸と下糸を押さえの下から向こう側に約10cmほど引き出して、そろえておきます。

●針板の外し方、付け方



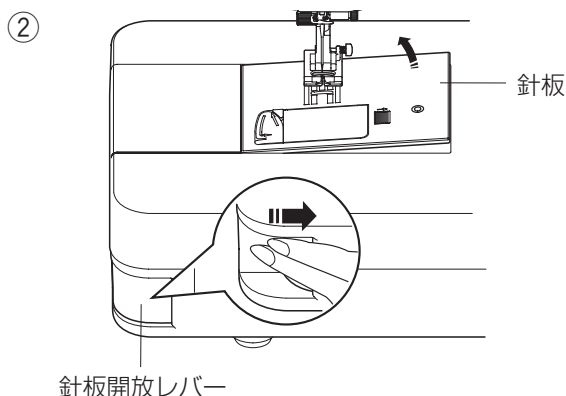
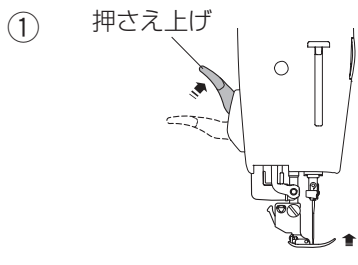
上下停針ボタン



ロックボタン

【準備】

- ① 上下停針ボタンを押して、針をあげます。
- ② ロックボタンを押します。



針板開放レバー

⚠ 注意

針板を外すときと付けるときには、必ずロックボタンによりミシンをロック状態にしてから行ってください。けがの原因になります。

【針板の外し方】

- ① 押さえ上げを普通にあげた位置よりさらにあげた位置まであげます。
※ 押さえ上げのあげ方は、14 ページをごらんください。
- ② 針板開放レバーを右に押すと、針板が外れます。

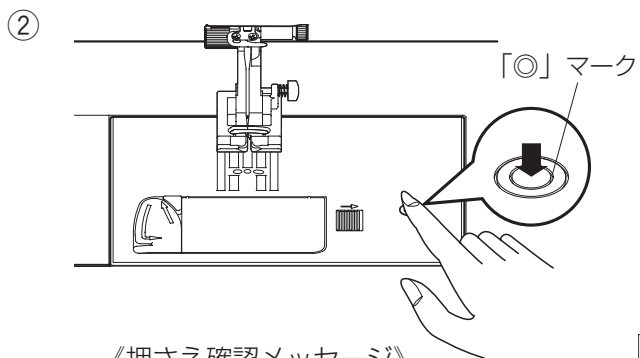
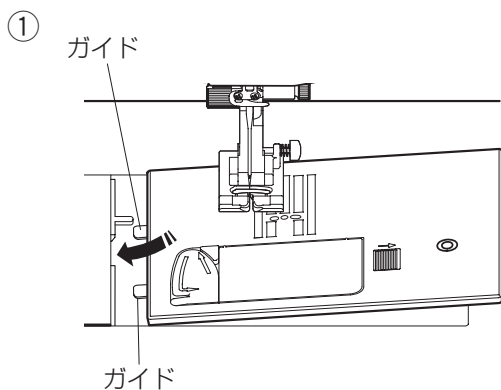
【針板の付け方】

- ① ミシンの針板取り付け部左側に針板の2つのガイドを入れます。
- ② 針板右側にある「◎」マークが付いている場所を「パチン」と音がするまで指でしっかりと押しつけて、針板を取り付けます。

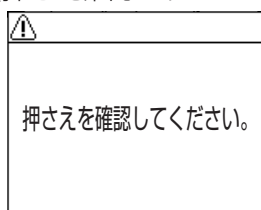
※ 針板を取り付け後、押さえ確認メッセージが表示されます。(数秒後、メッセージは消えます)
押さえを確認してください。
また、はずみ車を手で手前にゆっくりまわして、針が針板にあたらなことを確認してください。

※ 押さえ確認メッセージが消えたら、ロックボタンを押して、ロックを解除します。

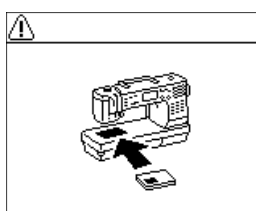
※ ミシンの電源スイッチが入っている場合は、針板が外れているあいだ、針板が外れていることを示す注意画面が表示されています。
針板を取り付けたとき、この注意画面が消えることを確認してください。消えない場合は、もう一度取り付け直してください。



《押さえ確認メッセージ》



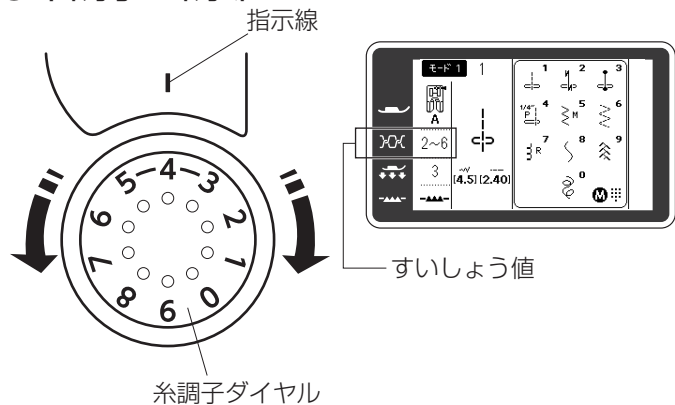
《注意画面》



⚠ 注意

ミシン運転中は、針板開放レバーはさわらないでください。
けがの原因になります。

●糸調子の調節

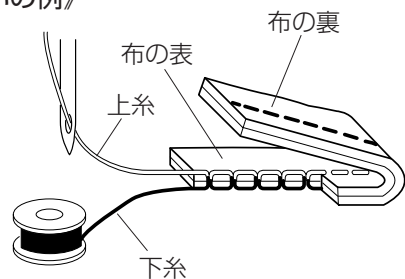


模様を選択すると模様のすいしょう糸調子が表示されます。

糸調子ダイヤルをまわして、指示線にすいしょう値の目安の数値を合わせてください。

※ 糸調子が正しく調節されていないと、ぬい目がきたなくなったり、布にしわがよったり、糸が切れたりします。

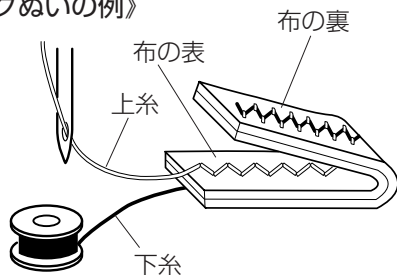
《直線ぬいの例》



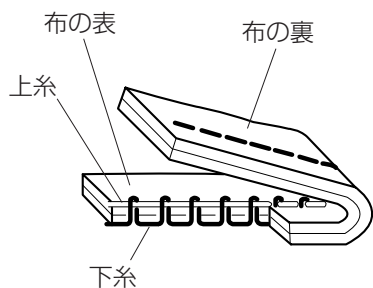
【バランスのとれた糸調子】

直線ぬいのはきは、上糸と下糸が布のほぼ中央でまじわります。

《ジグザグぬいの例》

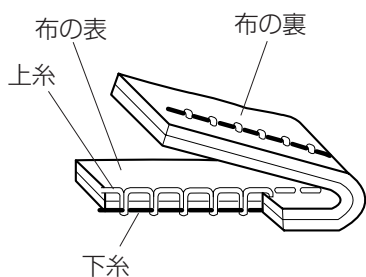


ジグザグぬいのはきは、布の裏側に上糸が少し出るくらいになります。



【上糸が強すぎる場合の調節】

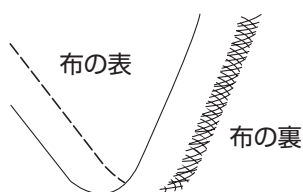
上糸が強すぎると下糸が布の表に引き出されます。糸調子ダイヤルをまわして数値を小さくします。



【上糸が弱すぎる場合の調節】

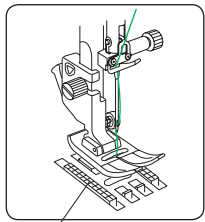
上糸が弱すぎると上糸が布の裏に引き出されます。上糸が布の表でたるんだり、輪になる場合もあります。糸調子ダイヤルをまわして数値を大きくします。

【布地の裏側がタオル地のようなになるのは】

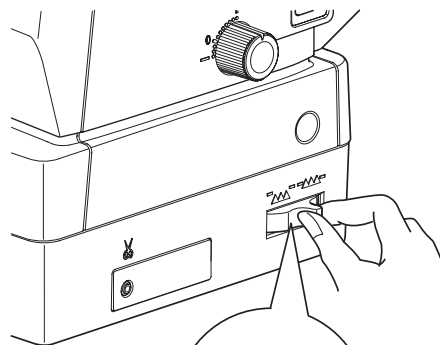


左図のように布地の表側は普通にぬえて、裏側がタオル地のようなになるのは上糸の糸調子が弱すぎるか、上糸のかけ方がまちがっています。24、25 ページをごらんの上、正しく上糸をかけてください。また、上糸調子の調節は上図を参考にしてください。

●送り歯のさげ方

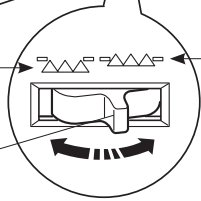


送り歯



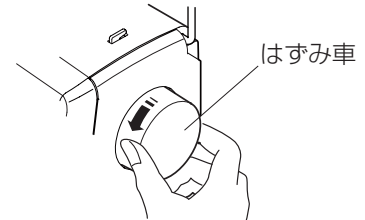
「送り歯をさげる位置」 「送り歯をあげる位置」

送り歯ドロップつまみ



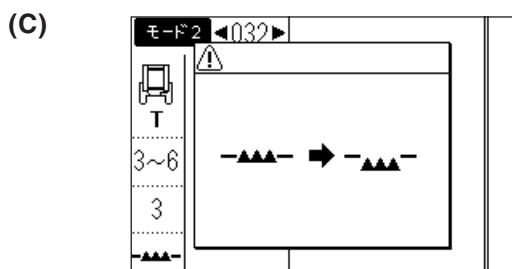
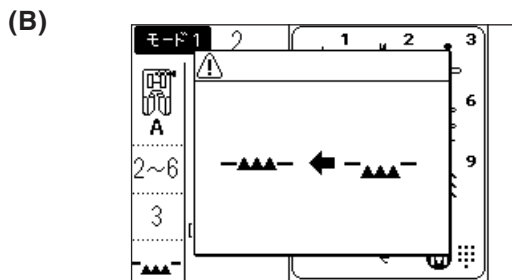
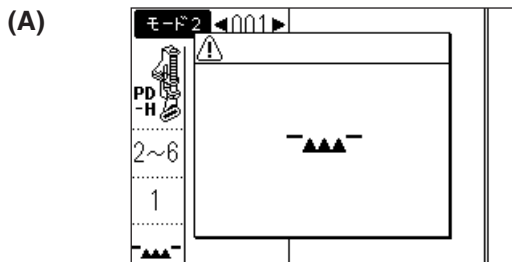
送り歯ドロップつまみで送り歯を常時さげた状態にし、布送り機能をなしにすることができます。ボタン付けなどを行うときに使用します。

※ 送り歯をさげた場合、ぬいが終わったら送り歯ドロップつまみを「送り歯をあげる位置」にもどし、はずみ車を手で手前にまわして送り歯があがることを確認してください。



はずみ車

送り歯の注意画面



送り歯をさげたままミシンをスタートさせると画面にメッセージが表示されます。

(A)の画面は、送り歯がさがっているという意味です。布を送りたくない場合は、そのままスタートしてください。

必ず、適切な押さえに交換してください。

(B)の画面は、送り歯をあげてくださいというメッセージです。

送り歯をあげてミシンをスタートしてください。

(C)の画面は、送り歯をさげてくださいというメッセージです。

送り歯をさげてミシンをスタートしてください。

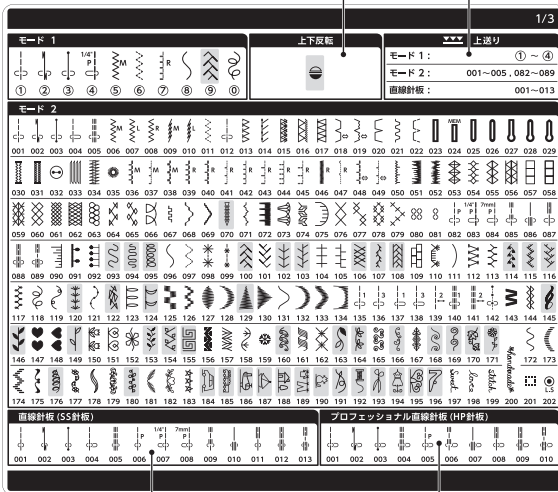
⚠ 注意

必ず模様にあった押さえを使用してください。間違った押さえを使用すると、針が押さえに当たりけがの原因になります。

◎模様の選び方

●早見板

《早見板 1/3》

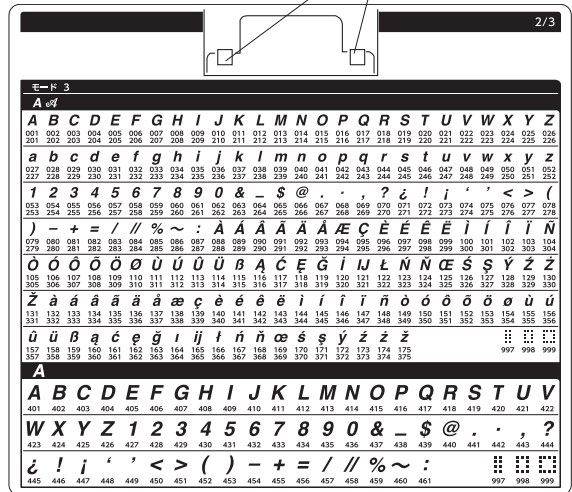


《3》

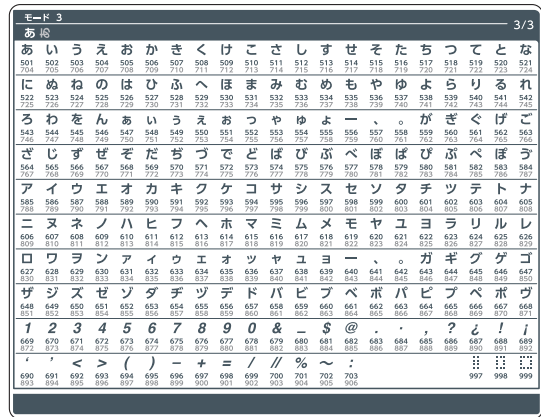
《4》

クリップ

《早見板 2/3》





《早見板ペラ 3/3》



ミシンの早見板は、このミシンでぬうことができるすべての模様が表示されています。

模様を選ぶ場合は、早見板からその模様がどのモードにあるかを見つけ、画面にそのモードを表示させ、次にその中からぬいたい模様を選びます。

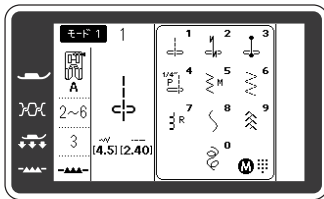
- 四角に塗られている模様   等は、上下反転ができる模様です。…上記早見板の《1》参照
- 上送り押さえに使用できる模様は…上記早見板の《2》参照
- 直線針板使用時使用できる模様は…上記早見板の《3》参照
- プロフェッショナル直線針板使用時使用できる模様は…上記早見板の《4》参照
- 早見板 2/3 の文字番号の下段青数字は、英文字スクリプト体です。
- 早見板 3/3 の文字番号の下段青数字は、ひらがな、カタカナ、数字、記号の縦書きです。

※ 早見板ペラは早見板のクリップに挟んでお使いください。(6 ページ参照)

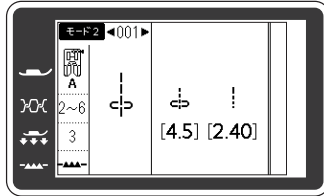
● 模様を選び方

★ 模様を選び方 (モード 1)

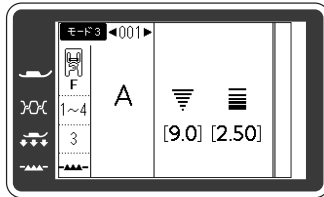
《モード 1 の初期画面》



《モード 2 の初期画面》



《モード 3 の初期画面》



MODE

モードボタン

【モードの切りかえ】

モードは 3 つに分かれていてモードボタンを押し、モードを選択します。

選択されたモードの模様を選ぶことができます。

モード 1

10 個の実用ぬい模様を数字ボタンで直接模様を選ぶことができます。

モード 2

200 個の実用ぬい、ボタンホール、かざりぬい等の模様があります。

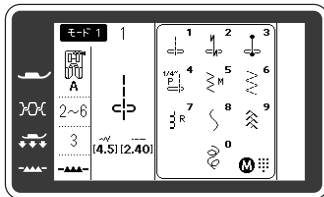
3 桁の模様番号を入力して、模様を選びます。

モード 3

文字ぬい模様を選ぶことができます。

3 桁の模様番号を入力して、文字 (模様) を選びます。

① 《模様 1 のぬい実行画面》



【モード 1 のダイレクト模様選択】

モード 1 では数字ボタンで、ダイレクトに模様を選びます。

※ お好みの模様をダイレクト模様選択に登録することができます。モード 2 の模様 001 ~ 200 が登録できます。

(33 ページをごらんください。)

① モードボタンを押して、モード 1 の画面を表示させます。

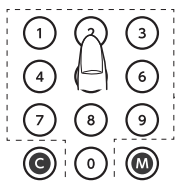
模様 1 のぬい実行画面が表示されます。

② 数字ボタンでダイレクトに模様を選びます。

(例) 模様 2

③ 模様 2 のぬい実行画面が表示されます。

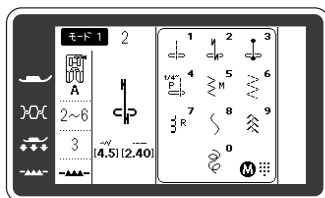
②



数字ボタン

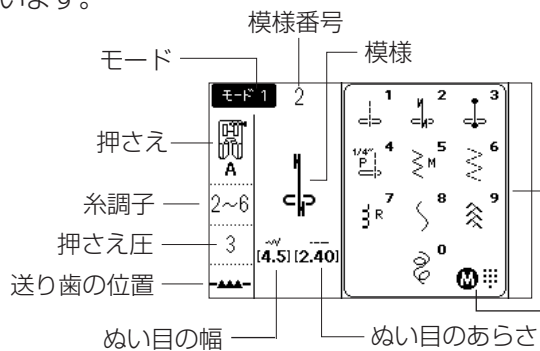
③

《模様 2 のぬい実行画面》



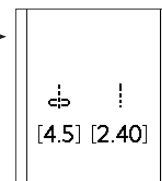
画面の説明

画面には、選ばれているモードと模様一覧、模様番号と模様、その模様の代表的なぬいを使用される押さえのイラストと記号、その模様自動的に設定されている模様のぬい目の幅とぬい目のあかさ、糸調子、押さえ圧の値、送り歯の位置が表示されています。



模様一覧表示ボタン

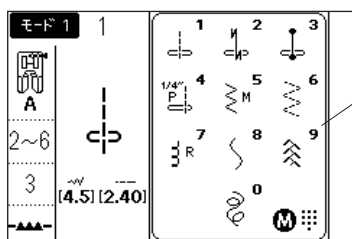
模様一覧表示ボタンを押すと、モード 1 では、模様一覧の表示が表示されている模様のぬい目の幅、あかさ表示になります。



記憶キーでダイレクト選択模様の登録ができます。

★ダイレクト選択模様の登録（モード1）

《ぬい実行画面》



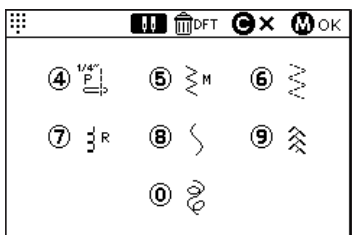
模様一覧



模様一覧表示
ボタン

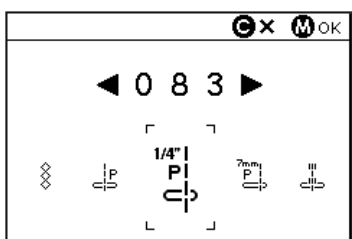
《ダイレクト模様登録画面》

①



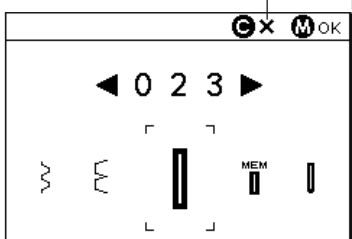
記憶ボタン

②



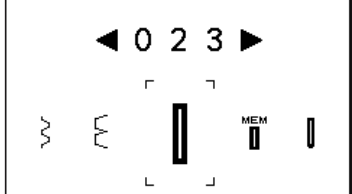
数字ボタン

③



数字ボタン

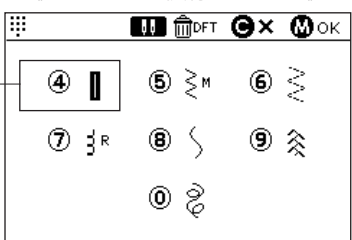
④



記憶ボタン

《ダイレクト模様登録画面》

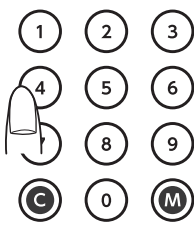
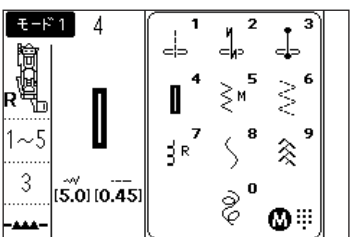
⑤



記憶ボタン

登録された模様

《ぬい実行画面》



お好みの模様をダイレクト模様選択に登録することができます。

※ 画面に模様一覧が表示されていないと、お好みの模様をダイレクト模様に登録することができません。模様一覧表示ボタンを押して、模様一覧を表示させてください。

※モード2の模様がダイレクト模様に登録することができます。

① 記憶ボタンを押します。

ダイレクト模様登録画面が表示されます。

4～9、0の模様をお好みの模様に変更し、登録できます。

② お好みの模様に変更したい模様の数字を4～9、0の数字ボタンから選びます。

(例模様番号4)

③ 登録する模様番号を入力します。(例模様番号023)

※ 模様番号入力、数字ボタン、ぬい目の幅調節ダイヤル、ぬい目のあかさ調節ダイヤル、矢印ボタンで入力できます。

④ 記憶ボタンを押します。

※ 取消しボタン「**C**」(閉じる)を押すと、登録しないで前の画面にもどります。

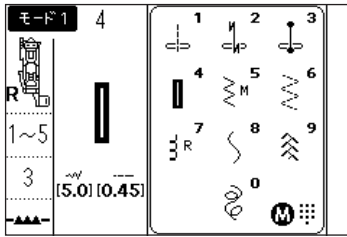
⑤ 記憶ボタンを押し、登録します。

※ ダイレクト模様登録画面の④の模様に変更されます。

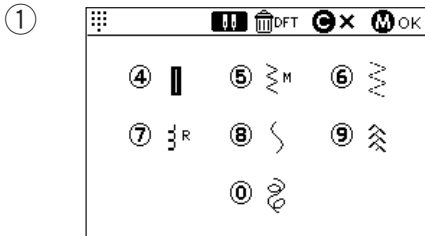
※ ぬい実行画面の模様一覧模様番号4が登録した模様になっています。次からは数字ボタン4を押して模様を選ぶことができます。

【ダイレクト選択模様の登録取り消し】

《ぬい実行画面》

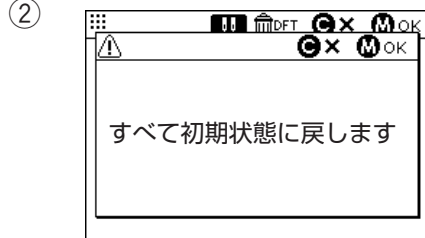


《ダイレクト模様登録画面》



① 記憶ボタンを押します。

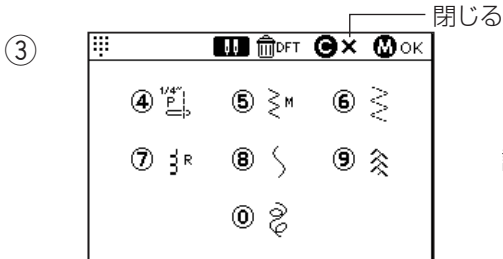
《注意メッセージ》



② 2本針ボタンを押します。

「すべて初期状態に戻します」と注意メッセージが表示されます。

《ダイレクト模様登録画面》

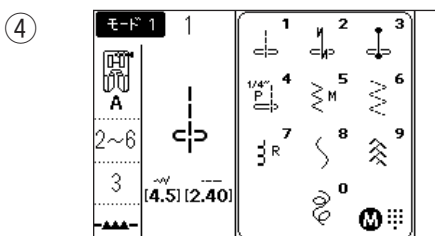


③ 記憶ボタンを押します。

「ピー」と鳴って、模様番号4の登録が取り消されます。

※ 取り消しボタン「**C**」(閉じる)を押すと、登録しないで前の画面にもどります。

《ぬい実行画面》

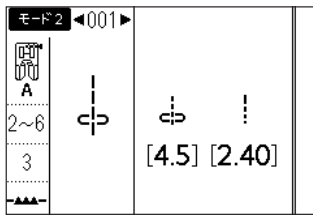


④ 記憶ボタンを押します。

ぬい実行画面が表示されます。

★模様の選び方（モード2・モード3）

①

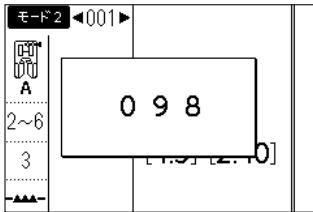


MODE

モードボタン

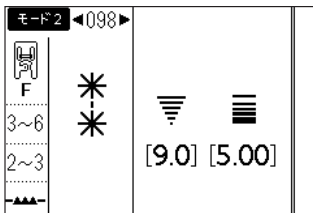
《文字入力画面》

②



数字ボタン

③

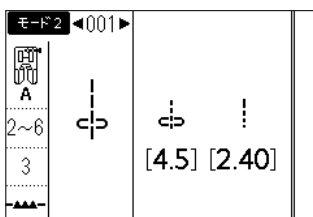


【数字ボタンを使用する場合】

3桁の模様番号を数字ボタンで入力し、模様を選びます。

- ① モードボタンを押して、モードを選びます。
(例 . モード2)
- ② 「0」、「9」、「8」の順に数字ボタンを押します。
(例 . 模様番号 098)
数字ボタンを押すと、文字入力画面が表示されます。
※ 入力は「0」を飛ばして、「9」から入力しないでください。
- ③ 模様 098 が表示されます。

①

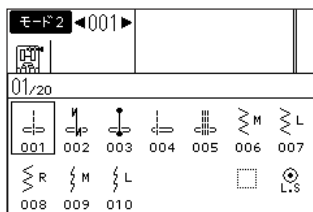


MODE

モードボタン

《模様一覧表示画面》

②

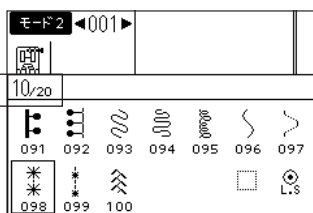


MODE

模様一覧表示
ボタン

③

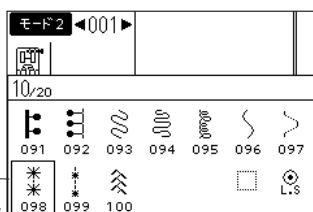
ページ



ぬい目の幅調節
ダイヤル

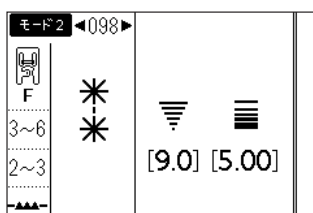
④

カーソル



ぬい目のあらか
調節ダイヤル

⑤



M

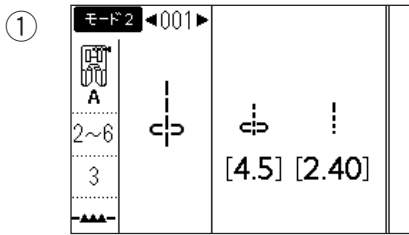
記憶ボタン

【ぬい目の幅調節ダイヤル、ぬい目のあらか調節ダイヤルを使用する場合】

- ① モードボタンを押して、モードを選びます。
(例 . モード2)
- ② 模様一覧表示ボタンを押します。
模様一覧表示画面が表示されます。
- ③ ぬい目の幅調節ダイヤルをまわして、ページをめくります。
- ④ ぬい目のあらか調節ダイヤルをまわして、カーソル「四角枠」を選択する模様の位置まで移動させます。
- ⑤ 記憶ボタンを押します。
模様 098 が表示されます。

【矢印ボタンを使用する場合】

- ① モードを選びます。
(例. モード 2)



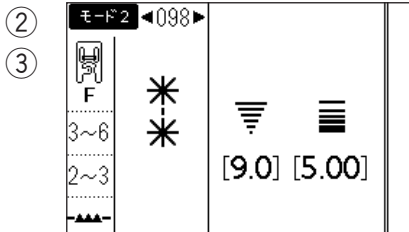
MODE

モードボタン

- ② 矢印ボタンを押します。
(例. 模様番号 098)

※ 矢印ボタンを長押しすると、自動で模様が切りかわります。

- ③ 模様 098 が表示されます。



矢印ボタン

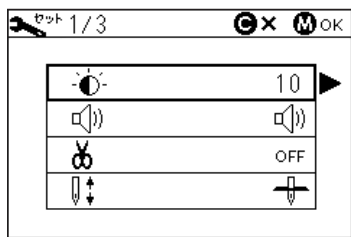
◎ミシンの設定

セットボタンを押すと設定画面が表示され、ミシンを初期の状態（購入時の設定状態）から変更することができます。

設定画面は3画面（1/3、2/3、3/3）になっていて、ぬい目の幅調節ダイヤルをまわすと画面が切りかわります。

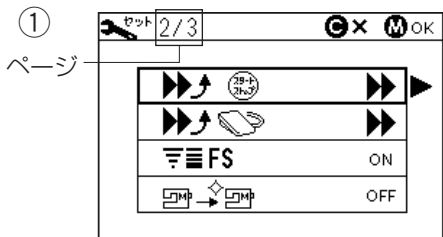
設定項目は12項目あります。

《設定画面 1/3》

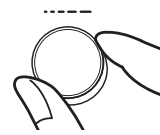
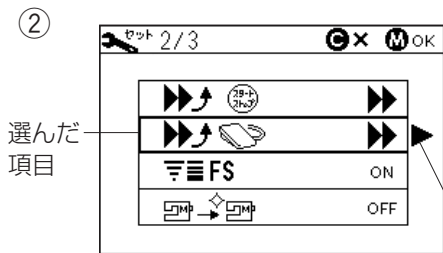


セットボタン

《設定画面 2/3》



ぬい目の幅調節ダイヤル



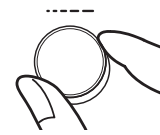
ぬい目のあらし調節ダイヤル

カーソル

《スタート速度調節設定画面》



矢印ボタン



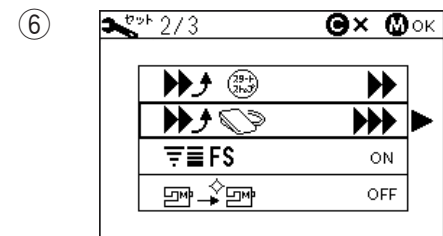
ぬい目のあらし調節ダイヤル

選んだ設定項目のアイコン



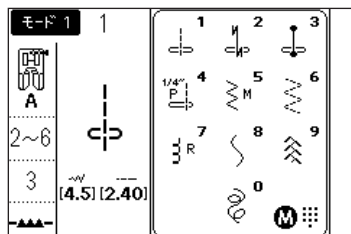
記憶ボタン

《設定画面 2/3》



記憶ボタン

《ぬい実行画面》



【項目の選び方】例. スタート速度調節設定

① ぬい目の幅調節ダイヤルで設定したい項目のあるページを選びます。

※ 設定画面のスタートストップ表示は、カタカナ表示ですが、ミシンの表示は 英文字表示です。

② ぬい目のあらし調節ダイヤルをまわして、設定項目にカーソル「▶」を上下に移動させます。

③ 矢印ボタンを押します。

スタート速度調節設定画面が表示されます。

※ 設定しない場合は、取り消しボタン「」(閉じる)を押します。

④ ぬい目のあらし調節ダイヤル、ぬい目の幅調節ダイヤル、または矢印ボタンでお好みの設定を選びます。

⑤ 記憶ボタンを押します。

※ ミシンの設定を続ける場合は、手順②にもどり、他の設定を選択します。

⑥ 設定画面にもどったら、記憶ボタンを押します。

設定され、ぬい実行画面になります。

【画面の明るさの設定】

画面の明るさが「0」～「20」の範囲で設定できます。初期の状態（購入時の設定状態）は「10」です。

- ① 矢印ボタンを押して、画面の明るさ設定を選びます。設定画面（1/3 ページ）
- ② めい目の幅調節ダイヤル、めい目のあらし調節ダイヤル、または矢印ボタンでお好みの明るさを選びます。
- ③ 記憶ボタンを押すと変更されます。設定画面にもどったら、記憶ボタンを押します。設定され、めい実行画面になります。

【ブザー音量の設定】

ボタンを押したときなどに鳴るブザーの音量を「消音」（OFF）「小さめ」（1）「普通」（2）「大きめ」（3）の4段階で設定できます。

初期の状態（購入時の設定状態）は「普通」（2）です。

※ ボタンを押して受け付けられたときに鳴るブザー音など、正しい操作をしたときの受け付け音は「消音」にできませんが、その他の音（禁止、警告音等）は「消音」にできません。

- ① 矢印ボタンを押して、ブザー音量の設定を選びます。設定画面（1/3 ページ）
- ② めい目の幅調節ダイヤル、めい目のあらし調節ダイヤル、または矢印ボタンでお好みの音量を選びます。
- ③ 記憶ボタンを押すと変更されます。設定画面にもどったら、記憶ボタンを押します。設定され、めい実行画面になります。

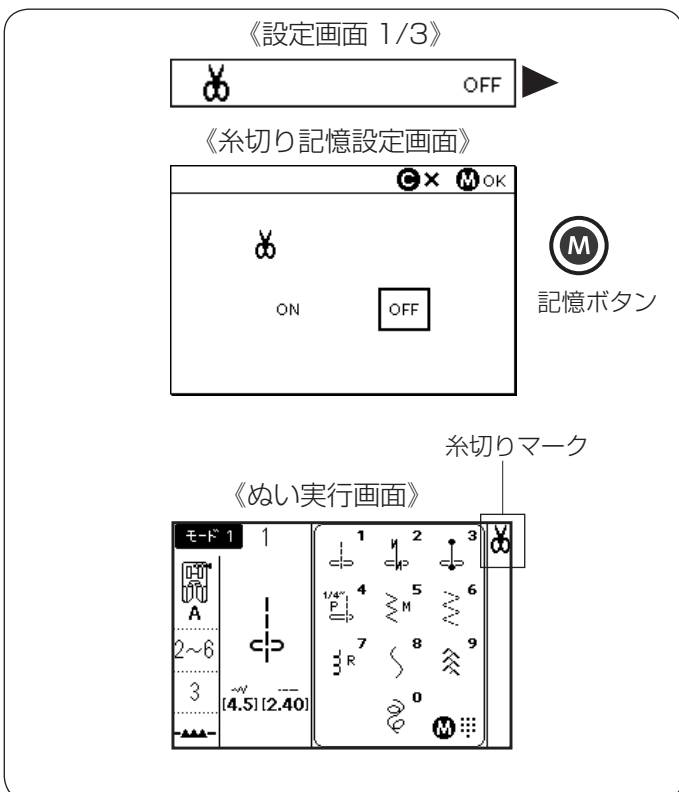
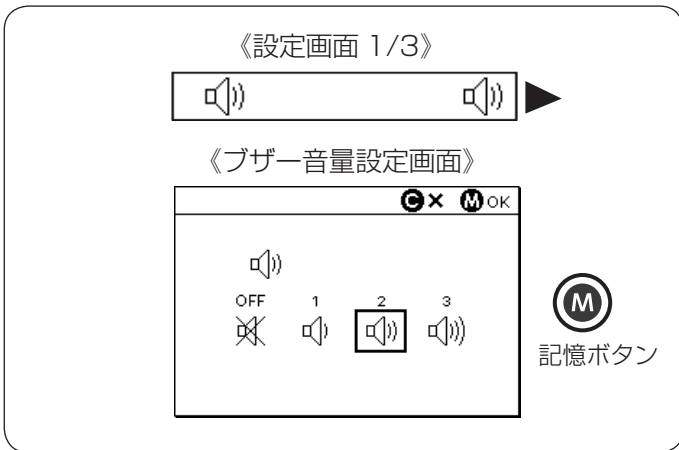
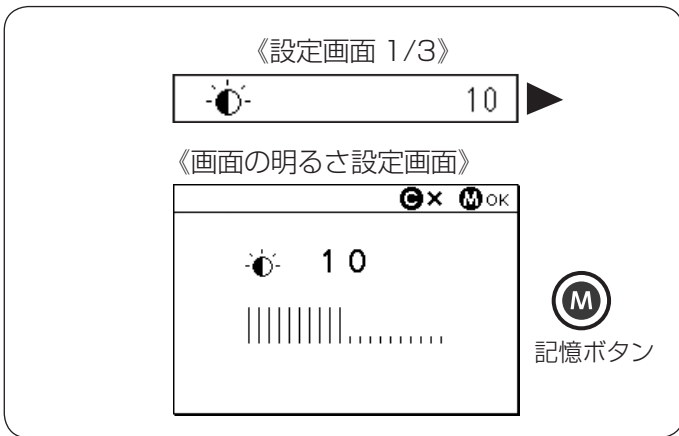
【糸切り記憶の設定】

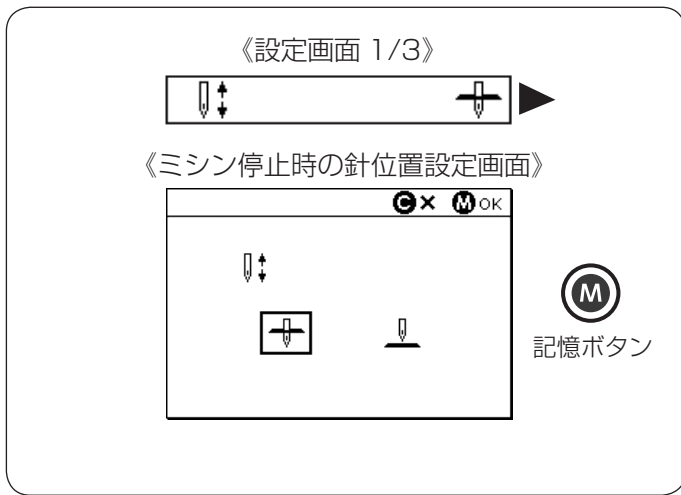
糸切り記憶あり（ON）を設定すると、ボタンホールなど模様の最後にほつれ止めの止めめいが入っていて、めい終わると自動的にミシンが停止する模様は、ミシンが停止すると同時に糸を切ります。その他の模様も、止めめいボタン、または返しめいボタンでめい終わりに止めめいを入れてミシンを停止した場合、ミシンが停止すると同時に自動的に糸を切ります。初期の状態（購入時の設定状態）は「OFF」（糸切り記憶なし）です。

※ 30番および30番より太い糸や特殊な糸でぬう場合は、糸切り記憶は使用しないでください。ミシンの面板に付いている糸切りを使用してください。（43 ページ参照）

- ① 矢印ボタンを押して、糸切り記憶設定を選びます。設定画面（1/3 ページ）
- ② めい目の幅調節ダイヤル、めい目のあらし調節ダイヤル、または矢印ボタンで糸切り記憶「ON」または「OFF」を選びます。
- ③ 記憶ボタンを押すと変更されます。設定画面にもどったら、記憶ボタンを押します。設定され、めい実行画面になります。

※ めい実行画面に糸切りマークが表示されます。

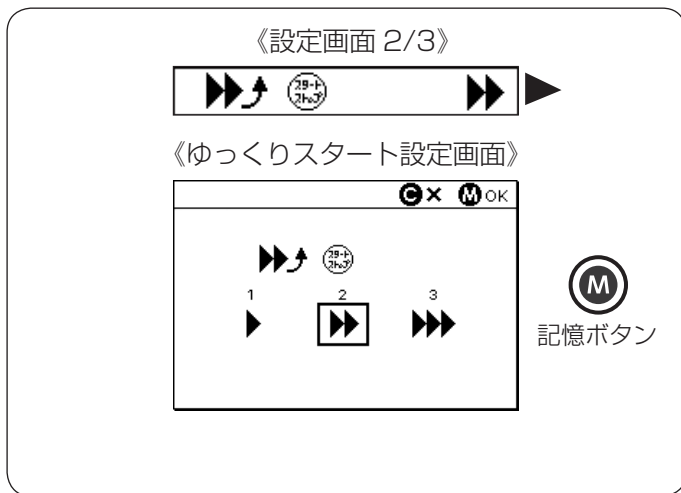




【ミシン停止時の針位置設定】

ミシンを停止したときの針の位置を「下位置停止」(布にささった位置)、「上位置停止」のどちらかに設定できます。初期の状態(購入時の設定状態)は「下位置停止」です。

- ① 矢印ボタンを押して、ミシン停止時の針位置設定を選びます。設定画面(1/3 ページ)
- ② めい目の幅調節ダイヤル、めい目のあらし調節ダイヤル、または矢印ボタンで停止位置を選びます。
- ③ 記憶ボタンを押すと変更されます。設定画面にもどったら、記憶ボタンを押します。設定され、ぬい実行画面になります。

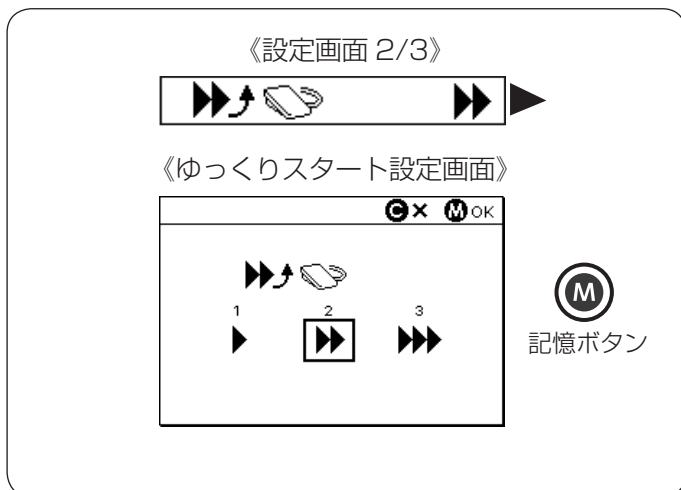


【ゆっくりスタートの速度設定】

(スタート/ストップボタン)

スタート/ストップボタンでミシンをスタートさせたとき、ゆっくり動き始めてからスピードコントロールつまみでセットした速さになりますが(ゆっくりスタート機能)、その動き始めの速度を「遅い」(1)「普通」(2)「速め」(3)の3段階で設定できます。初期の状態(購入時の設定状態)は「普通」(2)です。

- ① 矢印ボタンを押して、動き始めの速度設定を選びます。設定画面(2/3 ページ)
- ② めい目の幅調節ダイヤル、めい目のあらし調節ダイヤル、または矢印ボタンでお好みの速度を選びます。
- ③ 記憶ボタンを押すと変更されます。設定画面にもどったら、記憶ボタンを押します。設定され、ぬい実行画面になります。



【ゆっくりスタートの速度設定】

(フットコントローラー)

フットコントローラーでミシンをスタートさせたとき、ゆっくり動き始めてからスピードコントロールつまみでセットした速さになりますが(ゆっくりスタート機能)、その動き始めの速度を「遅い」(1)「普通」(2)「速め」(3)の3段階で設定できます。初期の状態(購入時の設定状態)は「普通」(2)です。

- ① 矢印ボタンを押して、動き始めの速度設定を選びます。設定画面(2/3 ページ)
- ② めい目の幅調節ダイヤル、めい目のあらし調節ダイヤル、または矢印ボタンでお好みの速度を選びます。
- ③ 記憶ボタンを押すと変更されます。設定画面にもどったら、記憶ボタンを押します。設定され、ぬい実行画面になります。

【ステッチの調整値を保存 (FS)】

(モード1・モード2のみ設定可能)

模様を選ぶと、模様のぬい目の幅やあらか、模様の長さ（エロンゲーション）などは初期の状態（購入時の設定状態）オート値にセットされますが、ステッチの調整値保存を「ON」に設定すると、オート値を模様ごとにお好みの値に変更して記憶（保存）することができます。オート値をお好みの値に変更して記憶しておく、その模様を選ぶだけで、設定した値でぬうことができます。

初期の状態（購入時の設定状態）は、ステッチの調整値保存ができる設定です。(ON)

- ① 矢印ボタンを押して、ステッチの調整値保存設定を選びます。設定画面 (2/3 ページ)
- ② ぬい目の幅調節ダイヤル、ぬい目のあらか調節ダイヤル、または矢印ボタンでステッチの調整値保存「OFF」または「ON」を選びます。
- ③ 記憶ボタンを押すと変更されます。
設定画面にもどったら、記憶ボタンを押します。
設定され、ぬい実行画面になります。

※ ステッチの調整値保存を「OFF」に設定すると、変更したオート値は、初期の状態にもどります。
変更したオート値は記憶されていますので、ステッチの調整値保存を「ON」に設定すると、変更したオート値にもどすことができます。

※ オート値の変更は、46 ページをごらんください。

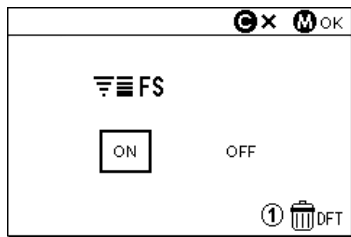
※ 全模様の調整値を削除する場合は、数字ボタン「①」を押してください。

注意メッセージ画面が表示されます。記憶ボタンを押します。

《設定画面 2/3》

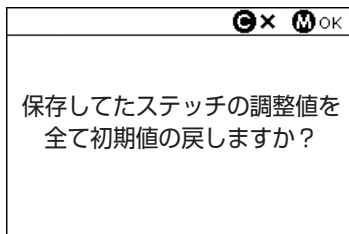


《ステッチ調整値設定画面》



記憶ボタン

《数字ボタン①を押したときの、
注意メッセージ画面》

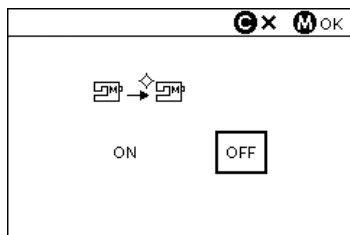


①
数字ボタン

《設定画面 2/3》

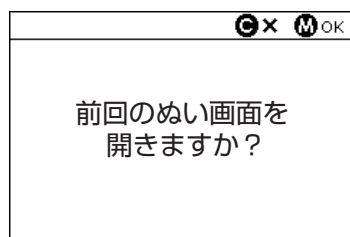


《お好み記憶設定画面》



記憶ボタン

《電源を入れたときの、注意メッセージ画面》



【お好み記憶の設定】

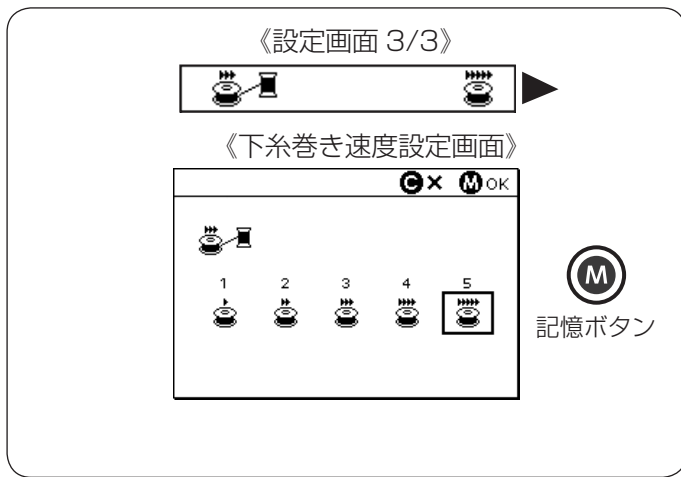
通常は、ミシンの電源スイッチを入れると模様1（モード1）のぬい実行画面になります。

お好み記憶 ON にするとミシンの電源スイッチを入れたとき、前回最後にぬっていた模様のぬい実行画面になり、ぬい目の幅やあらかの設定値も前回と同じ条件でぬうことができます。

初期の状態（購入時の設定状態）はお好み記憶が設定されていません。(OFF)

- ① 矢印ボタンを押して、お好み記憶設定を選びます。
設定画面 (2/3 ページ)
- ② ぬい目の幅調節ダイヤル、ぬい目のあらか調節ダイヤル、または矢印ボタンで「お好み記憶設定」(ON) または「OFF」を選びます。
- ③ 記憶ボタンを押すと変更されます。
設定画面にもどったら、記憶ボタンを押します。
設定され、ぬい実行画面になります。

※ お好み記憶が「ON」に設定された状態で電源スイッチを入れると、前回のぬい画面を確認するための注意メッセージ画面が表示されます。記憶ボタンを押すと前回最後にぬっていた模様の画面になります。

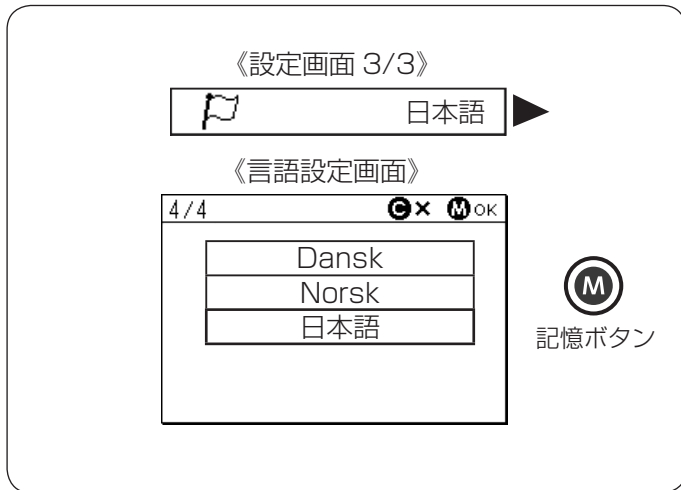


【下糸巻き速度設定】

下糸巻きの速度を設定することができます。

初期の状態（購入時の設定状態）は「1」～「5」の5段階で「5」（いちばん速い速度）に設定されています。

- ① 矢印ボタンを押して、下糸巻き速度設定を選びます。設定画面（3/3 ページ）
- ② めい目の幅調節ダイヤル、めい目のあらし調節ダイヤル、または矢印ボタンで「1」（いちばん遅い速度）～「5」（いちばん速い速度）のお好みの速度を選びます。
- ③ 記憶ボタンを押すと変更されます。設定画面にもどったら、記憶ボタンを押します。設定され、ぬい実行画面になります。



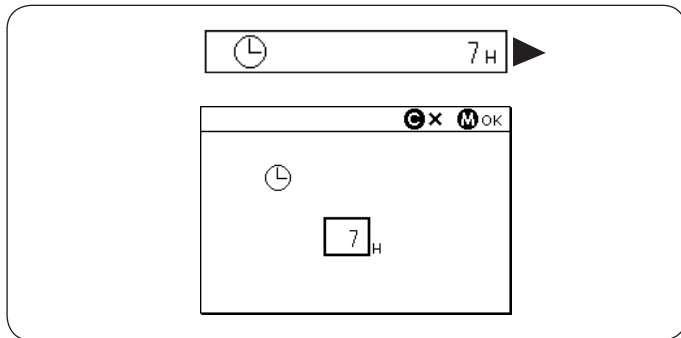
【画面の言語設定】

画面に表示される言語を 15 カ国の中から設定できます。初期の状態（購入時の設定状態）は「日本語」です。

※ 言語は 15 言語あります。

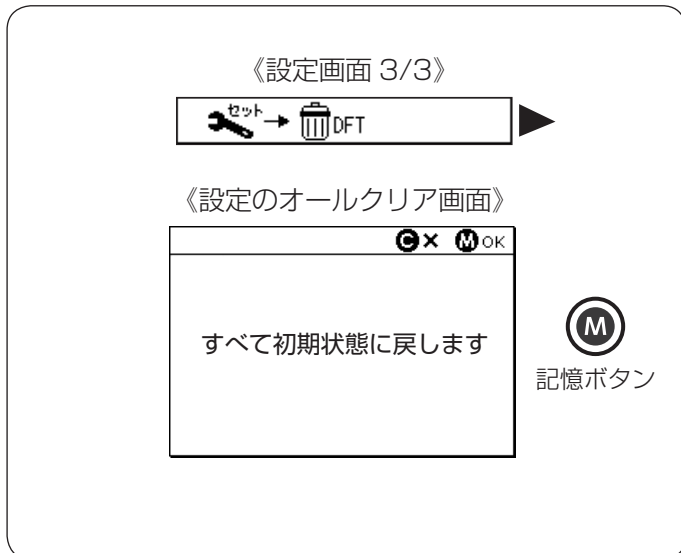
（日、英、仏、西、独、蘭、伊、スウェーデン、フィンランド、ロシア、ポルトガル、ポーランド、トルコ、ノルウェー、デンマーク）

- ① 矢印ボタンを押して、画面の言語設定を選びます。設定画面（3/3 ページ）
- ② 設定したい言語のあるページを、めい目の幅調節ダイヤル、めい目のあらし調節ダイヤル、または矢印ボタンで選びます。
- ③ 記憶ボタンを押すと変更されます。設定画面にもどったら、記憶ボタンを押します。設定され、ぬい実行画面になります。




【自動電源オフタイマー設定】

お買い上げミシンには対応していません。



【ミシンの設定のオールクリア】

設定画面で変更したミシンの設定項目「言語設定」を除く全てを一括して初期の状態（購入時の設定状態）にもどすことができます。

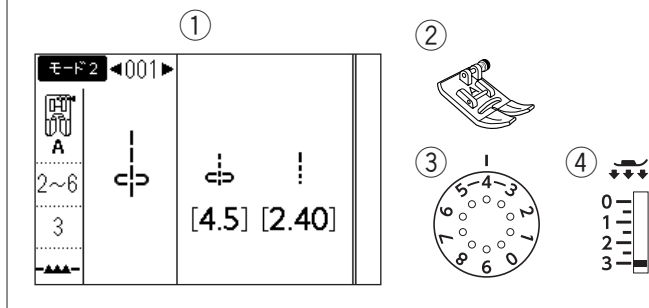
- ① 矢印ボタンを押して、ミシンの設定のオールクリア設定を選びます。設定画面（3/3 ページ）
 - ② 注意メッセージが表示されます。オールクリアする場合は、記憶ボタンを押すと「ピー」と鳴ってオールクリアされます。
- ※ 設定画面にもどったら、記憶ボタンを押します。設定され、ぬい実行画面になります。
- ※ オールクリアしない場合は、取り消しボタン「」を押します。

◎ぬい方

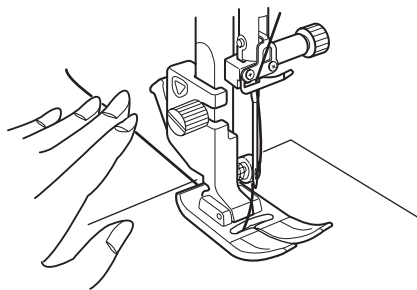
●直線（直線状模様）ぬい

★直線ぬい（中針位置）

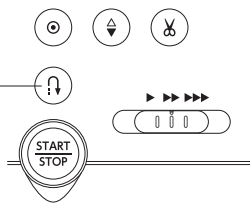
ミシンのセット



- ① 模様番号 1（モード1）
001（モード2）
- ② 押さえ A：基本押さえ
- ③ 糸調子ダイヤル 2～6
- ④ 押さえ圧調節ダイヤル ... 3



返しぬいボタン

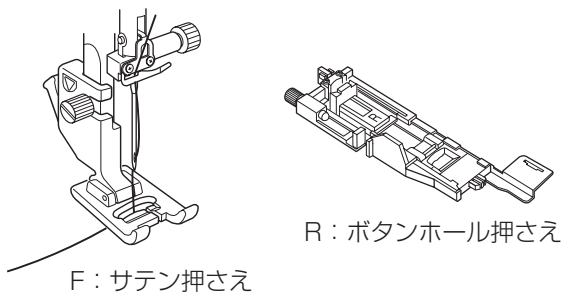


【ぬい始め】

- ① 上糸を押さえの下から向こう側に引き出した状態で布を入れ、糸と布を左手で押さえ、はずみ車を手で手前にまわして最初のぬい位置に針をさします。
- ※ 通常、内がまにボビンをセットしたあとや、糸切りボタンを使用して糸を切ったあとのぬい始めは、下糸は針板の上に引き出す必要はありませんが、上糸は必ず向こう側に引いて、押さえで押さえてください。
- ② 押さえ上げをさげて、ぬい始めます。
- ※ ぬい始めのほつれ止めは、返しぬいボタンを押します。

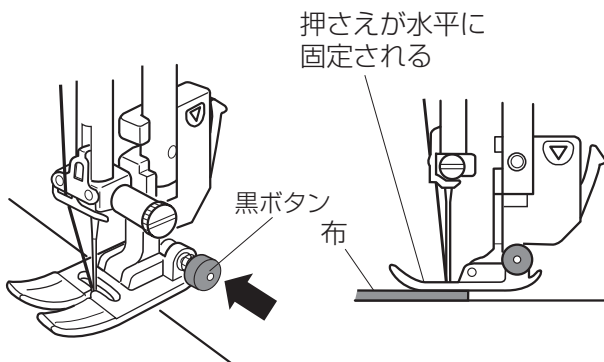
ぬい始めの糸の引き出し方

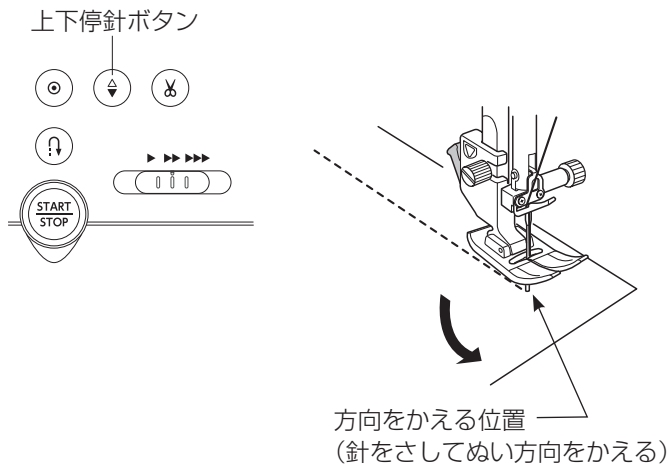
通常は、ぬい始めの上糸は押さえの向こう側に引き出して、押さえで押さえます。
ただし、F：サテン押さえやR：ボタンホール押さえなど押さえの裏側の前後方向（縦方向）がへこんでいて押さえ面がない押さえは、ぬい始めの糸は横方向に引き出して、押さえで押さえてください。



【厚手の布端のぬい始め】

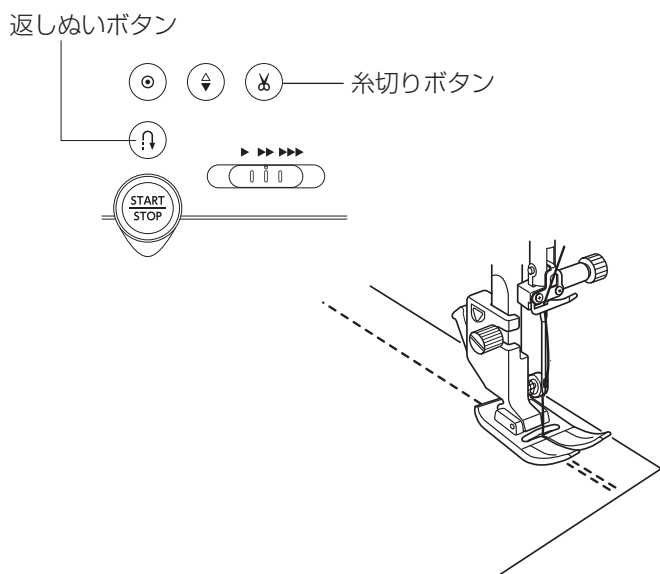
- ① 最初のぬい位置に針をさし、基本押さえの黒ボタンを押し込みます。
- ② 黒ボタンを押したまま押さえ上げをさげます。
- ③ 黒ボタンから手をはなし、ぬい始めます。
- ※ 黒ボタンを押した状態で押さえ上げをさげると押さえが水平に固定され、段部をスムーズにぬい始めることができます。
ぬい始めると黒ボタンがもどり、押さえはもとの自由に動く状態になります。





【ぬい方向の変更】

- ① 布の方向をかえる位置まできたらミシンを止めます。
 - ② 布に針がささっていない場合は、上下停針ボタンを押して針を布にさし、押さえ上げをあげます。
- ※ 通常はミシンを停止すると、針が布にささった状態になっています。
- ③ 針を布にさしたままぬい方向をかえ、押さえ上げをさげてぬい始めます。
- ※ ぬい位置がずれなくてきれいにぬうことができます。



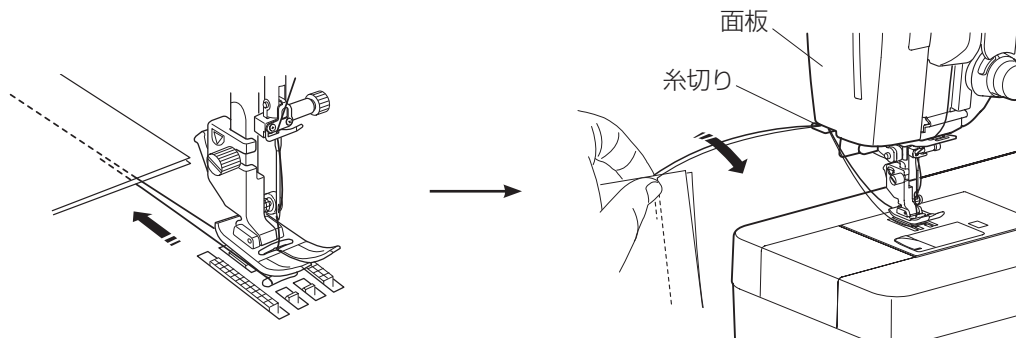
【ぬい終わり】

- ① ぬい終わりの位置で返しぬいボタンを押して数針返しぬいを行い、ミシンを止めます。
 - ② 糸切りボタンを押して糸を切ります。
- ※ 針が布にささった状態でも、糸切りボタンを押すと針は上の位置に移動します。
- ③ 押さえ上げをあげて布を向こう側に引き出します。
- ※ ぬい始めとぬい終わりのほつれ止めを自動的に行う自動返しぬい模様 (モード1) (モード2) と、自動止めぬい模様 (モード1) (モード2) があります。
- 「★自動返しぬい」、「★自動止めぬい」(50、51ページ)をごらんください。

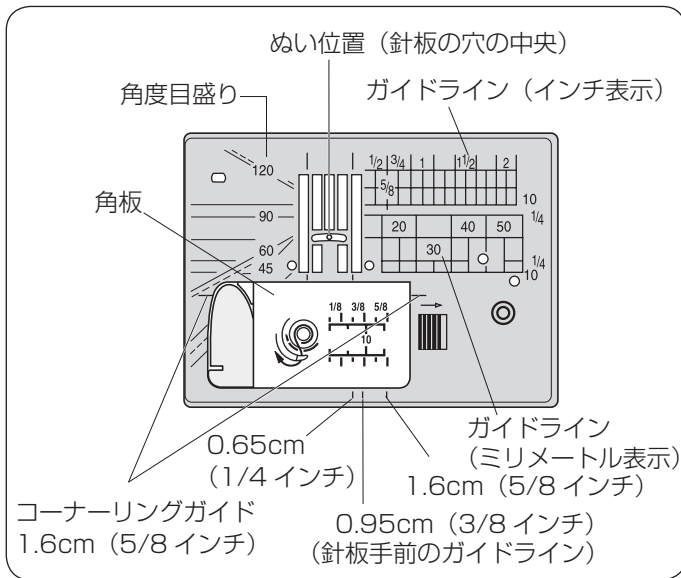
面板の糸切りの使い方

30番および30番より太い糸や特殊な糸を切る場合または、2本針ぬいで糸を切る場合は、ミシンの面板に付いている糸切りを使用してください。

針と押さえ上げをあげ、布を向こう側に引き出してから手前に返すようにして糸を切ります。



★針板ガイドの使い方



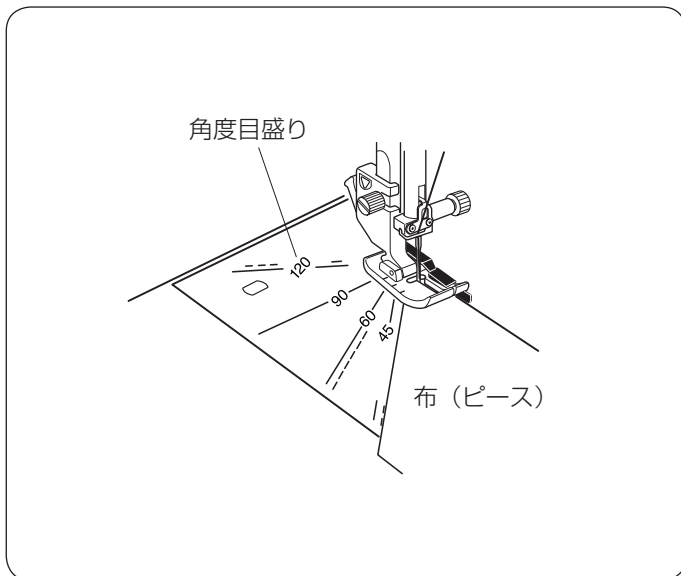
針板には、布のぬい位置を決めるための便利なガイドがいろいろ表示されています。

【ガイドライン】

布端を針板のガイドラインに合わせてぬうと、布端から正確な位置にぬうことができます。

ガイドラインの数字は、ぬい位置（針板の穴の中央）からガイドラインまでの距離を「インチ」と「ミリメートル」で表示しています。

※ ガイドラインは角板にも表示されています。

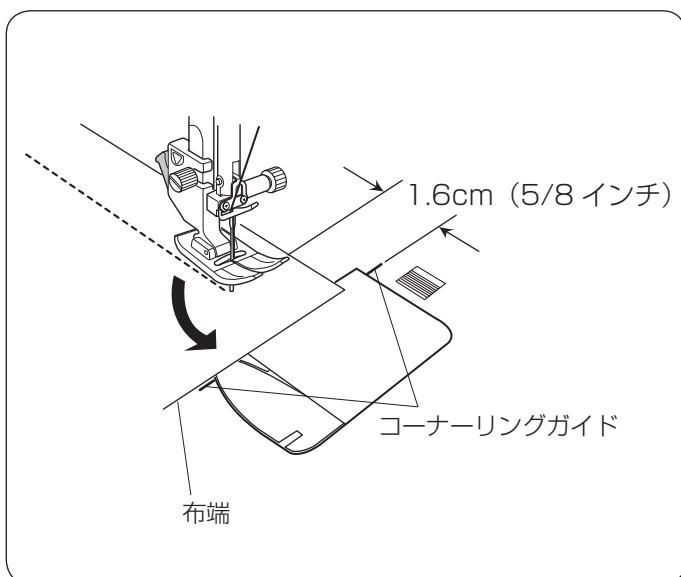


【角度目盛り】

角度目盛りは、パッチワークのピース作りに使うと便利です。

パッチワーク布（ピース）の角度と同じ角度目盛りに布端を合わせると、しるしなしでぬいしろ 0.65cm（1/4 インチ）のぬい始めの位置を決めることができます。

※ 使い方は、●パッチワーク（87 ページ）をごらんください。



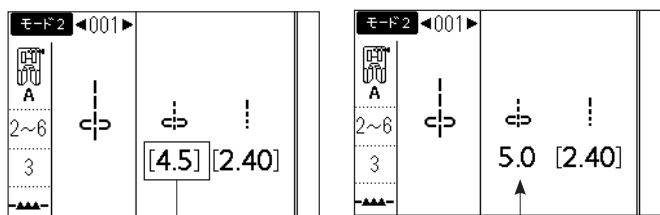
【コーナーリングガイド】

布端から 1.6cm（5/8 インチ）のところまで直角にぬい方向をかえるときに利用します。

（ぬい方向をかえたあと布端から 1.6cm（5/8 インチ）の位置でぬうことができます。）

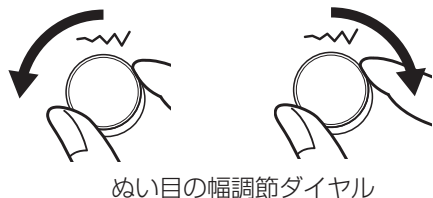
- ① 布端がコーナーリングガイドのところに来たらミシンを停止します。
- ② 針を布にさした状態で押さえ上げをあげ、布を直角に回転させます。
布端が針板右側のガイドライン 1.6cm（5/8 インチ）の位置に合います。
- ③ 押さえ上げをさげ、ミシンをスタートさせます。

★ぬい目の幅（針位置）のかえ方

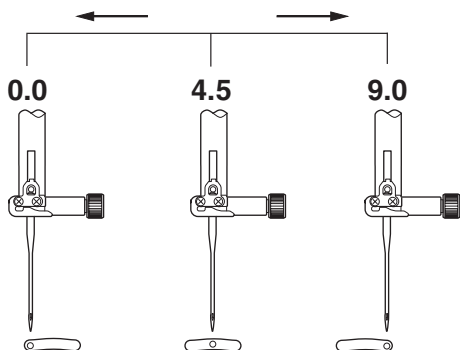


針位置の値

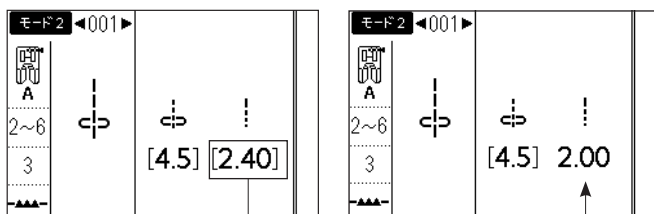
変更すると [] の表示が
消えます。



ぬい目の幅調節ダイヤル



★ぬい目のあらかさのかえ方

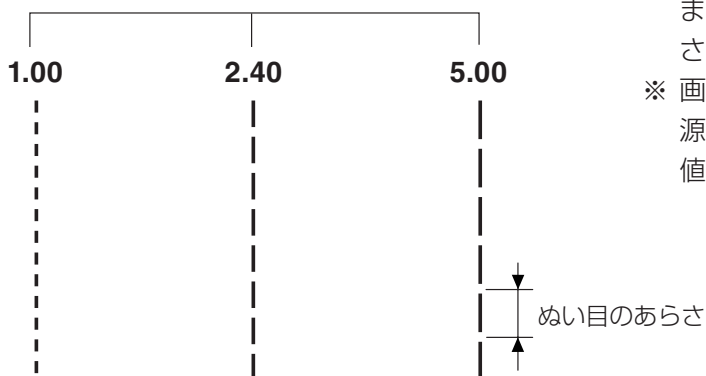


ぬい目のあらかさの値

変更すると [] の表示が
消えます。



ぬい目のあらかさ調節ダイヤル



ぬい目の幅調節ダイヤルでぬい目の幅（直線状模様の場合は針位置）をかえることができます。

ぬい目の幅調節ダイヤルを右にまわすと表示されている数値が大きくなり、ぬい目の幅が広くなります。直線状模様の場合は、針が右へ移動します。

ぬい目の幅調節ダイヤルを左にまわすと表示されている数値が小さくなり、ぬい目の幅がせまくなります。直線状模様の場合は、針が左へ移動します。

※ 画面の数値は、ぬい目の幅の目安をミリメートルで表示しています。

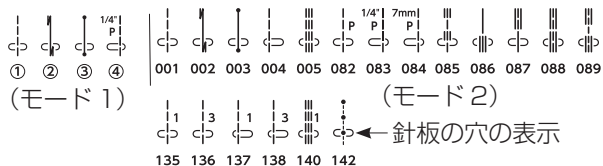
直線状模様の場合は、左針位置からの距離の目安をミリメートルで表示しています。

左針位置が「0.0」、中針位置が「4.5」、右針位置が「9.0」になります。

※ 画面の数値に [] が付いている場合がオート値（電源を入れたとき、ミシンに自動的に設定されている値）です。数値を変更すると [] が消えます。

※ 下記の直線状模様がぬい目の幅調節ダイヤルで針位置をかえることができます。（模様のイラストに針板の穴の表示があります。）

《針位置が変更できる直線状模様》



ぬい目のあらかさ調節ダイヤルでぬい目のあらかさをかえることができます。

ぬい目のあらかさ調節ダイヤルを右にまわすと表示されている数値が大きくなり、ぬい目のあらかさがあらかくなります。

ぬい目のあらかさ調節ダイヤルを左にまわすと表示されている数値が小さくなり、ぬい目のあらかさが細かくなります。

※ ぬい目のあらかさは、布や糸によりかわりますので、画面の数値は目安としてミリメートルで表示しています。また、返しぬいのぬい目のあらかさは、表示数値より小さくなります。

※ 画面の数値に [] が付いている場合がオート値（電源を入れたとき、ミシンに自動的に設定されている値）です。数値を変更すると [] が消えます。

★ぬい目の幅（針位置）、ぬい目のあらかのオート値の変更

ぬい目の幅（針位置）、ぬい目のあらか、模様長さ（エロンゲーション）のオート値（電源を入れたとき、ミシンに自動的に設定されている値）をお好みの値に変更して記憶することができます。

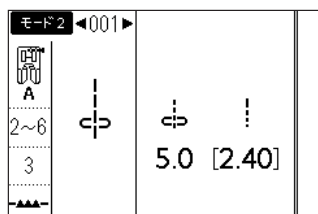
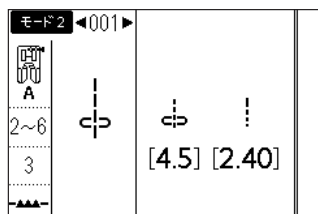
オート値をお好みの値に変更して記憶しておくと、その模様を選ぶだけで、その設定した値でぬうことができます。

※ モード3は変更できません。


※ ステッチの調整値（FS）設定は、40ページをご覧ください。

①

《ぬい実行画面》

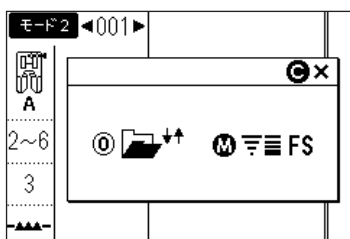


ぬい目の幅調節ダイヤル

【例】模様  のぬい目の幅（針位置）のオート値「4.5」を「5.0」に変更する

- ① モード2の模様001を選びます。
ぬい目の幅調節ダイヤルをまわして、ぬい目の幅（針位置）のを「5.0」に変更します。
※ ぬい目のあらかを変更するときは、ぬい目のあらか調節ダイヤルをまわして変更してください。

② 《保存／呼び出し・オート値設定画面》



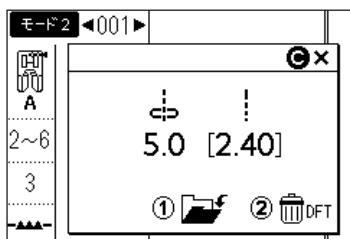
 /FS
保存／呼び出し・FSボタン

 M
記憶ボタン

- ② 保存／呼び出し・FSボタンを押すと、保存／呼び出し・オート値設定画面が表示されます。
記憶ボタンを押すと、オート値設定画面になります。
※ 数字ボタン「0」を押すと、ミシンに保存している呼び出し画面になります。模様データの保存114ページをご覧ください。
※ 取り消しボタン「C」を押すと、ぬい実行画面にもどります。

③

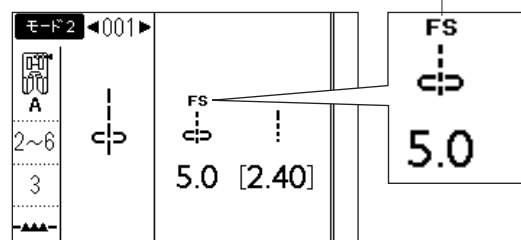
《オート値設定画面》



①
数字ボタン「1」

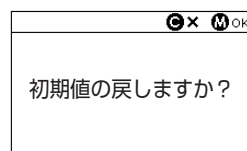
「FS」マーク

《ぬい実行画面》



- ③ 数字ボタン「1」を押すと、変更したオート値が保存され、ぬい実行画面にもどります。
※ 取り消しボタン「C」を押すと、ぬい実行画面にもどります。
※ ぬい実行画面の数値にオート値が変更されたことを示す「FS」マークが表示されます。
※ 数字ボタン「2」を押すと、注意画面が表示されます。

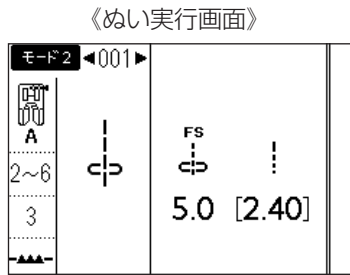
《注意画面》



記憶ボタン「M」を押すと、初期の値にもどります。
取り消しボタン「C」を押すと、オート値設定画面にもどります。

【変更したオート値を初期の状態にもどす場合】

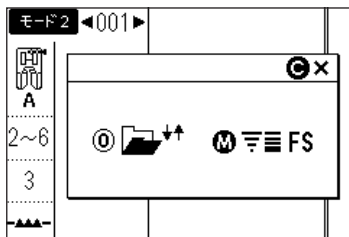
①



保存/呼び出し・
FS ボタン

- ① オート値を変更した模様を選びます。
保存/呼び出し・FS ボタンを押します。

② 《保存/呼び出し・オート値設定画面》



記憶ボタン

- ② 保存/呼び出し・オート値設定画面が表示されます。
記憶ボタンを押します。

③

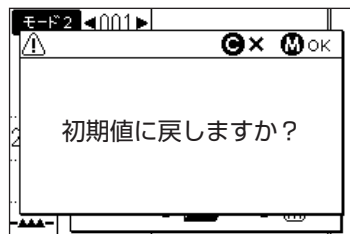


2

数字ボタン「2」

- ③ オート値設定画面が表示されます。
数字ボタン「2」を押します。
「初期値に戻しますか？」と表示されます。

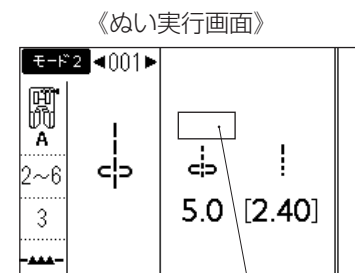
④



記憶ボタン

- ④ 記憶ボタンを押すと、「ピー」とブザーが鳴り、初期値（ぬい実行画面）にもどります。
※ 取り消しボタン「C」を押すと、オート値設定画面にもどります。

⑤

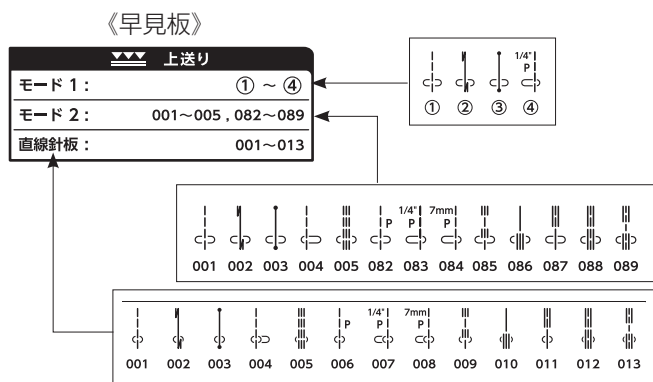


「FS」マークなし

- ⑤ 「FS」マークが消え、初期値にもどります。

※ 変更した全模様のオート値を一括して初期の状態（購入時の設定状態）にもどす方法は、◎ミシンの設定40ページをごらんください。

★上送り押さえの使い方



上布と下布でずれやすい布地や皮など送りにくい布地をぬう場合、上送り押さえを使用するときれいにぬうことができます。

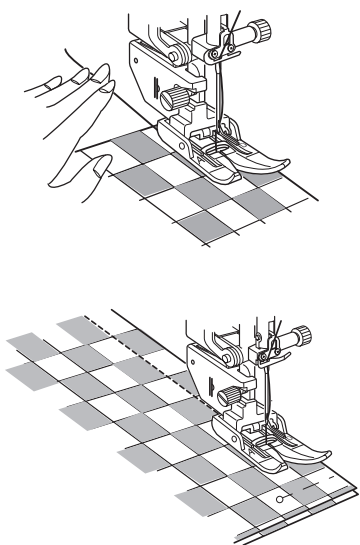
上送り押さえが使用できる模様は、早見板に表示されている左図の模様です。

【ぬい方】

- ① 上送り押さえを取り付けます。
- ※ 上送り押さえの取り付け方は、17 ページをごらんください。
- ② 上糸を押さえの下に通して向こう側に引き出し、ぬいます。

※ しま地や格子じま、プリント地をぬうときは、布地の端と最初のしまをぬい目のはじめのところで注意深くそろえ、ぬい目の線に直角にピンを止め、ぬいます。

※ 直線針板を使うときは、50 ページをごらんください。



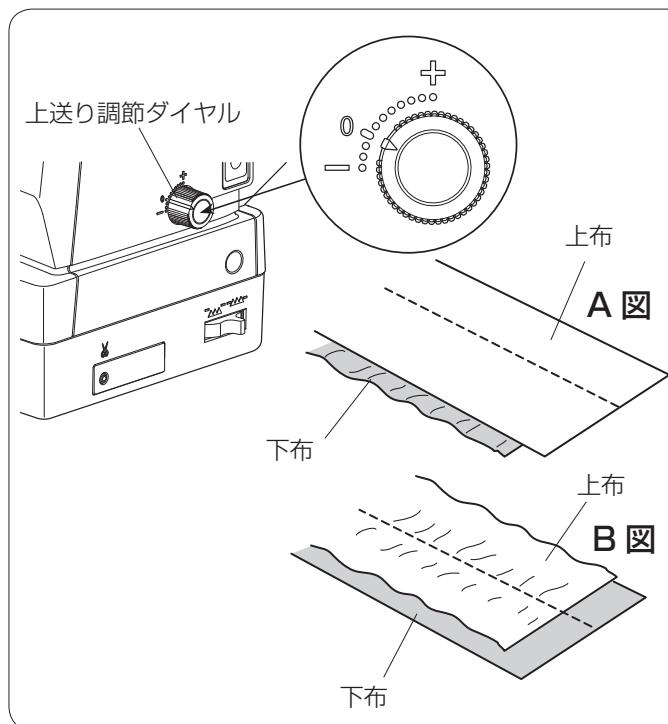
上布と下布がずれる場合

上布と下布でずれる場合は、上送り調節ダイヤルをまわして調節します。

A 図のようにずれる場合は、上送り調節ダイヤルを「+」方向にまわします。

B 図のようにずれる場合は、上送り調節ダイヤルを「-」方向にまわします。

※ 上送り押さえを使用しないときは、必ず上送り調節ダイヤルの位置を「0」の位置にもどしてください。



★ HP：プロフェッショナル直線押さえ・プロフェッショナル直線針板の使い方

プロフェッショナル直線押さえは、付属のプロフェッショナル直線針板と一緒に使います。

針が布にささるときのばたつきがおさえられ、ぬい目が美しく仕上がります。

また、薄地のぬい縮みの防止にも適しています。

《使用できる模様》

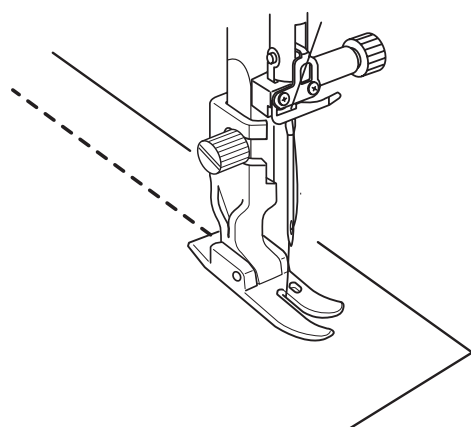


※ 使用できる模様は、プロフェッショナル直線針板専用模様左図になります。

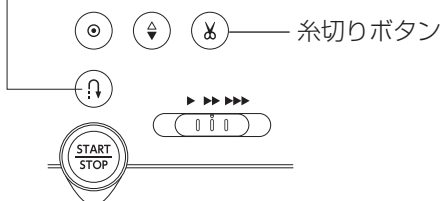
ミシンのセット

- ① 模様番号..... 1 (プロフェッショナル直線模様)
- ② 押さえ..... HP：プロフェッショナル直線押さえ
- ③ 糸調子ダイヤル..... 2～6
- ④ 押さえ圧調節ダイヤル.... 3
- ⑤ プロフェッショナル直線押針板

※ 押さえの取り付けは、18 ページをごらんください。
 ※ 針板の交換方法は、28 ページをごらんください。



返しぬいボタン



【ぬい始め】

① 上糸を押さえの下から向こう側に引き出した状態で布を入れ、糸と布を左手で押さえ、はずみ車を手で手前にまわして最初のぬい位置に針をさします。

② 押さえ上げをさげて、ぬい始めます。

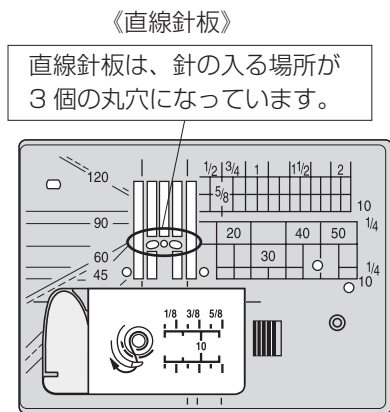
※ ぬい始めのほつれ止めは、返しぬいボタンを押します。

【ぬい終わり】

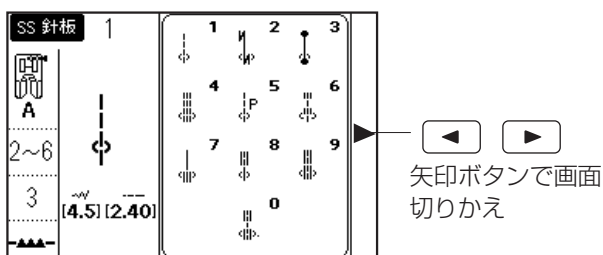
① ぬい終わりの位置で返しぬいボタンを押して数針返しぬいを行い、ミシンを止めます。

② 糸切りボタンを押して糸を切ります。

★直線針板の使い方



《直線針板ぬい実行画面》



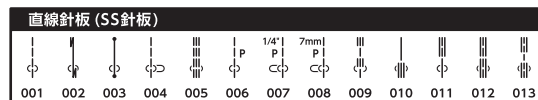
針板の穴の小さい「直線針板」を使用すると、針が布にささるときのばたつきがおさえられ、ぬい目が美しく仕上がります。

直線ぬいの場合、直線針板に交換することをおすすめします。

※ 針板の交換方法は、28 ページをごらんください。

※ 使用できる模様は、直線針板専用模様下図になります。

《使用できる模様》



【模様の選び方】

直線針板を取り付けて、電源を入れると、直線針板ぬい実行画面が表示されます。

数字ボタン 1 ~ 9、0 を押して模様を選びます。

※ 画面の切りかえは、矢印ボタンで行います。

★自動返しぬい

ミシンのセット

- ① 模様番号.....2 (モード 1)
002 (モード 2)
- ② 押さえ.....A : 基本押さえ
- ③ 糸調子ダイヤル2 ~ 6
- ④ 押さえ圧調節ダイヤル3

ぬい始めとぬい終わりにしっかりしたほつれ止め（返しぬい）を自動的に行うときに使います。

【ぬい始め】

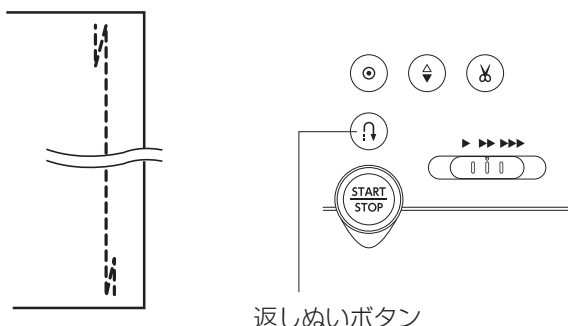
ミシンをスタートさせると、ぬい始めに自動的に数針返しぬいを行います。

【ぬい終わり】(スタート/ストップボタン使用時)

ぬい終わりの位置にきたらミシンを停止し（または運転したまま）、返しぬいボタンを一度押します。その位置から自動的に数針返しぬいを行ってミシンが停止します。

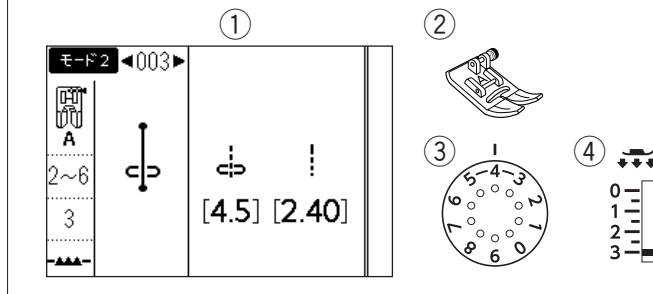
【ぬい終わり】(フットコントローラー使用時)

ぬい終わりの位置にきたらミシンを停止し（または運転したまま）、返しぬいボタンを一度押します。ミシンを停止してからボタンを押した場合は、再度フットコントローラーを踏むと、その位置から自動的に数針返しぬいを行ってミシンが停止します。運転したままボタンを押した場合は、その位置から自動的に数針返しぬいを行ってミシンが停止します。

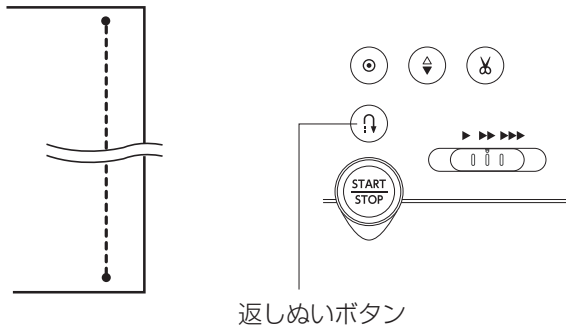


★自動止めぬい

ミシンのセット



- ① 模様番号.....3 (モード1)
003 (モード2)
- ② 押さえ.....A: 基本押さえ
- ③ 糸調子ダイヤル.....2 ~ 6
- ④ 押さえ圧調節ダイヤル3



ぬい始めとぬい終わりに目立たないほつれ止め (止めぬい) を自動的に行うときに使います。

【ぬい始め】

ミシンをスタートさせると、ぬい始めに自動的に数針止めぬいを行います。

【ぬい終わり】(スタート/ストップボタン使用時)

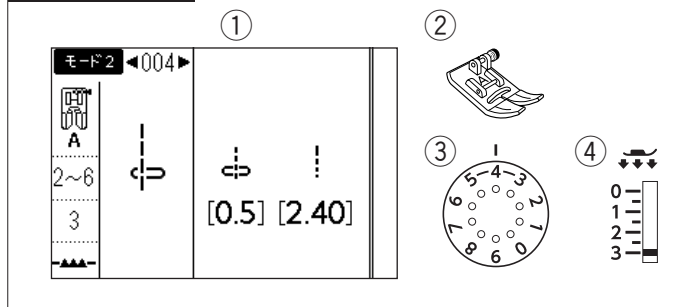
ぬい終わりの位置にきたらミシンを停止し (または運転したまま)、返しぬいボタンを一度押します。その位置で自動的に数針止めぬいを行ってミシンが停止します。

【ぬい終わり】(フットコントローラー使用時)

ぬい終わりの位置にきたらミシンを停止し (または運転したまま)、返しぬいボタンを一度押します。ミシンを停止してからボタンを押した場合は、再度フットコントローラーを踏むと、その位置で自動的に数針止めぬいを行ってミシンが停止します。運転したままボタンを押した場合は、その位置で自動的に数針止めぬいを行ってミシンが停止します。

★直線ぬい (左針位置)

ミシンのセット



- ① 模様番号.....004 (モード2)
- ② 押さえ.....A: 基本押さえ
- ③ 糸調子ダイヤル.....2 ~ 6
- ④ 押さえ圧調節ダイヤル3

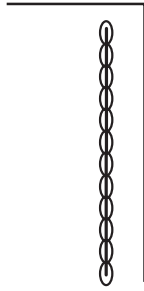


端ぬいや、薄物ぬいに使います。

★三重ぬい

ミシンのセット

| | | | | | |
|--|----------|----------|----------|----------|---|
| | <p>①</p> | <p>②</p> | <p>③</p> | <p>④</p> | <p>① 模様番号.....005 (モード2)</p> <p>② 押さえ.....A：基本押さえ</p> <p>③ 糸調子ダイヤル.....2～6</p> <p>④ 押さえ圧調節ダイヤル....3</p> |
|--|----------|----------|----------|----------|---|

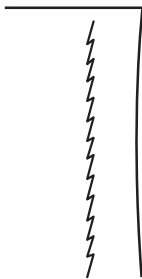


丈夫なぬい目で、厚い布や袋物、ズボンなどしっかりとぬい合わせたい場所に使います。

★伸縮ぬい (ニットステッチ)

ミシンのセット

| | | | | | |
|--|----------|----------|----------|----------|---|
| | <p>①</p> | <p>②</p> | <p>③</p> | <p>④</p> | <p>① 模様番号.....009、010 (モード2)</p> <p>② 押さえ.....A：基本押さえ</p> <p>③ 糸調子ダイヤル.....3～6</p> <p>④ 押さえ圧調節ダイヤル....3</p> |
|--|----------|----------|----------|----------|---|



布が伸びても糸が切れにくい伸縮性のあるぬい目で、ニット地のぬい合わせなどに使います。

※ 模様 は、薄物のニット地などに使います。

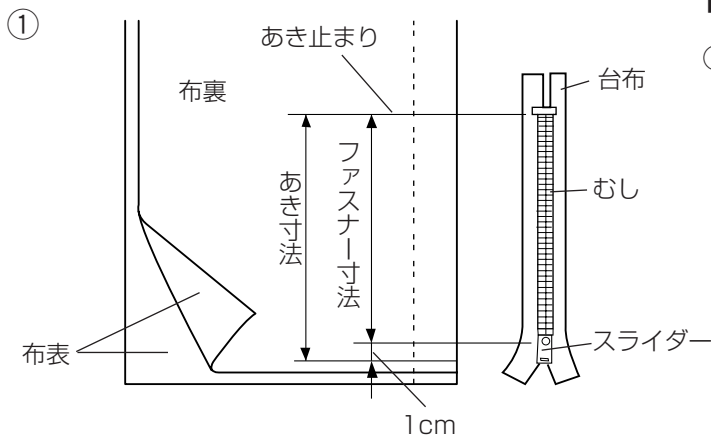
※ 模様 の場合、ぬい目の幅調節ダイヤルでの調節は、他の直線状模様と異なり、ぬい位置ではなく、ぬい目の幅の調節になります。

※ 模様 のぬい目のイラストの右に書かれている「M」「L」は、ぬい目の幅をかえたときの基準位置です。ぬい目の幅の基準位置は、60 ページをごらんください。

●ファスナー付け

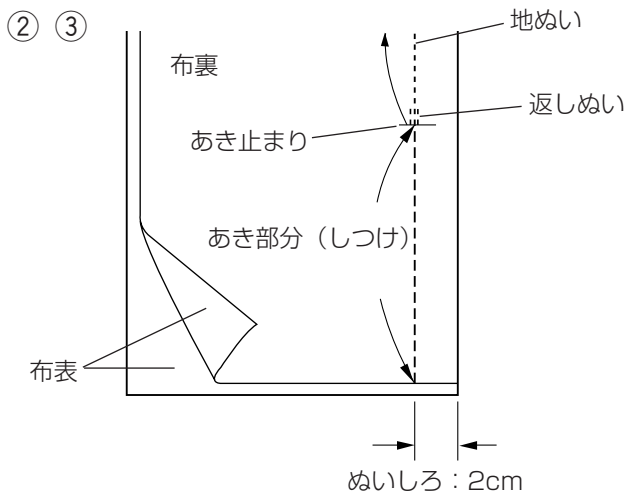
ミシンのセット

| | | | | |
|----------|----------|----------|----------|--|
| <p>①</p> | <p>②</p> | <p>③</p> | <p>④</p> | <p>① 模様番号 1 (モード1) 001 (モード2)</p> <p>② 押さえ A : 基本押さえ E : ファスナー押さえ</p> <p>③ 糸調子ダイヤル 2 ~ 6</p> <p>④ 押さえ圧調節ダイヤル ... 3</p> |
|----------|----------|----------|----------|--|



【例】左脇あきのぬい方

① ファスナーのあき寸法を確かめます。
 あき寸法はファスナー寸法に 1cm プラスした寸法です。

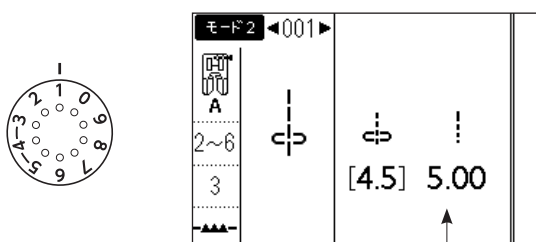


② 布を中表に合わせて、あき止まりまで地ぬいをします。
 ※ 地ぬいの部分は、A : 基本押さえを使ってぬってください。

③ あき部分のしつけをします。

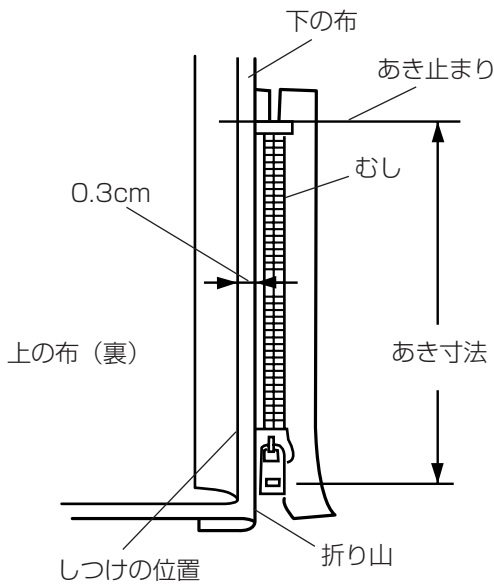
※ しつけは、ほどこきやすくするために、ぬい目のあかさ「5.0」(約 0.5cm)、糸調子「1」くらいでぬい(しつけ)ます。

しつけが終わったら、ぬい目のあかさおよび糸調子を
 もとの値にもどしてください。(糸調子は「4」)



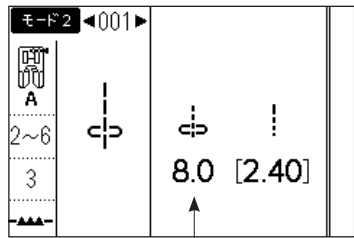
ぬい目のあかさの値を
 「5.0」に調節する。

④



④ めいしろを割り、下の布のめいしろを0.3cm出してアイロンで折り目をつけ、折り山をむしのきわにあてます。

⑤



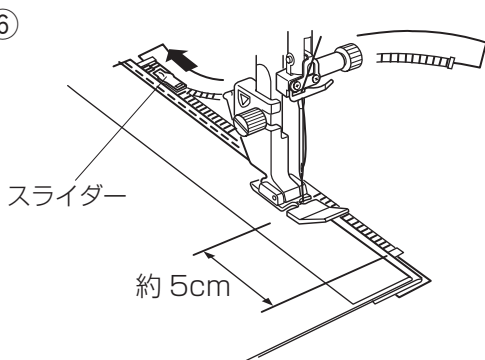
めい目の幅の値を「7.5」～「8.5」に調節する。

⑤ めい目の幅「7.5」～「8.5」のあいだに設定し、E：ファスナー押さえに付けかえ、むしのきわを押さえの右側面にあて、あき止まりからファスナーの左側をぬいます。

※ めい始めのほつれ止めは数針返しぬいをします。

※ 必ず、めい目の幅調節ダイヤルでめい目の幅（針位置）を「7.5」～「8.5」のあいだに設定し、針が、押さえやファスナーにあたらないことを確認してください。

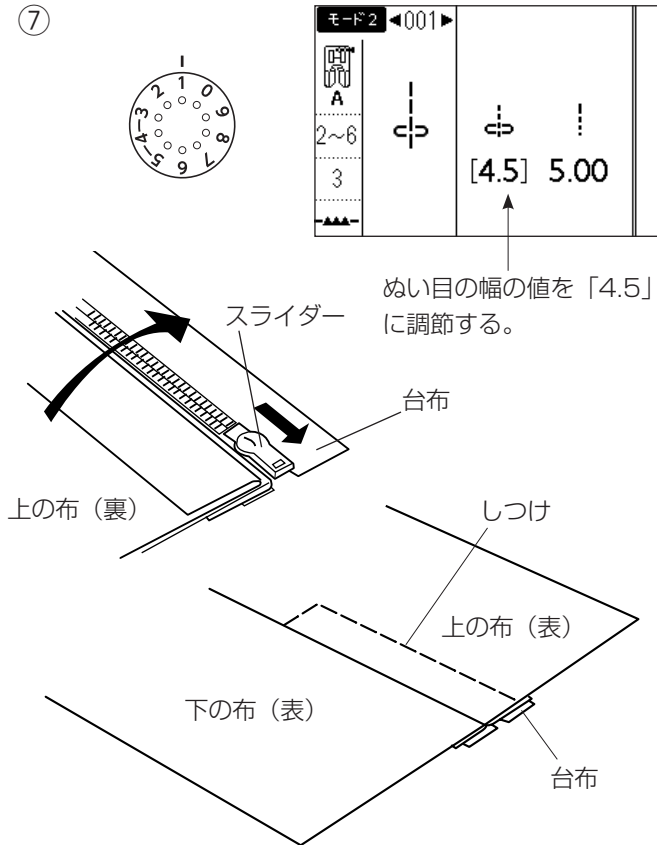
⑥



⑥ ファスナーの端から約5cmほど手前でミシンを停止し、針を布にさした状態で押さえ上げをあげ、スライダを押さえの向こう側にずらし、押さえ上げをさげて残りの部分をぬいます。

※ めい終わりのほつれ止めは数針返しぬいをします。

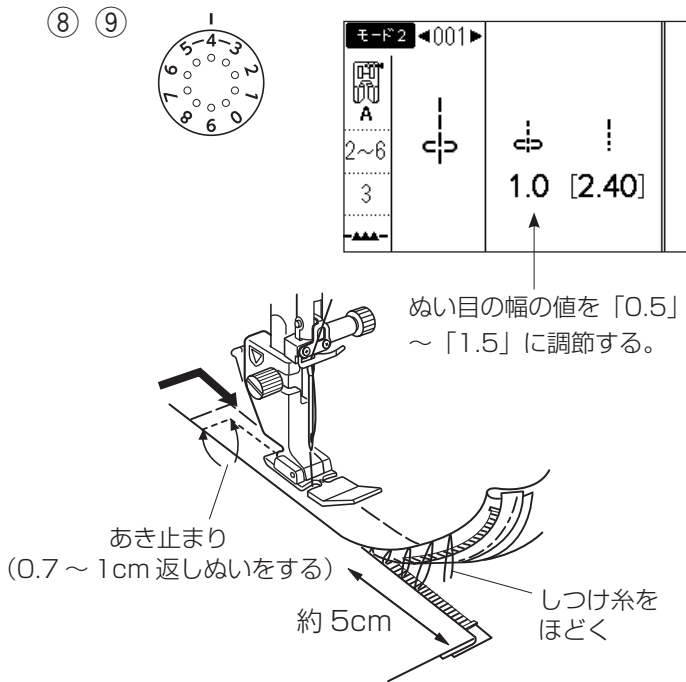
⑦



- ⑦ ファスナーを閉じ、スライダを上にしたおし、上の布をファスナーの上にかぶせます。かぶせた布と台布をしつけて止めます。ぬい目の幅を「4.5」(オート値)にもどし、A：基本押さえに付けかえ、かぶせた布と台布をしつけて止めます。

- ※ しつけは A：基本押さえを使用します。しつけは、ほどこきやすくするために、ぬい目のあかさ「5.00」(約 0.5cm)、糸調子「1」くらいでぬい(しつけ)ます。しつけが終わったら、ぬい目のあかさおよび糸調子をもとの値にもどしてください。(糸調子は「4」)

⑧ ⑨

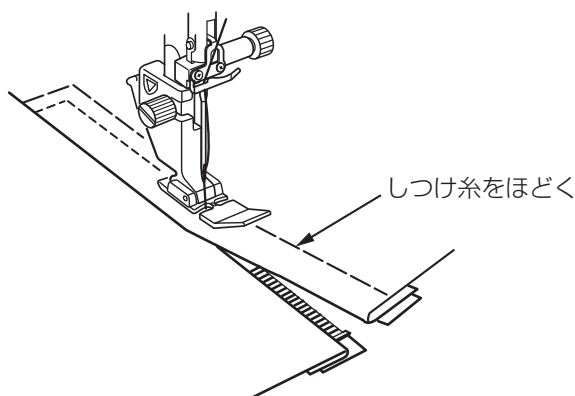


- ⑧ ぬい目の幅 (針位置) を「0.5」～「1.5」のあいだに設定し、E：ファスナー押さえに付けかえ、上の布のあき止まりを 0.7～1cm ほど返しぬいしてから、むしのきわを押さえの左側面にあて、ファスナーの右側をぬいます。

- ※ 必ず、ぬい目の幅調節ダイヤルでぬい目の幅 (針位置) を「0.5」～「1.5」のあいだに設定し、針が、押さえやファスナーにあたらないことを確認してください。

- ⑨ ファスナーの上側を約 5cm ほど残したところでミシンを停止し、針を布にさした状態で押さえ上げをあげ、手順③でぬったしつけ糸をほどこき、スライダを押さえの向こう側にずらします。

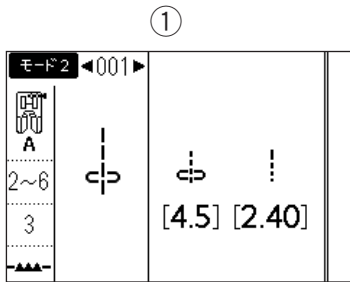
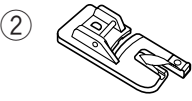
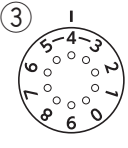

⑩



- ⑩ 押さえ上げをさげて残りの部分をぬいます。ぬい終わったら手順⑦でぬったしつけ糸をほどこきます。

●三つ巻きぬい

ミシンのセット

| | | |
|--|--|--|
|  <p>①</p> |  <p>②</p> | <p>① 模様番号.....1 (モード1) 001 (モード2)</p> |
| |  <p>③</p> | <p>② 押さえ.....D : 三つ巻き押さえ</p> |
| |  <p>④</p> | <p>③ 糸調子ダイヤル.....2 ~ 6</p> <p>④ 押さえ圧調節ダイヤル3</p> |

- ①
 

約0.3cm 約6cm

① 布端約6cmの長さを、約0.3cmの幅で三つ折りにします。

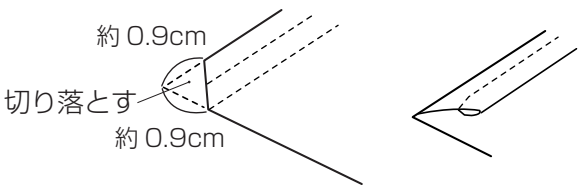
※ 折り目がつきにくい布には、アイロンで折り目をつけるとぬいやすくなります。
- ②
 

② ぬい始めの位置に針をさして押さえをさげ、上糸と下糸をそろえて向こう側に引きながら1~2cmぬってミシンを止めます。
- ③
 

押さえのうす

③ 針を布にさした状態で押さえをあげ、布の三つ折りの部分を開いて、布端を押さえのうすの中に巻き込みます。
- ④
 

④ 押さえをさげ、布端を立てて、左寄りに引きぎみに持ちあげながらぬいます。



約0.9cm

切り落とす

約0.9cm

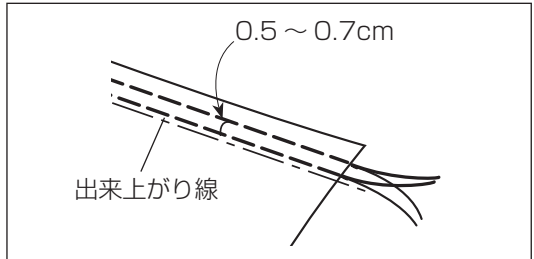
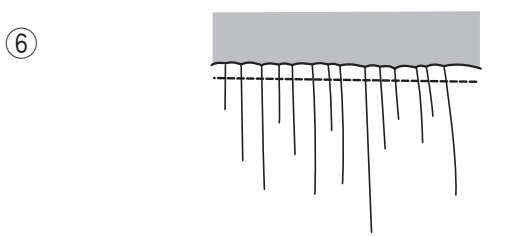
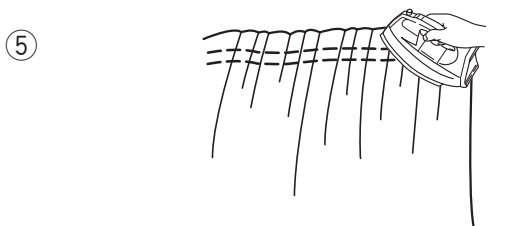
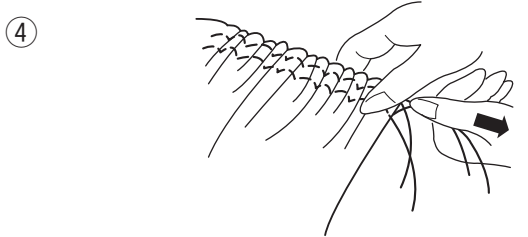
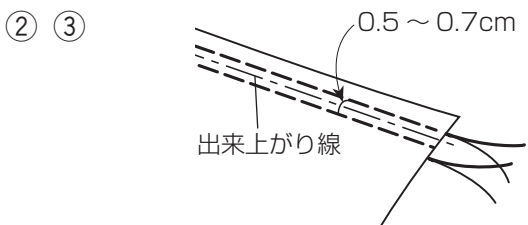
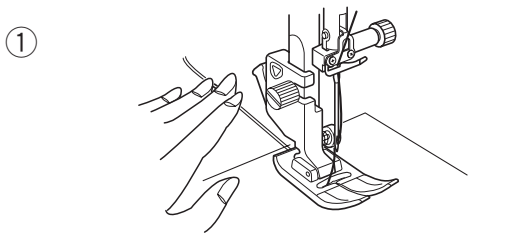
【布端の始末】

三つ巻きぬいの重なる角の部分は、厚みをうすくするために布端を切り落として折り合わせます。

●ギャザー

ミシンのセット

| | | |
|---|---|--------------------------------------|
| ① | ② | ① 模様番号..... 1 (モード 1) 001 (モード 2) |
| ③ | ④ | ② 押さえ..... A: 基本押さえ |
| | | ③ 糸調子ダイヤル..... 1 |
| | | ④ 押さえ圧調節ダイヤル.... 3 |



① 上糸と下糸を押さえの下から向こう側に約 10cm ほど引き出しておきます。
 ※ 下糸を針板の上に引き出す方法は、(27 ページ) をご覧ください。

② 糸調子を「1」にし、ぬい目のあかさ「4.0」～「5.0」の直線を図のように出来上がり線を挟んで 2 本平行にしつけをぬいます。

③ 押さえ上げをあげて、布を引き出し、上糸と下糸を 5cm くらい残して切ります。
 (糸切りボタンで切らないでください。)

④ ぬい始めの糸を結んでから、ぬい終わりの下糸を 2 本一緒に引いて、布を縮め、糸を結びます。

⑤ ギャザーを整え、アイロンがけします。

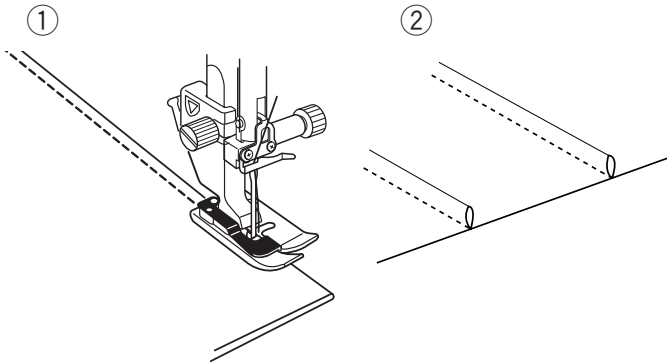
⑥ 糸調子を「4」、ぬい目のあかさ「2.4」にもどし、出来上がり線をぬって、しつけを取ります。

※ しつけを取ったときの針穴が気になる場合は、出来上がり線の上側に 2 本しつけをして、ギャザーを寄せます。

●ピンタック

ミシンのセット

① 模様番号.....004 (モード2)
 ② 押さえ.....G:まつりぬい押さえ
 ③ 糸調子ダイヤル.....2~6
 ④ 押さえ圧調節ダイヤル....3

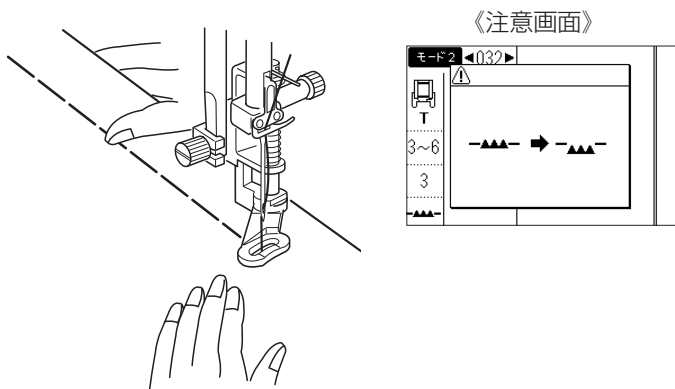


- ① 布の折り山をガイドに合わせてぬいます。
 ② ぬい終わったら布を開いて、片返しにし、アイロンで整えます。

●しつけぬい

ミシンのセット

① 模様番号.....012 (モード2)
 ② 押さえ.....PD:H:フリーキルト押さえ
 ③ 糸調子ダイヤル.....1~3
 ④ 押さえ圧調節ダイヤル....1
 ⑤ ドロップつまみ.....さげる位置 (30ページ参照)



- ※ PD:H:フリーキルト押さえの取り付け方法は、18ページをごらんください。
 ※ 送り歯をあげた状態になっているときは、注意画面が表示され、ミシンがスタートできないようになっています。送り歯をさげてからぬってください。

しつけぬいの模様は、ミシンをスタートさせても布は送られずに、1針ぬって停止します。(フットコントローラーの場合も、踏み続けていても1針ぬって停止します。) ミシンの停止時の針位置設定が下位置停止になっていても針は上の位置で停止します。お好みの間かくを、1針ずつ手で布を移動させてぬうことができます。

フットコントローラーの利用

しつけぬいは、フットコントローラーを使用すると両手がつかえて便利です。

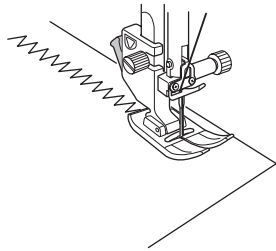
フットコントローラー

【ぬい方】
 押さえ上げをさげ、布を前後にピンと張ってぬいます。1針ぬってミシンが停止したら、ぬい目をつまんで布を向こう側に必要なだけ引き出し、繰り返しぬいます。

●ジグザグぬい

ミシンのセット

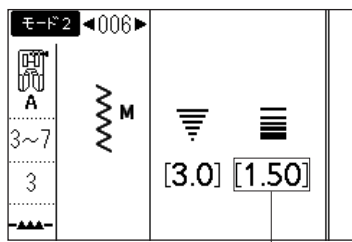
| | |
|--|--|
| | <p>① 模様番号.....005 (モード 1) 006,007,008 (モード 2)</p> <p>② 押さえ.....A：基本押さえ</p> <p>③ 糸調子ダイヤル3～7</p> <p>④ 押さえ圧調節ダイヤル3</p> |
|--|--|



伸縮性のある布（ニット、ジャージーなど）には裏に芯地を貼るときれいにぬえます。

はぎ合わせや、あらさを細かくして飾りぬいやアップリケなど多目的用途に使用できます。

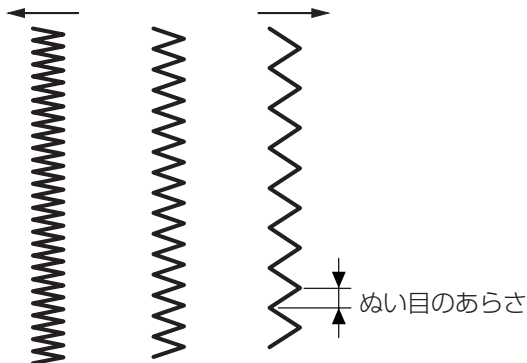
★ぬい目のあらさのかえ方



ぬい目のあらさの値



ぬい目のあらさ調節ダイヤル



ぬい目のあらさ調節ダイヤルでぬい目のあらさをかえることができます。

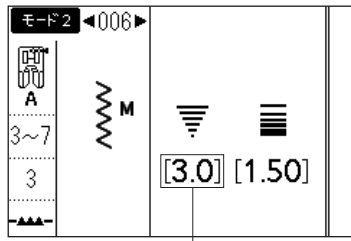
ぬい目のあらさ調節ダイヤルを右にまわすと表示されている数値が大きくなり、ぬい目のあらさがあらかくなります。

ぬい目のあらさ調節ダイヤルを左にまわすと表示されている数値が小さくなり、ぬい目のあらさ細かくなります。

※ 画面の数値に [] が付いている場合がオート値（電源を入れたとき、ミシンに自動的に設定されている値）です。数値を変更すると [] が消えます。

※ 画面の数値は、ぬい目のあらさの目安をミリメートルで表示しています。

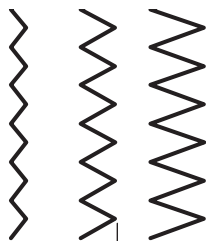
★ぬい目の幅のかえ方



ぬい目の幅の値



ぬい目の幅調節ダイヤル



ぬい目の幅

ぬい目の幅調節ダイヤルでぬい目の幅をかえることができます。


ぬい目の幅調節ダイヤルを右にまわすと表示されている数値が大きくなり、ぬい目の幅が広がります。


ぬい目の幅調節ダイヤルを左にまわすと表示されている数値が小さくなり、ぬい目の幅がせまくなります。


※ 画面の数値に [] が付いている場合がオート値（電源を入れたとき、ミシンに自動的に設定されている値）です。数値を変更すると [] が消えます。

※ 画面の数値は、ぬい目のあかさの目安をミリメートルで表示しています。


ぬい目の幅の基準位置

模様  の例
006
(中針位置基準)

模様  の例
007
(左針位置基準)

模様  の例
008
(右針位置基準)



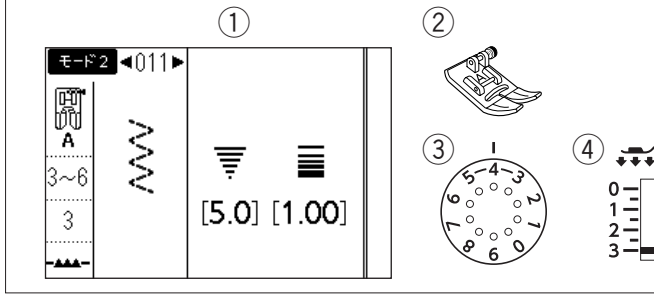
早見板に表示されている模様  などのように、ぬい目のイラストの右に書かれている「M」「L」「R」は、ぬい目の幅をかえたときの基準位置を示し、「M」は中針位置を基準（固定）にした模様で、ぬい目の幅をかえたときに、中央針位置を基準（固定）に左右に幅が変化します。

同様に、「L」は左針位置を基準（固定）にした模様で、左針位置を基準（固定）に右に幅が変化し、「R」は右針位置を基準（固定）にした模様で、右針位置を基準（固定）に左に幅が変化します。

●かがりぬい

★トリコットぬいのたち目かがり

ミシンのセット



- ① 模様番号.....006 (モード 1)
011 (モード 2)
- ② 押さえ.....A：基本押さえ
- ③ 糸調子ダイヤル.....3～6
- ④ 押さえ圧調節ダイヤル3

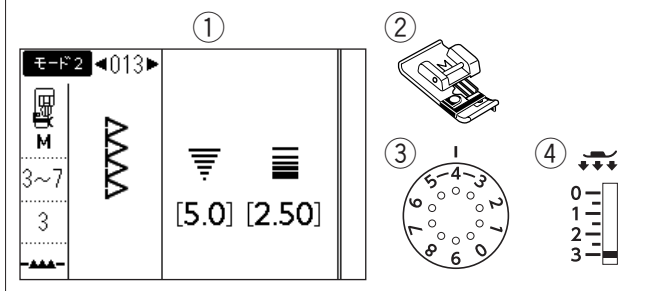


ほつれやすい布や伸縮性のある布のほつれ止め、布端の反り防止などに使います。

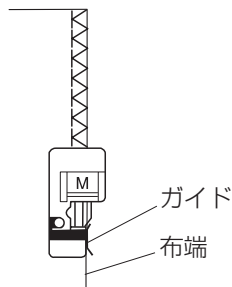
ぬいしろを少し多めにとってぬい、余分なところをぬい目近くで切り落とします。

★かがりぬい 1

ミシンのセット



- ① 模様番号.....013 (モード 2)
- ② 押さえ.....M：縁かがり押さえ
- ③ 糸調子ダイヤル.....3～7
- ④ 押さえ圧調節ダイヤル3

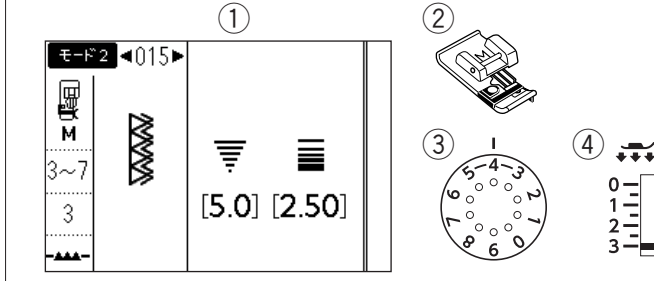


普通地、平織り 2 枚に適しています。
地ぬいをかねたかがりぬいで、たち目のほつれ止めに使います。

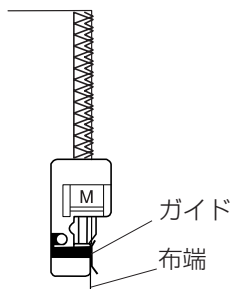
布端を押さえのガイドにあててぬいます。
※ ぬい目の幅は調節できません。

★かがりぬい 2

ミシンのセット



- ① 模様番号.....015 (モード 2)
- ② 押さえ.....M：縁かがり押さえ
- ③ 糸調子ダイヤル.....3～7
- ④ 押さえ圧調節ダイヤル3



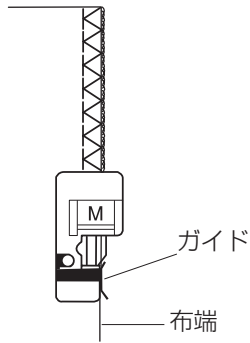
普通の布や厚い布、およびほつれやすい布のしっかりした布端をかがるときに使います。

布端を押さえのガイドにあててぬいます。
※ ぬい目の幅は調節できません。

★かがりぬい3

ミシンのセット

| | | | | | |
|--|--|--|--|--|---|
| | | | | | <p>① 模様番号.....016 (モード2)</p> <p>② 押さえ.....M：縁かがり押さえ</p> <p>③ 糸調子ダイヤル.....6～8</p> <p>④ 押さえ圧調節ダイヤル....3</p> |
|--|--|--|--|--|---|



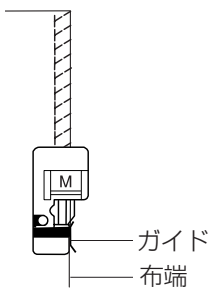
オーバーロックのぬい目に似ていて、布端がほつれやすい布地のかがりぬいに使います。
 布端を押さえのガイドにあててぬいます。
 ※ ぬい目の幅は調節できません。

★ニットステッチ

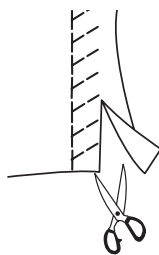
ミシンのセット

| | | | | | |
|--|--|--|--|--|---|
| | | | | | <p>① 模様番号.....014 (モード2)</p> <p>② 押さえ.....M：縁かがり押さえ A：基本押さえ</p> <p>③ 糸調子ダイヤル.....3～6</p> <p>④ 押さえ圧調節ダイヤル....3</p> |
|--|--|--|--|--|---|

《M：縁かがり押さえ使用》



《A：基本押さえ使用》



伸縮性布地（ニット地など）のかがりぬいに使います。

縁かがり押さえを使用する場合は、布端を押さえのガイドにあててぬいます。

基本押さえを使用する場合は、ぬいしろを少し多めにとってぬい、余分なところをぬい目近くで切り落とします。

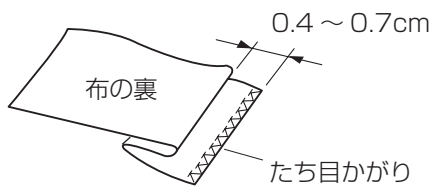
●まつりぬい

ミシンのセット

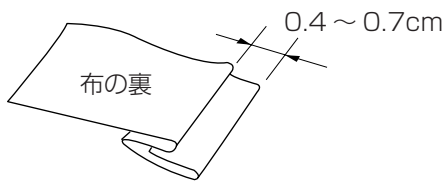
| | | | | |
|--|--|--|--|--|
| | | | | <p>① 模様番号.....018 (モード2) 019 (モード2)</p> <p>② 押さえ.....G : まつりぬい押さえ</p> <p>③ 糸調子ダイヤル.....1 ~ 4 模様番号018 (モード2) 3 ~ 6 模様番号019 (モード2)</p> <p>④ 押さえ圧調節ダイヤル3</p> |
|--|--|--|--|--|

- ※ スカートやワンピースなどの裾のまつりができます。
- ※ 模様番号019 (モード2) は、伸縮性の布に使います。

〔厚い布の場合〕



〔薄い布、普通の布の場合〕

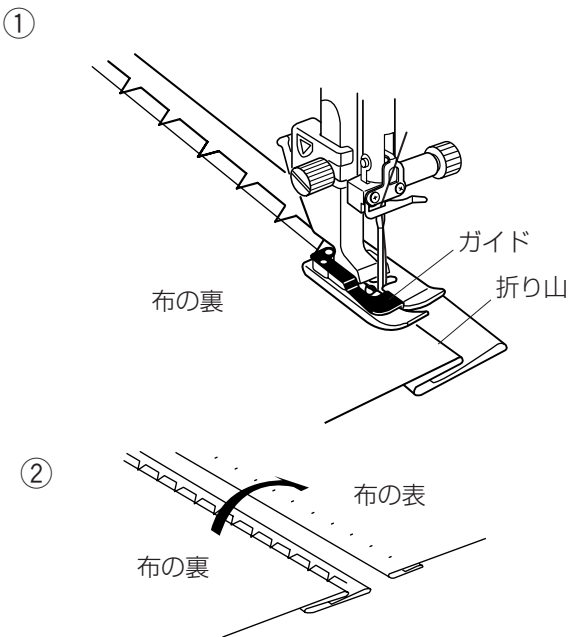


【布の折り方】

布を折るときは、裏を表にして下に折り込み、布端を0.4 ~ 0.7cm ほどはみださせます。

※ 厚い布の場合は、布端にたち目かがりをかけてから折ります。

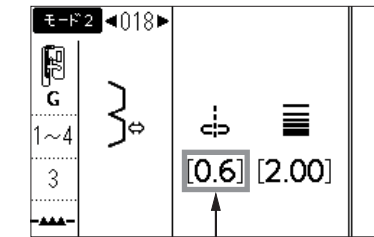
【ぬい方】



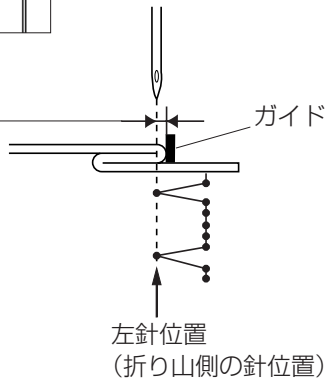
① 折り山をガイドに合わせてぬいます。

※ 針が折り山から外れないように、また必要以上に針が折り山にかかりすぎないように、ぬい目の幅調節ダイヤルで左針位置を調節してください。
(左針位置の調節方法は、64 ページをごらんください。)

② ぬい終わったら布を広げます。



押さえのガイドから
左針位置（折り山側の
針位置）までの距離



【左針位置の調節方法】

模様 と の場合、ぬい目の幅調節ダイヤルは、模様を左右に移動させて、左側の針位置（折り山側の針位置）を調節できます。（模様の幅をかえることはできません。）布の厚さなどによって、針が折り山にかかりすぎたり、かかりが少なかったりする場合に調節してください。

画面のぬい目の幅の数値は、押さえのガイドから左針位置（折り山側の針位置）までの距離を目安としてミリメートルで表示しています。

ぬい目の幅調節ダイヤル



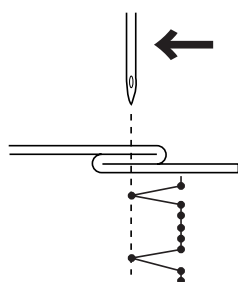
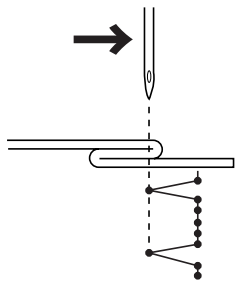
ぬい目の幅調節ダイヤルを左へまわすと、針位置が右に移動

ぬい目の幅調節ダイヤル



ぬい目の幅調節ダイヤルを右へまわすと、針位置が左に移動

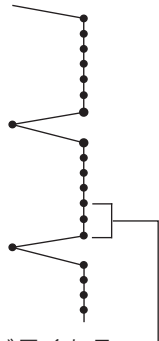
- ぬい目の幅調節ダイヤルを左へまわすと、表示されている数値が小さくなり、左針位置が右へ移動します。（模様が右へ移動します。）
- ぬい目の幅調節ダイヤルを右へまわすと、表示されている数値が大きくなり、左針位置が左へ移動します。（模様が左へ移動します。）



模様 だけをぬった場合



模様 と を組み合わせてぬった場合



直線部分のぬい目が長くなる
(2針増える)

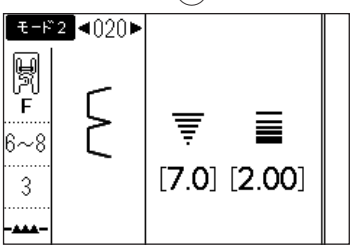

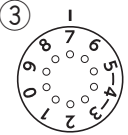

直線部分のぬい目数を増やしてぬう方法

模様 とつなぎ模様 の模様を組合わせ記憶してぬうと、直線部分のぬい目を増やして直線部分だけ長くぬうことができます。

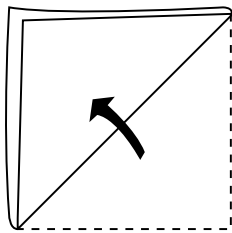
※ つなぎ模様の使い方は、102 ページをごらんください。

●シエルタック

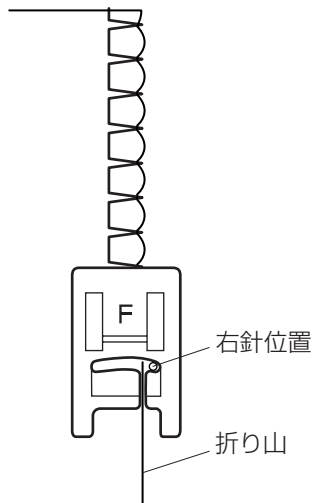
ミシンのセット

| | | |
|--|--|---|
|  <p>①</p> |  <p>②</p> | <p>① 模様番号.....020 (モード2)</p> <p>② 押さえ.....F: サテン押さえ</p> <p>③ 糸調子ダイヤル.....6~8</p> <p>④ 押さえ圧調節ダイヤル....3</p> |
|  <p>③</p> |  <p>④</p> | |

①



②

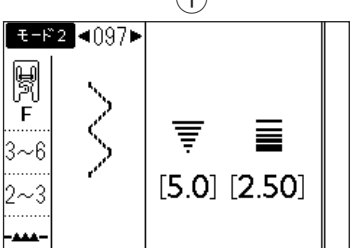

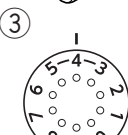
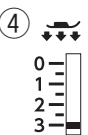


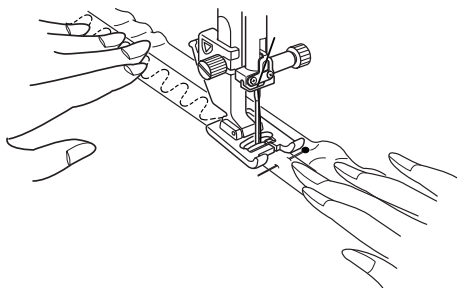
① 布をバイヤスに2つ折りにします。

② 右側の針位置が布の折り山のきわ(布の外側)になるように布をガイドしてぬいます。

●ゴムひも付け

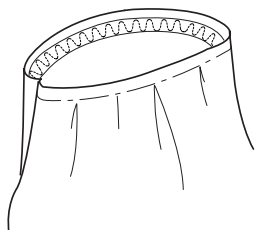
ミシンのセット

| | | |
|--|--|---|
|  <p>①</p> |  <p>②</p> | <p>① 模様番号.....097 (モード2)</p> <p>② 押さえ.....F: サテン押さえ</p> <p>③ 糸調子ダイヤル.....3~6</p> <p>④ 押さえ圧調節ダイヤル....2~3</p> |
|  <p>③</p> |  <p>④</p> | |



① 布の裏側にまち針でゴムひもを等間かくに数箇所止めます。
(ゴムひもは、伸ばした状態で等間かくに止めます。)


② ゴムひもを布と同じ長さに両手で伸ばしながら、ゴムひもの上をぬいます。



●ボタンホール

★ボタンホールの種類と用途

| | |
|---|---|
|  023 | スクエアボタンホール 普通の布から厚い布まで一般的な使用目的のボタンホールです。 |
|  024 | メモリーボタンホール（スクエアボタンホール） 自分でボタンホールの長さを決めてぬうボタンホールです。 2.5cm以上の長いボタンホールをぬうことができます。 |
|  025 | 片ラウンドボタンホール 薄い布から普通の布に使います。ブラウス、子供服でよく使われます。 |
|  026 | 両ラウンドボタンホール 薄い布に使います。薄手のブラウスでよく使われます。 |
|  027 028 029 | キーホールボタンホール 普通の布から厚い布に使われる一般的なボタンホールです。 大きく厚めのボタンはキーホールボタンホールがよく使われます。 ※ 模様  は、片方の口を補強したボタンホールです。 029 |
|  030 031 | ニットボタンホール 伸縮性のある布に適したボタンホールです。 そのぬい目の形から飾りボタンホールとしても使われます。 |

模様  (メモリーボタンホール) を除くボタンホールは、R：ボタンホール押さえにボタンをセットするだけで自動的に最適なボタンホールをぬうことができます。(ボタンホールの長さは、使用するボタンをボタンホール押さえのボタン受け台にはさみ込むと自動的に決まります。)

※ ボタンの直径が 1.0 ～ 2.5cm までのボタンホールができます。

※ ボタンホールは、模様が完成するとほつれ止めの止めぬいを行って自動的にミシンが停止します。(ミシン停止時の針位置設定が下位置停止になっていても針は上の位置で停止します。)

ボタンホールの注意事項

- ・ 伸縮性のある布は、伸びないように裏に芯地を貼ってください。
- ・ 使用する布のはぎれなどで試しぬいをして、正しくぬえることを確認してください。
- ・ ボタンホールをぬう場所に、必ずマーク（しるし）を付けてください。
- ・ 厚物の段部や安定して布送りできない布などをぬうときには、ボタンホール安定板を使用してください。

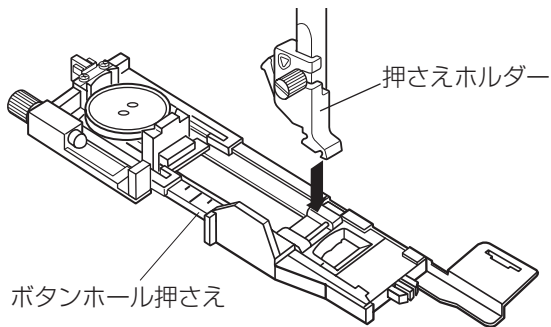
★スクエアボタンホール

ミシンのセット

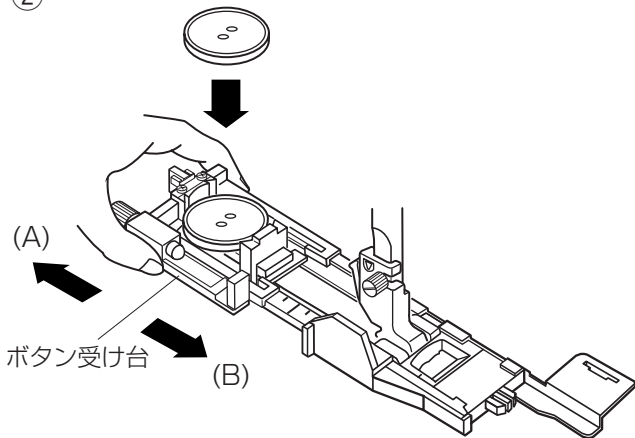
① 模様番号.....023 (モード 2)
 ② 押さえ.....R: ボタンホール押さえ
 ③ 糸調子ダイヤル.....1 ~ 5
 ④ 押さえ圧調節ダイヤル...3
 ※ ボタンホール切りかえレバー.....さげます。

ボタンホール切りかえレバー

- ① 押さえホルダーにボタンホール押さえを取り付けます。
 ※ 押さえの取り付け方は、15 ページをごらんください。

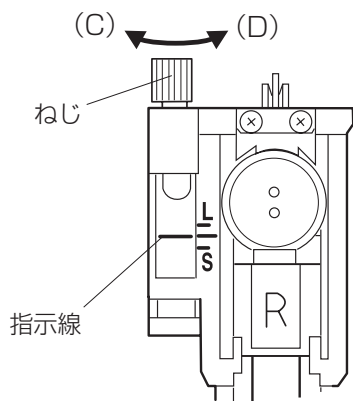


- ② ボタンホール押さえのボタン受け台を (A) 方向へ引き、ボタンをのせて (B) 方向にもどしてはさみ込みます。

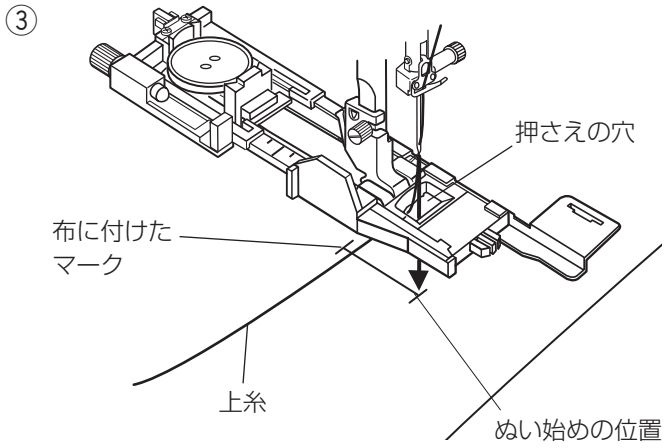


ボタンホール長さの微調節方法

ボタンホールを少し長めにぬいたいときは、ねじを (C) 方向にまわして、指示線を「L」側にします。
 ボタンホールを少し短めにぬいたいときは、ねじを (D) 方向にまわして、指示線を「S」側にします。

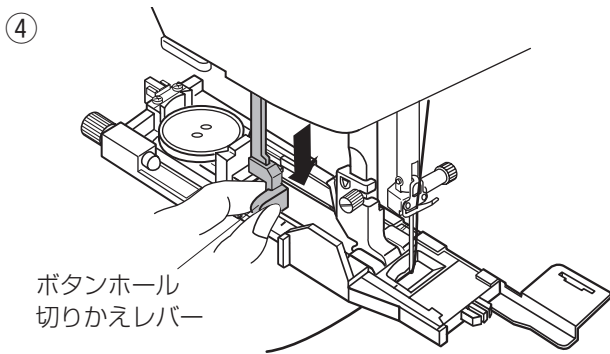


※ ぬい終わったあとは、ねじをもとの位置 (指示線を目盛りの中央の位置) にもどしてください。



③ 押しあがりあげをあげて上糸を押しあがりの穴から下に通り、横に引き出します。
上糸を横に引き出した状態で布を入れ、布に付けたマークのぬい始めの位置に針をさし、押しあがりあげをさげます。

※ 押しあがりあげをさげるとき、押しあがり前部のストッパーを向こう側に軽く押しつけた状態でさげ、ストッパーと押しあがりスライダーにすきまがあかないように注意してください。
(〔ぬい始める前の確認〕 下記参照)



④ ボタンホール切りかえレバーを止まるまでいっぱい引き上げます。

布に付けたマーク

スタートマーク

※ スタートマークは、ぬい位置を合わせるための目安です。

位置ずれ

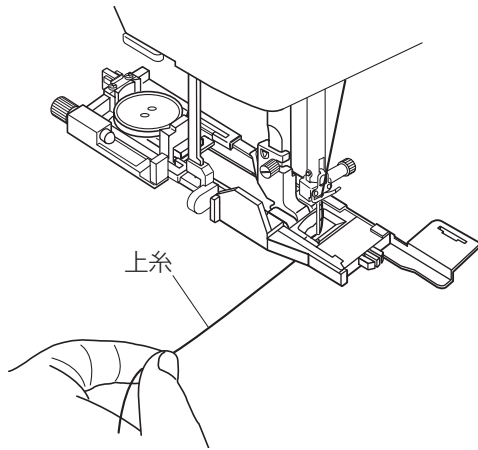
ぬい始めの位置

ぬい始める前の確認

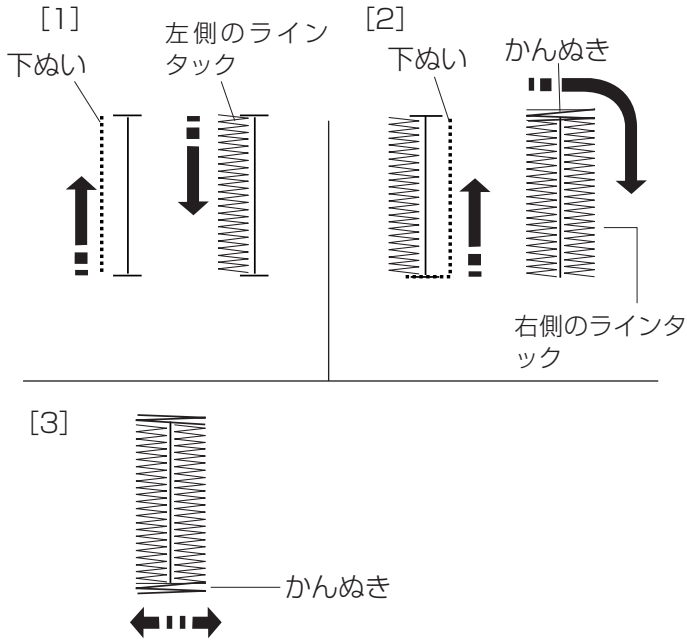
ぬい始める前に押しあがりスライダーとストッパーのあいだにすきまがないことを確認してください。
すきまがあると、ぬい終わったときにぬい位置がずれる場合があります。

| 《片ラウンド ボタンホールの場合》 | 《キーホールボタンホール の場合》 |
|--|--|
| <p>布に付けたマーク</p> <p>位置ずれ</p> <p>ぬい始めの位置</p> | <p>布に付けたマーク</p> <p>位置ずれ</p> <p>ぬい始めの位置</p> |

⑤



⑤ 上糸を横に軽く引いて持ち、ミシンをスタートさせます。(ぬい始めから数針ぬったあとは、糸から手をはなしてください)
ボタンホールをぬい終わったところでほつれ止めの止めぬいを行って、自動的にミシンが停止します。



【ぬい順序】

- [1] 下ぬいをし、左側のラインタックをぬいます。
- [2] 下ぬいをし、かんぬきと右側のラインタックをぬいます。
- [3] かんぬきと止めぬいを行って自動的にミシンが停止します。

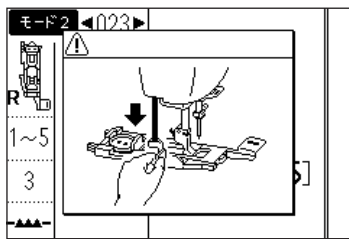
【ボタンホールの重ねぬい】

ボタンホールをぬい終わったところで押さえ上げをあげずにもう一度ミシンをスタートさせると、ボリューム感のあるボタンホールの「重ねぬい」ができます。

「重ねぬい」は、必ず押さえ上げをあげずにそのままの状態でもミシンを再スタートさせてください。

※ ボタンホールの重ねぬいで送りがつまるときには、ぬい目のあらさを大きくしてぬってください。

《注意画面》



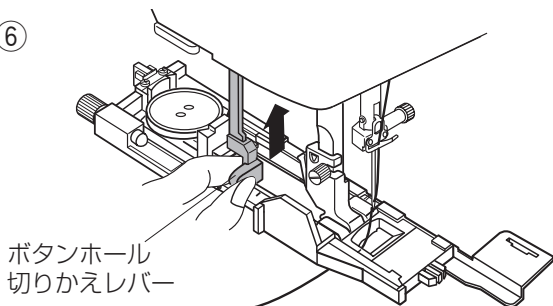
ボタンホール切りかえレバーをさげないでぬった場合

ボタンホール切りかえレバーをさげないでミシンをスタートさせると、少しだけぬってミシンは停止します。

このとき数秒間だけ「ボタンホール切りかえレバーをさげてください」の意味の注意画面が表示されます。

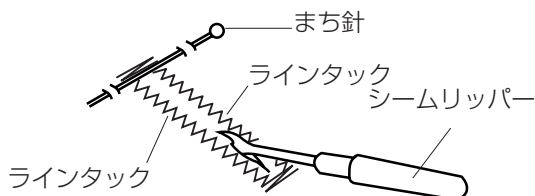
ボタンホール切りかえレバーを引きさげて、ミシンを再スタートさせてください。

⑥



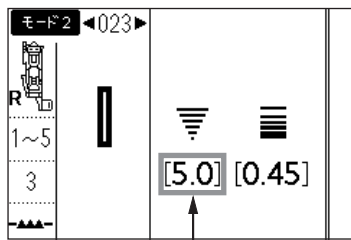
⑥ ぬい終わったら、ボタンホール切りかえレバーを止まるまでいっぱい押しあげてもどします。

⑦



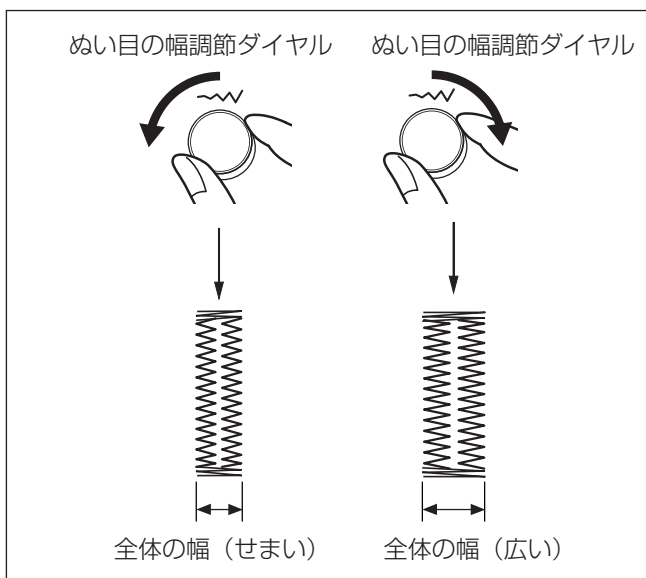
⑦ かんぬきの内側にまち針をわたして、シームリッパーで左右のラインタックの糸を切らないようにボタン穴を切り開きます。

★ボタンホールの幅とあらかさのかえ方



ボタンホール全体の幅の値

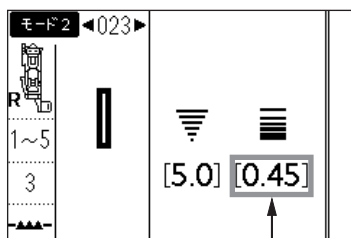
ぬい目の幅調節ダイヤルでボタンホール全体の幅を「2.6」～「9.0」まで0.2 ずつかえることができます。



ぬい目の幅調節ダイヤルを左へまわすと表示されている数値が小さくなり、ボタンホール全体の幅がせまくなります。

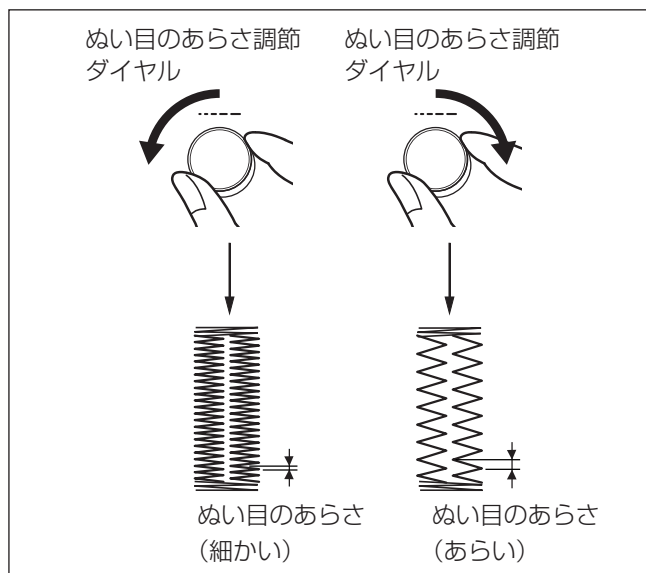
ぬい目の幅調節ダイヤルを右へまわすと表示されている数値が大きくなり、ボタンホール全体の幅が広くなります。

※ 画面の数値は、ボタンホール全体の幅の目安をミリメートルで表示しています。



ぬい目のあらかさの値

ぬい目のあらかさ調節ダイヤルでぬい目のあらかさを「0.2」～「0.50」まで0.05 ずつ、「0.50」～「1.00」まで0.10 ずつかえることができます。



ぬい目のあらかさ調節ダイヤルを左へまわすと、表示されている数値が小さくなり、ぬい目のあらかさが細かくなります。

ぬい目のあらかさ調節ダイヤルを右へまわすと表示されている数値が大きくなり、ぬい目のあらかさがあらかくなります。

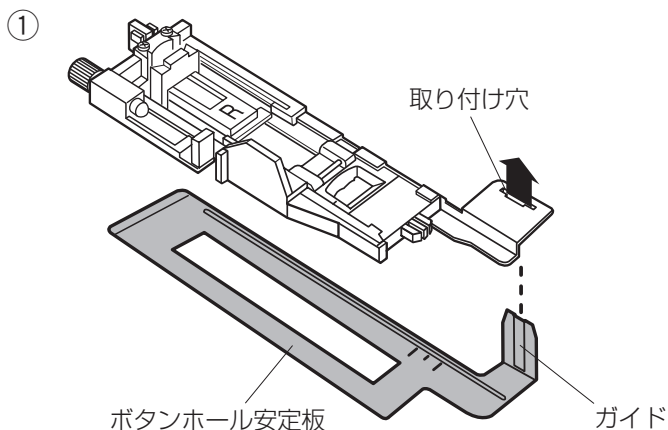
※ 画面の数値は、ぬい目のあらかさの目安をミリメートルで表示しています。

★ボタンホール安定板の使い方

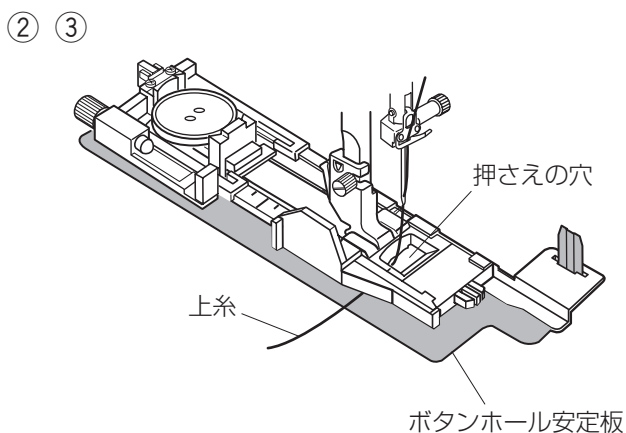
厚物の段部や安定して布送りできない布などをぬうときにボタンホール安定板を使用すると、布送りをスムーズにしてぬうことができます。

【使い方】

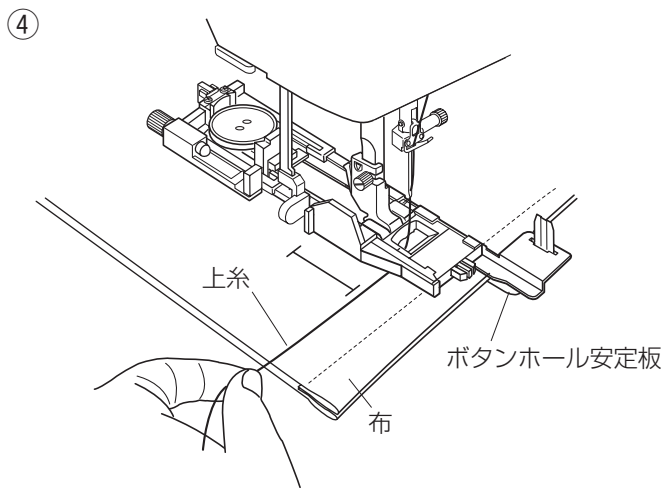
① ボタンホール押さえに取り付け穴に、ボタンホール安定板のガイド部分を差し込みます。



② ボタンホール安定板を組み付けたボタンホール押さえをミシンに取り付けます。



③ 押さえ上げをあげ、上糸を押さえの穴から下に通し、ボタンホール押さえとボタンホール安定板のあいだから横に引き出します。

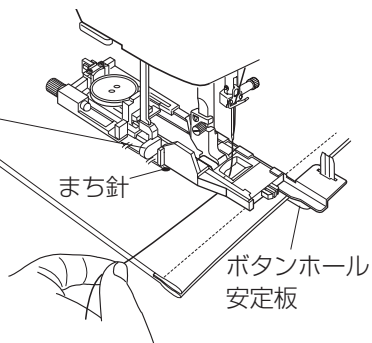


④ 上糸を横に引き出した状態でボタンホール押さえとボタンホール安定板のあいだに布を入れます。

※ ぬい方は、「スクエアボタンホール」と同じです。
67～69ページをごらんください。

※ 穴の開け方は、69ページをごらんください。

ボタンホール
切りかえレバー



布がボタンホール切りかえレバーに触れて、うまくぬえない場合

弾力性のある厚い布（フリースなど）をぬう場合、布を送るときに浮きあがった布がボタンホール切りかえレバーに触れて誤操作を起こし、正しい形にぬえないことがあります。このような場合は、布を送るときに布が浮きあがらないようにまち針で固定し、ボタンホール安定板を使用してぬってください。

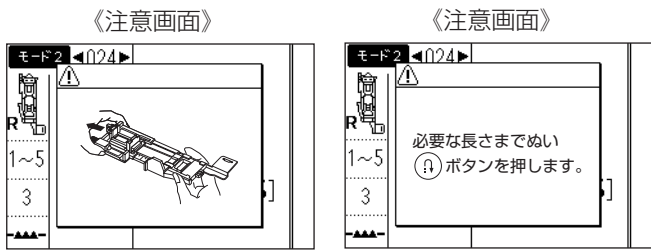
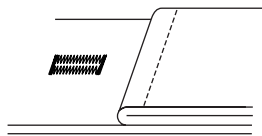
★メモリーボタンホール（スクエアボタンホール）

ミシンのセット

① 模様番号.....024（モード2）
 ② 押さえ.....R：ボタンホール押さえ
 F：サテン押さえ
 ③ 糸調子ダイヤル.....1～5
 ④ 押さえ圧調節ダイヤル....3

メモリーボタンホールは、ボタンホールの長さを自分で決めてぬうボタンホールです。

- ※ ボタンホール切りかえレバーは、さげないでぬいます。
- ※ 2.5cm 以上の長いボタンホールをぬう場合や、厚い布の段部の近くをぬうときなど R：ボタンホール押さえを使用できない場合は、F：サテン押さえを使用してください。
- ※ ボタンホールの幅とあさは、70 ページをごらんください。



【ぬい方（R：ボタンホール押さえの例）】

① ボタン受け台を向こう側にいっぱい引き出します。
 ※ 模様を選んだとき、ボタン受け台を向こう側に引き出す注意画面と、必要な長さまでぬい返しぬいボタンを押しますの注意画面が数秒間表示されます。

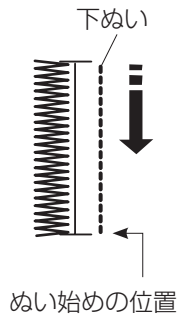
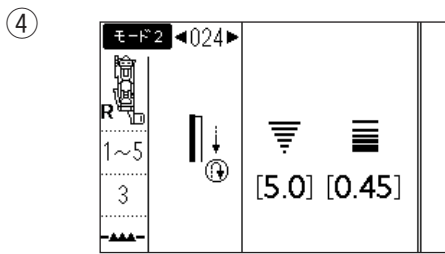
② ミシンにボタンホール押さえを取り付けます。
 上糸を横に引き出した状態で布を入れ、布に付けたマークのぬい始めの位置に針をさし、押さえ上げをさげます。

③ 上糸を横に軽く引いて持ち、ミシンをスタートさせます。（ぬい始めから数針ぬったあとは、糸から手をはなしてください。）
 左側のラインタックを必要な長さまでぬったらミシンを停止し、返しぬいボタンを押します。

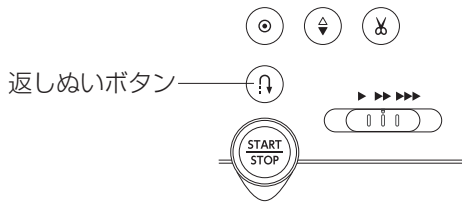
① ②

③

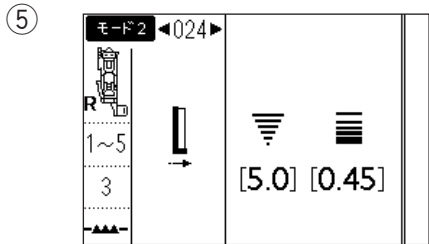
必要な長さ位置
 ぬい始めの位置
 返しぬいボタン
 START STOP



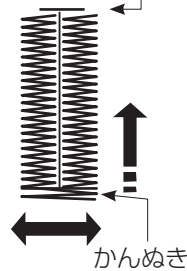
- ④ ミシンをスタートすると、下ぬいを行います。
ぬい始めの位置にもどったらミシンを停止し、返しぬいボタンを押します。



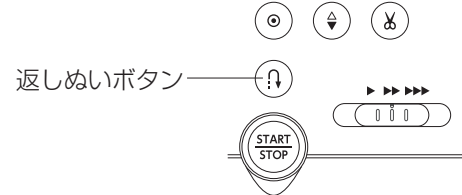
返しぬいボタン



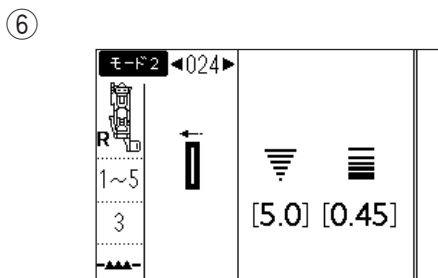
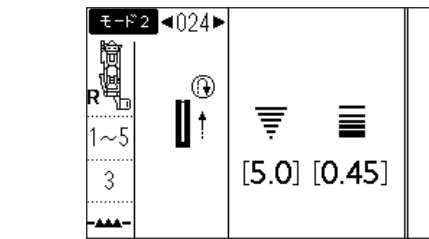
必要な長さ位置



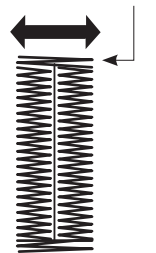
- ⑤ ミシンをスタートすると、かんぬきと右側のラインタックをぬいます。
必要な長さの位置にもどったらミシンを停止し、返しぬいボタンを押します。



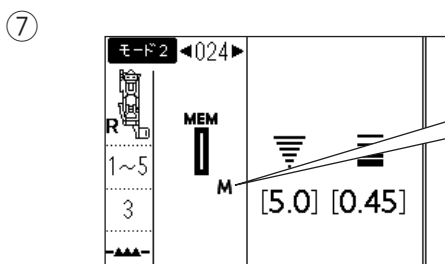
返しぬいボタン



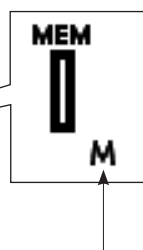
かんぬき



- ⑥ ミシンをスタートすると、かんぬきと止めぬいを行い、ミシンが自動的に停止します。



ボタンホールの長さを記憶した M マーク



- ⑦ ぬい終わるとボタンホールの長さを記憶した M マークが表示されます。
ミシンは、手順③～⑥でぬったボタンホールの長さを記憶しています。

- 別の場所と同じ長さのボタンホールをぬう場合は、この画面の状態のまま布の位置をかえてミシンをスタートさせます。
返しぬいボタンを押さなくても同じ長さのボタンホールを自動的にぬってミシンは停止します。
- 異なるサイズをぬう場合は、頭出しボタンを押します。M マークが消え、記憶している長さは取り消されます。

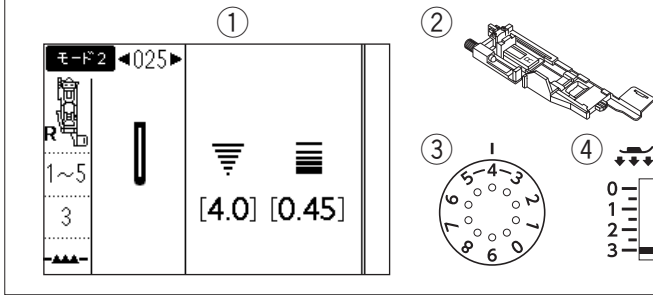
※ 穴の開け方は、69 ページをごらんください。



頭出しボタン

★ラウンドボタンホール

ミシンのセット



① 模様番号.....025 (モード2) (片ラウンド)
026 (モード2) (両ラウンド)

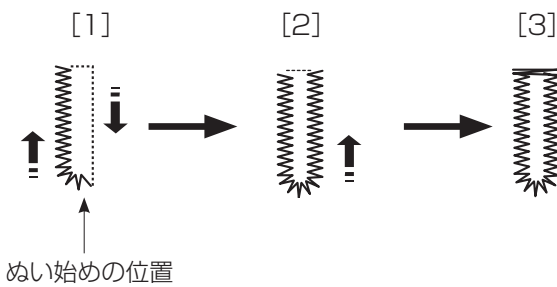
② 押さえ.....R: ボタンホール押さえ

③ 糸調子ダイヤル.....1 ~ 5

④ 押さえ圧調節ダイヤル....3

【ぬい順序】(模様 の例)

※模様  も同じ順序です。

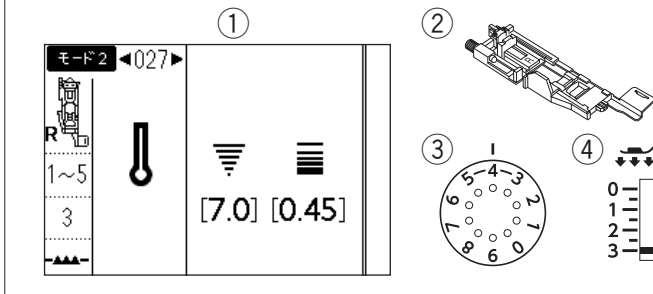


- ※ ぬい方は、「スクエアボタンホール」と同じです。67 ~ 69 ページをごらんください。
- ※ ボタンホールの幅とあさは、70 ページをごらんください。

- ボタンホールの幅は、「2.6 ~ 9.0」まで 0.2 ずつかえることができます。
- ボタンホールのあさは、「0.20 ~ 0.50」まで 0.05 ずつ「0.50 ~ 1.00」まで 0.10 ずつかえることができます。
- ※ 穴の開け方は、69 ページをごらんください。

★キーホールボタンホール

ミシンのセット



① 模様番号.....027 (モード2)
028 (モード2)
029 (モード2)

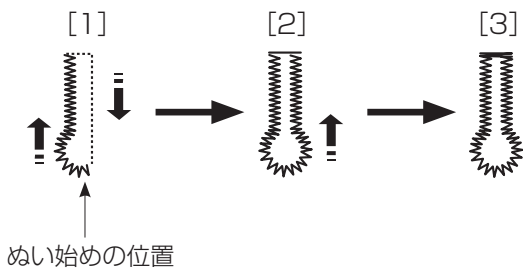
② 押さえ.....R: ボタンホール押さえ

③ 糸調子ダイヤル.....1 ~ 5

④ 押さえ圧調節ダイヤル....3

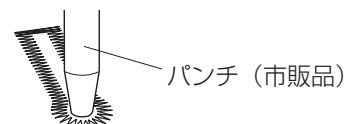
【ぬい順序】(模様 の例)

※模様   も同じ順序です。



- ※ ぬい方は、「スクエアボタンホール」と同じです。67 ~ 69 ページをごらんください。
- ※ ボタンホールの幅とあさは、70 ページをごらんください。

- ボタンホールの幅は、「5.6 ~ 9.0」まで 0.2 ずつかえることができます。
- ボタンホールのあさは、「0.20 ~ 0.50」まで 0.05 ずつ「0.50 ~ 1.00」まで 0.10 ずつかえることができます。
- ※ キーホールボタンホールの穴は、パンチ (市販品) で丸穴を開けてからシームリッパーで切り開いてください。

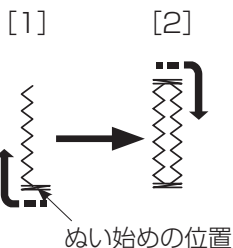


★ニットボタンホール

ミシンのセット

- ① 模様番号.....030 (モード 2)
- ② 押さえ.....R : ボタンホール押さえ
- ③ 糸調子ダイヤル.....1 ~ 5
- ④ 押さえ圧調節ダイヤル3

【ぬい順序】 (模様 の例)

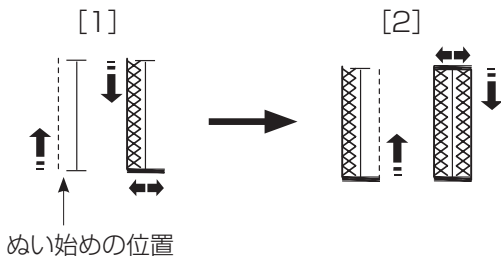


- ※ ぬい方は、「スクエアボタンホール」と同じです。67 ~ 69 ページをごらんください。
- ※ ボタンホールの幅とあさは、70 ページをごらんください。
- ボタンホールの幅は、「2.6 ~ 9.0」まで 0.2 ずつかえることができます。
- ボタンホールのあさは、「0.50 ~ 1.00」まで 0.10 ずつかえることができます。
- ※ 左右のぬい目のあさがそろわないときは、●送り調節ねじ (模様の形の調節) (116 ページ) をごらんください。
- ※ 穴の開け方は、69 ページをごらんください。

ミシンのセット

- ① 模様番号.....031 (モード 2)
- ② 押さえ.....R : ボタンホール押さえ
- ③ 糸調子ダイヤル.....1 ~ 5
- ④ 押さえ圧調節ダイヤル3

【ぬい順序】 (模様 の例)

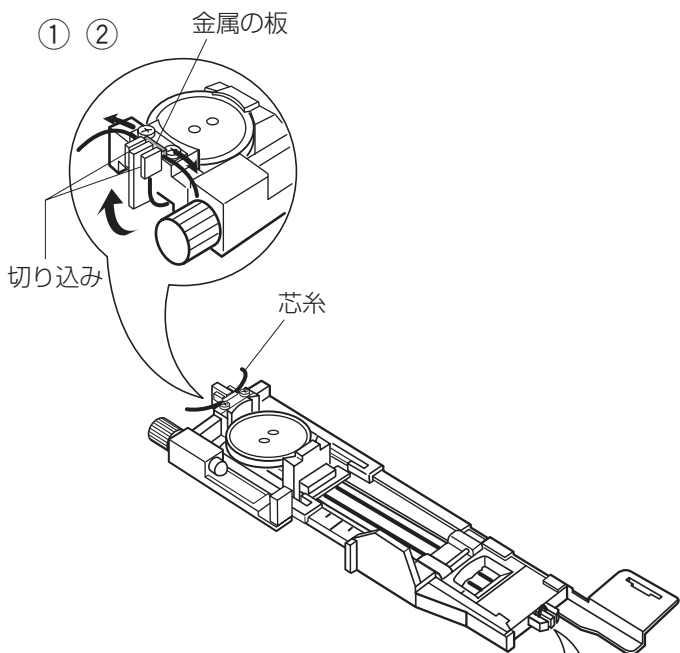


- ※ ぬい方は、「スクエアボタンホール」と同じです。67 ~ 69 ページをごらんください。
- ※ ボタンホールの幅とあさは、70 ページをごらんください。
- ボタンホールの幅は、「2.6 ~ 9.0」まで 0.2 ずつかえることができます。
- ボタンホールのあさは、「0.70 ~ 1.20」まで 0.10 ずつかえることができます。
- ※ 穴の開け方は、69 ページをごらんください。

★芯入りボタンホール

ミシンのセット

① 模様番号 023 (モード2)
 ② 押さえ R : ボタンホール押さえ
 ③ 糸調子ダイヤル 1 ~ 5
 ④ 押さえ圧調節ダイヤル 3



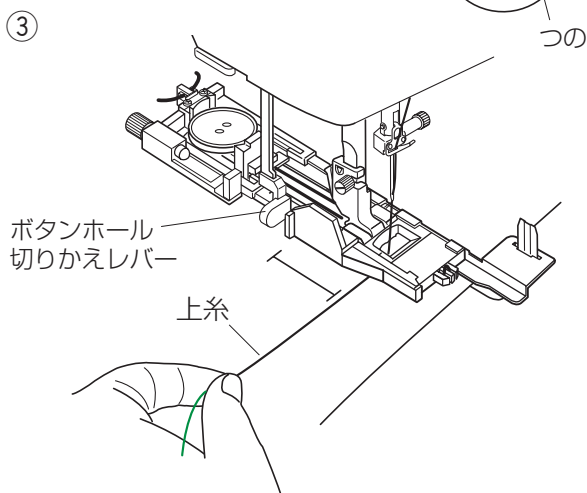
※ ぬい方は、「スクエアボタンホール」と同じです。
 67 ~ 69 ページをごらんください。
 ※ 使用する芯糸の太さに合わせてボタンホールの全体の幅を調節してください。

① ボタンホール押さえのボタン受け台にボタンをはさみ込んでから、芯糸の一方の端をボタンホール押さえ後部の左側の切り込みに入れ、横に引いて金属の板のあいだにはさみ込んで固定します。
 芯糸は、押さえの下から前に引き、輪にして押さえ前部にある中央のつのにかけます。

② つのにかけた芯糸を、押さえの下を通して押さえ後部の右側の切り込みに入れ、横に引いて金属の板のあいだにはさみ込んで固定します。

※ 芯糸は、たるみのないように強く張ってください。

③ スクエアボタンホールの手順①~⑦ (67 ~ 69 ページ) と同じようにぬいます。



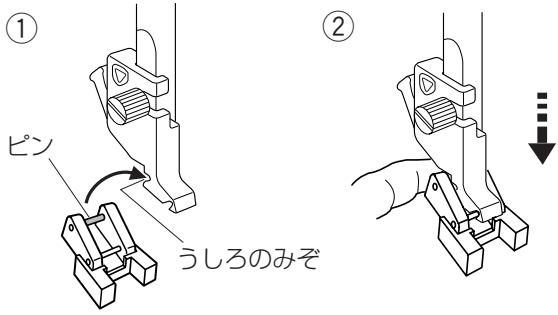
④ ぬい終わったら芯糸を引いてたるみをなくし、余分な芯糸を切ります。
 左右どちらの芯糸も引けない場合は、芯糸の両側を切ります。
 ※ 穴の開け方は、69 ページをごらんください。

●ボタン付け

ミシンのセット



- ① 模様番号.....032 (モード 2)
- ② 押さえ.....T: ボタン付け押さえ
- ③ 糸調子ダイヤル.....3 ~ 6
- ④ 押さえ圧調節ダイヤル....3
- ⑤ 送り歯ドロップつまみ...さげる位置にします。
(30 ページ参照)

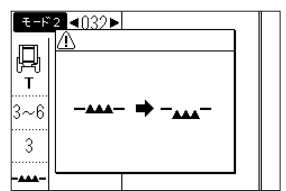


【ボタン付け押さえの取り付け方】

押さえを交換する場合の基本操作は、15 ページをごらんください。

- ① 押さえのうしろのピンを押さえホルダーのうしろのみぞにかけます。
- ② 押さえのうしろを軽くささえながら押さえ上げをさげてボタン付け押さえを取り付けます。

《注意画面》



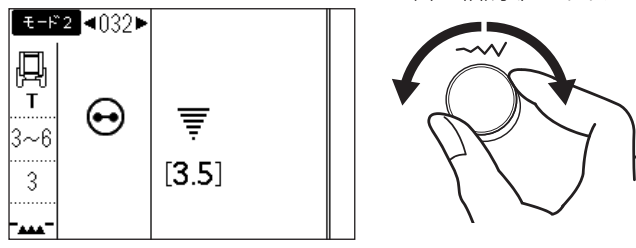
※ 送り歯をあげた状態になっているときは、注意画面が表示され、ミシンがスタートできないようになります。送り歯をさげてからぬってください。

【普通のボタン付けのぬい方】

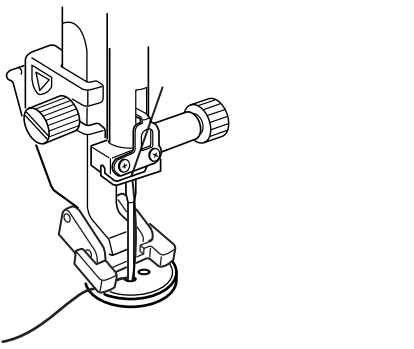
※ 模様⁰³²は、ぬいが終了すると自動的にミシンが停止します。(ミシン停止時の針位置設定が下位置停止になっていても針は上の位置で停止します。)

- ①

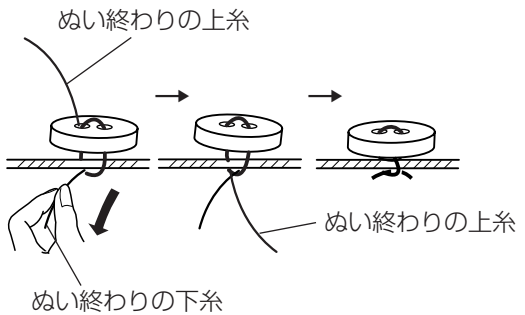
ぬい目の幅調節ダイヤル



- ②
- ③
- ④
- ⑤



- ⑥
- ⑦



ぬい終わりの上糸
ぬい終わりの下糸

- ① ボタンの左右の穴の間かくをはかり、ぬい目の幅調節ダイヤルで、ぬい目の幅の値を間かくと同じ値に設定します。
- ② ボタンを押さえの下に置き、はずみ車を手で手前にまわしてボタンの左の穴に針をさします。
- ③ ボタンの左右の穴が真横になるようにして、押さえ上げをさげます。
- ④ はずみ車を手で手前にまわし、針がボタンにあたらないで、ボタンの右の穴に入ることを確認します。
- ※ 針がボタンにあたる場合は、ぬい目の幅調節ボタンで調節してください。(左側の針位置は固定で、右側の針位置が移動します。)
- ⑤ ミシンをスタートさせると、必要な針数をぬったあと自動的にミシンは停止します。
- ⑥ 押さえ上げをあげて布を引き出し、上糸と下糸を 10 ~ 20cm 残して切ります。(糸切りボタンで切らないでください。)
- ⑦ ぬい始めの上糸と下糸をボタンのきわで、ハサミで切ります。
ぬい終わりの上糸と下糸は、下糸を引いて上糸を布の裏側に引き出し、上糸と下糸を結んでから切ります。

ミシンのセット

① 模様番号 032 (モード 2)

② 押さえ T : ボタン付け押さえ
ボタン付けプレート

③ 糸調子ダイヤル 3 ~ 6

④ 押さえ圧調節ダイヤル 3

⑤ 送り歯ドロップつまみ さげる位置にします。
(30 ページ参照)

【根巻きボタン付けのぬい方】

根巻きボタン付けは、付属のボタン付けプレートを使用してぬいます。(ボタンの厚さが厚いものは使用できません。)

① ボタンの左右の穴の間かくをはかり、ぬい目の幅調節ダイヤルで、ぬい目の幅の値を間かくと同じ値に設定します。(最大 7mm まで調節できます。)

② ボタンを押さえの下に置き、はずみ車を手で手前にまわしてボタンの左の穴に針をさします。

③ ボタンの下にボタン付けプレートを差し込み、ボタンの左右の穴が真横になるようにして、押さえ上げをさげます。

※ ボタン付けプレートは、みぞの部分がボタン穴の下になるように差し込んでください。

※ ボタン付けプレートは、厚い方が 4.5mm、うすい方が 3mm になっています。根巻きの用途に合わせてお選びください。

④ はずみ車を手で手前にまわし、針がボタンおよびボタン付けプレートにあたらないで、ボタンの右の穴に入ることを確認します。

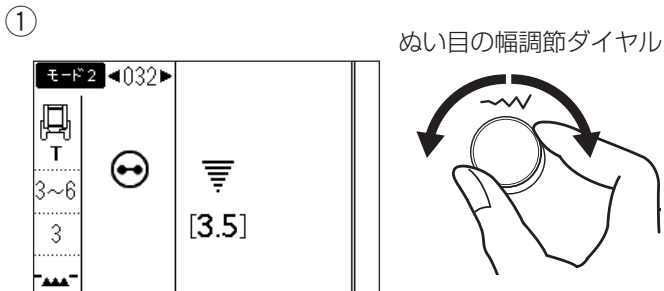
※ 針がボタンにあたる場合は、ぬい目の幅調節ボタンで調節してください。(左側の針位置は固定で、右側の針位置が移動します。)

⑤ ミシンをスタートさせると、必要な針数をぬったあと自動的にミシンは停止します。

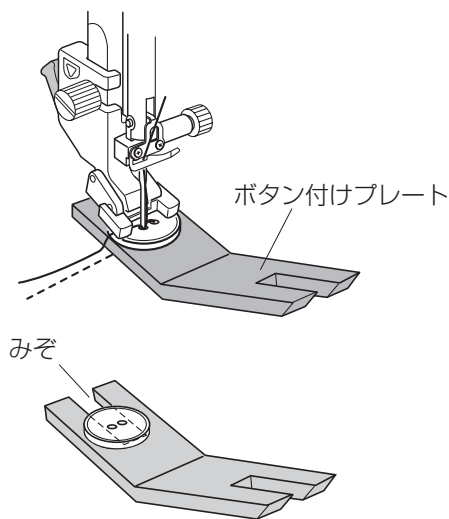
⑥ 押さえ上げをあげて布を引き出し、上糸と下糸を 10 ~ 20cm 残して切ります。(糸切りボタンで切らないでください。)

⑦ ぬい始めの上糸と下糸をボタンのきわで、はさみできります。ぬい終わりの上糸をボタンと布のあいだに引き出し、次にその上糸を引いて下糸をボタンと布のあいだに引き出します。

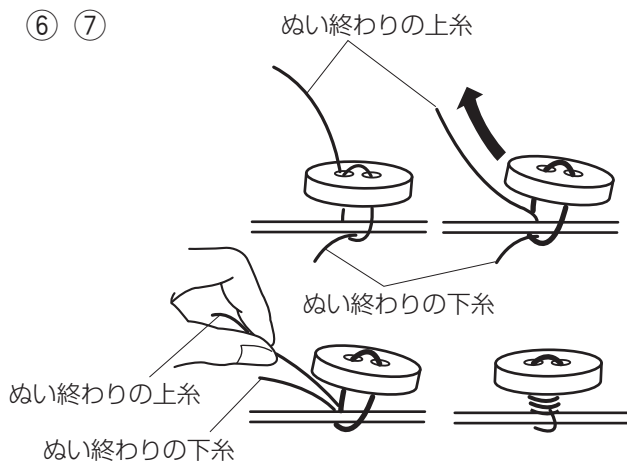
上糸と下糸を浮かせた足の部分にそれぞれ反対方向にす数回巻き付けて結びます。



② ③ ④ ⑤

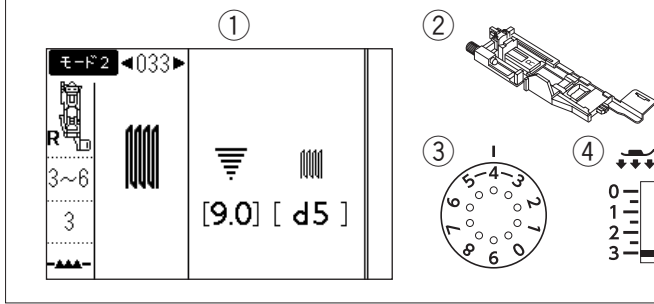


⑥ ⑦

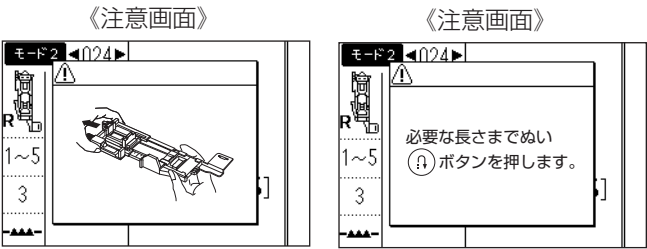



●つくろいぬい (ダーニング)

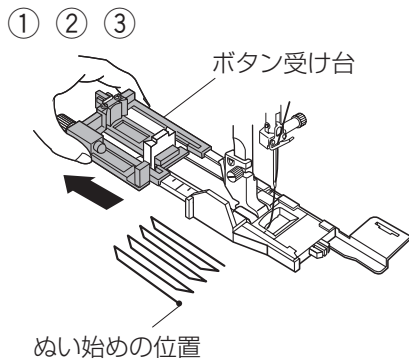
ミシンのセット



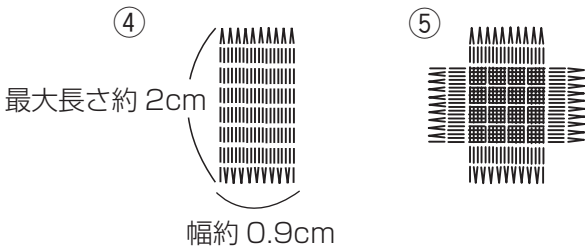
- ① 模様番号.....033 (モード 2)
- ② 押さえ.....R: ボタンホール押さえ
- ③ 糸調子ダイヤル.....3 ~ 6
- ④ 押さえ圧調節ダイヤル3



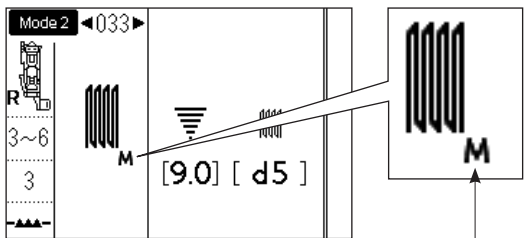
※ 模様  は、模様 completes するとほつれ止めの止めぬいを行って自動的にミシンが停止します。(ミシン停止時の針位置設定が下位置停止になっていても針は上の位置で停止します。)



- ① ボタン受け台をいっぱい引き出します。
- ※ 模様を選んだとき、ボタン受け台を向こう側に引き出す注意画面と、必要な長さまでぬい返しぬいボタンを押しますの注意画面が数秒間表示されます。
- ② 上糸を押さえの穴から下に通し、横に引き出して下糸とそろえます。
- ③ ぬい始めの位置に針をさし、押さえ上げをさげます。



- ④ ミシンをスタートさせ、自動的に停止するまでぬいます。
- ぬい終わると、M マークが表示されます。ミシンはぬった長さを記憶します。



つくろいぬいの長さを記憶した M マーク

- ※ 自動的に停止するまでぬうと、最大約 2cm の長さをぬうことができます。(幅は約 0.9cm) 2cm より短い長さでぬう場合は、【2cm より短い長さでぬう場合】(80 ページ) をご覧ください。
- ⑤ 布の向きをかえてぬいます。



頭出しボタン

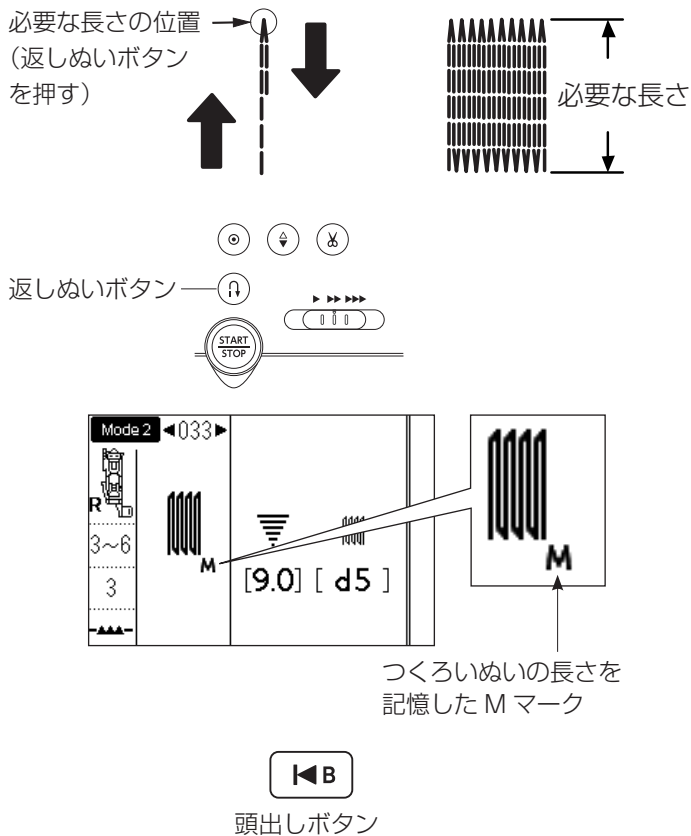
- ※ 同じ場所に同じ長さのものをぬう場合は、この画面の状態のまま布の位置をかえて、ミシンをスタートさせます。
- 異なるサイズをぬう場合は、頭出しボタンを押します。M マークが消え、記憶している長さは取り消されます。

【2cm より短い長さでぬう場合】

最初に必要な長さまでぬい、返しぬいボタンを押します。押した位置から折り返しますので、自動的にミシンが停止するまでぬいます。

ぬい終わると、M マークが表示されます。ミシンはぬった長さを記憶します。

- 別の場所に同じ長さのものをぬう場合は、この画面の状態のまま布の位置をかえてミシンをスタートさせます。返しぬいボタンを押さなくても同じ長さのものを自動的にぬってミシンは停止します。
- 異なるサイズをぬう場合は、頭出しボタンを押します。M マークが消え、記憶している長さは取り消されます。

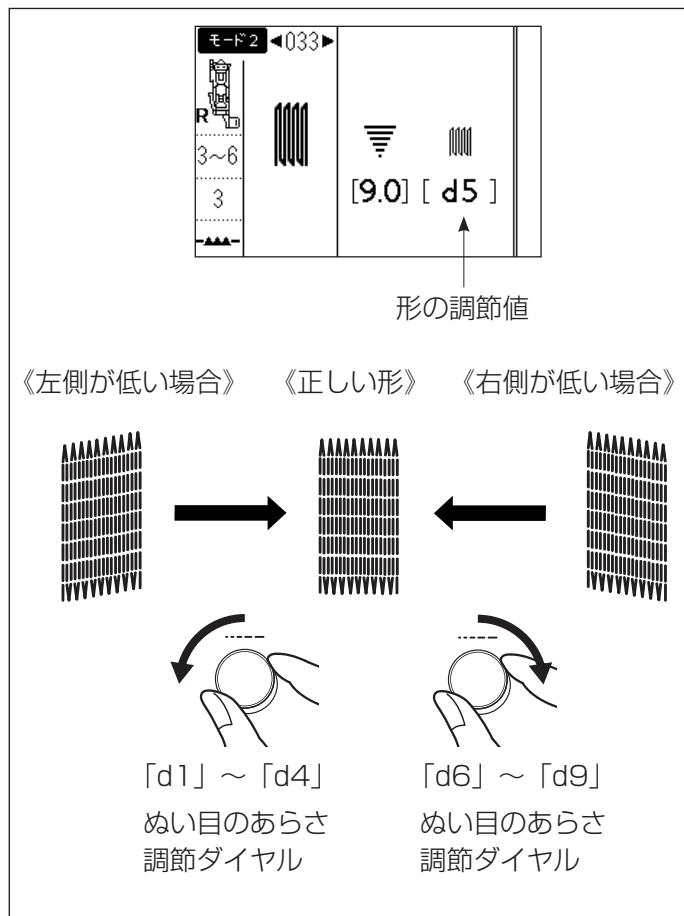


【形の整え方】

つくりぬい（ダーニング）のぬい始め（左側）とぬい終わり（右側）の高さがそろわないときは、ぬい目のあらか調節ボタンで調節します。

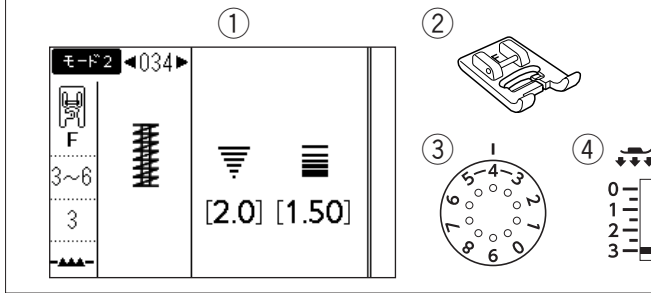
「d1」～「d9」の範囲で調節できます。（「d5」はオート値）

- 左側が低い場合は、ぬい目のあらか調節ダイヤルを左にまわして「d1」～「d4」のあいだで調節します。
- 右側が低い場合は、ぬい目のあらか調節ダイヤルを右にまわして「d6」～「d9」のあいだで調節します。

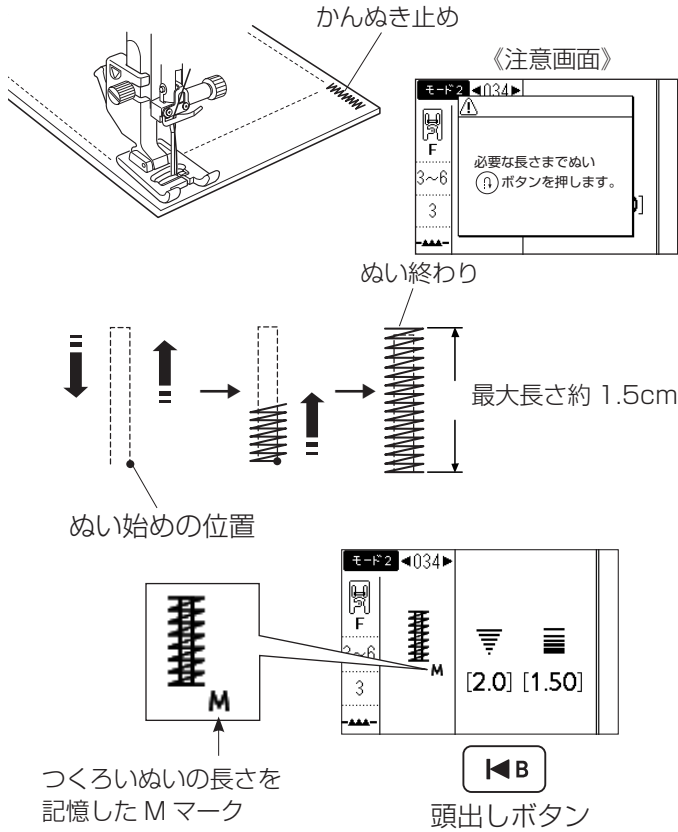


●かんぬき止め

ミシンのセット




- ① 模様番号.....034 (モード 2)
- ② 押さえ.....F: サテン押さえ
- ③ 糸調子ダイヤル.....3 ~ 6
- ④ 押さえ圧調節ダイヤル3



ポケットぐちなど、ぬい目に力がかかってほつれやすい部分などを補強します。

※ 模様を選ぶと、注意メッセージ画面が数秒間表示されます。必要な長さでぬう場合は、返しぬいボタンをおします。(下記 1.5cm 短い長さでぬう場合参照)

※ 模様  は、模様が完成するとほつれ止めの止めぬいを行って自動的にミシンが停止します。(ミシン停止時の針位置設定が下位置停止になっていても針は上の位置で停止します。)

① ぬい始めの上糸を押さえの下から横に引き出しておきます。

② ぬい始めの位置に針をさし、押さえ上げをさげます。

③ ミシンをスタートさせ、自動的に停止するまでぬいます。ぬい終わると、M マークが表示されます。ミシンはぬった長さを記憶します。

※ 異なるサイズでぬう場合は、頭出しボタンを押します。M マークが消え、記憶している長さは取り消されます。

※ 自動的に停止するまでぬうと、最大約 1.5cm の長さのかんぬき止めをぬうことができます。

1.5cm より短い長さでぬう場合は、下記【1.5cm より短い長さでぬう場合】をごらんください。

※ ぬい目の幅やあさは、ぬい目の幅調節ダイヤルとぬい目のあさ調節ダイヤルでかえることができます。(ぬい目のあさをかえると、自動でぬえる最大長さ「1.5cm」もかわります。)

【1.5cm より短い長さでぬう場合】

最初に必要な長さまでぬい、返しぬいボタンを押します。押した位置から折り返しますので、自動的にミシンが停止するまでぬいます。

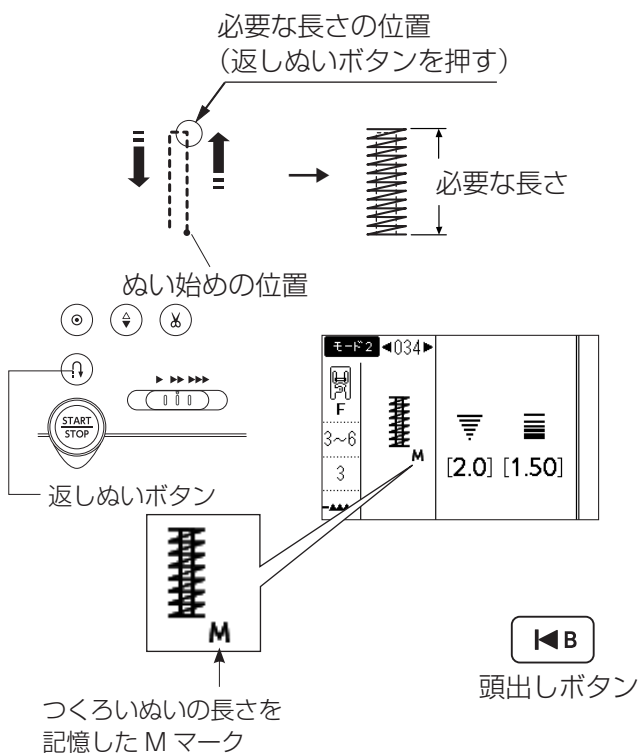
ぬい終わると、M マークが表示されます。

ミシンはぬった長さを記憶しています。

• 別の場所に同じ長さのものをぬう場合は、この画面の状態のまま布の位置をかえてミシンをスタートさせます。

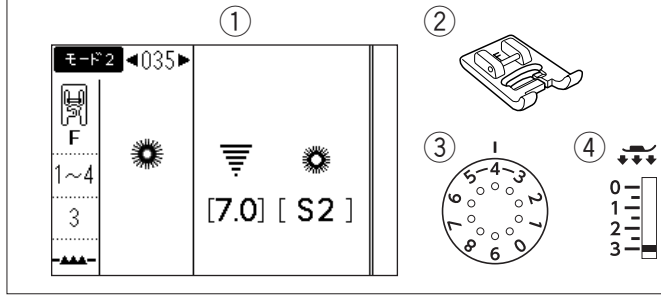
返しぬいボタンを押さなくても同じ長さのものを自動的にぬってミシンは停止します。

• 異なるサイズでぬう場合は、頭出しボタンを押します。M マークが消え、記憶している長さは取り消されます。



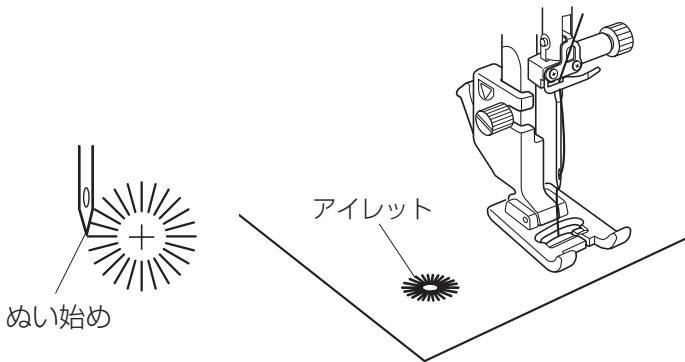
●アイレット

ミシンのセット



- ① 模様番号.....035 (モード2)
- ② 押さえ.....F: サテン押さえ
- ③ 糸調子ダイヤル.....1 ~ 4
- ④ 押さえ圧調節ダイヤル....3

※ アイレット模様は、模様が完成するとほつれ止めの止めぬいを行って自動的にミシンが停止します。(ミシン停止時の針位置設定が下位置停止になっていても針は上の位置で停止します。)



- ① ぬい始めの上糸を押さえの下から横に引き出しておきます。
- ② ぬい始めの位置に針をさし、押さえ上げをさげます。
- ③ ミシンをスタートさせ、自動的に停止するまでぬいます。

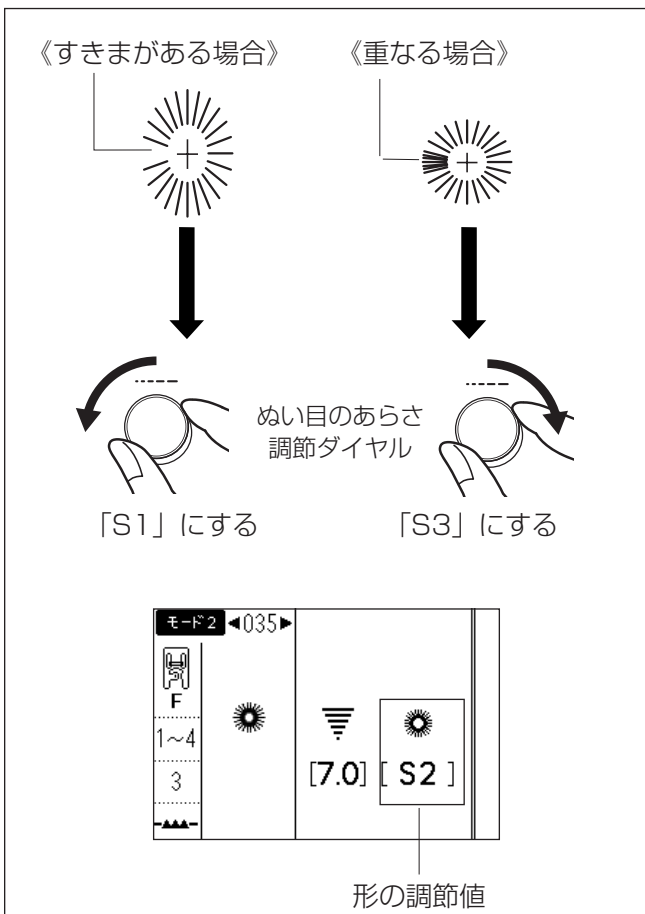
※ ぬい目の内側は、パンチ (市販品) などで穴を開けます。パンチの穴の大きさは、直径 0.25cm 以下のものをご使用ください。

【形の整え方】

布などによってアイレットの形がくずれる場合は、ぬい目のあらか調節ダイヤルで調節します。

「S1」と「S3」で調節できます。(「S2」はオート値)

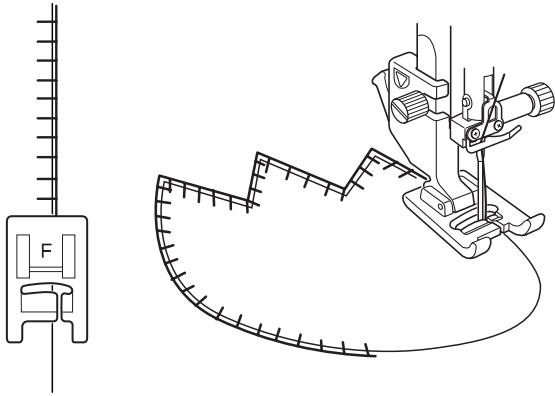
- ・ ぬい目にすきまがある場合は、ぬい目のあらか調節ダイヤルを左にまわして「S1」にします。
- ・ ぬい目が重なる場合は、ぬい目のあらか調節ダイヤルを右にまわして「S3」にします。



●アップリケ

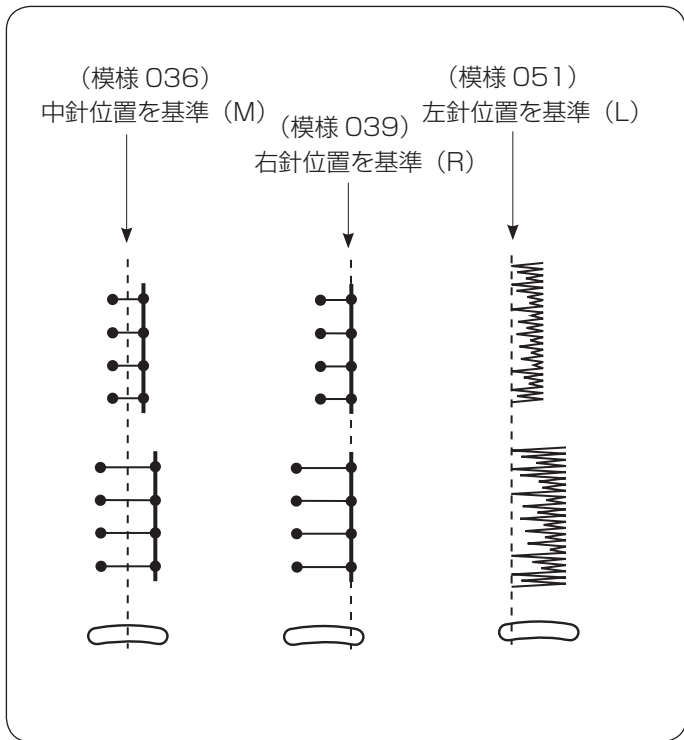
ミシンのセット

| | | |
|----------|----------|---|
| <p>①</p> | <p>②</p> | <p>① 模様番号.....7 (モード1) 036 ~ 052 (モード2)</p> <p>② 押さえ.....F : サテン押さえ、または F2 : クラフトF押さえ</p> |
| <p>③</p> | <p>④</p> | <p>③ 糸調子ダイヤル.....3 ~ 6</p> <p>④ 押さえ圧調節ダイヤル2</p> |



アップリケ布をのり付けするか、しつけで止めます。
模様の針位置が右のときに、アップリケ布の縁の外側に
ささるようにぬいます。

カーブのところや方向転換するところでは、アップリケ
布の外側に針がささった位置でミシンを停止し、針をさ
したまま押さえをあげて方向をかえるときれいに仕上が
ります。



模様 ₀₃₆ ₀₃₉ のようにぬい目のイラストの右に書かれ
ている「M」「R」は、ぬい目の幅をかえたときの基準位
置です。

模様 ₀₃₆ の「M」は、ぬい目の幅をかえたときに、中針
位置を基準（固定）に左右に幅が変化します。

模様 ₀₃₉ の「R」は、ぬい目の幅をかえたときに、右針
位置を基準（固定）に左に幅が変化します。

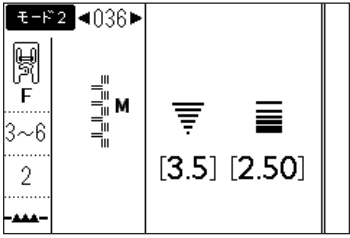
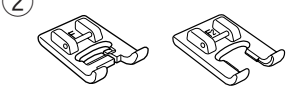
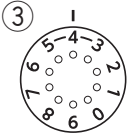
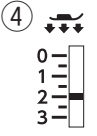
模様 ₀₅₁ は、記号は付いていませんが、ぬい目の幅をか
えたときに、左針位置を基準（固定）に右に幅が変化し
ます。

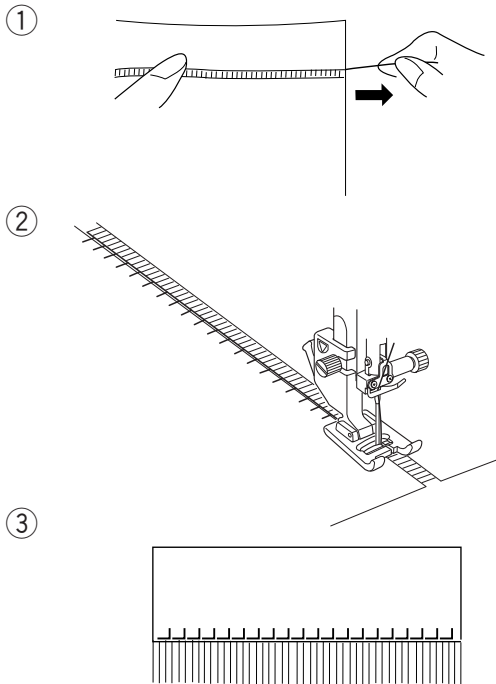
※ ぬい目の幅とあかさのかえ方は、59 ~ 60 ページを
ごらんください。

※ 模様 048, 049 はぬい目の幅は変化せず、針位置が
変化します。
(模様 048 はぬい目の幅 3.5、模様 049 はぬい目の
幅 2.0 です。)

●フリンジ

ミシンのセット


| | | |
|---|---|--|
|  |  | <p>① 模様番号.....036 (モード2) 038 ~ 040 (モード2)</p> <p>② 押さえ.....F: サテン押さえ F2: クラフトF 押さえ</p> |
|  |  | <p>③ 糸調子ダイヤル3 ~ 6</p> <p>④ 押さえ圧調節ダイヤル2</p> |



① フリンジのたばになる部分の織り糸を 1 ~ 2 本抜き取ります。

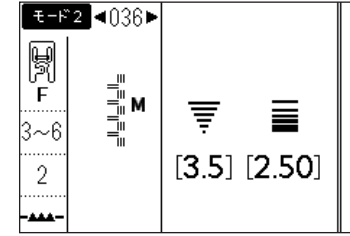
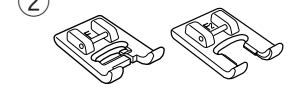
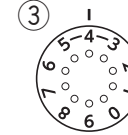

② 織り糸を抜いた上をぬいます。

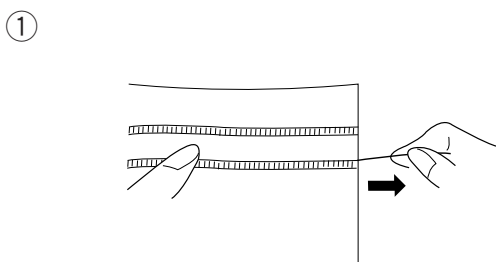
③ フリンジにする部分の織り糸を全部抜き、ふさを作ります。

※ 模様  のぬい目のイラストの右に書かれている「M」、「R」は、ぬい目の幅をかえたときの基準位置です。83 ページをごらんください。

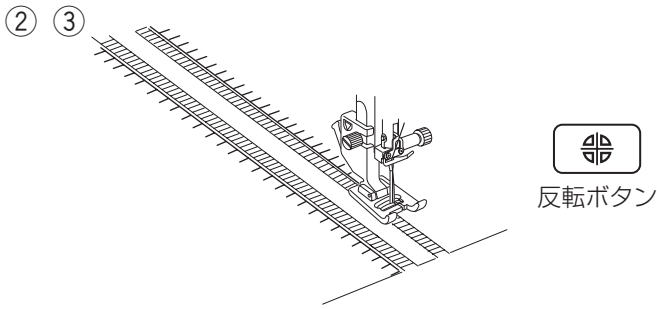
●ドロンワーク

ミシンのセット

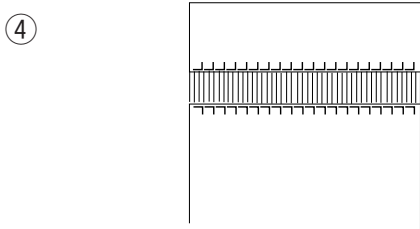
| | | |
|---|---|--|
|  |  | <p>① 模様番号.....036 (モード2) 038 ~ 040 (モード2)</p> <p>② 押さえ.....F: サテン押さえ F2: クラフトF 押さえ</p> |
|  |  | <p>③ 糸調子ダイヤル3 ~ 6</p> <p>④ 押さえ圧調節ダイヤル2</p> |



① ドロンワークする部分の両わきの織り糸を 1 ~ 2 本抜きとります。



- ② 織り糸を抜いた左側をぬいます。
- ③ 反転ボタンを押して、模様を左右反転にし、右側をぬいます。
- ④ ドロンワークする部分の織り糸を全部抜きとります。

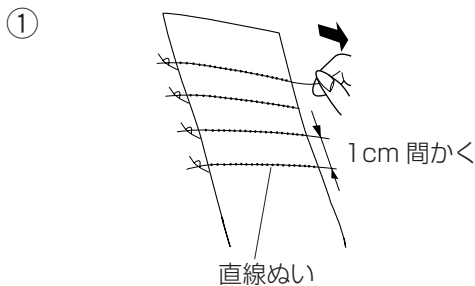


※ 模様 $\begin{matrix} \text{M} \\ \text{036} \end{matrix}$ $\begin{matrix} \text{R} \\ \text{039} \end{matrix}$ のぬい目のイラストの右に書かれている「M」、「R」は、ぬい目の幅をかえたときの基準位置です。83 ページをごらんください。

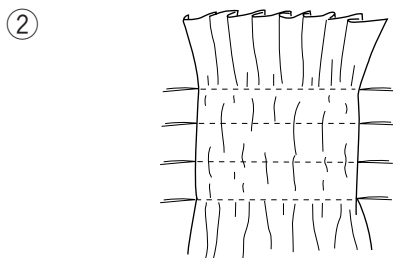
●スモッキング

ミシンのセット

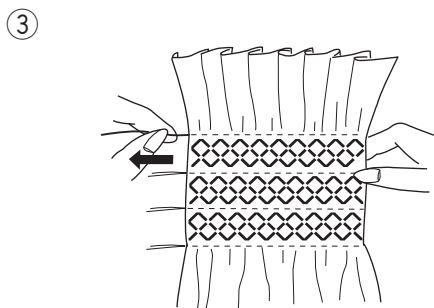
| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| ① | ② | ③ | ④ | ① 模様番号.....060 (モード 2) 061 ~ 065 (モード 2) |
| | | | | ② 押さえ.....F: サテン押さえ F2: クラフト F 押さえ |
| | | | | ③ 糸調子ダイヤル.....3 ~ 6 |
| | | | | ④ 押さえ圧調節ダイヤル2 ~ 3 |



上糸と下糸を押さえの下から向こう側に約 10cm ほど引き出しておきます。
※ 下糸を針板の上に引き出す方法は、27 ページをごらんください。



① 直線模様を選び、糸調子を「1」にし、ぬい目のあらかさ「3.00」～「5.00」の直線を 1cm 間かくで数本平行にぬいます。

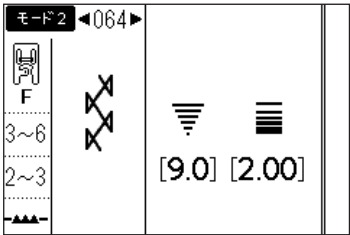
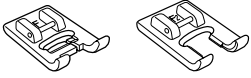
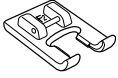
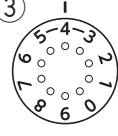



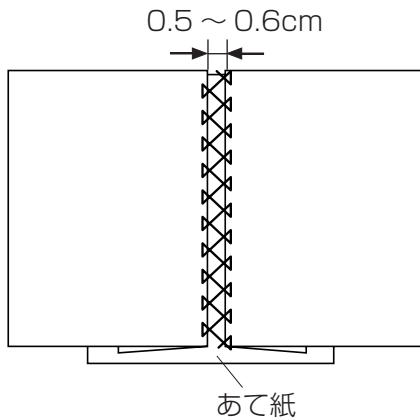
② 上糸と下糸を布の片側で結び、反対側から下糸を引いてひだをよせ、上糸と下糸を結びます。

③ 糸調子を「4」の位置にもどし、模様 を選んで、直線ぬいと直線ぬいのあいだにぬいます。模様をぬったあと直線ぬいの糸を抜き取ります。

●ファゴティング

ミシンのセット

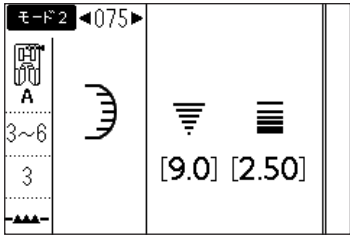

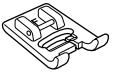
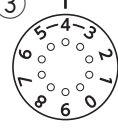

| | | |
|---|---|--|
|  | <p>①</p>  <p>②</p>  <p>③</p>  <p>④</p>  | <p>① 模様番号064 (モード2) 065,100,101 (モード2)</p> <p>② 押さえF : サテン押さえ F2 : クラフトF 押さえ</p> <p>③ 糸調子ダイヤル3 ~ 6</p> <p>④ 押さえ圧調節ダイヤル2 ~ 3</p> |
|---|---|--|

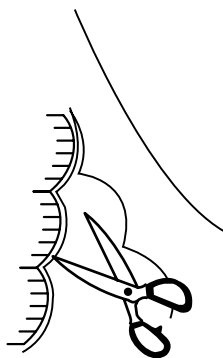


- ① 布端と布端の間かくを 0.5 ~ 0.6cm あけて、下に
あて紙を置きます。
- ② 布の表から、間かくの中央を中心にしてぬいます。
- ③ あて紙を取ります。

●スカラップ

ミシンのセット

| | | |
|---|---|---|
|  | <p>①</p>  <p>②</p>  <p>③</p>  <p>④</p>  | <p>① 模様番号075 (モード2) 111,128,132 (モード2)</p> <p>② 押さえF : サテン押さえ A : 基本押さえ</p> <p>③ 糸調子ダイヤル3 ~ 6</p> <p>④ 押さえ圧調節ダイヤル2 ~ 3</p> |
|---|---|---|

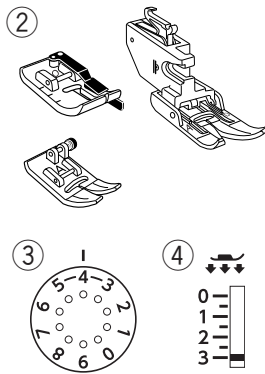
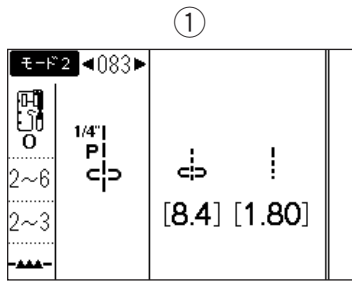


- 布の表から布端を 1cm くらい残してぬいます。
- 糸を切らないように外側の布を切り落とします。

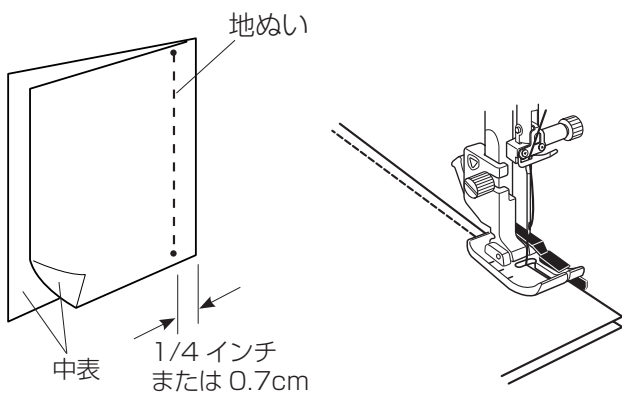
●パッチワーク・キルト

★パッチワーク (1)・・・ピーシング



ミシンのセット

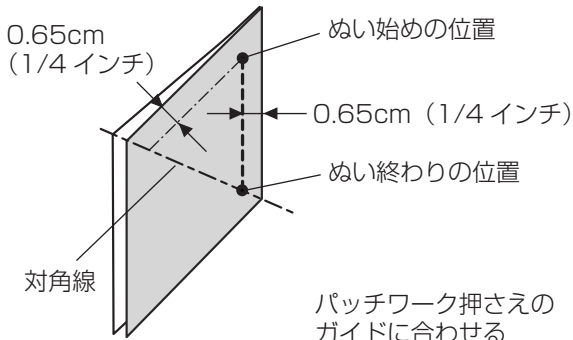


- ① 模様番号.....4 (モード 1)
082,083,084 (モード 2)
- ② 押さえ.....0 : パッチワーク押さえ
AD : 上送り押さえ
A : 基本押さえ
- ③ 糸調子ダイヤル2 ~ 6
- ④ 押さえ圧調節ダイヤル2 ~ 3



パッチワーク布 (ピース) を中表に合わせ、0.65cm (1/4 インチ) または 0.7cm のぬいしろでぬいます。



※ パッチワーク押さえを利用し、模様  でぬうと、1/4 インチのぬいしろを正確にぬうことができます。
パッチワーク押さえを利用し、模様  でぬうと、0.7cm のぬいしろを正確にぬうことができます。

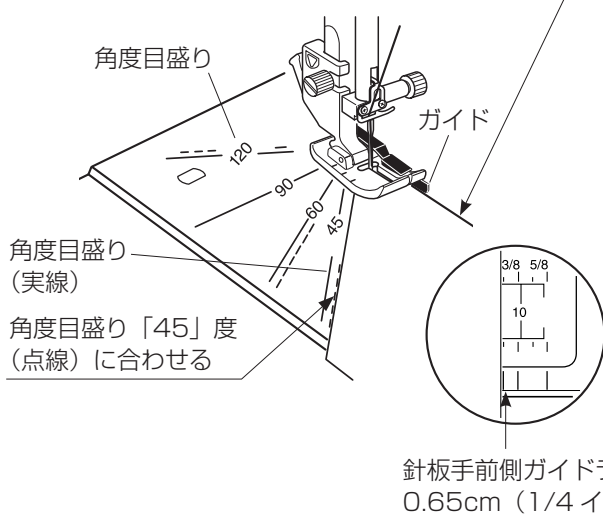


針板角度目盛りの使い方

パッチワーク布 (ピース) の角度と同じ角度目盛りに布端を合わせると、しるしなしでぬいしろ 0.65cm (1/4 インチ) のぬい始めの位置を決めることができます。

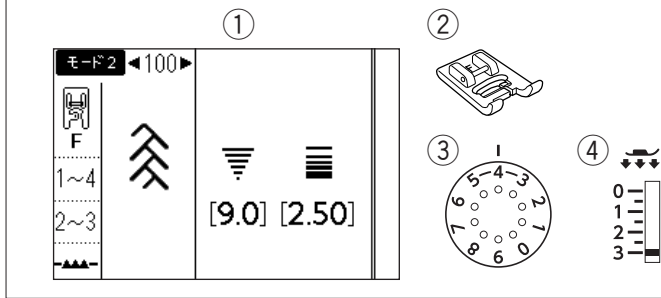
【例】レモンスター

- ① パッチワーク押さえをセットし、模様  を選びます。
- ② ピースの対角線に折り目を付けます。
- ③ ぬい始めは、布端をパッチワーク押さえのガイドおよび角度目盛り「45」度 (点線) に合わせて布を置きます。
※ パッチワーク押さえを使わず基本押さえなどを使用する場合は、模様  (中針位置の直線) を選び、布端を針板のガイドライン 0.65cm (1/4 インチ) および角度目盛り「45」度 (実線) に合わせて布を置きます。
- ④ ぬい終わりは対角線までぬいます。

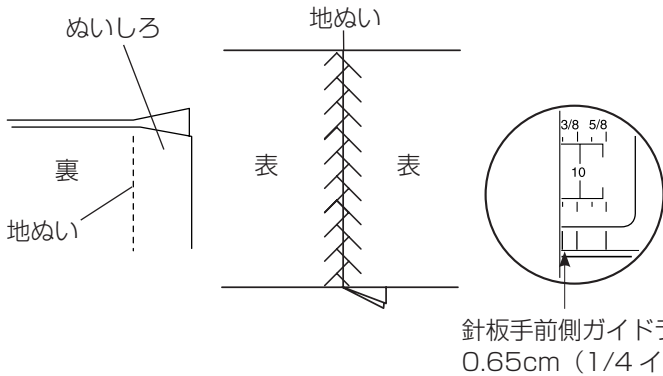


★パッチワーク (2)・・・飾りぬい

ミシンのセット

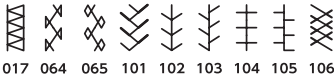


- ① 模様番号.....9 (モード 1)
100 (モード 2)
- ② 押さえ.....F : サテン押さえ
- ③ 糸調子ダイヤル 1 ~ 4
- ④ 押さえ圧調節ダイヤル 2 ~ 3



針板手前側ガイドライン
0.65cm (1/4 インチ)

(モード 2)

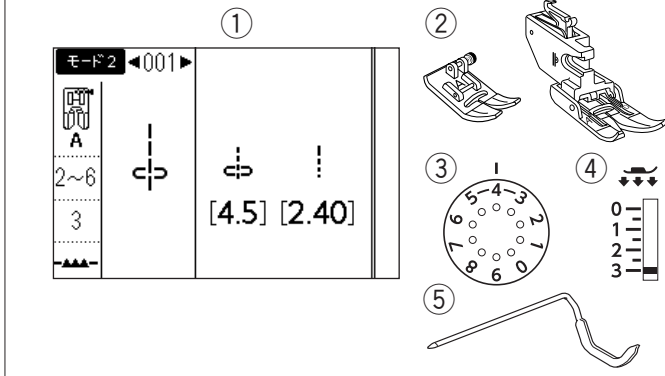
※ 模様  なども使えます。

ぬいしろを割り、布の表から地ぬいの線を中心にしてぬいます。

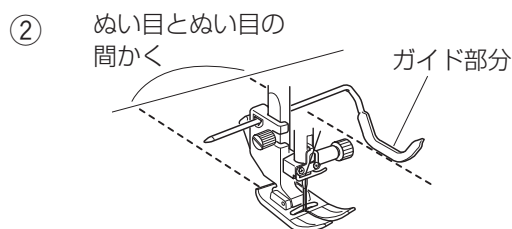
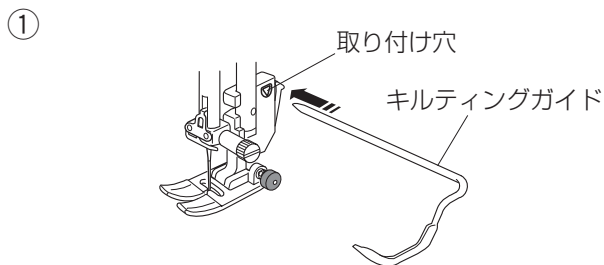
※ 地ぬいは、布端を針板の手前側ガイドライン 0.65cm (1/4) インチに合わせてぬいます。

★キルティングガイドの使い方

ミシンのセット



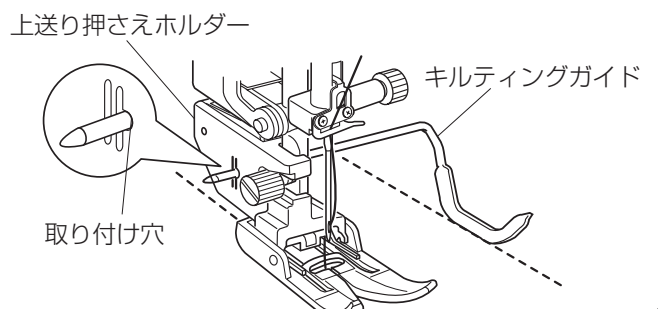
- ① 模様番号.....1 (モード 1)
001 (モード 2)
- ② 押さえ.....A : 基本押さえ
.....AD : 上送り押さえ
- ③ 糸調子ダイヤル 2 ~ 6
- ④ 押さえ圧調節ダイヤル.....3
- ⑤ キルティングガイド



キルティングガイドを利用すると、前にぬったぬい目と平行に等間かくでぬうことができます。

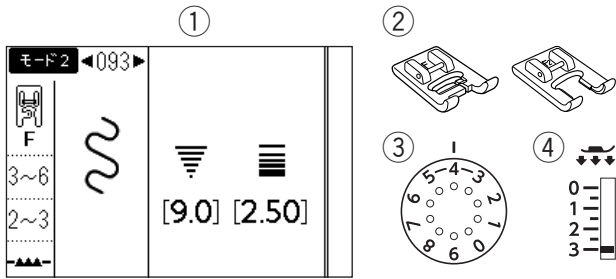
- ① 押さえホルダーのうしろの取り付け穴にキルティングガイドを差し込みます。(針位置とキルティングガイドのガイド部分までの距離がぬう間かくになります。)
- ② キルティングガイドのガイド部分にぬい目を合わせながらぬいます。

上送り押さえの場合の取り付け方

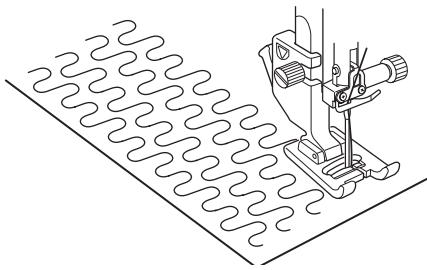


★キルティング (1)・・・ステップリングステッチ

ミシンのセット



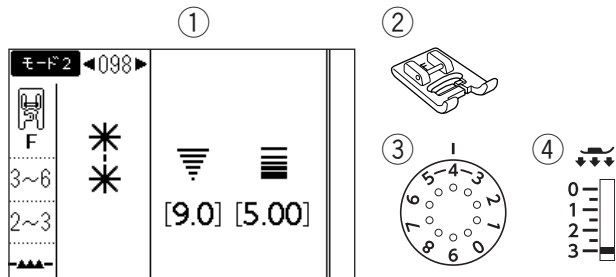
- ① 模様番号.....093 (モード2)
094、095 (モード2)
- ② 押さえ.....F：サテン押さえ
.....F2：クラフトF押さえ
- ③ 糸調子ダイヤル.....3～6
- ④ 押さえ圧調節ダイヤル.....2～3



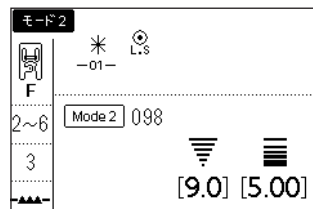
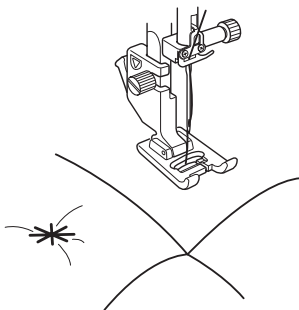
表布と布裏のあいだに綿を入れ、表に模様をうめていきます。

★キルティング (2)・・・とじぬい

ミシンのセット



- ① 模様番号.....098 (モード2)
- ② 押さえ.....F：サテン押さえ
- ③ 糸調子ダイヤル.....3～6
- ④ 押さえ圧調節ダイヤル.....2～3

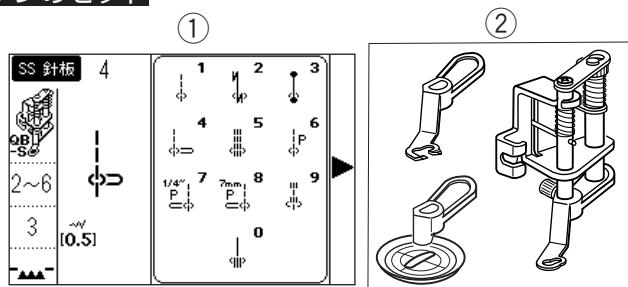


厚みのあるキルト綿をとじるときに使用します。

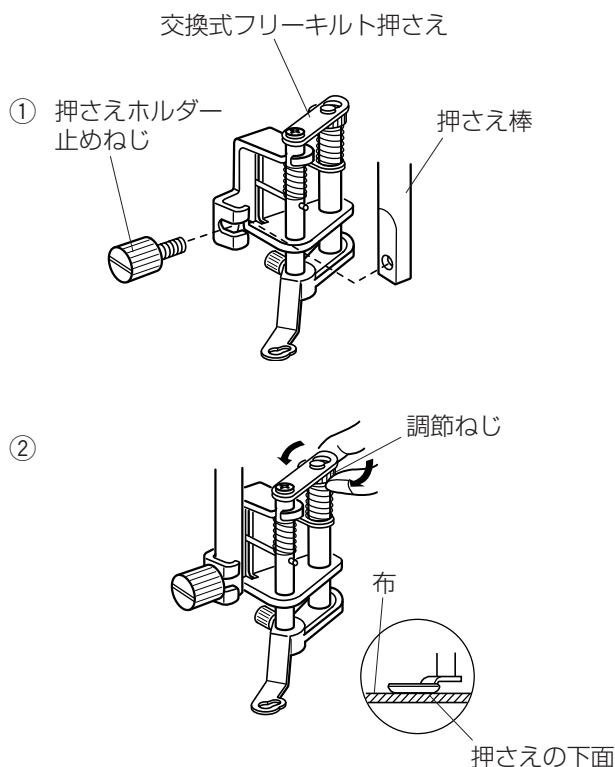
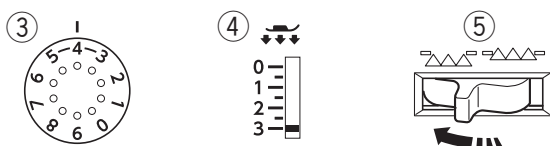
- ① 模様を1つだけぬうために、模様 [＊] ₀₉₈ を選んで、記憶ボタンを押します。
- ② 止めぬい模様 ^{LS} ₂₀₂ を選びます。
- ③ ミシンをスタートさせると、模様を1つだけぬったあと、ほつれ止めの止めぬいを行って自動的にミシンが停止します。

★キルティング (3)・・・フリーキルティング 1

ミシンのセット



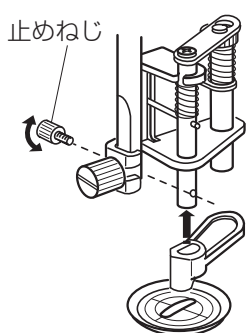
- ① 模様番号..... 4 直線針板 (SS 針板)
- ② 押さえ..... QB-S : 交換式フリーキルト押さえ
- ③ 糸調子ダイヤル 2 ~ 6
- ④ 押さえ圧調節ダイヤル..... 2 ~ 3
- ⑤ 送り歯ドロップつまみ さげる位置にします。
(30 ページ参照)



- ※ 模様は、直線針板を取り付けているときに選ぶことができます。
- ※ 模様⁰⁰⁴には QB-S : 交換式フリーキルト押さえ (丸穴)、(前あき) を使用してください。
- ※ 模様⁰⁰¹には QB-S : 交換式フリーキルト押さえ (透明樹脂) を使用してください。

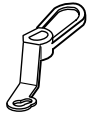
【QB-S: 交換式フリーキルト押さえの取り付け方】

- ① 押さえホルダーを外し、押さえ棒に交換式フリーキルト押さえを取り付け、押さえホルダー止めねじをしっかりとめます。
- ※ 押さえホルダーの外し方は、16 ページをごらんください。
- ② 布をセットし、押さえ上げをさげて、押さえ高さを調節します。
押さえの下面が布に軽く触れるぐらいになるように、調節ねじをまわして調節します。



【押さえの取り付け方】

- ① 針と押さえ上げをあげます。
- ② 止めねじをゆるめ、押さえを外します。
- ③ 使用する押さえを取り付け、止めねじをしめます。



交換式フリーキルト押さえ
(丸穴)



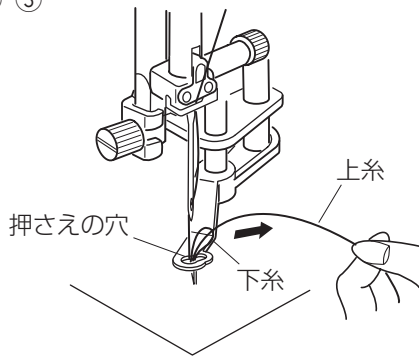
交換式フリーキルト押さえ
(前あき)



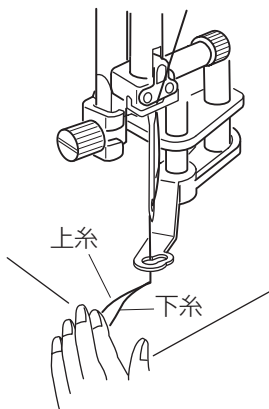
交換式フリーキルト押さえ
(透明樹脂)

- 交換式フリーキルト押さえ (丸穴)、(前あき) フリーキルトの基本的な押さえです。前あきの押さえは、手元が見えやすいので細かな作業に適しています。
- 交換式フリーキルト押さえ (透明樹脂) 透明で手元が見やすく、安定して布を押さえるので、段部のある作品にも適しています。また、ガイド線があるので先にぬったラインにガイド線を合わせて、次のラインを均等にぬうことができます。

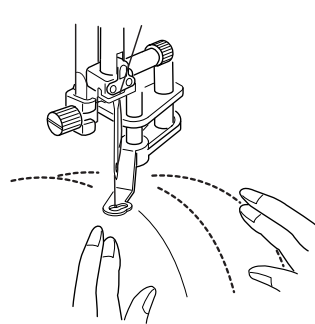
① ② ③



④



⑤

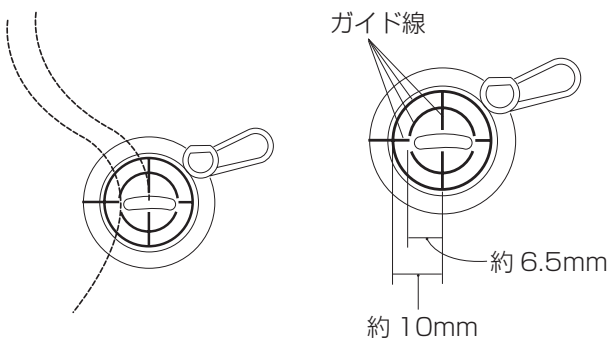


【ぬい方】

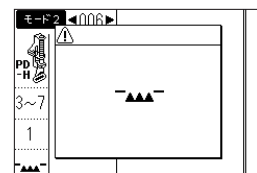
図案にそって両手で布を案内しながらキルティングします。

- ① 布をセットし、上糸の端を針から離れたところで持ちます。(上糸は押さえる穴に入れないでください。)
- ② 上下停針ボタンを2回押して1針ぬいます。
- ③ 上糸を引いて、下糸を引き出します。
※ 下糸を布の裏側でぬい込まないために、布の上の下糸を引き出します。
- ④ 上糸を押さえる穴から下に通し、引き出した下糸とそろえて布の上のぬい込まない位置に手で押さえます。
- ⑤ ミシンをスタートさせてぬい始めます。
図案にそって、両手で布を案内しながらキルティングします。
※ 送り歯をさげた状態でミシンをスタートさせようとすると「送り歯をあげてください」の意味の注意画面が表示され、ミシンはスタートできません。もう一度スタートするとぬうことができます。

交換式フリーキルト押さえ (透明樹脂) は、ガイド線に合わせてぬうと、等間隔にぬえます。



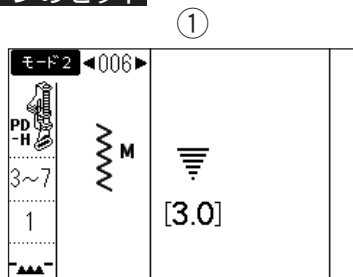
《注意画面》



- ※ 布を動かす量は、1針あたり0.3cm以下を目安に行ってください。
- ※ 交換式フリーキルト押さえ (前あき) を使用するとき、布を手前に強く引っ張らないでください。針折れ、けが、故障の原因になります。

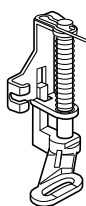
★キルティング (4)・・・フリーキルティング 2

ミシンのセット



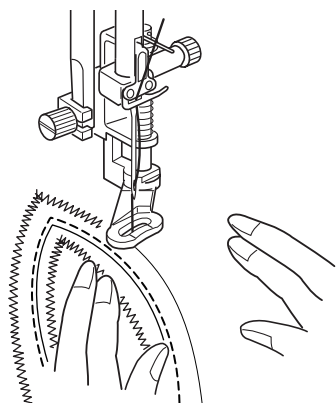
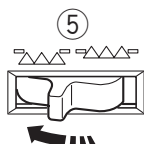
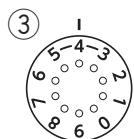
①

②



- ① 模様番号..... 006 (モード 2)
- ② 押さえ..... PD-H：フリーキルト押さえ
- ③ 糸調子ダイヤル3 ~ 7
- ④ 押さえ圧調節ダイヤル..... 1
- ⑤ 送り歯ドロップつまみさげる位置にします。

(30 ページ参照)



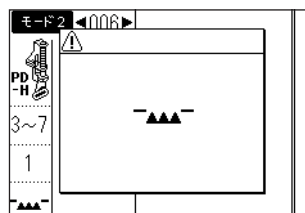
※ 模様はその他 (モード 1)、 (モード 2) が使えます。
001 004 007 008 011

※ PD-H：フリーキルト押さえ取り付け方は、18 ページをごらんください。

※ ぬい方は、QB-S：交換式フリーキルト押さえと同じです。91 ページをごらんください。

※ 送り歯をさげた状態でミシンをスタートさせようとするすると「送り歯をあげてください」の意味の注意画面が表示され、ミシンはスタートできません。もう一度スタートするとぬうことができます。

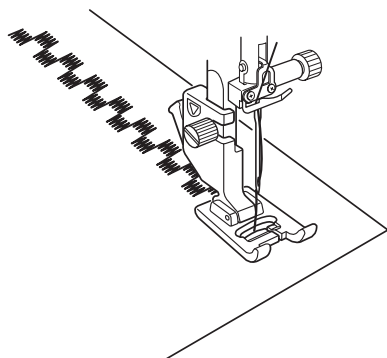
《注意画面》




●密着模様ぬい

ミシンのセット

① 模様番号.....125 (モード2)
 ② 押さえ.....F: サテン押さえ
 ③ 糸調子ダイヤル.....1 ~ 4
 ④ 押さえ圧調節ダイヤル.....3




模様  は、ぬい目の細かい飾り模様です。

ぬい目のあらか調節ダイヤルであらさを小さくすると、ぬい目がつまって布を送らなくなることがありますので、必ず試しぬいをして確認をしてください。

※ 布が縮む場合は、裏に芯地を貼ってください。

★模様の長さ調節機能 (エロンゲーション)

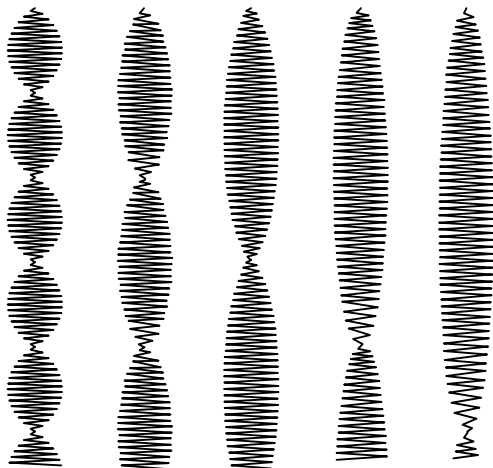
模様長さ調節ボタン
 模様の長さ表示

模様  は、他の模様と異なり、ぬい目のあらかをかえずに、模様の長さを2~5倍にすることができます。

【模様の長さの調節】(模様 の例)

- ① 模様を選びます。
- ② 模様長さ調節ボタンを押して、ぬいたい倍率を選びます。ボタンを押すごとに、模様の長さ表示が「×2」(2倍)、「×3」(3倍)、「×4」(4倍)、「×5」(5倍)とかわり、「×1」(1倍)にもどります。

「x1」 (1倍) 「x2」 (2倍) 「x3」 (3倍) 「x4」 (4倍) 「x5」 (5倍)



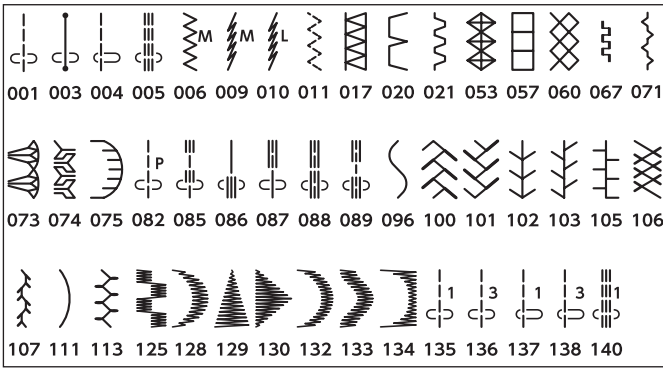
※ ぬい目の幅、ぬい目のあらかをかえると模様はさらに変化します。

- ③ ミシンをスタートさせてぬいます。

※ ぬい途中で止めぬいボタンを押すと、その模様を完成させたあと、ほつれ止めの止めぬいを行って、自動的にミシンが停止します。

※ ぬい途中で返しぬいボタンを押すと、その模様の途中でほつれ止めの止めぬいを行って、自動的にミシンが停止します。

● 2本針ぬい



付属の2本針を使用して2本針ぬいを行うと、きれいな飾りぬいができます。

2本針ぬいができる模様は左図の模様です。

※ 2本針は、付属の2本針をご使用ください。

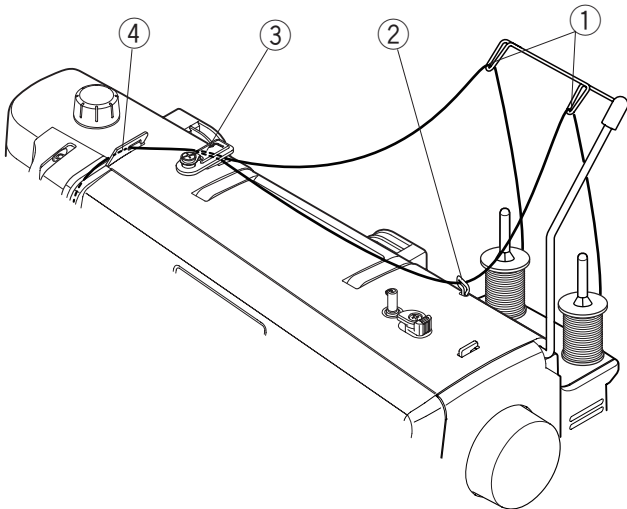
2本針の交換方法は、針の取りかえ方19ページをごらんください。

※ ぬい終わりの上糸と下糸はミシンの面板に付いている糸切りで切ってください。

(糸切りボタンを使用しないでください。)

面板の糸切りの使い方は、43ページをごらんください。

※ 2本針ぬいは、試しぬいをして確認してください。



【上糸のかけ方】

※ 2本針ぬいを行うときは、2本の糸立て棒を使います。

※ 糸は、60番および60番より細い糸を使用してください。

2つの糸こまから引き出した2本の糸は、途中でよじれないように左の糸は①③～⑨の手順でかけ、右糸は①～⑦⑨の手順で正しくかけてください。

①～⑥

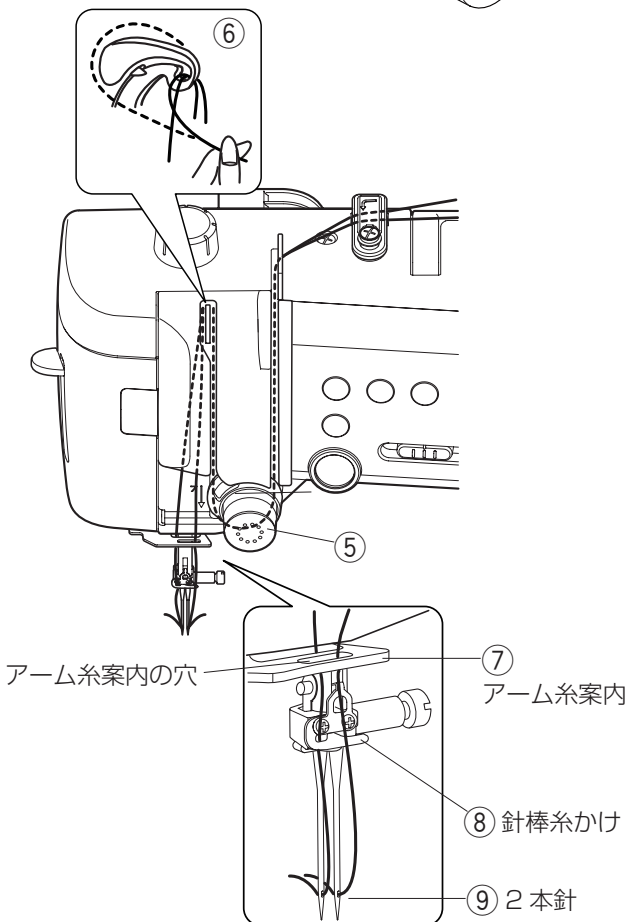
糸のかけ方は、針が1本のとときの通常の上糸かけの手順①～⑥と同じです。24～25ページをごらんください。

⑦ 左の糸はアーム糸案内に右からかけます。
右の糸はアーム糸案内の穴に通します。

⑧ 左の糸は針棒糸かけに右からかけます。
右の糸は針棒糸かけにはかけません。

⑨ 2本針に左右に分けて糸を通します。

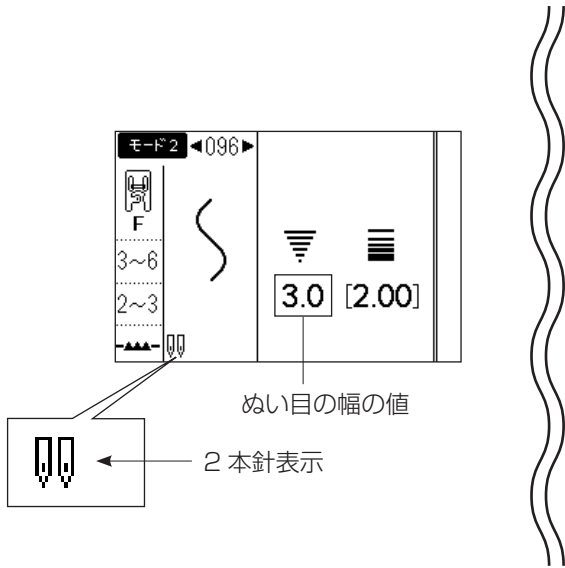
※ 2本針は糸通しが使えません。針穴に糸を通すときは、手で針の手前から向こう側に通してください。



①



2本針ボタン



【ぬい方】

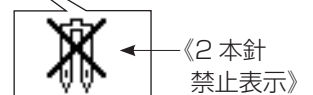
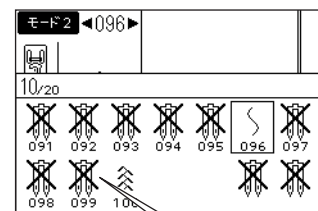
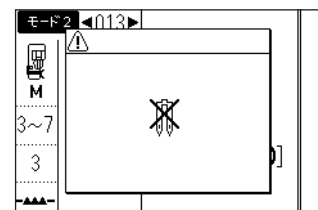
- ① 模様を選び、2本針ボタンを押します。
画面に2本針表示が点灯し、2本針ぬい設定状態になります。
※ ぬい目の幅が最大 3.0mm に制限されます。(直線状模様の場合は、針位置が 3.0 ~ 6.0 の範囲に制限されます。)

2本針ぬいを行うときは、安全のために、必ず2本針ボタンを押して2本針ぬい設定状態にしてください。
- ② ぬい模様に適した押さえに交換します。
※ 2本針ぬいに使用する押さえは、A：基本押さえ、またはF：サテン押さえです。
- ③ 上糸を、A：基本押さえを使用している場合は押さえの下から向こう側に、F：サテン押さえを使用している場合は押さえの下から横に引き出し、押さえ上げをさげてぬい始めます。
※ ぬい方向をかえるときは、針をあげてから布の方向をかえてください。
- ④ 2本針ぬいが終了したら通常の針に交換します。
※ 2本針を取り付けた状態で通常のぬいを行うと、針が押さえや針板にあたる場合があります。
※ 2本針ぬい設定状態は、2回2本針ボタンを押すか、電源スイッチを一度切り、再度電源スイッチを入れると解除されます。

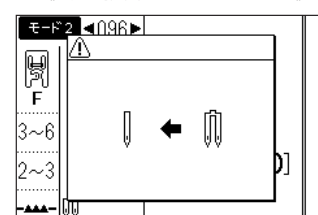
2本針ぬいの注意事項

- 2本針ぬいができない模様が選ばれているときは、2本針ボタンを押しても2本針ぬい設定状態になりません。このとき、ブザー音（禁止音）が鳴り、2本針禁止の表示が数秒間表示します。
- 2本針ぬい設定状態になっているときに別の模様を選ぼうとすると、2本針ぬいができない模様は、模様番号の上の模様のイラストが2本針禁止の表示にかわっていて、模様を選ぶことができないようになっています。(選ぼうとしてもブザー音（禁止音）が鳴り選ぶことができません。)
- 2本針ぬい設定状態のときは、記憶ぬいはできません。
- ぬい終わりの上糸と下糸はミシンの面板に付いている糸切りで切ってください。(糸切りボタンを使用しないでください。) 面板の糸切りの使い方は、43ページをごらんください。
- 2本針ぬい設定を解除したとき、針交換確認の注意画面が表示されます。針を確認の後、2本針ボタンを押してください。

《2本針禁止表示》



《針交換確認の注意画面》



◎記憶ぬい

記憶ボタンを使うと異なる模様（文字を含む）を組み合わせで一度でぬうことができます。

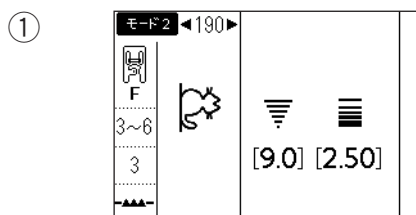
※ 模様（文字を含む）は合計 50 個まで記憶できます。

※ 記憶ぬいは、組み合わせ記憶した模様の内容の確認、模様の追加や削除、模様のぬい目の幅やあらさの設定値の変更などの編集ができます。編集は、模様を記憶している途中やすべて記憶したあと、およびぬったあとのいつでもできます。「◎編集機能」（109 ページ）をごらんください。

※ 模様を組み合わせでぬうときは、必ず試しぬいをして糸調子を確認してください。

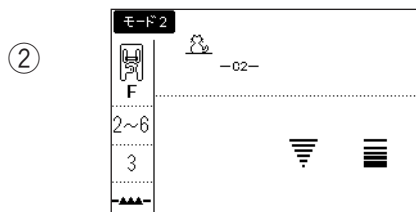
上糸と下糸のバランスがとれていない場合は糸調子ダイヤルで調節してください。糸調子の調節方法は、29 ページ）をごらんください。

●組み合わせ記憶

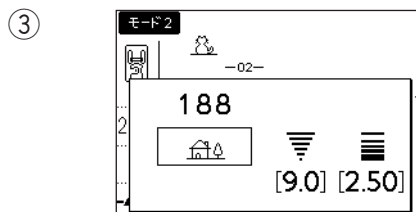


【例】模様 190、188、184（モード 2）を組み合わせる

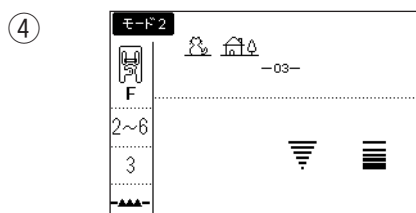
① 模様 190（モード 2）を選びます。



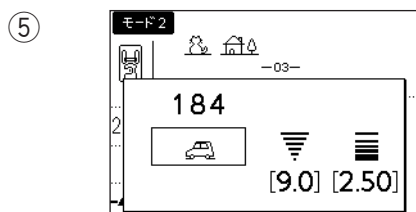
② 記憶ボタンを押します。



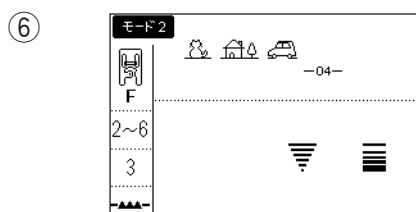
③ 模様 188（モード 2）を選びます。



④ 記憶ボタンを押します。



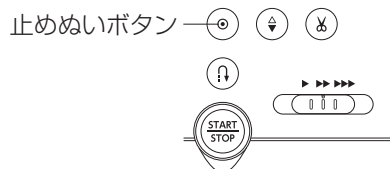
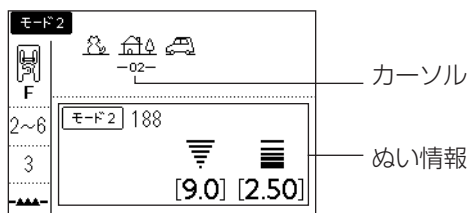
⑤ 模様 184（モード 2）を選びます。



⑥ 記憶ボタンを押します。



⑦



⑦ ミシンをスタートさせると、組み合わせ記憶した模様をくり返しぬいます。

- ※ ぬっている模様カーソルがあります。
- ※ ぬっている模様のぬい情報が表示されます。

※ ぬい途中で止めぬいボタンを押すと、その模様を完成させたあとほつれ止めの止めぬいを行って自動的にミシンが停止します。

止めぬいボタンの使い方は、10 ページをごらんください。

※ ぬい途中で返しぬいボタンを押すと、その模様の途中でほつれ止めの止めぬいを行って、自動的にミシンが停止します。

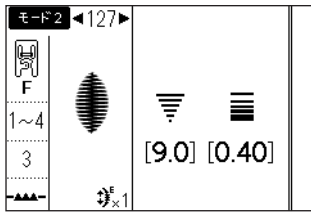
返しぬいボタンの使い方は、9 ページをごらんください。

※ ぬい途中で止めた場合の模様の始めからぬうぬい方は頭出しボタン「**◀B**」の使い方 (101 ページ) をごらんください。

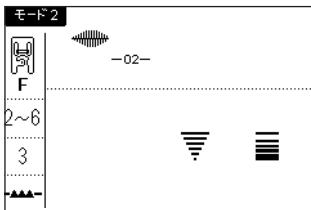
※ 糸切り記憶設定を使うと、ぬい終わったあと糸切りボタンを押さなくても自動的に糸切りを行うことができます。ミシンの設定 38 ページをごらんください。

●止めぬい模様の使い方

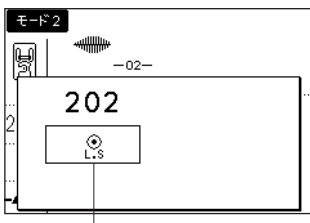
①



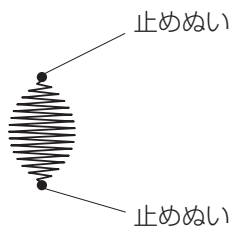
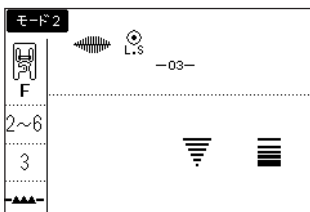
②



③



④



模様を1つだけまたは複数組み合わせて記憶し、そのあとに止めぬい模様 202 (モード 2) を選ぶと、模様を1つだけまたは組み合わせた模様の数だけをぬったあと、ほつれ止めの止めぬいを行って自動的にミシンを停止することができます。

【例】 模様 127 (モード 2) を1つだけぬう

① 模様 127 (モード 2) を選びます。

② 記憶ボタンを押します。

③ 止めぬい模様 202 (モード 2) を選びます。

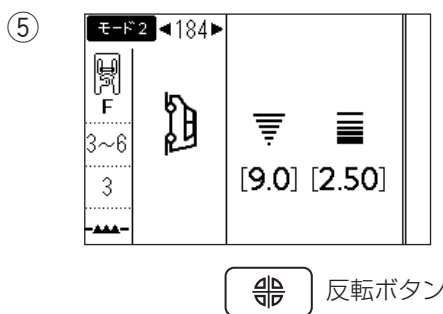
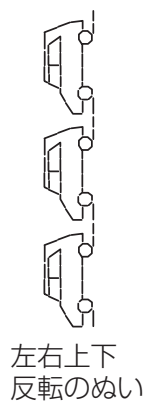
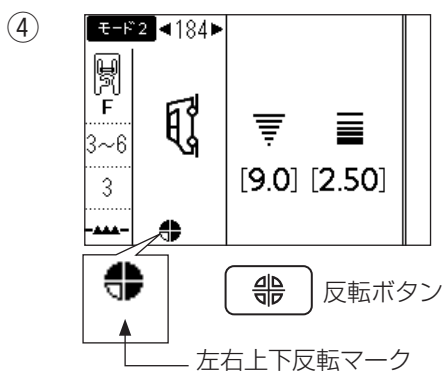
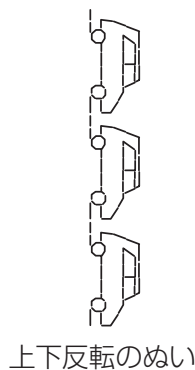
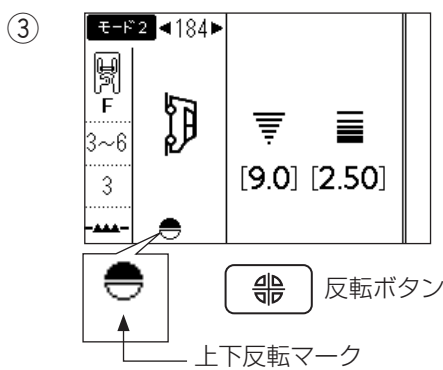
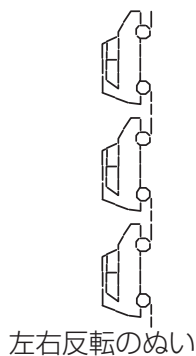
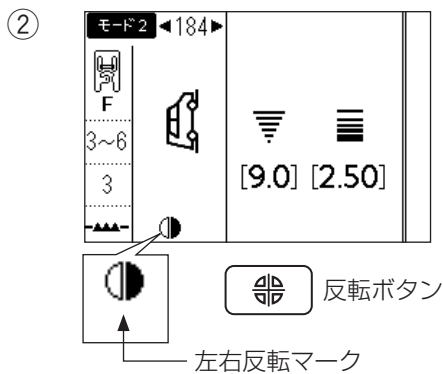
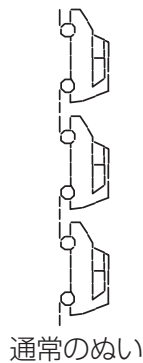
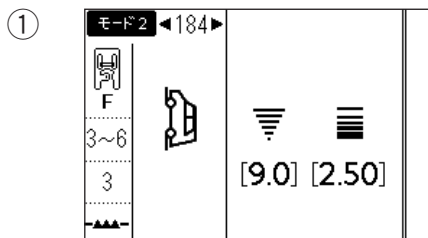
④ 記憶ボタンを押します。

ミシンをスタートさせると、模様を1つだけぬったあと、ほつれ止めの止めぬいを行って自動的にミシンが停止します。

※ 模様のぬい始めには止めぬいが入っています。

※ 同じ模様を複数ぬったあとほつれ止めの止めぬいを行って自動的にミシンを停止する場合は、模様を選んだあとぬいたい数だけ記憶ボタンを押し、そのあと止めぬい模様を選びます。

●反転ボタンの使い方



反転ボタンを使うと、選んだ模様を左右または上下反転した形でぬうことができます。

通常のぬいおよび記憶ぬいどちらでも使用できます。

※ ボタンホール模様、文字およびその他の模様の一部は反転できません。

上下反転できる模様は、ミシンの早見板の模様を四角に塗って表示しています。31 ページをごらんください。

【左右反転、上下反転の選び方】

① 模様を選びます。(模様 184 (モード 2) の例)

② 反転ボタンを一度押します。
画面に左右反転マークが表示され、左右反転した形でぬうことができます。

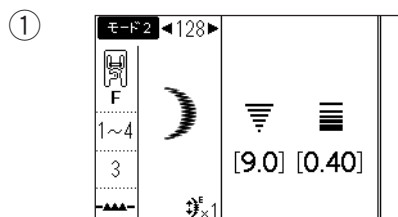
③ 反転ボタンをもう一度押します。
画面の左右反転マークが上下反転マークにかわり、上下反転した形でぬうことができます。

※ 上下反転できない模様の場合は、反転マークが消えて、もとの通常の形にもどります。

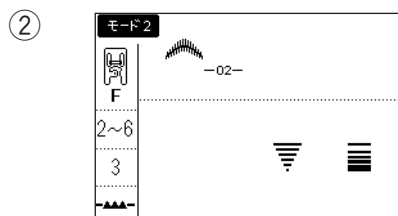
④ 反転ボタンをもう一度押します。
画面の上下反転マークが左右上下反転マークにかわり、左右および上下反転した形でぬうことができます。

⑤ 反転ボタンをもう一度押します。
反転マークが消え、もとの通常の形でぬうことができます。

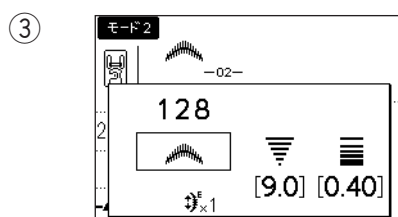
【例】模様 128 (モード 2) と模様 128 (モード 2) の左右反転模様を交互にぬう (記憶ぬいの例)



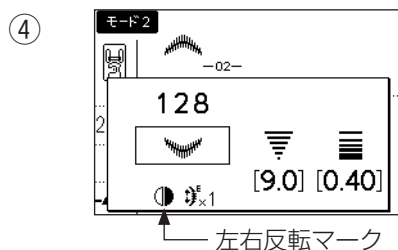
① 模様 128 (モード 2) を選びます。



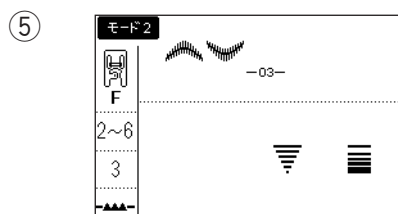
② 記憶ボタンを押します。



③ 模様 128 (モード 2) を選びます。



④ 反転ボタンを押して、左右反転マークを表示させます。

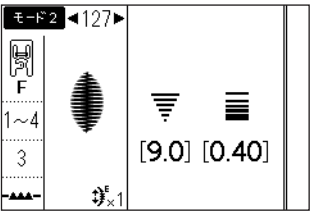
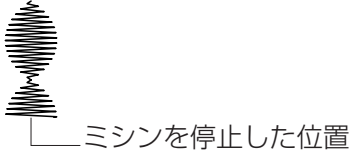
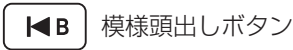
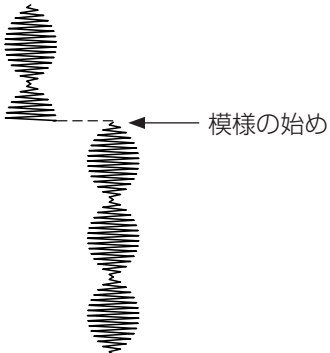


⑤ 記憶ボタンを押します。



⑥ ミシンをスタートさせると、反転模様を含む組み合わせ記憶した模様をくり返します。

●模様頭出しボタンの使い方

- ① 
- ②  ミシンを停止した位置
- ③  模様頭出しボタン
- ④  模様の始め

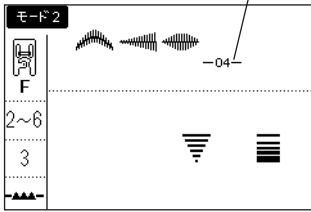

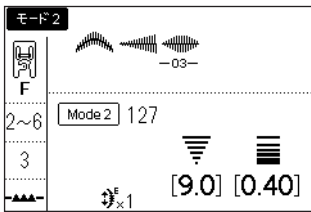
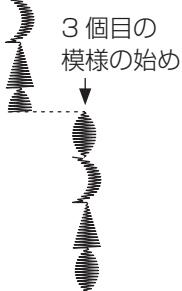
模様頭出しボタンを使うと、ぬいを途中で止めた場合、模様の始めからぬうことができます。複数の模様が組み合わされている場合、どの模様の始めからでもぬうことができます。

通常のぬいおよび記憶ぬいどちらでも使用できます。

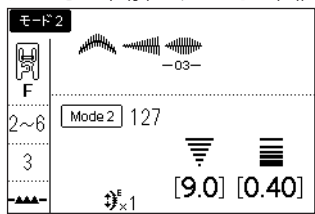
※ ぬう前でも、組み合わせ記憶した模様の中のお好みの模様からぬい始めることができます。

【通常ぬいの場合】

- ① 模様 127 (モード 2) (1 つの模様を連続してぬう例)
- ② ミシンを停止した位置
- ③ 模様頭出しボタンを押します。
- ④ ミシンをスタートさせると、模様の始めからぬいます。

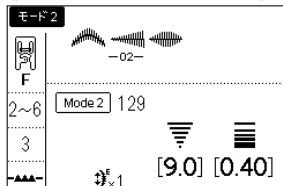
- ①  カーソル
- ②  ミシンを停止した位置
- ③  模様頭出しボタン
- ④  3 個目の模様の始め

《ミシン停止時/模様頭出しボタンを1回押したときの画面》

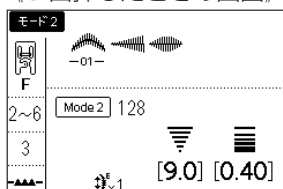


③ 模様頭出しボタン

《2回押したときの画面》



《3回押したときの画面》



- ② 2 個目の模様の始め
- ③ 模様頭出しボタン

- ② 1 個目の模様の始め
- ③ 模様頭出しボタン

【組み合わせ記憶ぬいの場合】

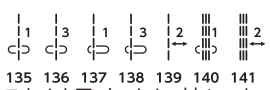
〔ぬいかけた模様の最初からぬう場合〕

- ① 組み合わせ記憶模様 128、129、127 (モード 2) (3 個の模様を組み合わせた例)
- ② ミシンを停止した位置 (3 個目の途中)
- ③ 模様頭出しボタンを 1 回押します。
- ④ ミシンをスタートすると、途中で止めた模様の最初からぬいます。

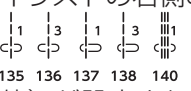
〔組み合わせた模様の最初からぬう場合〕


- ① 模様頭出しボタンを押すごとにカーソルが移動し、1 個目の模様の次は最後の模様にもどり、くり返します。
- ※ 模様頭出しボタンを長押しすると、1 回の動作で 1 個目の模様を開始マークを合わせることができます。
- ② ミシンをスタートさせると、カーソルを合わせた模様の始めからぬいます。

●つなぎ模様の使い方

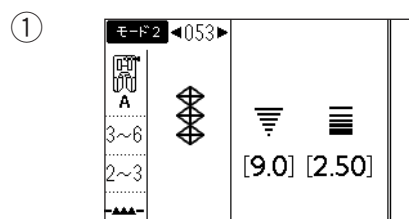
模様  (モード2) は、つなぎ模様です。つなぎ模様は、模様と模様の間かくを直線ぬいを使ってあげるときに使います。

ぬい目のイラストの右側の数字「1」「2」「3」は、つなぎ模様を1つ記憶したときのぬい目の数を示します。

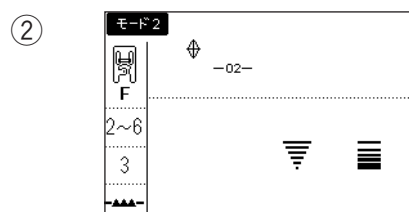
・ 模様  は、針位置やぬい目のあらかのオート値（電源を入れたとき、ミシンに自動的に設定されている値）が設定されていて、そのオート値はぬい目の幅調節ダイヤルとぬい目のあらか調節ダイヤルでかえることができます。

・ 模様  は、針位置やぬい目のあらかのオート値が設定されていないで、その値はつなぎ模様の1つ前に記憶されている模様と同じ値になり、ぬい目の幅調節ダイヤルとぬい目のあらか調節ダイヤルでかえることはできません。（針位置は、前の模様のぬい終わりの針位置になります。）

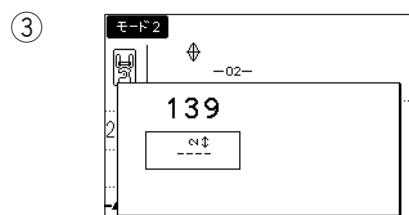
【例】 模様 053（モード2）のあいだに模様 139（モード2）を組み合わせて、間かくをあげる



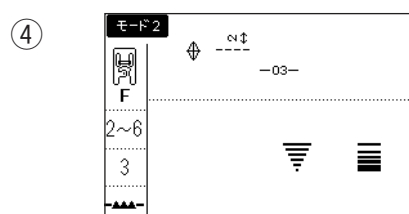
① 模様 053（モード2）を選びます。



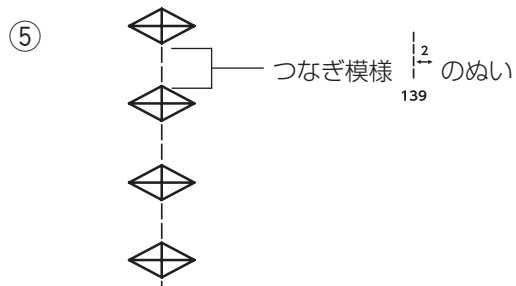
② 記憶ボタンを押します。



③ つなぎ模様 139（モード2）を選びます。



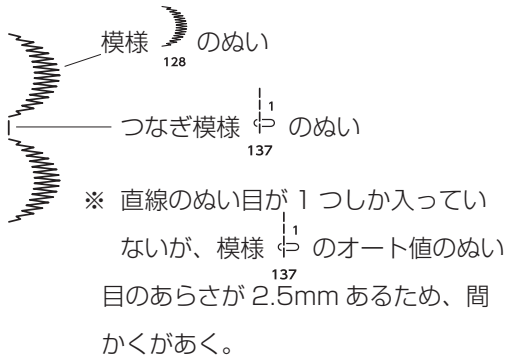
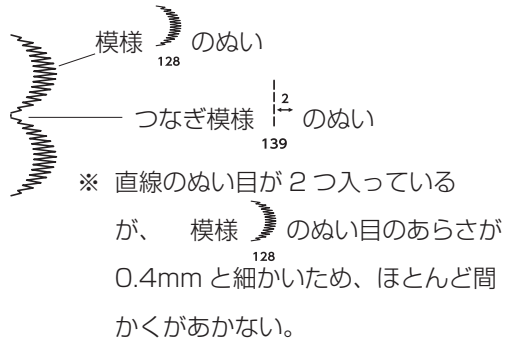
④ 記憶キーを押します。



⑤ ミシンをスタートさせると、模様 053 の間かくがあいた状態でくり返しぬいます。

※ 模様と模様のあいだに、中針位置の直線のぬい目が2つ入っています。

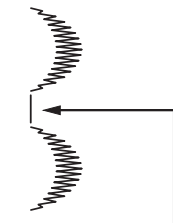
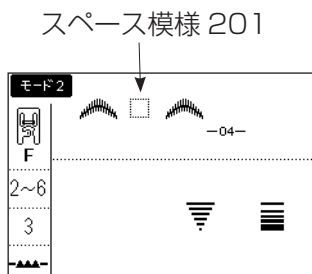
ぬい目のあさが細かい模様につなぎ模様を使う場合



例えば、模様 128 のように、ぬい目のあさが細かい模様の次につなぎ模様 139 141 を使うと、つなぎ模様のぬい目のあさは1つ前の模様のぬい目のあさと同じになるため、つなぎ模様のぬい目のあさも細かくなって、次の模様とほとんど間かくがあきません。

ぬい目のあさが細かい模様のあとにつなぎ模様で間かくをあげたい場合は、つなぎ模様 135 136 137 138 140 を使用してください。

●スペース模様の使い方



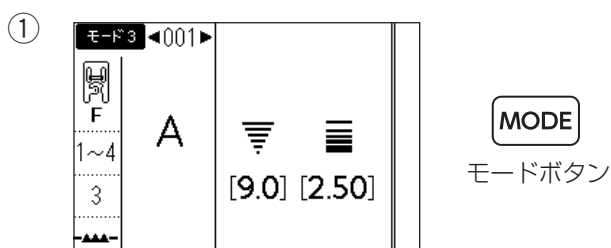
1個のスペース模様 (オート値) を入れた例

模様と模様の間かくをあげる模様は、つなぎ模様の他にスペース模様 201 (モード 2) があります。スペース模様を1つ記憶すると模様と模様の間かくを最大約5mm (オート値) あげることができます。

◎文字ぬい

- 文字は、通常の模様と同じように複数の文字（記号を含む）および模様を組み合わせることでぬうことができます。文字の選び方は通常の模様と異なりますが、組み合わせ記憶の方法は通常の模様と同じです。
- 文字を1つだけまたは複数の文字を組み合わせる場合、最後の文字をぬって自動的にミシンは停止します。（ミシン停止時の針位置設定が下位置停止になっていても針は上の位置で停止します。）ぬわれた文字のぬい始めとぬい終わりには、ほつれ止めの止めぬいが入っています。
- 文字と模様を組み合わせる場合、組み合わせ記憶した模様の最後が文字の場合は、最後の文字をぬって自動的にミシンは停止します。組み合わせ記憶した模様の最後が文字以外の模様の場合は、組み合わせ記憶した模様をくり返しぬいます。

●文字（書体）の種類



- ① モードボタンを押して、モード3の画面を表示させます。
模様001のぬい実行画面が表示されます。



- ② 模様一覧表示ボタンを押して、模様一覧（文字選択画面）を表示させます。

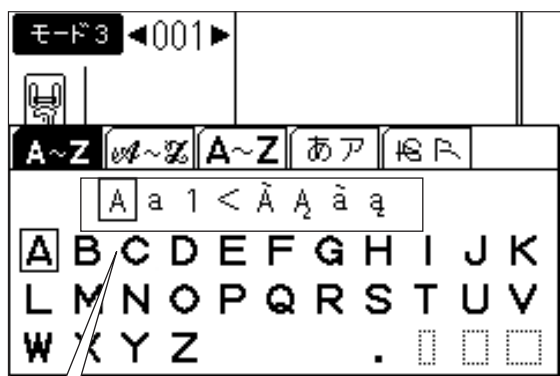
※ ぬい目の幅調節ダイヤルをまわすごとに、文字種類アイコンのカーソルが移動し、その後書体に移動して（1）ブロック体、（2）スク립ト体、（3）ブロック体（9mm幅）、（4）かな文字（横書き）、（5）かな文字（縦書き）、の5種類の書体の文字グループを選ぶことができます。

※ 文字選択画面の文字種類アイコンはぬい目の幅調節ダイヤルをまわすことにより、カーソルが移動し、大文字、小文字、数字、記号、ヨーロッパ文字等の文字を選ぶことができます。（105ページ参照）

※ 数字ボタン、矢印ボタンでも文字が選択できます。

※ 9ミリ幅モノグラムは、他の書体と異なり、ブロック体を大きな文字サイズ（9mmの高さ）でぬうことができます。（大文字、数字、記号のみ）

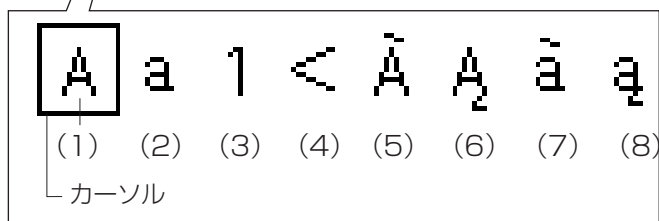
…〔文字のサイズ（高さ）〕欄（108ページ）参照



文字種類アイコン

文字種類アイコン
（英字の場合）

- （1）アルファベット大文字
- （2）アルファベット小文字
- （3）数字／シンボル
- （4）シンボル
- （5）ヨーロッパ文字（大文字）
- （6）ヨーロッパ文字（大文字）
- （7）ヨーロッパ文字（小文字）
- （8）ヨーロッパ文字（小文字）

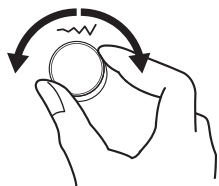
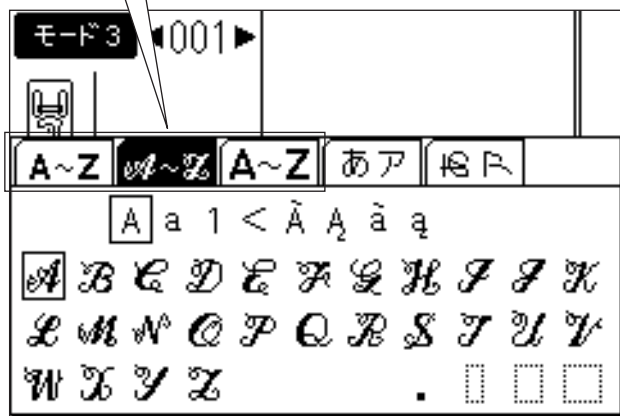
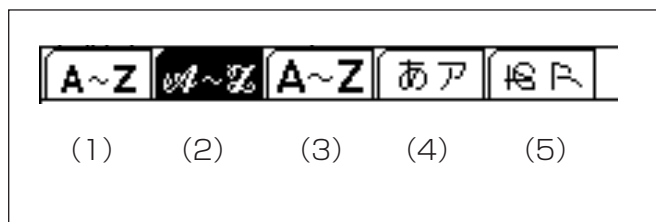


カーソル



ぬい目の幅調節ダイヤル

●文字（書体）の選び方



ぬい目の幅調節ダイヤル

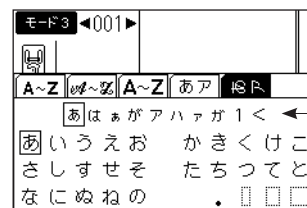
文字種類アイコンのカーソルが移動し、その後書体に移動して (1) ブロック体、(2) スクリプト体、(3) ブロック体 (9mm 幅)、(4) かな文字 (横書き)、(5) かな文字 (縦書き)、の 5 種類の書体の文字グループを選ぶことができます。

- (1) ブロック体
- (2) スクリプト体
- (3) ブロック体 (9mm 幅)
- (4) かな文字 (横書き)
- (5) かな文字 (縦書き)

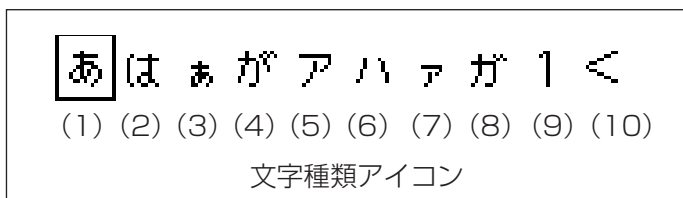
※ 「◎ミシンの設定 / 【画面の言語設定】 (41 ページ) でロシア語が設定された場合、下記の表示になります。



※ 日本語の文字種類



文字種類アイコン

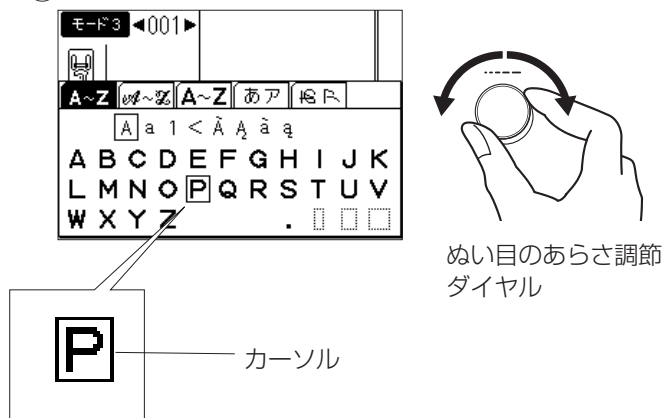


文字種類アイコン

- (1) ひらがな大文字 (あ行～な行)
- (2) ひらがな大文字 (は行～わ行)
- (3) ひらがな小文字
- (4) ひらがな大文字 (濁点、半濁点、ピリオド、スペース)
- (5) カタカナ大文字 (ア行～ナ行)
- (6) カタカナ大文字 (ハ行～ワ行)
- (7) カタカナ小文字
- (8) カタカナ大文字 (濁点、半濁点、ピリオド、スペース)
- (9) 数字 / シンボル
- (10) シンボル

●文字の選び方

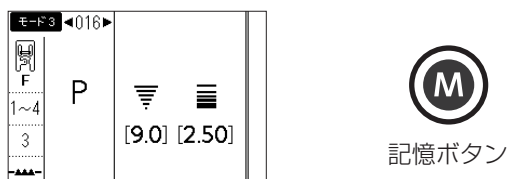
①



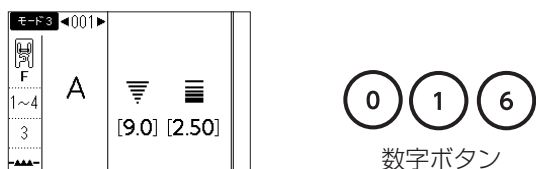
【例】ぬい目のあらか調節ダイヤルで選ぶ方法 (P を選ぶ)

① ぬい目のあらか調節ダイヤルをまわし、カーソルを移動させて、文字を選びます。
(例アルファベット大文字「P」)

②

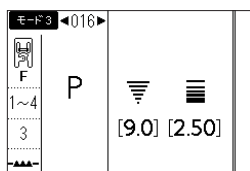


② 記憶ボタンを押します。



【例】数字ボタンで選ぶ方法 (P を選ぶ)

数字ボタンを016の順番に押して、文字を選びます。



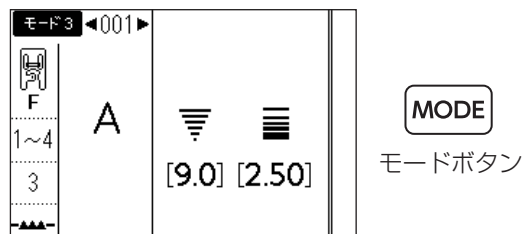
※ 矢印ボタン ◀ ▶ を押して、文字を選ぶこともできます。ボタンを長押しすると表示が速く切りかわります。

●文字ぬいの例

文字ぬいの注意事項

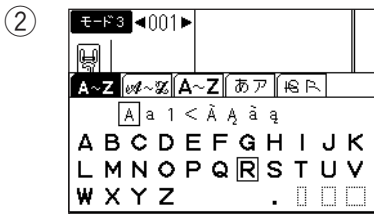
- ・ 必ず同じ布地で試しぬいをしてください。
- ・ 押さえは、F：サテン押さえを使用してください。
- ・ 針は、付属のブルー針（柄の部分が青色の針）を使用してください。
- ・ 伸びる布地、薄手の布地などをぬう場合は、布の裏に市販品の芯地を貼るかまたはトレーシングペーパーや薄い紙を布の下に敷いてぬってください。
- ・ 文字や記号を組み合わせた場合、隣り合う模様によっては間かくがせまくなったり、広がる場合があります。気になる場合はスペース模様で調節してください。（〔スペース模様〕108参照）

①



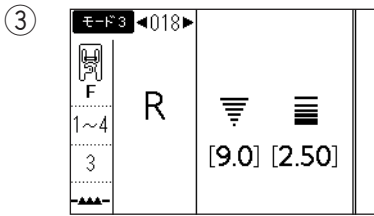
【例】ブロック体「R&B」をぬう

① モードボタンを押して、モード3の画面を表示させます。
模様001のぬい実行画面が表示されます。



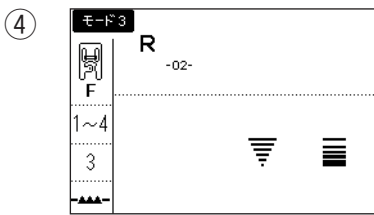
模様一覧表示
ボタン

② 模様一覧表示ボタンを押して、模様一覧（文字選択画面）を表示させ、ぬい目のあらか調節ダイヤルをまわして「R」を選びます。



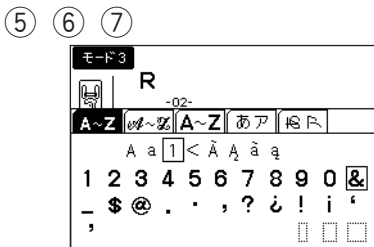
記憶ボタン

③ 記憶ボタンを押します。



記憶ボタン

④ 記憶ボタンを押し、「R」を記憶します。

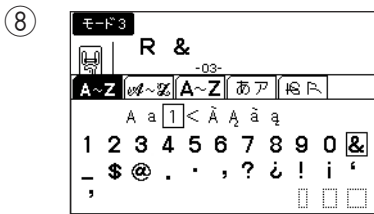


模様一覧表示
ボタン

⑤ 模様一覧表示ボタンを押して、模様一覧（文字選択画面）を表示させます。

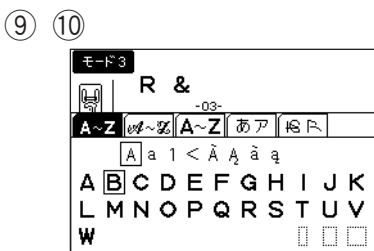
⑥ ぬい目の幅調節ダイヤルをまわし、文字種類アイコンの数字／シンボルを選びます。

⑦ ぬい目のあらか調節ダイヤルをまわし、「&」を選びます。



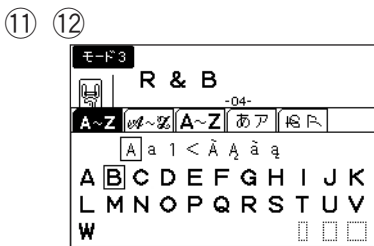
記憶ボタン

⑧ 記憶ボタンを押し、記憶します。



⑨ ぬい目の幅調節ダイヤルをまわし、文字種類アイコンのアルファベット大文字を選びます。

⑩ ぬい目のあらか調節ダイヤルをまわし、「B」を選びます。

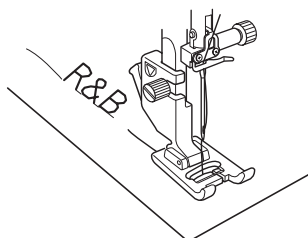


記憶ボタン

⑪ 記憶ボタンを押して、記憶します。

⑫ ミシンをスタートさせると、「R&B」をぬったあと自動的にミシンは停止します。

※ 糸切り記憶ボタン（38 ページ参照）、模様頭出しボタンの使い方（101 ページ参照）および、つなぎ模様の使い方（102 ページ参照）は、通常の様の場合と同じです。

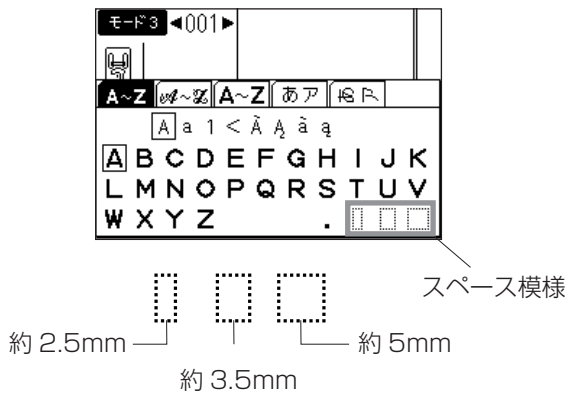


スペース模様

文字選択画面の右下にある「□ □ □」はスペース模様です。文字と文字の間かくをあけてぬうときに使います。

文字と文字のあいだに組み合わせて記憶してください。「□」は約 2.5mm、「□」は約 3.5mm、「□」は約 5mm の間かくがあきます。

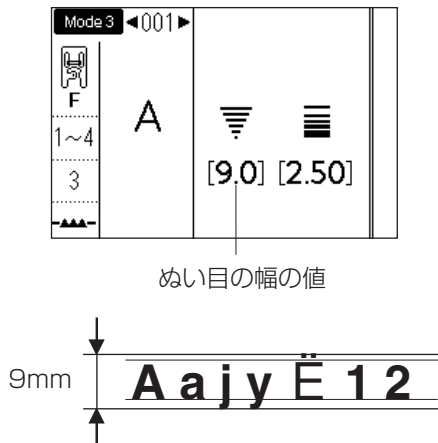
※ 上記間かくの長さは、ぬい目のあらかさがオート値（電源を入れたとき、ミシンに自動的に設定されている値）のときの値です。ぬい目のあらかさ調節ダイヤルで設定値を変更すると、間かくはかわります。



文字のサイズ（高さ）

画面のぬい目の幅の値「9.0」は、いろいろな文字を組み合わせたときの文字構成全体の高さ（枠）の寸法です。個々の文字の高さは、9mm よりも小さくなります。

※ 9ミリ幅モノグラム書体は、ブロック体の文字を実際に 9mm の高さでぬうことができます。（大文字、数字、記号のみ）



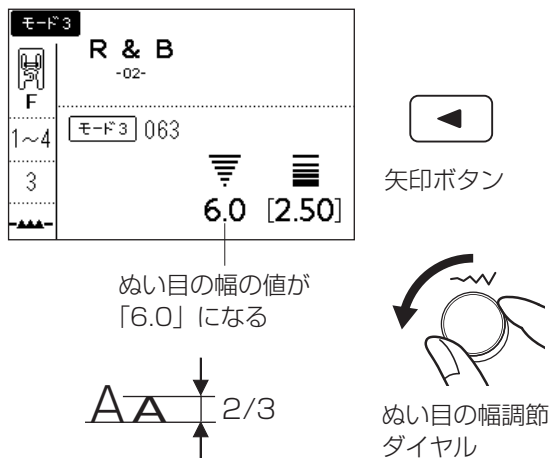
文字の縮小

文字を選んでから、ぬい目の幅調節ダイヤルをまわして、文字の高さを約 2/3 に縮小できます。

組み合わせ記憶した文字を縮小する場合は、編集機能を利用して矢印ボタンでカーソルを縮小したい文字に合わせる必要があります。

編集機能は、「◎編集機能」（113 ページ）をご覧ください。

※ 9ミリ幅モノグラム書体は、文字の縮小はできません。



◎編集機能

記憶ぬいは、組み合わせ記憶した模様の内容の確認、模様の追加や削除、模様のぬい目の幅やあらかさの設定値の変更などの編集ができます。

編集は、模様を記憶している途中やすべて記憶したあと、およびぬったあとのいつでもできます。

※ 編集機能は画面のカーソルが点滅しているときにできます。ぬったあとはカーソルが点灯状態になっていますので、一度矢印ボタンの「◀」または「▶」のどちらかを押して、カーソルを点滅状態にしてください。


●記憶内容の確認

矢印ボタンでカーソルを左や右へ移動させることで、画面に表示されていない記憶した模様を表示させ、内容を確認することができます。


※ 矢印ボタン「◀」はカーソルを左に移動させ、「▶」はカーソルを右に移動させることができます。

【例】 模様  ~  (7個) を記憶したときのすべての模様を画面上で確認する

① 模様番号 125 ~ 131 までを順番に 7 個記憶した直後の画面。

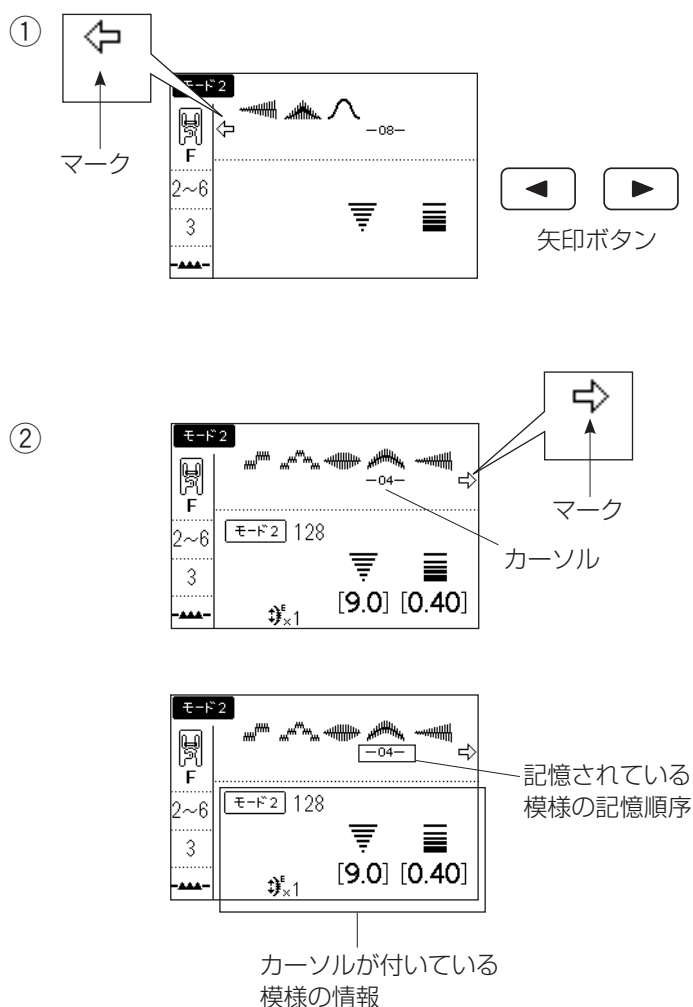
※ 画面左の「◀」マークは、模様番号  の前に別の模様が記憶されていることを示します。

② 矢印ボタン「▶」を押します。(例では 4 回押す。)

※ 画面右の「▶」マークは、模様番号  のうしろに模様が記憶されていることを示します。

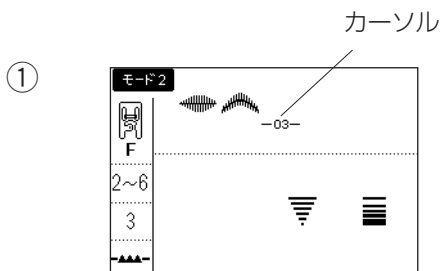
※ カーソルに表示されている数字は、カーソルが付いている模様が記憶されている模様の何番目かを示します。

※ 模様の下に表示されているのは、カーソルが付いている模様のモードと模様番号を示し、その他、ぬい目の幅やあらかさなどの情報です。






●記憶内容の修正（模様削除と挿入）

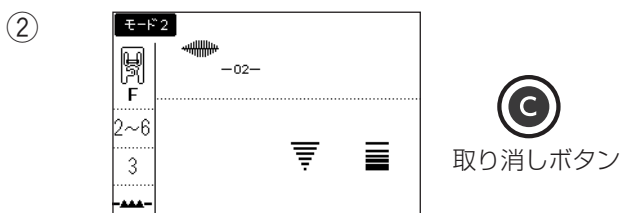
矢印ボタンでカーソルを合わせた模様のところで取り消しを押すと、その模様を削除することができます。カーソルを合わせた模様のところで新しく選んだ模様を記憶すると、その模様の前に新しい模様を挿入することができます。



【削除 1】

【例】 記憶されている模様  と  から模様  を削除する

① 模様番号 127 と模様番号 128 記憶した直後の画面。

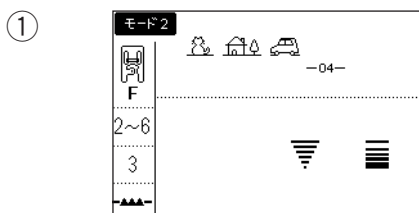


② 取り消しボタンを押します。





模様番号 128 が削除されます。

※ カーソルの前の模様が削除されます。

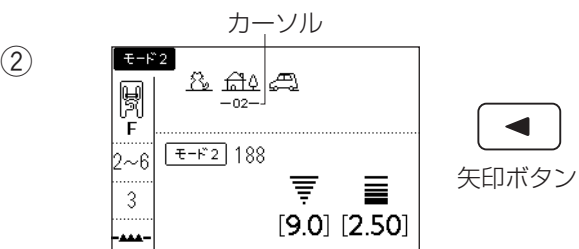
※ 取り消しキーをブザーが「ピッ」と鳴るまで長押しすると、記憶したすべての模様を一度に削除できます。



【削除 2】

【例】 記憶されている模様    から模様  を削除する

① 模様番号 190、模様番号 188、と模様番号 184 を記憶した直後の画面。

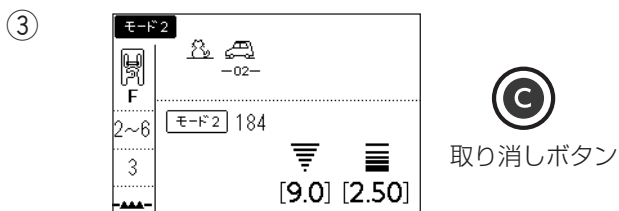


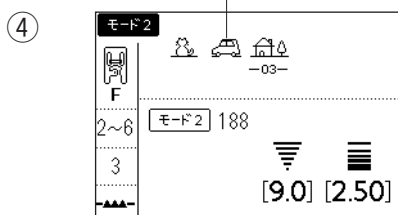
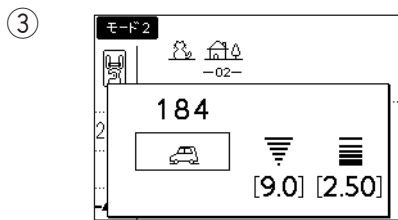
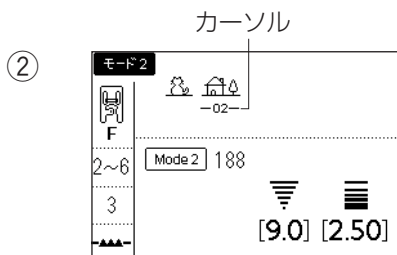
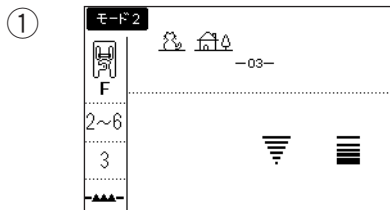
② 矢印ボタンを押して、カーソルを削除する模様 188 に合わせます。

③ 取り消しボタンを押します。




模様番号 188 が削除されます。

※ 取り消しキーをブザーが「ピッ」と鳴るまで長押しすると、記憶したすべての模様を一度に削除できます。






【模様の挿入】

【例】 記憶されている模様  と 
 のあいだに模様  を挿入する

① 模様番号 190 と模様番号 188 記憶した直後の画面。

② 矢印ボタンで、模様  にカーソルを合わせます。

※ 挿入はカーソルがある模様の前に挿入されます。




③ 模様 184 を選びます。

④ 記憶ボタンを押します。

模様 188 の前に模様が挿入されます。

【模様のコピー】

カーソルを合わせた模様のところで記憶ボタンを押すと、その模様の手前に同じ模様をコピーして挿入することができます。

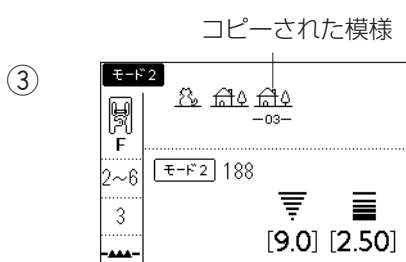
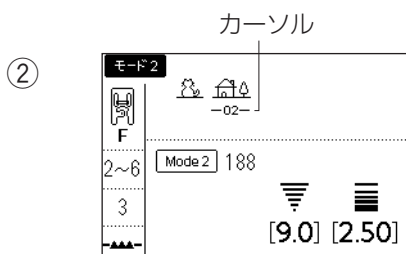
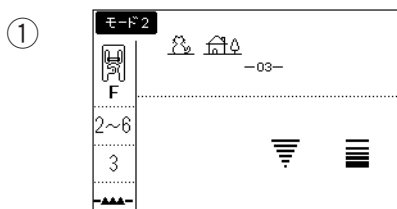
【例】 記憶されている模様  と 
 のあいだに模様  をコピーする

① 模様  と模様  記憶した直後の画面。

② 矢印ボタンで、コピーする模様 188 にカーソルを合わせます。

③ 記憶ボタンを押します。

模様 188 がコピー（記憶）されます。



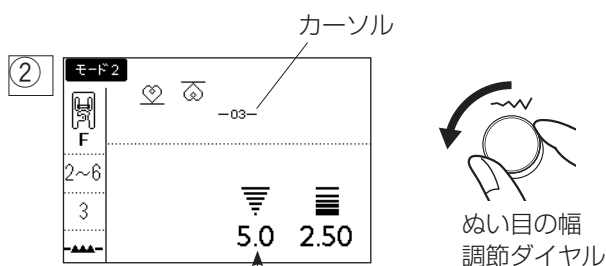
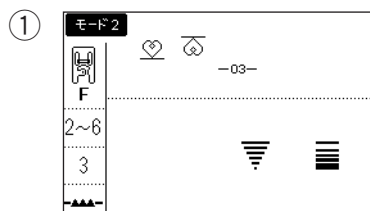
●ぬい目の幅とあらしの調節方法

★統一マニュアル方式

記憶された複数の模様全体を1つの模様として、ぬい目の幅、ぬい目のあらしを一括調節する方法です。すべての模様が、同じ幅とあらしでぬわれます。記憶した模様の外側（右側）にカーソルの表示があるときに模様全体の統一マニュアル値の設定ができます。

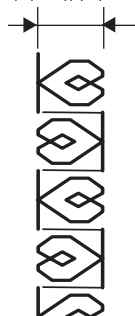
※ 模様の組み合わせによっては、ぬい目の幅やあらしが一括して調節できない場合もあります。

【例】模様 と （左右反転）を組み合わせせた全体のぬい目の幅を一括して調節する



例：ぬい目の幅「9.0」を「5.0」に設定

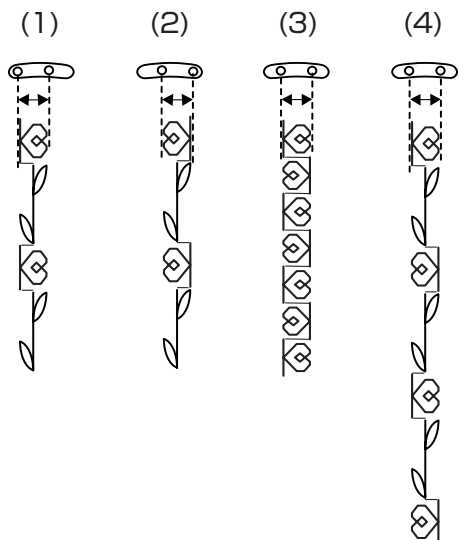
オート値
ぬい目の幅「9.0」












統一マニュアル値
ぬい目の幅「5.0」

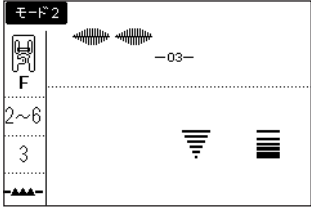


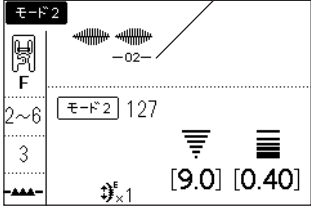
基準針位置が異なる模様を組み合わせ記憶し、ぬい目の幅を小さくして統一マニュアル値を設定した場合、基準針位置は下記のように統一されます。

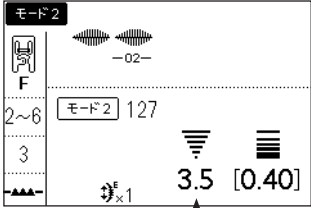


- (1) 左針位置模様  と中針位置模様  の組み合わせ
..... 左針位置（左合わせ）に統一されます。
- (2) 右針位置模様 （左右反転）と中針位置模様  の組み合わせ
..... 右針位置（右合わせ）に統一されます。
- (3) 左針位置模様  と右針位置模様 （左右反転）の組み合わせ
..... 中針位置（中合わせ）に統一されます。
- (4) 左針位置模様  と中針位置模様  と右針位置模様 （左右反転）の組み合わせ
..... 中針位置（中合わせ）に統一されます。

★個別マニュアル方式

① 

② 
カーソル
記憶模様の順番
(2番目)
矢印ボタン

③ 
ぬい目の幅
調節ダイヤル

例：ぬい目の幅「9.0」を「3.5」に設定

記憶された個々の模様について、ぬい目の幅、ぬい目のあさを調節する方法です。

調節したい模様の下にカーソルの表示があるときに、その模様の個別マニュアル値の設定ができます。

【例】 同じ模様を 2 個記憶し、2 番目の模様のぬい目の幅を変更する

① 模様 127 (モード 2) を 2 個記憶した直後の画面。

② 矢印ボタンを押して、変更する模様 (2 番目) にカーソルを合わせます。

※ 記憶模様の順番は、カーソルに表示されている数字で確認してください。

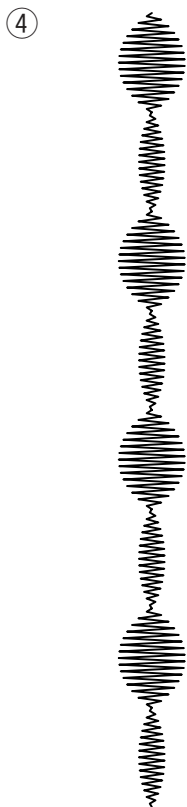
③ ぬい目の幅調節ダイヤル (またはぬい目のあさ調節ダイヤル) をまわして、2 番目の模様のぬい目の幅を「3.5」にセットします。

④ ミシンをスタートさせると、ぬい目の幅が 1 番目の模様は 9.0mm (オート値)、2 番目の模様は 3.5mm (設定値) の 2 つの模様を交互にぬいます。

※ 個々の模様の下にカーソルを合わせると、設定したマニュアル値が画面下に表示されます。

(オート値の場合は〔 〕付きで表示されます。)

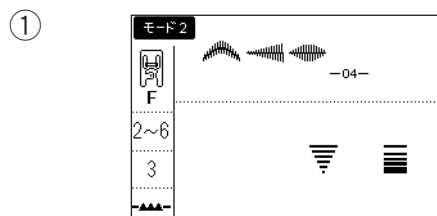
※ 最後の模様の次の位置にカーソルを移動させ、ぬい目の幅調節ダイヤル、またはぬい目のあさ調節ダイヤルをまわすと、統一マニュアル方式になります。



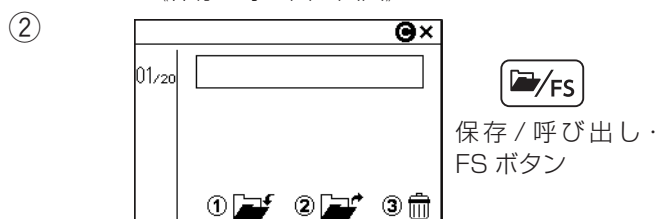
◎模様保存・呼び出し機能

模様を組み合わせ記憶したり編集した模様データをマシンに保存し、いつでも呼び出してぬうことができます。合計 20 個の模様データが保存できます。

●模様データの保存



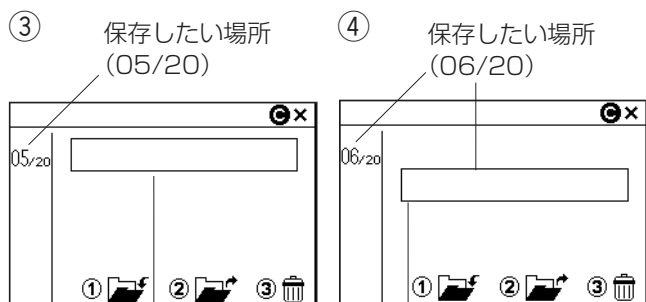
《保存 / 呼び出し画面》



① 保存したい模様を記憶します。(模様番号 128、模様番号 129 と模様番号 127 の組み合わせ記憶した例)

② 保存 / 呼び出し・FS (オート値変更) ボタンを押して、保存 / 呼び出し画面を表示させます。

※ 画面には、01/20 (1 番目) の保存データの内容が表示されています。(購入時は、何も保存されていないので保存データが表示されません。)



保存したい場所
(05/20)

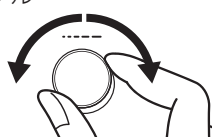
保存したい場所
(06/20)

カーソル

カーソル



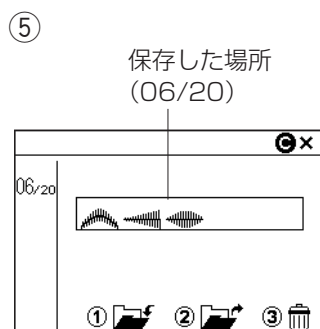
ぬい目の幅
調節ダイヤル



ぬい目のあかさ
調節ダイヤル

③ 保存したい場所 (ページ) を 01/20 (1 ページ)、05/20 (2 ページ)、09/20 (3 ページ)、13/20 (4 ページ) 17/20 (5 ページ) の中からぬい目の幅調節ダイヤルをまわして選びます。(例では 05/20 (2 ページ) を選択)

④ ぬい目のあかさ調節ダイヤルをまわして、保存したい場所を選びます。(例では 2 ページの 06/20 を選択)




保存した場所
(06/20)

①
数字ボタン

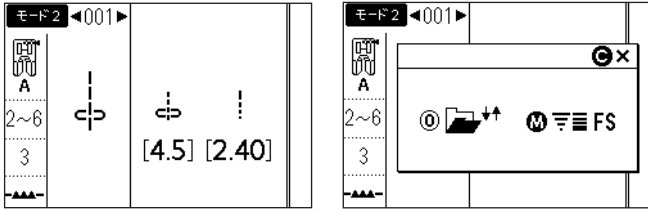
⑤ 数字ボタン「1」を押します。
(例では 2 ページの 06/20 に保存)

※ すでに別のデータが保存されている場所に新しいデータを保存すると、新しいデータに上書きされ、もとのデータは削除されます。

※ 画面をもどす場合は、取り消しボタン  を押します。

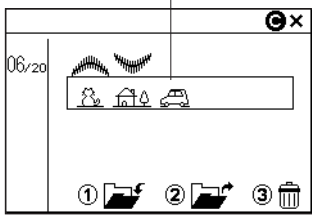
●模様データの呼び出し

① ② 《保存 / 呼び出し画面》



保存 / 呼び出し・ FS ボタン
数字ボタン

③ (06/20 を選択)



④

2

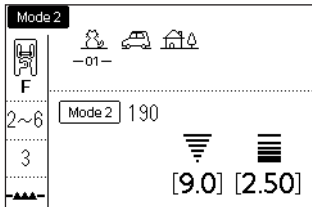
数字ボタン



ぬい目の幅調節
ダイヤル
ぬい目のあかさ調節
ダイヤル

⑤

ぬい実行画面



① 保存 / 呼び出し・FS (オート値変更) ボタンを押して、保存 / 呼び出し画面を表示させます。

② 数字ボタン「0」を押します。

③ 呼び出したい場所をぬい目の幅調節ダイヤルをまわすか、またはぬい目のあかさ調節ダイヤルまわして、呼び出したい模様を選びます。
(例では 2 番目の 06/20 を選択)

④ 数字ボタン「2」を押します。

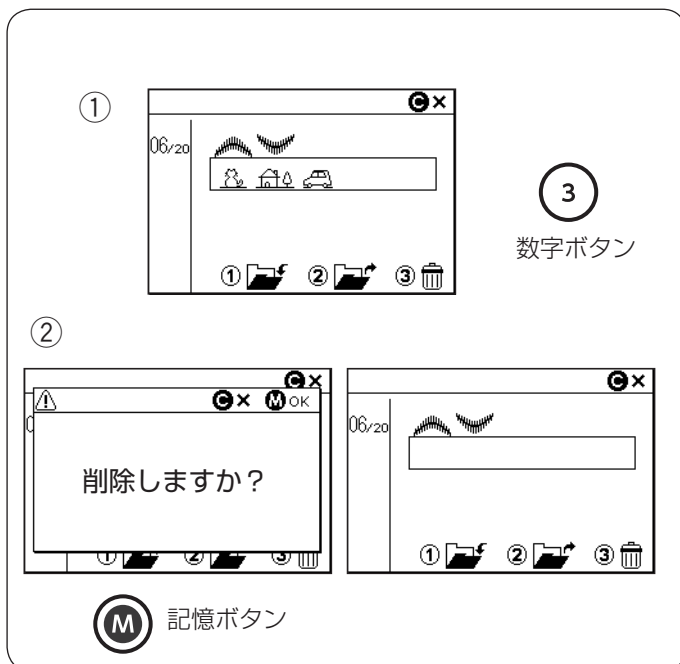
⑤ 呼び出した組み合わせ模様のぬい実行画面になります。

【模様データの削除方法】

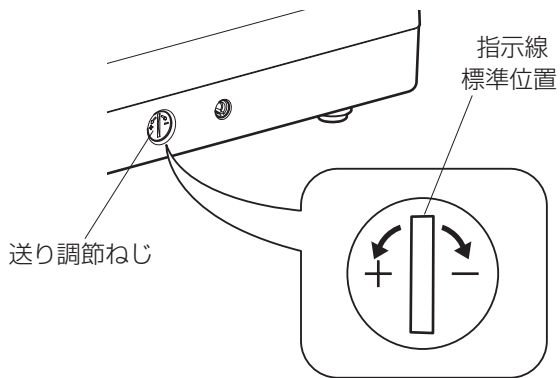
① 模様データを呼び出した場所で、数字ボタン「3」を押します。

② 「削除しますか？」と注意メッセージが表示されますので、記憶ボタンを押します。

※ 削除しない場合は、取り消しボタン  を押します。



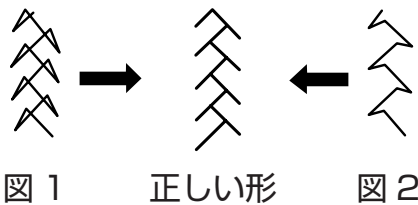
◎模様の形の整え方



布の種類、厚さ、ぬいの速さなどによっては模様の形がくずれて正しい形でぬえない場合があります。実際にぬうときと同じ条件で試しぬいをし、模様の形がくずれている場合は送り調節ねじで調節します。

- ※ 図のように指示線を垂直にした位置が、標準的な条件での模様を正しくぬえる目安の位置です。
- ※ 送り調節ねじの位置をかえた場合は、ぬい終わったあと標準位置（指示線が垂直位置）にもどしてください。

《模様の場合：模様  (モード1) の例》

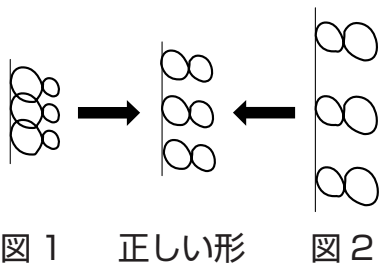


【模様の形の整え方】

図1のように模様がつまっているときは、送り調節ねじを「+」方向にまわします。

図2のように模様が伸びているときは、送り調節ねじを「-」方向にまわします。


《文字の場合：模様「8」(モード3) の例》

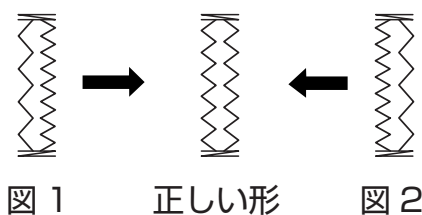


【文字の形の整え方】

図1のように文字がつまっているときは、送り調節ねじを「+」方向にまわします。

図2のように文字が伸びているときは、送り調節ねじを「-」方向にまわします。

《ニットボタンホール場合：模様  (モード2) の例》




【ニットボタンホール  の左右のぬい目のあらかの整え方】

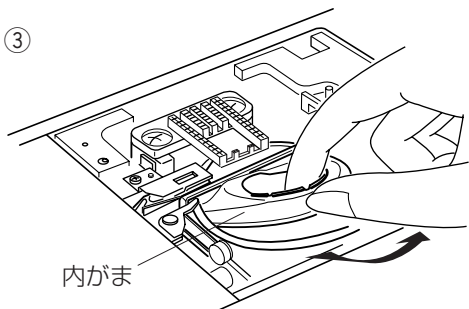
図1のように左側があらいときは、送り調節ねじを「+」方向にまわします。

図2のように右側があらいときは、送り調節ねじを「-」方向にまわします。

◎ミシンのお手入れ

●かまと送り歯、糸切り部の掃除

① ② ③



内がま

④

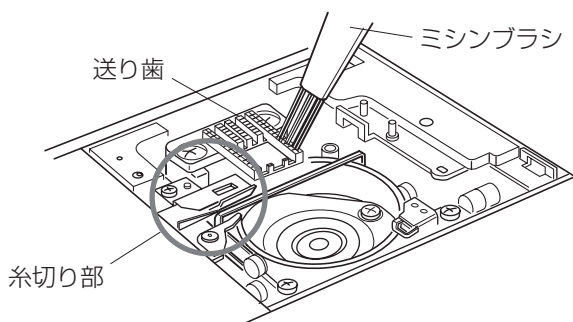


内がま

ミシン
ブラシ

布

⑤

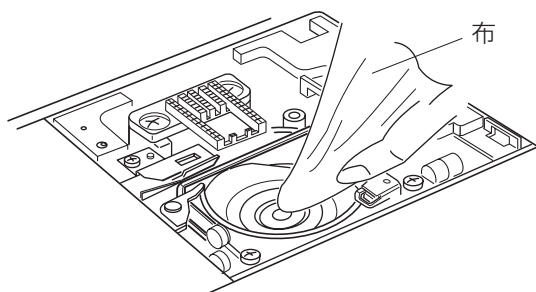


送り歯

ミシン
ブラシ

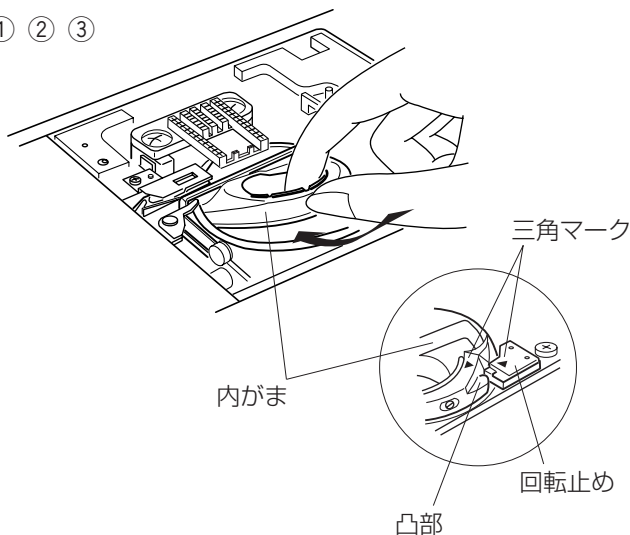
糸切り部

⑥



布

① ② ③



内がま

三角マーク

回転止め

凸部

⚠ 注意

- お手入れのときは、必ず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 説明されている場所以外は、分解しないでください。感電・火災・けがの原因になります。

【内がまの取り外しと掃除】

- ① 針と押さえを外します。
- ② 針板を外し、ボビンを取り出します。
※ 針板の外し方、付け方は、28 ページをごらんください。
- ③ 内がまの手前を上へ引きながら外します。
- ④ 内がまを付属のミシンブラシで掃除し、やわらかい布で軽くふきます。
- ⑤ 送り歯、糸切り部のごみをミシンブラシで手前に落とし、さらに外がまを掃除します。
- ⑥ 外がまの中央部をやわらかい布で軽くふきます。
※ ミシンブラシで掃除しにくい乾いた糸くずやほこりは、掃除機などで吸い取ってください。

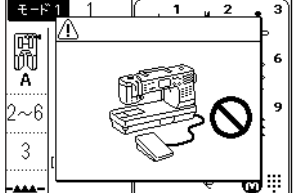
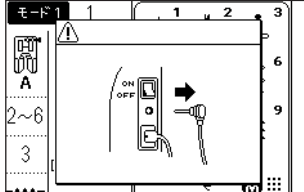
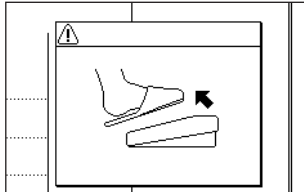
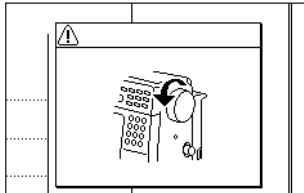
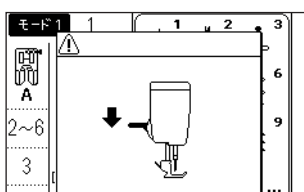
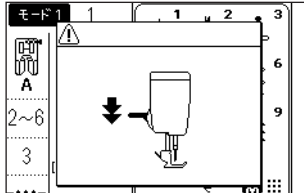
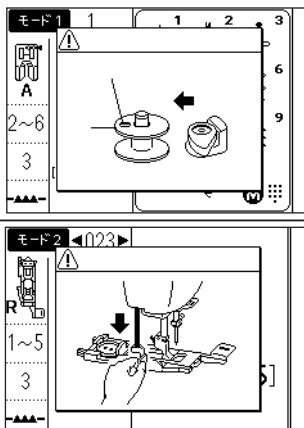
【内がまの組み付け】

- ① 内がまを取り付けます。
内がまの三角マークと回転止めの三角マークを合わせ、内がまの凸部が回転止めの左側にくるように取り付けます。
- ② 針板を取り付けます。
- ③ 押さえ、針を取り付けます。

◎こんなときには

●注意画面が表示された場合

禁止音や警告音とともに下記注意画面が表示されたかまたは表示されている場合は、対処方法にしたがってください。

| メッセージ画面 | 対処方法 |
|--|--|
|  | <p>フットコントローラーが壊れているときに表示される警告画面です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お客様相談室もしくは、お買い上げ店はお問い合わせください。 |
|  | <p>フットコントローラーを接続した状態でスタート/ストップボタンを押したときに数秒間表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スタート/ストップボタンを使用する場合は、フットコントローラーの接続を外してください。 |
|  | <p>フットコントローラーが踏み込まれた状態で電源スイッチを入れると、踏み込まれているあいだ表示されます。安全のためミシンは動きません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フットコントローラーの踏み込みを外してください。 |
|  | <p>電源スイッチを入れたときに針が下位置になっていると、下位置のあいだ表示されます。ボタンやキーの操作は受け付けません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・はずみ車を手で手前にまわして、針をあげてください。 |
|  | <p>押さえ上げをさげている状態で、ミシンをスタートさせようとしたとき、または返しぬいボタンまたは糸切りボタンまたは上下停針ボタンを押したときに数秒間表示されます。安全のためにミシンは動きません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・押さえ上げをさげて、操作を行ってください。 <p>※ 上下停針ボタンは、押さえ上げを普通にあげた位置では操作できますが、さらにあげた位置では操作できません。</p> |
|  | <p>ボビン押さえを移動しないで糸巻きボタンを押すと、注意画面が表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボビン押さえをセット（左に移動）して、糸巻きボタンを押してください。 |
|  | <p>ボタンホール切りかえレバーをさげないでボタンホールを少しぬうとミシンが停止し、数秒間表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボタンホール切りかえレバーをさげて、再スタートさせてください。 |

| | |
|--|---|
| | <p>2本針ぬいができない模様が選ばれているときに2本針ボタンを押すと数秒間表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 2本針ぬいができる模様を選んでから2本針ボタンを押してください。 |
| | <p>2本針ボタンを押して、2本針ぬいを解除したときに表示されます。針を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 針を確認したら2本針ボタンを押してください。 |
| | <p>ドロップつまみで送り歯をさげてぬう必要がある模様012（しつけ）、032（ボタン付け）を選んだとき、およびその模様を送り歯をさげない状態のままぬおうとしたときに数秒間表示されます。ミシンは動きません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ドロップつまみで送り歯をさげてください。 |
| | <p>ドロップつまみで送り歯がさがっている状態で、送り歯をあげてぬう必要がある模様をぬおうとしたときに数秒間表示されます。ミシンは動きません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ドロップつまみで送り歯をあげてください。 |
| | <p>針板が外れているときに表示されます。 ※針板が正確に取り付いていないと、表示は消えません。</p> |
| | <p>安全装置の作動によりミシンが緊急停止したときに数秒間表示されます。表示中はミシンは動きません。</p> <ul style="list-style-type: none"> 電源スイッチを切り、針板を外し、かまや送り歯、糸切り部に糸がからんでいないか確認してください。 直らない場合は電源スイッチを切り、お買い上げの販売店へご連絡ください。 |


●ブザー音の種類

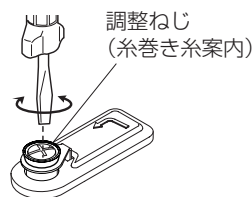
| ブザー音 | 内 容 |
|-------|---------------------------|
| ピッ | 正しい操作をしたときの受け付け音です。 |
| ピッピピー | ボタンホールなどのぬいが終わったときの終了音です。 |
| ピピピッ | 不正な操作をしたときの禁止音です。 |
| ピー | ミシン異常時の警告音です。 |


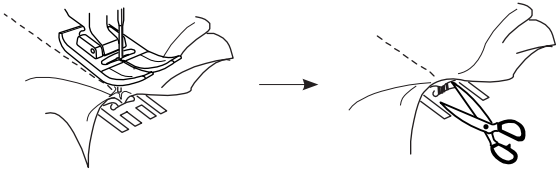
※ 正しい操作をしたときの受け付け音は鳴らなくすることができます。ブザー音量の設定 38 ページをごらんください。

●ミシンの調子が悪いときの直し方

| 調子が悪い場合 | その原因 | 直し方 |
|------------------|---|---|
| 上糸が切れる | <ol style="list-style-type: none"> 1. 上糸のかけ方がまちがっていたり、糸が必要以外のところからみついている。 2. 上糸調子が強すぎる。 3. 針が曲がっていたり、針先がつぶれている。 4. 針の付け方がまちがっている。 5. 針に対して糸が太すぎるか、細すぎる。 6. めい始めに上糸を押さえで押さえていない。 7. 糸がかまなどからまっている。 8. 糸こまに上糸が引っかかっている。 | 24～25ページ参照 29ページ参照 19ページ参照 19ページ参照 19ページ参照 42ページ参照 117ページ参照 糸こま押さえを付ける |
| 下糸が切れる | <ol style="list-style-type: none"> 1. 下糸の通し方がまちがっている。 2. 内がまの中にゴミがたまっている。 3. ボビンにきずがあり回転がなめらかでない。 4. 下糸の巻き方がゆるい。 | 23ページ参照 117ページ参照 ボビンを交換する 巻く速度を速くする |
| 針が折れる | <ol style="list-style-type: none"> 1. 針の付け方がまちがっているか、針が曲がっている。 2. 針止めねじのしめつけがゆるんでいる。 3. 布に対して針が細すぎる。 4. めい終わったとき布を手前に引いている。 5. 模様にあった押さえを使用していない。 | 19ページ参照 19ページ参照 19ページ参照 布を向こう側に出す 指定の押さえに交換する |
| めい目がとぶ | <ol style="list-style-type: none"> 1. 針の付け方がまちがっているか、針が曲がっている。 2. 布に対して針と糸が合っていない。 3. めい目がとぶようなときに、付属のブルー針を使っていない。 4. 上糸のかけ方がまちがっている。 5. 品質の悪い針を使用している。 | 19ページ参照 19ページ参照 19ページ参照 24～25ページ参照 針を交換する |
| めい目がしわになる | <ol style="list-style-type: none"> 1. 上糸調子が合っていない。 2. 上糸、下糸のかけ方がまちがっていたり、糸が必要以外の部分からみついている。 3. 布に対して針が太すぎる。 4. 布に対してめい目があらずすぎる。 5. 押さえ圧が合っていない。 | 29ページ参照 23～25ページ参照 19ページ参照 めい目を細かくする 16ページ参照 |
| めいずれがおこる | <ol style="list-style-type: none"> 1. 押さえ圧が合っていない。 | 16ページ参照 |
| 布送りがうまくいかない | <ol style="list-style-type: none"> 1. 天びんの糸穴に糸が入っていない。 2. 上糸のかけ方がまちがっている。 3. 送り歯に糸くずがたまっている。 4. めい目が細かすぎる。 5. 送り歯があがっていない。 | 25ページ参照 24～25ページ参照 117ページ参照 めい目をあらくする 30ページ参照 |
| めい目に輪ができる | <ol style="list-style-type: none"> 1. 上糸調子が弱すぎる。 2. 糸に対して針が太すぎるか、細すぎる。 | 29ページ参照 19ページ参照 |
| ボタンホールがうまくぬえない | <ol style="list-style-type: none"> 1. 布に対してめい目のあらしさが合っていない。 2. 伸縮性のある布のとき、伸びない芯地を使っていない。 3. ボタンホール切りかえレバーがさがっていない。 | 70ページ参照 66ページ参照 68、69ページ参照 |
| 音が高い | <ol style="list-style-type: none"> 1. かまの部分に糸くずが巻きこまれている。 2. 送り歯にゴミがたまっている。 3. 電源投入時、制御モータからわずかな共鳴音ができる。 | 117ページ参照 117ページ参照 異常ではありません |
| 糸切りボタンでうまく糸が切れない | <ol style="list-style-type: none"> 1. 使用している糸が太すぎる。 2. 糸がからまっている。 | 10ページ参照 117ページ参照 |

| 調子が悪い場合 | その原因 | 直し方 |
|---------------------------|--|---|
| ぬい目に下糸がでる | 1. ボビンのセットがまちがっている。 2. 糸こまのセットがまちがっている。 3. 上糸のかけ方がまちがっている。 4. 上糸調子が強すぎる。 5. ジャノメのボビンを使用していない。 | 23 ページ参照 20、21 ページ参照 24～25 ページ参照 29 ページ参照 20 ページ参照 |
| ぬい始めの糸がらみ | 1. 上糸のかけ方がまちがっている。 | 24～25 ページ参照 |
| うすい布、伸縮性の布の 食い込み | 1. 布に対して針と糸があっていない。 2. 左針位置でぬっていない。 | 19 ページ参照 左針位置でぬう |
| 上糸が抜ける | 1. 上糸の通し方がまちがっている。 2. ぬい始めに布に針をさしていない。 | 24～25 ページ参照 42 ページ参照 |
| ぬい終わりに下糸が二重 に出てくる | 1. 天びんが上にあがっていない。 | ぬい終わりに天びんを あげる |
| かまに糸がからまる | 1. 上糸のかけ方がまちがっている。 2. かまにキズがある。 3. 内がまの入れ方がまちがっている。 | 24～25 ページ参照 かまを交換する 117 ページ参照 |
| フットコントローラーを 踏み込んでも動かない | 1. フットコントローラーを踏んだ状態で電源スイッチを入れた。 | 118 ページ参照 |
| 糸通しができない | 1. 針と天びんが上にあがっていない。 | 26 ページ参照 |
| 模様がきれいにぬえない | 1. ボビンのセットがまちがっている。 (ボビンの入れる方向/下糸が内がまのばねに入っていない。) | 23 ページ参照 |
| ボビンにうまく下糸が 巻けない | 1. 糸のかけ方がまちがっている。 2. ボビンの上  または下  に巻きが偏っている。 ↓ (調節ねじを 右にまわす) (調節ねじを 左にまわす) | 22 ページ参照 調整ねじをまわす 注意：調整ねじのまわす 範囲は 1 回転まで にしてください。 部品が外れます。 |



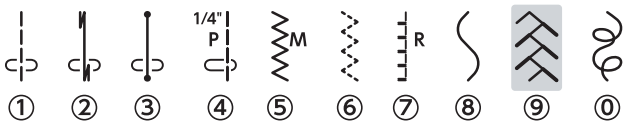
| 調子が悪い場合 | その原因 | 直し方 |
|-----------|---|---|
| ミシンが動かない | 1. 電源のつなぎ方がまちがっている。 2. かまに糸やごみがたまっている。 3. ボビンに糸がからまっている。 4. 押さえ上げがさがっていない。 5. 上糸が外れ、ボビンにからまって（ガチャガチャ音がする）いる。 6. 上糸が天びんから外れ、他の部品にからまっている。 | 7 ページ参照 117 ページ参照 ボビンの糸を確認する 14 ページ参照 上糸かけを確認する [天びんの糸外れ確認]  からまっている糸を取る [からまっている糸の取り方] 外装部品の取り外しがありますので、詳細はお買い上げ販売店へご相談ください。 |
| 布裏で糸がからまる | 1. 上糸のかけ方がまちがっている。  | 24 ~ 25 ページ参照 [からまっている糸の取り方] 手順 1. 電源スイッチを切る 手順 2. 押さえ上げをあげ、ハサミで布裏の糸を切る 手順 3. 針板を外す (28 ページ参照) 手順 4. ボビン、内がまを外し、からまっている糸を取る (117 ページ参照) 手順 5. 内がま、ボビンをセットし、針板を取り付ける (117 ページ参照) 手順 6. 上糸をかけ直す (24 ~ 25 ページ参照) |

※ 静かな部屋で使うと「ウィーン」という小さな音がする場合があります。内部の制御モータから発生しているもので、ぬい作業上はとくに問題はありません。

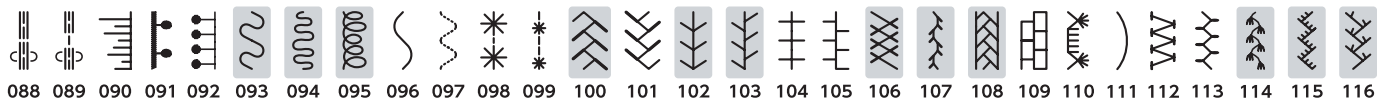
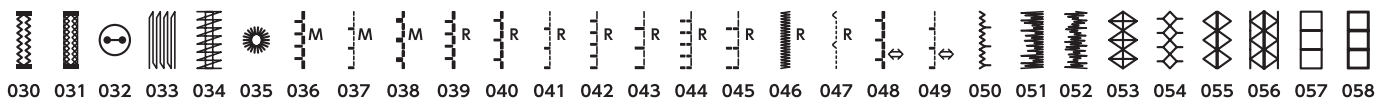
※ 長時間使うと操作ボタンや操作パネル付近の温度が少し高くなります。内部の制御部の発熱によるもので、ぬい作業上はとくに問題はありません。

◎模様一覧

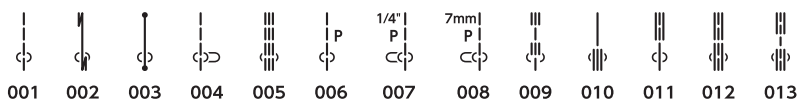
(モード1)



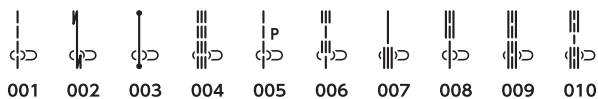
(モード2)



(直線針板用模様)



(プロフェッショナル直線針板用模様)



※ 四角に塗られている模様は、上下反転ができる模様です。

(モード3 / 文字)

ブロック体

A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z
 001 002 003 004 005 006 007 008 009 010 011 012 013 014 015 016 017 018 019 020 021 022 023 024 025 026
a b c d e f g h i j k l m n o p q r s t u v w x y z
 027 028 029 030 031 032 033 034 035 036 037 038 039 040 041 042 043 044 045 046 047 048 049 050 051 052
1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 & _ \$ @ . ' , ? ; ! i ' ' < > (
 053 054 055 056 057 058 059 060 061 062 063 064 065 066 067 068 069 070 071 072 073 074 075 076 077 078
) - + = / // % ~ : À Á Â Ã Ä Å Æ Ç È É Ê Ë Ì Í Î Ï Ñ
 079 080 081 082 083 084 085 086 087 088 089 090 091 092 093 094 095 096 097 098 099 100 101 102 103 104
Ò Ó Ô Õ Ö Ø Ù Ú Û Ü ß à á â ã ä å æ ç è é ê ë ì í î ï ñ ò ó ô õ ö ø ù ú
 105 106 107 108 109 110 111 112 113 114 115 116 117 118 119 120 121 122 123 124 125 126 127 128 129 130
ž à á â ã ä å æ ç è é ê ë ì í î ï ñ ò ó ô õ ö ø ù ú
 131 132 133 134 135 136 137 138 139 140 141 142 143 144 145 146 147 148 149 150 151 152 153 154 155 156
û ü ß à á â ã ä å æ ç è é ê ë ì í î ï ñ ò ó ô õ ö ø ù ú
 157 158 159 160 161 162 163 164 165 166 167 168 169 170 171 172 173 174 175 997 998 999

スクリプト体

A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z
 201 202 203 204 205 206 207 208 209 210 211 212 213 214 215 216 217 218 219 220 221 222 223 224 225 226
a b c d e f g h i j k l m n o p q r s t u v w x y z
 227 228 229 230 231 232 233 234 235 236 237 238 239 240 241 242 243 244 245 246 247 248 249 250 251 252
1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 & _ \$ @ . ' , ? ; ! i ' ' < > (
 253 254 255 256 257 258 259 260 261 262 263 264 265 266 267 268 269 270 271 272 273 274 275 276 277 278
) - + = / // % ~ : À Á Â Ã Ä Å Æ Ç È É Ê Ë Ì Í Î Ï Ñ
 279 280 281 282 283 284 285 286 287 288 289 290 291 292 293 294 295 296 297 298 299 300 301 302 303 304
Ò Ó Ô Õ Ö Ø Ù Ú Û Ü ß à á â ã ä å æ ç è é ê ë ì í î ï ñ ò ó ô õ ö ø ù ú
 305 306 307 308 309 310 311 312 313 314 315 316 317 318 319 320 321 322 323 324 325 326 327 328 329 330
ž à á â ã ä å æ ç è é ê ë ì í î ï ñ ò ó ô õ ö ø ù ú
 331 332 333 334 335 336 337 338 339 340 341 342 343 344 345 346 347 348 349 350 351 352 353 354 355 356
û ü ß à á â ã ä å æ ç è é ê ë ì í î ï ñ ò ó ô õ ö ø ù ú
 357 358 359 360 361 362 363 364 365 366 367 368 369 370 371 372 373 374 375 997 998 999

ブロック体 (9mm)

A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V
 401 402 403 404 405 406 407 408 409 410 411 412 413 414 415 416 417 418 419 420 421 422
W X Y Z 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 & _ \$ @ . ' , ?
 423 424 425 426 427 428 429 430 431 432 433 434 435 436 437 438 439 440 441 442 443 444
; ! i ' ' < > () - + = / // % ~ : 997 998 999

(モード3 / 文字)

ひらがな / カタカナ (横書き / 縦書き)

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|---------------|---------------|
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | (横書き 文字番号) | |
| あ | い | う | え | お | か | き | く | け | こ | さ | し | す | せ | そ | た | ち | つ | て | と | な | ← あ |
| 501 | 502 | 503 | 504 | 505 | 506 | 507 | 508 | 509 | 510 | 511 | 512 | 513 | 514 | 515 | 516 | 517 | 518 | 519 | 520 | 521 | ← い |
| 704 | 705 | 706 | 707 | 708 | 709 | 710 | 711 | 712 | 713 | 714 | 715 | 716 | 717 | 718 | 719 | 720 | 721 | 722 | 723 | 724 | (縦書き 文字番号) |
| に | ぬ | ね | の | は | ひ | ふ | へ | ほ | ま | み | む | め | も | や | ゆ | よ | ら | り | る | れ | |
| 522 | 523 | 524 | 525 | 526 | 527 | 528 | 529 | 530 | 531 | 532 | 533 | 534 | 535 | 536 | 537 | 538 | 539 | 540 | 541 | 542 | |
| 725 | 726 | 727 | 728 | 729 | 730 | 731 | 732 | 733 | 734 | 735 | 736 | 737 | 738 | 739 | 740 | 741 | 742 | 743 | 744 | 745 | |
| ろ | わ | を | ん | ぁ | ぃ | ぅ | ぇ | ぉ | っ | ゃ | ゅ | ょ | ー | 、 | 。 | が | ぎ | ぐ | げ | ご | |
| 543 | 544 | 545 | 546 | 547 | 548 | 549 | 550 | 551 | 552 | 553 | 554 | 555 | 556 | 557 | 558 | 559 | 560 | 561 | 562 | 563 | |
| 746 | 747 | 748 | 749 | 750 | 751 | 752 | 753 | 754 | 755 | 756 | 757 | 758 | 759 | 760 | 761 | 762 | 763 | 764 | 765 | 766 | |
| ざ | じ | ず | ぜ | ぞ | だ | ぢ | づ | で | ど | ば | び | ぶ | べ | ぼ | ぱ | ぴ | ぷ | ぺ | ぽ | う | |
| 564 | 565 | 566 | 567 | 568 | 569 | 570 | 571 | 572 | 573 | 574 | 575 | 576 | 577 | 578 | 579 | 580 | 581 | 582 | 583 | 584 | |
| 767 | 768 | 769 | 770 | 771 | 772 | 773 | 774 | 775 | 776 | 777 | 778 | 779 | 780 | 781 | 782 | 783 | 784 | 785 | 786 | 787 | |
| ア | イ | ウ | エ | オ | カ | キ | ク | ケ | コ | サ | シ | ス | セ | ソ | タ | チ | ツ | テ | ト | ナ | |
| 585 | 586 | 587 | 588 | 589 | 590 | 591 | 592 | 593 | 594 | 595 | 596 | 597 | 598 | 599 | 600 | 601 | 602 | 603 | 604 | 605 | |
| 788 | 789 | 790 | 791 | 792 | 793 | 794 | 795 | 796 | 797 | 798 | 799 | 800 | 801 | 802 | 803 | 804 | 805 | 806 | 807 | 808 | |
| ニ | ヌ | ネ | ノ | ハ | ヒ | フ | ヘ | ホ | マ | ミ | ム | メ | モ | ヤ | ユ | ヨ | ラ | リ | ル | レ | |
| 606 | 607 | 608 | 609 | 610 | 611 | 612 | 613 | 614 | 615 | 616 | 617 | 618 | 619 | 620 | 621 | 622 | 623 | 624 | 625 | 626 | |
| 809 | 810 | 811 | 812 | 813 | 814 | 815 | 816 | 817 | 818 | 819 | 820 | 821 | 822 | 823 | 824 | 825 | 826 | 827 | 828 | 829 | |
| ロ | ワ | ヲ | ン | ァ | ィ | ゥ | ェ | ォ | ッ | ャ | ュ | ョ | ー | 、 | 。 | ガ | ギ | グ | ゲ | ゴ | |
| 627 | 628 | 629 | 630 | 631 | 632 | 633 | 634 | 635 | 636 | 637 | 638 | 639 | 640 | 641 | 642 | 643 | 644 | 645 | 646 | 647 | |
| 830 | 831 | 832 | 833 | 834 | 835 | 836 | 837 | 838 | 839 | 840 | 841 | 842 | 843 | 844 | 845 | 846 | 847 | 848 | 849 | 850 | |
| ザ | ジ | ズ | ゼ | ゾ | ダ | ヂ | ヅ | デ | ド | バ | ビ | ブ | ベ | ボ | パ | ピ | プ | ペ | ポ | ヴ | |
| 648 | 649 | 650 | 651 | 652 | 653 | 654 | 655 | 656 | 657 | 658 | 659 | 660 | 661 | 662 | 663 | 664 | 665 | 666 | 667 | 668 | |
| 851 | 852 | 853 | 854 | 855 | 856 | 857 | 858 | 859 | 860 | 861 | 862 | 863 | 864 | 865 | 866 | 867 | 868 | 869 | 870 | 871 | |
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 0 | & | _ | \$ | @ | . | · | , | ? | ¿ | ! | ¡ | |
| 669 | 670 | 671 | 672 | 673 | 674 | 675 | 676 | 677 | 678 | 679 | 680 | 681 | 682 | 683 | 684 | 685 | 686 | 687 | 688 | 689 | |
| 872 | 873 | 874 | 875 | 876 | 877 | 878 | 879 | 880 | 881 | 882 | 883 | 884 | 885 | 886 | 887 | 888 | 889 | 890 | 891 | 892 | |
| ‘ | ’ | < | > | (|) | - | + | = | / | // | % | ~ | : | | | | | | | | |
| 690 | 691 | 692 | 693 | 694 | 695 | 696 | 697 | 698 | 699 | 700 | 701 | 702 | 703 | | | | | | | | |
| 893 | 894 | 895 | 896 | 897 | 898 | 899 | 900 | 901 | 902 | 903 | 904 | 905 | 906 | | | | | | | | |

♥ MEMO ♥

♥ MEMO ♥

♥ MEMO ♥

| 仕 様 | |
|--------|--|
| 使用電圧 | 100 V 50 Hz/60 Hz |
| 消費電力 | 55 W |
| 外形寸法 | 幅 51.6 cm ×奥行 22.0 cm ×高さ 30.0 cm |
| 質 量 | 11.0 kg (本体) |
| 使用針 | 家庭用 HA X 1 |
| 最高ぬい速度 | 毎分 1200 針 (直線模様) フットコントローラー使用時 毎分 1200 針 (直線模様) |

仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。

修理サービスのご案内

- お買い上げの際、販売店でお渡しする保証書は内容をお確かめの上、大切に保管してください。
- 無料修理保証期間内およびそれ以降の修理につきましても、お買い上げの販売店が承りますのでお申し付けください。

修理用部品の保有期間

- 当社は動力伝達部品、および縫製機能部品を原則として製造打ち切り後 8 年間を基準として保有し、必要に応じて販売店に供給できる体制を整えています。

無料修理保証期間経過後の修理サービス

- 取扱説明書にしたがって、正しいご使用とお手入れがなされていれば、無料修理保証期間を経過したあとも、修理用部品の保有期間内はお買い上げの販売店が有料で修理サービスをします。
ただし、次のような場合は修理できないことがあります。
 1. 保存上の不備または誤使用により不調、故障または損傷したとき。
 2. 浸水、冠水、火災等、天災、地変により不調、故障または損傷したとき。
 3. お買い上げ後の移動または輸送によって不調、故障または損傷したとき。
 4. お買い上げ店または当社の指定した販売店以外で修理、分解、改造をしたために不調、故障または損傷したとき。
 5. 職業用等過度なご使用により不調、故障または損傷したとき。
- 長期間にわたってご使用された場合の精度の劣化は、修理によっても元通りにならないことがあります。
- 有料修理サービスの場合の費用は必要部品代、交通費、およびお買い上げ店が別に定める技術料の合計になります。

お客様の相談窓口

修理サービスについてのお問い合わせやご不審のある場合は下記にお申しつけください。
お問い合わせの際には、ミシン本体の正面、もしくは保証書にある商品名を控えてください。

蛇の目ミシン工業株式会社

〒193-0941 東京都八王子市狭間町 1463 番地

お客様相談室 TEL. 0120-026-557 (フリーダイヤル)
042-661-2600

受付 平日 9:00 ~ 12:00 13:00 ~ 17:00
(土・日・祝日・年末年始を除く)

メールでのお問い合わせは、ホームページ <https://www.janome.co.jp>
問合せフォームをご利用ください。

JANOME

866800305 ①